

小城市総合計画策定のための

住民アンケート調査

結果報告書

平成18年4月

小城市

目次

調査の概要及び回答者の属性	1
1 調査の概要	2
(1) 調査目的	2
(2) 調査対象及び調査方法	2
(3) 配布数及び回収結果	2
(4) 標本誤差	3
(5) 本調査結果報告書の留意点	4
2 回答者の属性	5
(1) 性別	5
(2) 年齢	6
(3) 職業（主たるもの）	8
(4) 居住年数（通算年数）	9
(5) 居住地区	10
調査結果	11
1 あなたの行動範囲について	12
(1) 日常生活で出かける地域	12
2 市の現状について	36
(1) 市への愛着度	36
(2) 今後の定住意向	39
(3) 市の環境について	43
(4) 全体的な市の暮らしやすさ	54
(5) 満足度と市への愛着度の相関	56
(6) 満足度と今後の定住意向の相関	59
(7) 満足度と全体的な市の暮らしやすさの相関	62
3 これからのまちづくりについて	65
(1) まちづくりで重視すべき項目	65
(2) まちづくりで今後力を入れるべきと思うこと	68
4 生活環境について	71
(1) 必要な施設整備	71
5 消防・防災などの危機管理について	74
(1) 消防・防災体制について	74
6 土地利用・景観について	76
(1) 優先的に整備していくべき用地	76
(2) 守り・育てたい景観	78

7	保健・医療・福祉について	79
	(1)保健・医療対策について	79
	(2)高齢社会への対応	81
	(3)障害者福祉について	83
	(4)子育て環境について	85
8	産業振興について	87
	(1)農林業振興について	87
	(2)水産業振興について	90
	(3)商業振興について	92
	(4)工業振興について	94
	(5)観光振興について	96
9	学校教育・社会教育について	98
	(1)子どもの健全育成で重視すべき取り組み	98
10	情報化、国際化、地域間交流について	101
	(1)高度情報化社会への必要な取り組み	101
	(2)国際化に向け必要な取り組み	103
	(3)地域間交流について必要な取り組み	105
11	地域活動・ボランティア活動、協働について	107
	(1)ボランティア活動への参加意向	107
	(2)参加したいボランティア活動	109
	(3)「市民協働」という言葉について	110
	(4)市民が地域の課題を解決するのに大切なこと	112
12	市の花、木、鳥について	114
	(1)市の花、木、鳥について	114
13	自由意見について	118
	(1)自由意見	118
資料	： 調査票	119
資料	： 問4、問12	136
資料	： 自由意見	151

調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、新しいまちづくりの指針となる小城市総合計画の策定に当たって、市の現状評価や定住意向をはじめ、今後期待するまちづくりの方向、各分野における重点施策要望など、市民の意識構造の実態を把握するとともに、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものである。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	市内に居住する 19 歳以上の男女
配布数	2,000
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法による配布・回収
調査時期	平成 18 年 2 月

(3) 配布数及び回収結果

配布数	2,000
回収数	757
回収率	37.9%
有効回収数	754
有効回収率	37.7%

(4) 標本誤差

本調査は、標本調査であるため、標本による測定値（ある設問の回答率）から母集団（小都市に居住する19歳以上住民の意向）を推定することができる。

一般に世論調査などは、信頼度95%（同一の調査を100回行えば95回まではこの結果になるであろうという推定）のレベルを求めるのが一般的であり、これに基づく標本測定値の標本誤差の近似式は、次の公式で求められる。

$$= 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{p(1-p)}{n}}$$

: 標本誤差
 N : 母集団数(本調査では36,766人) n : 標本数(本調査では2,000人)
 p : 回答率(標本測定値)

上記の公式を用いて、本調査における信頼度95%の標本誤差を求めると右の表のとおりとなる。

参考として問3「市への愛着度」について調べた結果をみると、「愛着を感じている」は17.9%の測定値（回答率）を示している。右表から最も近い20%の標本誤差±1.7%をとると、(17.9% - 1.7%) ~ (17.9% + 1.7%) = 16.2% ~ 19.6%の範囲でこれに回答すると推定できる。つまり、母集団(36,766人)全員にたずねた場合には、(36,766人 × 0.162) ~ (36,766人 × 0.196) 5,956人 ~ 7,206人が「愛着を感じている」と回答するだろうということが、この種の調査を行えば95%の確かさをもって推定される。

測定値	信頼区間の1/2幅
50%	±2.1%
45・55	±2.1%
40・60	±2.1%
35・65	±2.0%
30・70	±2.0%
25・75	±1.8%
20・80	±1.7%
15・85	±1.5%
10・90	±1.3%
5・95	±0.9%

(5) 本調査結果報告書の留意点

本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要がある。

基数となるべき実数は、“n = ”として掲載し、各比率はnを100%として算出した。

比率は百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。

質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

問の中には「～に をつけた方にうかがいます。」などいろいろな制限があり、回答者の数が少ない問が含まれる。

本報告書では、前回調査として「新しいまちの建設計画策定のためのアンケート調査」の結果と比較分析している設問がある。ただし、前回調査では、無回答者を除外してグラフ等を作成しており、今回調査では全国世論調査等で行われているように、無回答者を除外せずにグラフ等を作成している。このため、今回調査では、今回の分析用のグラフと、前回調査と比較するためのグラフで数字が異なる場合がある。(例：性別の設問：今回の分析用グラフ：男性39.1%、女性51.9%、前回調査と比較用グラフ：男性43.0%、女性57.0%)

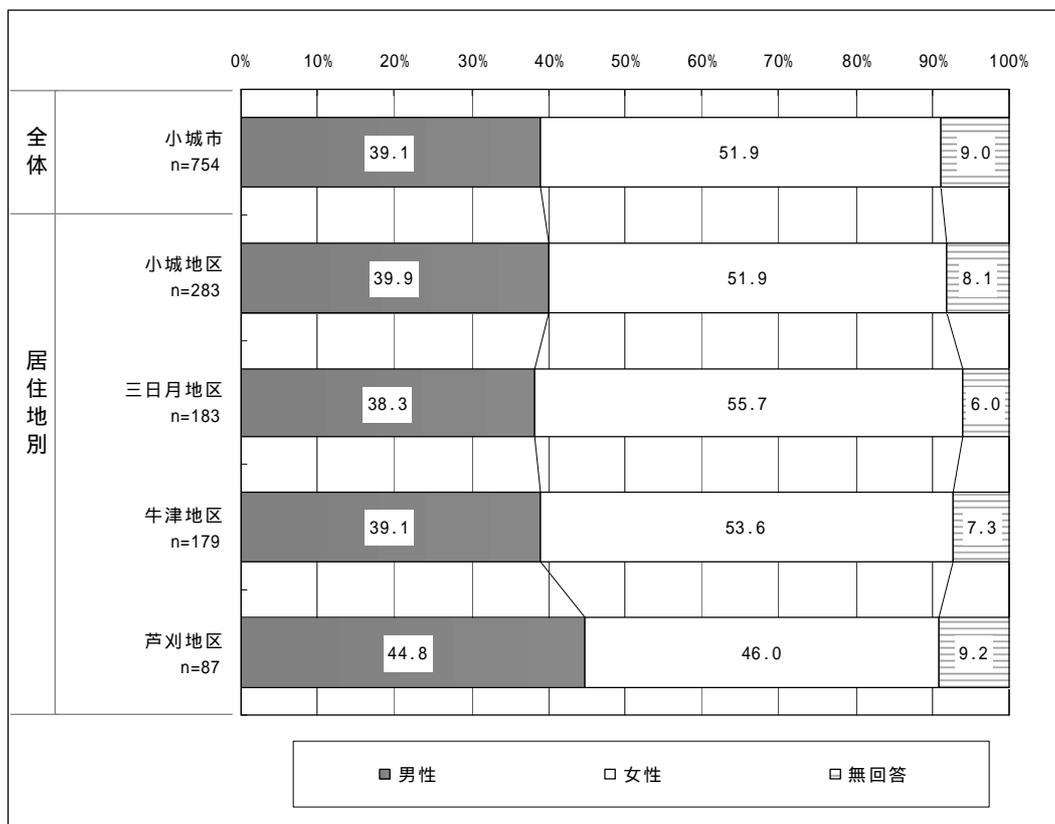
報告書の中では、図表では簡略した表現を用いており、文中では調査票と同じ表現にしているため、図表と文中が必ずしも同一でないものもある。(例) P.43 「商業の振興(中心商業地域の形成など)」 P.47 図表42「商業の振興」

2 回答者の属性

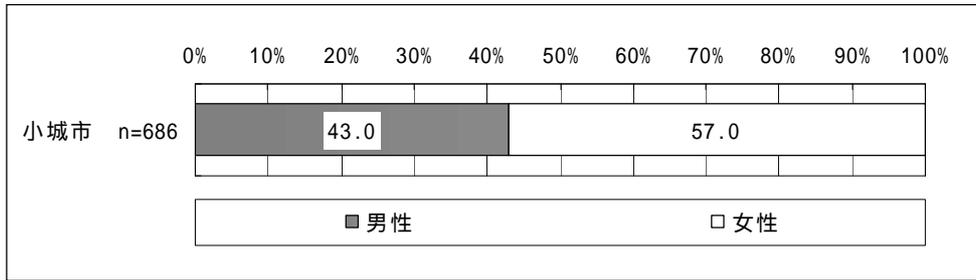
(1) 性別

回答者の性別構成は、「男性」が39.1%、「女性」が51.9%となっている。居住地別にみても、「男性」と回答した割合はすべての地区で4割前後、「女性」は5割前後となっており、地区によって大きな差はみられない。

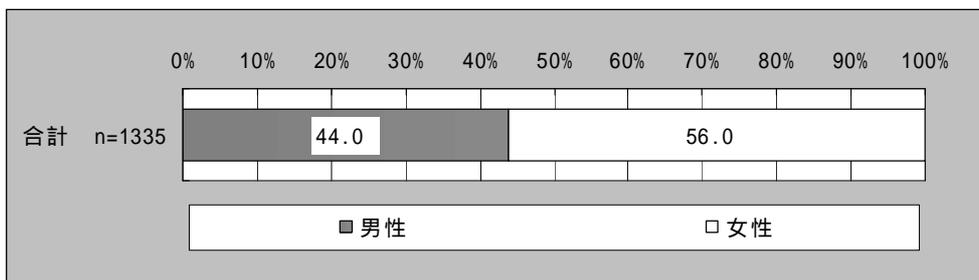
また、今回調査と前回調査で比較すると、今回調査では「男性」が43.0%、「女性」が57.0%であるのに対し、前回調査では「男性」が44.0%、「女性」が56.0%と、前回調査の割合とほぼ同率の結果となっている。



今回調査



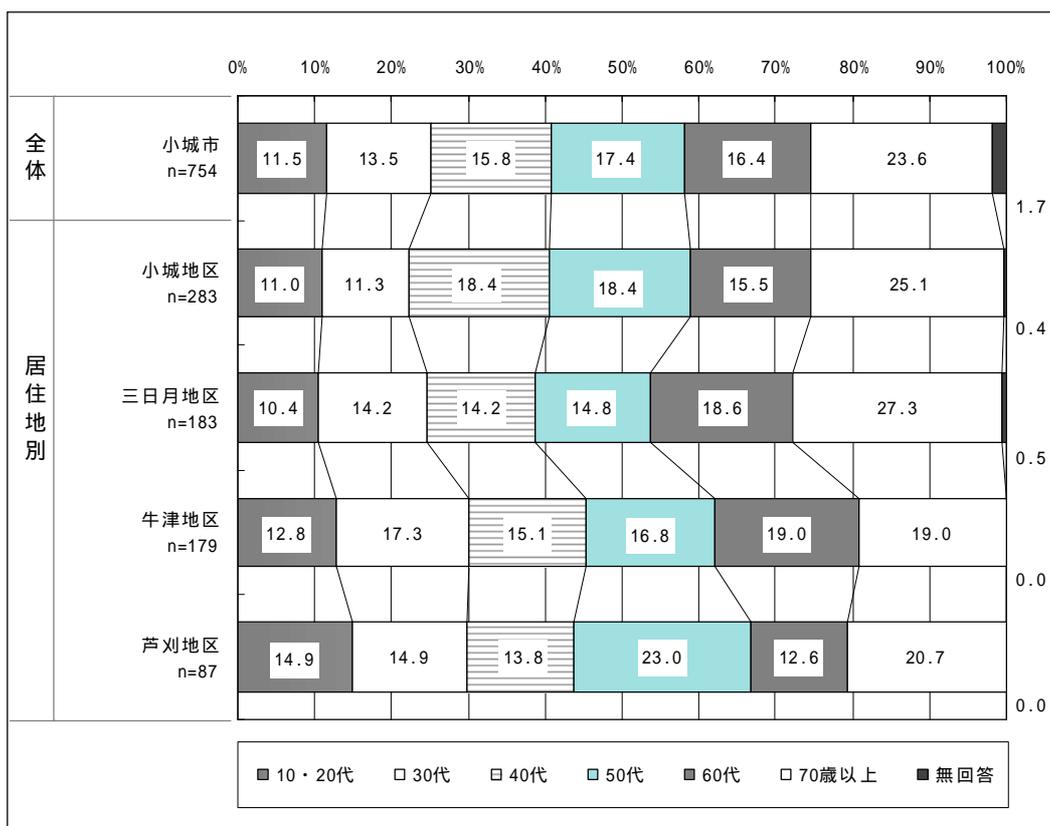
前回調査



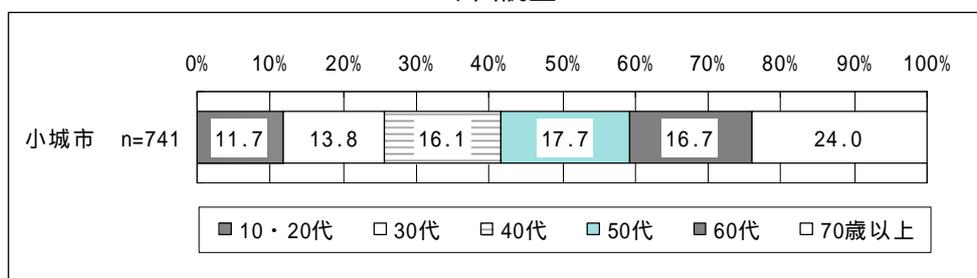
(2) 年齢

回答者の年齢構成は、「10・20代」(11.5%)、「30代」(13.5%)、「40代」(15.8%)、「50代」(17.4%)、「60代」(16.4%)、「70歳以上」(23.6%)となっている。居住地別にみると、三日月地区で「60代」と「70歳以上」をあわせた割合が45.9%と他地区に比べて若干高くなっている。

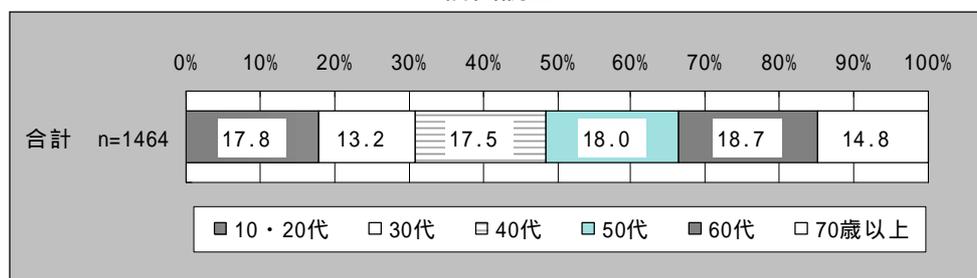
また、今回調査と前回調査で比較すると、今回調査では「10・20代」が11.7%、「70歳以上」が24.0%であるのに対し、前回調査では「10・20代」が17.8%、「70歳以上」が14.8%となっており、前回調査よりも今回調査の方が若年者の回答率が低く、高齢者の回答率が高くなっている。その他の年代では大きな差はみられない。



今回調査



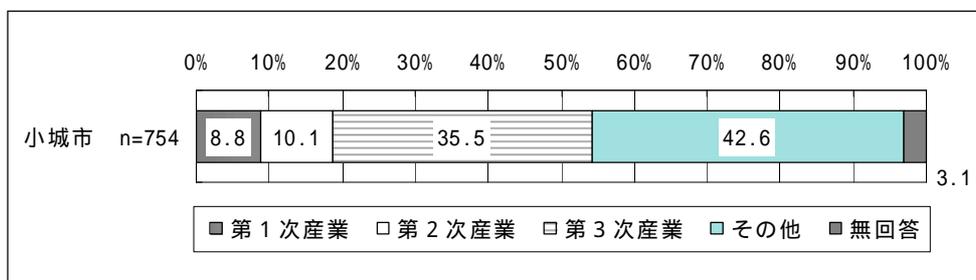
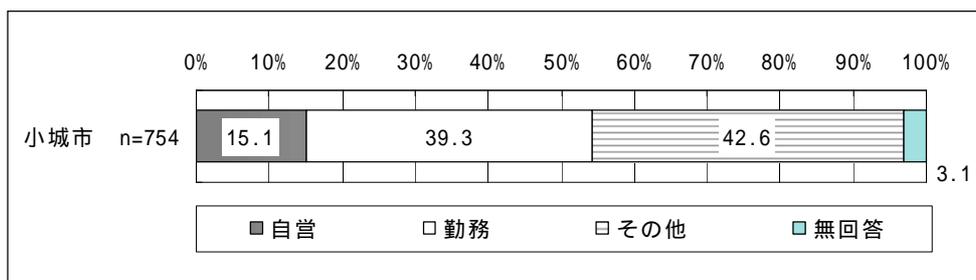
前回調査



(3) 職業 (主たるもの)

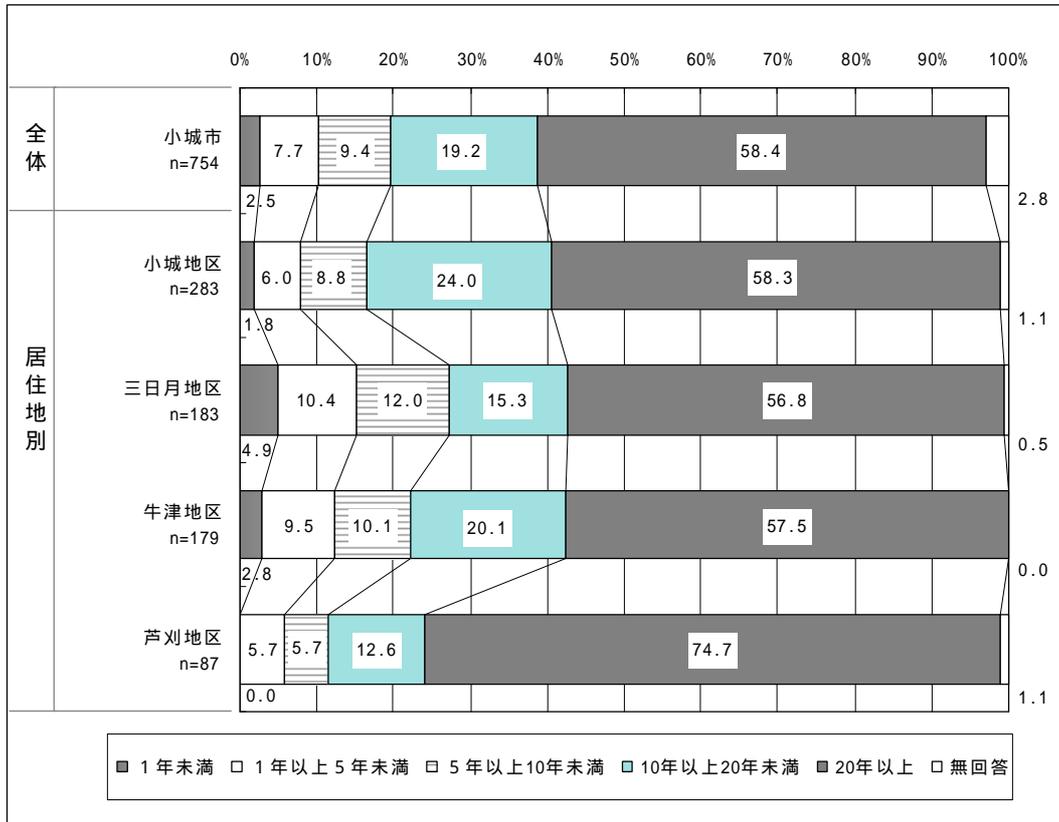
就業形態は、「**自営**」(15.1%)、「**勤務**」(39.3%)、「**その他(主婦・無職・学生・その他)**」(42.6%)となっている。

業種は、「**第1次産業**」(8.8%)、「**第2次産業**」(10.1%)、「**第3次産業**」(35.5%)、「**その他(主婦・無職・学生・その他)**」(42.6%)となっている。



(4) 居住年数 (通算年数)

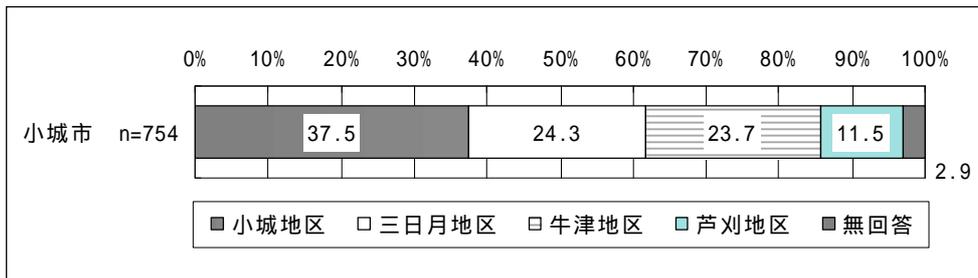
居住年数は「20年以上」が58.4%で最も多く、次いで「10年以上20年未満」(19.2%)、「5年以上10年未満」(9.4%)、「1年以上5年未満」(7.7%)、「1年未満」(2.5%)の順となっている。居住地別にみると、芦刈地区で「20年以上」の割合が74.7%と他地区に比べて高くなっており、一方、三日月地区では「10年未満」の割合が27.3%と他地区に比べて高くなっていることが特徴として挙げられる。



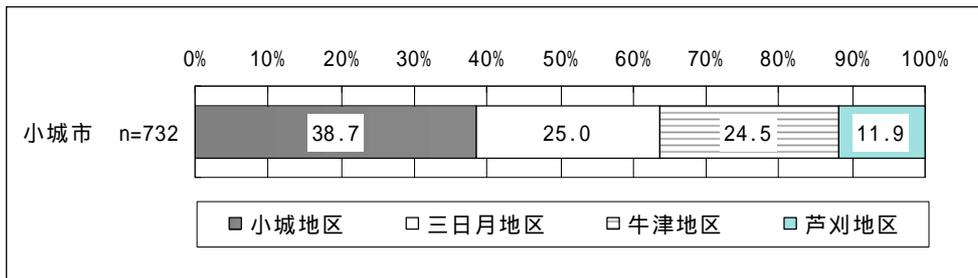
(5) 居住地区

居住地区は「小城地区」が37.5%で最も多く、次いで「三日月地区」(24.3%)、「牛津地区」(23.7%)、「芦刈地区」(11.5%)の順となっている。

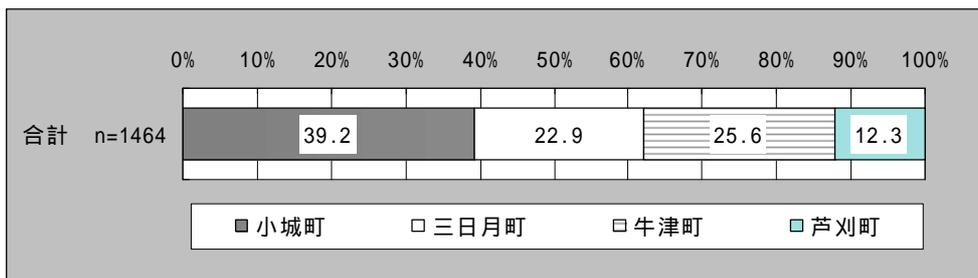
また、今回調査と前回調査と比較すると、今回調査では「小城地区」が38.7%、「三日月地区」が25.0%、「牛津地区」が24.5%、「芦刈地区」が11.9%であるのに対し、前回調査では「小城地区」が39.2%、「三日月地区」が22.9%、「牛津地区」が25.6%、「芦刈地区」が12.3%となっており、居住地による回答率では、大きな差はみられない。



今回調査



前回調査



調查結果

1 あなたの行動範囲について

(1) 日常生活で出かける地域

問2 あなたの日常生活で出かける地域はどこですか。

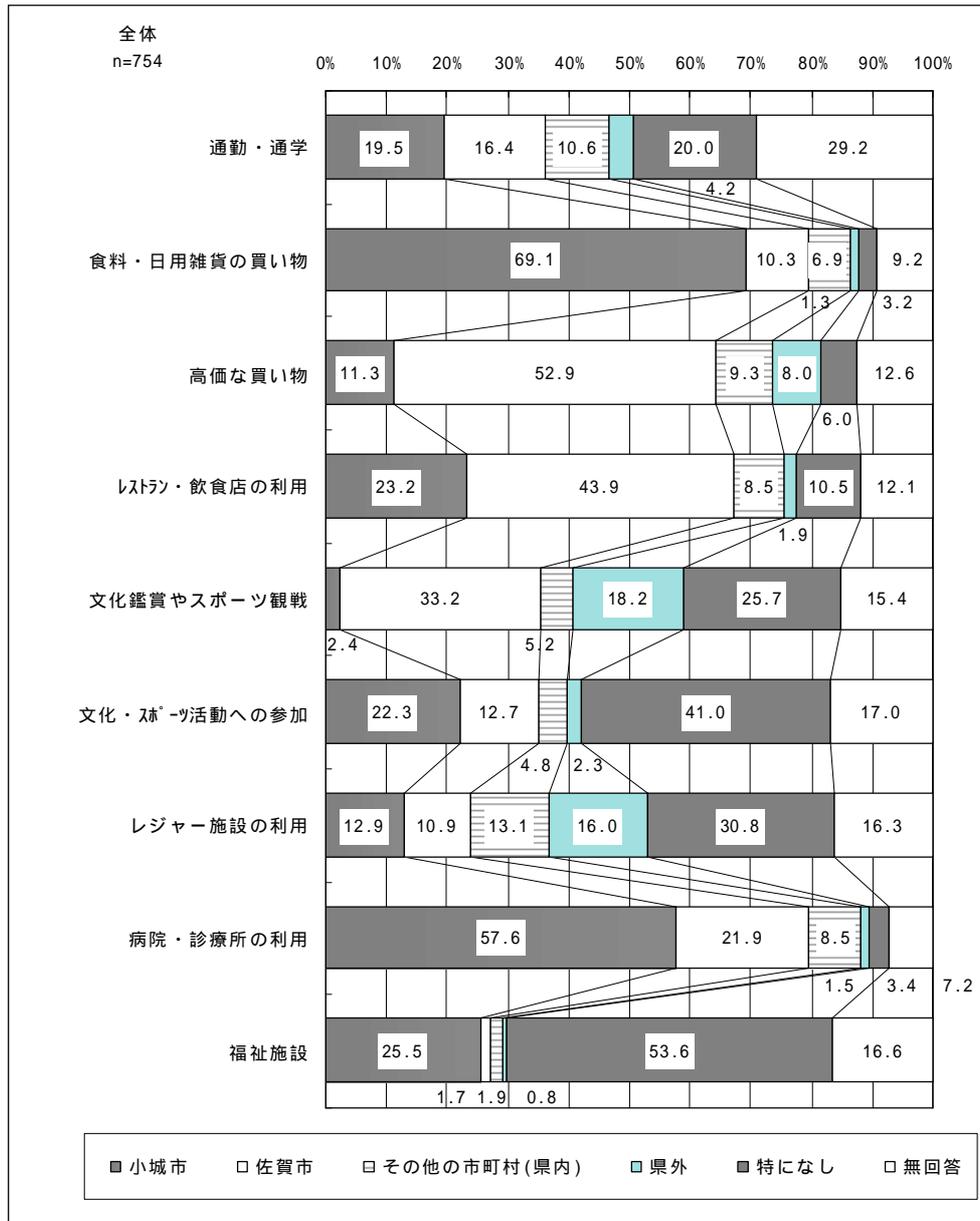
市全体でみると、市内での行動が多いのは、「食料・日用雑貨の買い物」、「病院・診療所の利用」。一方、「高価な買い物」、「レストラン・飲食店の利用」では佐賀市での行動が多くなっている。

市民の日常生活の行動範囲を把握するため、出かける地域についてたずねたところ、市内での行動が多いのは、「食料・日用雑貨の買い物」(69.1%)、「病院・診療所の利用」(57.6%)が5割を超えている。一方、隣接する佐賀市での行動が多いのは、「高価な買い物」(52.9%)、「レストラン・飲食店の利用」(43.9%)の項目となっている。[図表1参照]

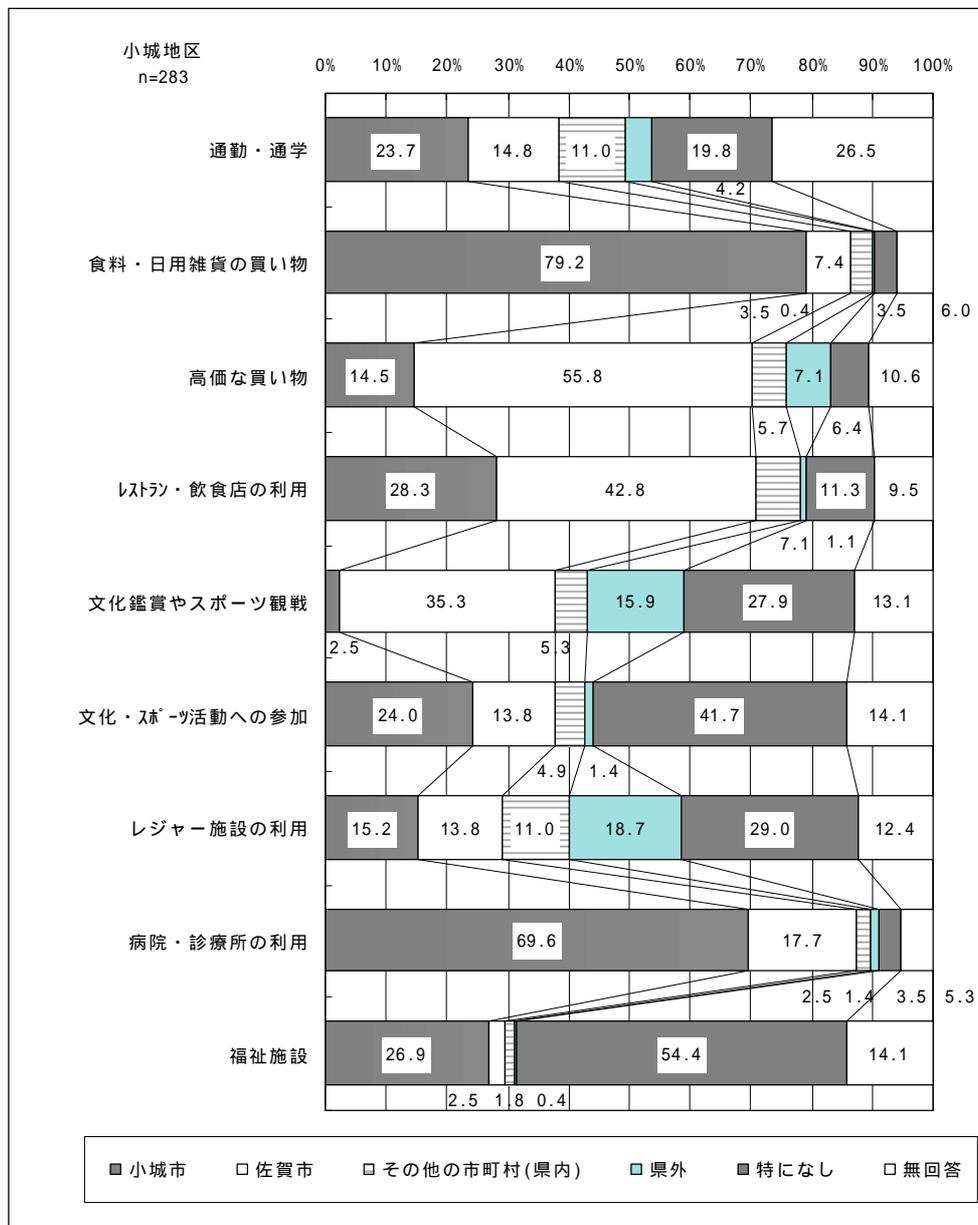
居住地別でみると、4地区とも市内での行動が多いのは、全体と同様に「食料・日用雑貨の買い物」、「病院・診療所の利用」の2項目となっているが、「食料・日用雑貨の買い物」では小城地区が79.2%と約8割を占めるのに対し、芦刈地区では49.4%と約5割にとどまり、地区によって行動パターンが異なる。「病院・診療所の利用」についても、小城地区で69.6%と最も高いのに対し、最も低い芦刈地区では34.5%となっており、約35ポイントの差がみられる。

一方、隣接する佐賀市での行動が多いのは、全体と同様に「高価な買い物」、「レストラン・飲食店の利用」の2項目となっているが、「高価な買い物」では三日月地区が59.6%であるのに対し、芦刈地区では44.8%と、約15ポイントの差がみられる。「レストラン・飲食店の利用」については、居住地区によっても大きな差はみられない。[図表2～5参照]

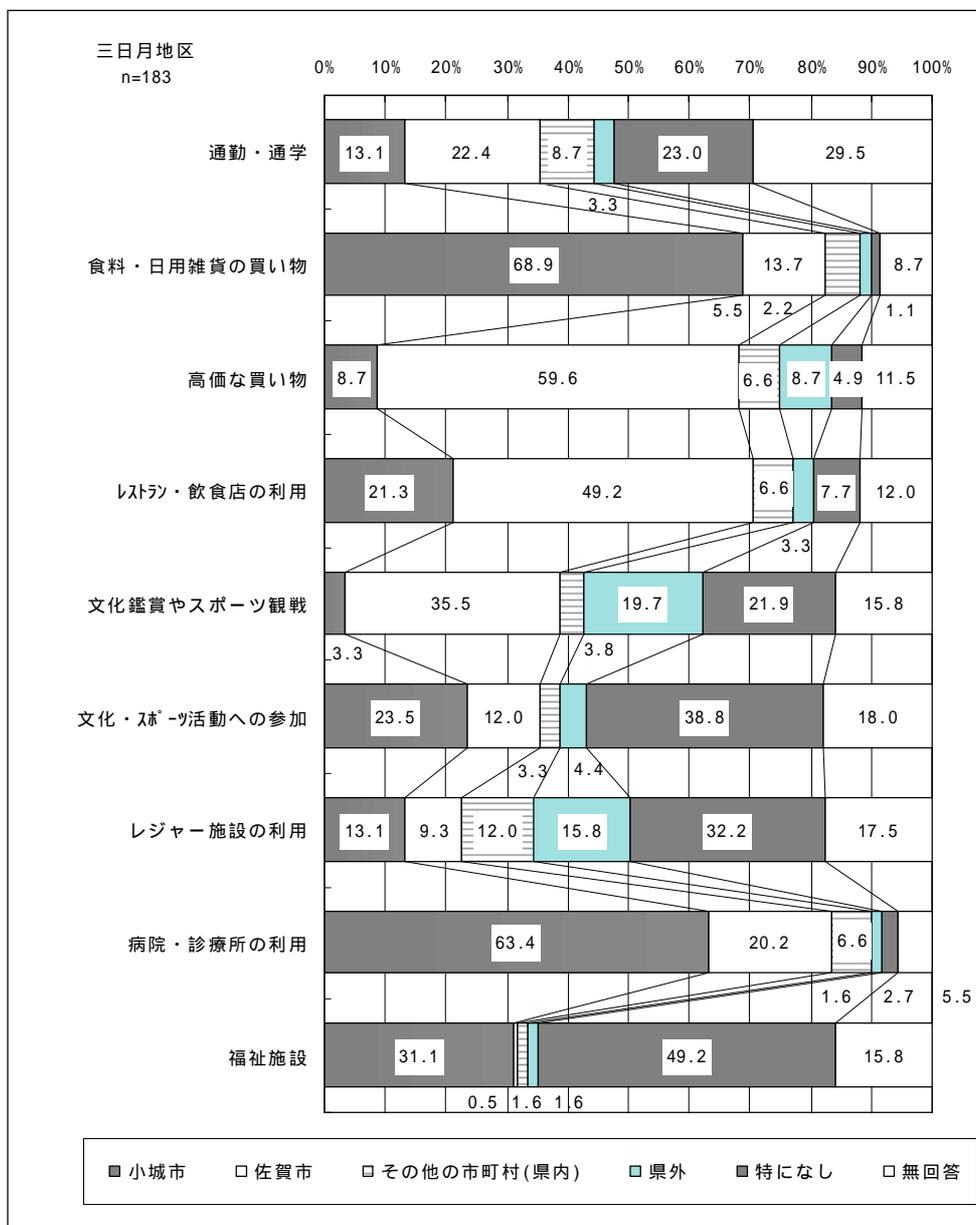
図表1 日常生活で出かける地域(全体)



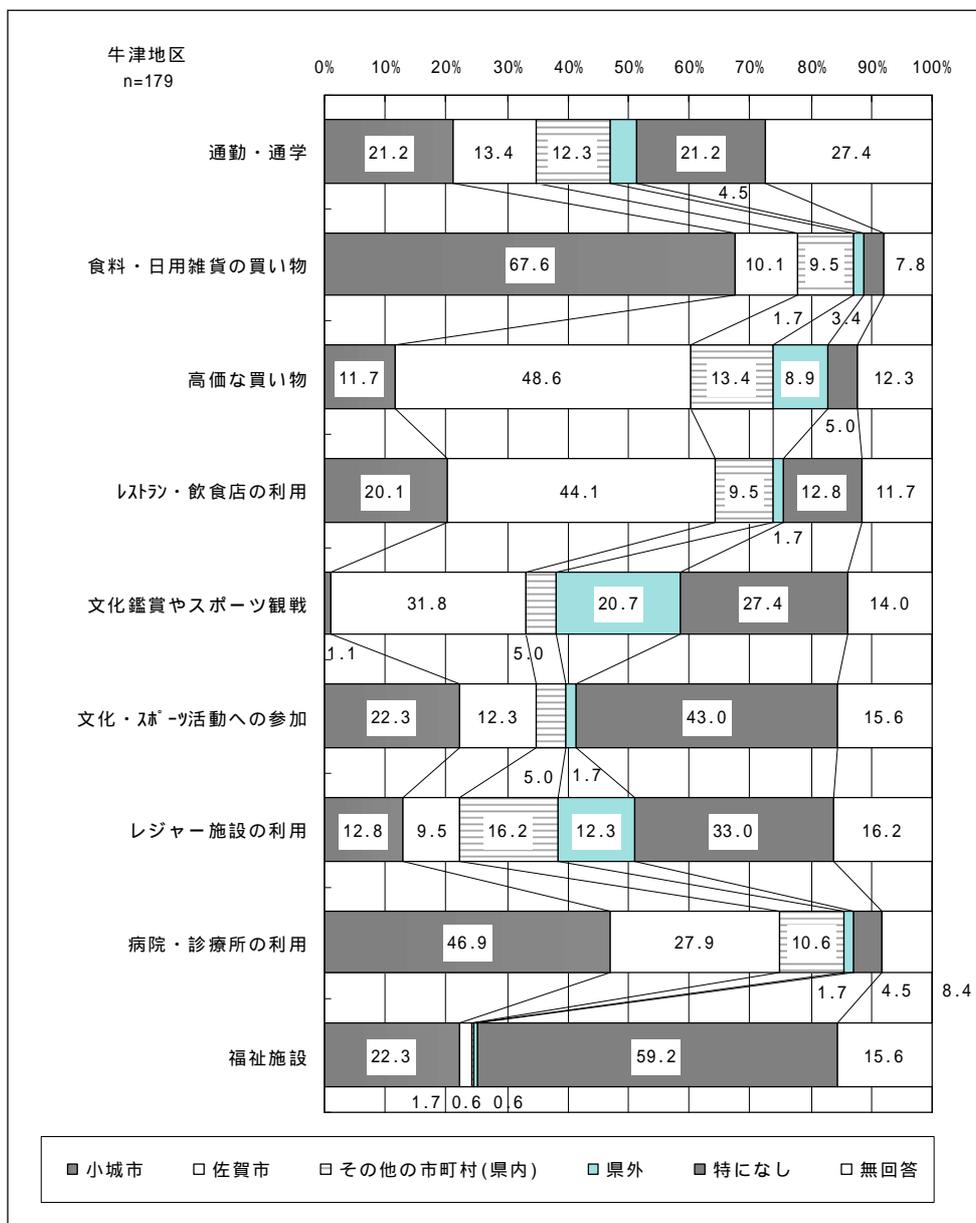
図表2 日常生活で出かける地域(小城地区)



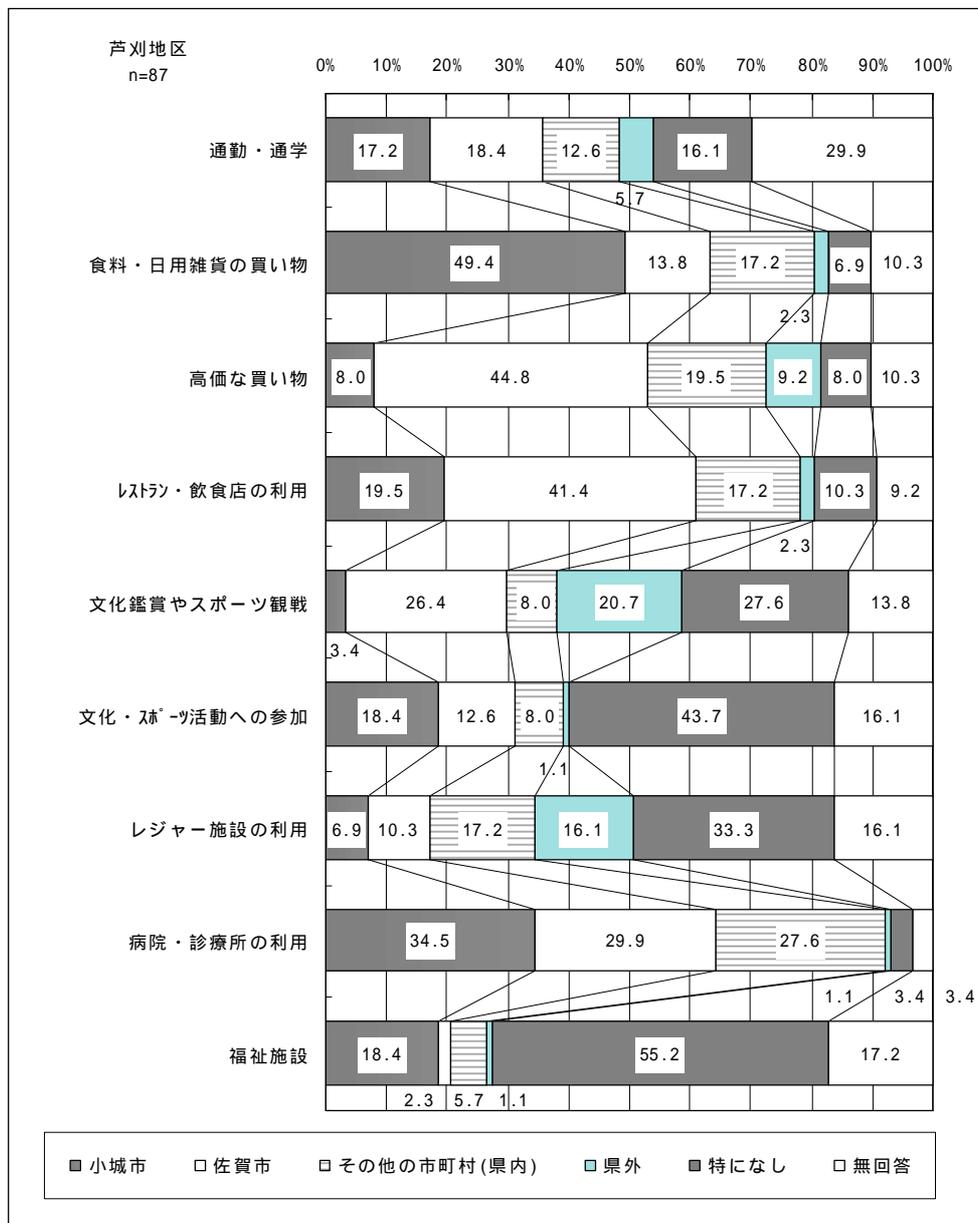
図表3 日常生活で出かける地域(三日月地区)



図表4 日常生活で出かける地域(牛津地区)



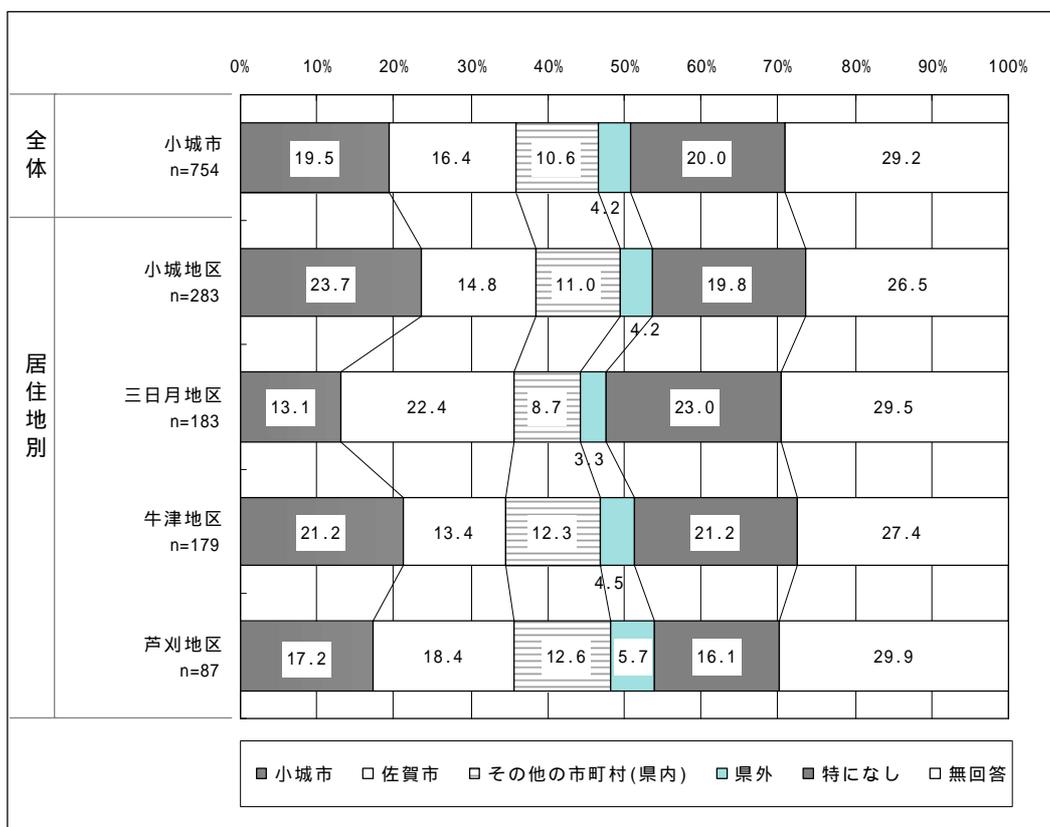
図表5 日常生活で出かける地域(芦刈地区)



通勤・通学

市内は1～2割強程度とやや低くなっている。また、各地区とも佐賀市を利用する割合が1～2割強程度となっている。また、すべての地区で、その他市町村（県内）を利用する割合が1割前後を占めており、市外での行動割合の高さがうかがえる。[図表6参照]

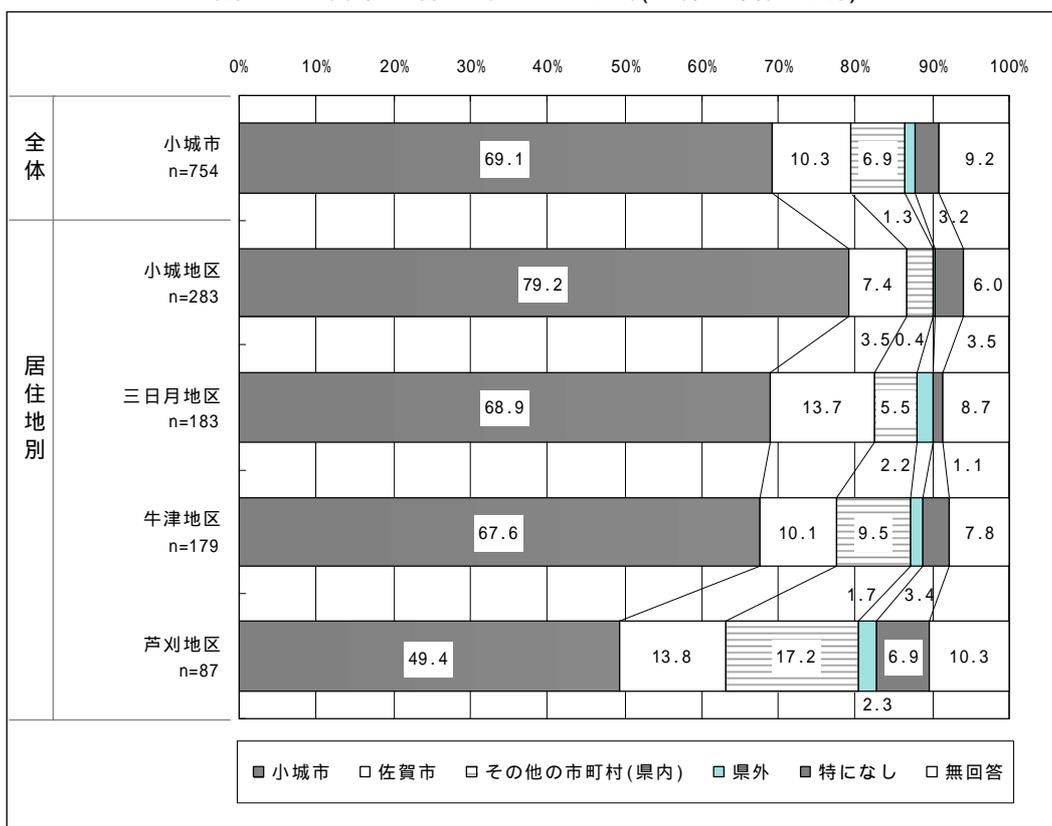
図表6 日常生活で出かける地域(全体・居住地別)



食料・日用品雑貨の買い物

すべての地区で市内を利用する割合が高くなっているが、芦刈地区では市内の利用割合が49.4%であるのに対し、小城地区では79.2%と、約30ポイントの差がみられる。また、芦刈地区では、佐賀市、その他市町村(県内)を利用する割合が他地区と比べて高くなっている。[図表7参照]

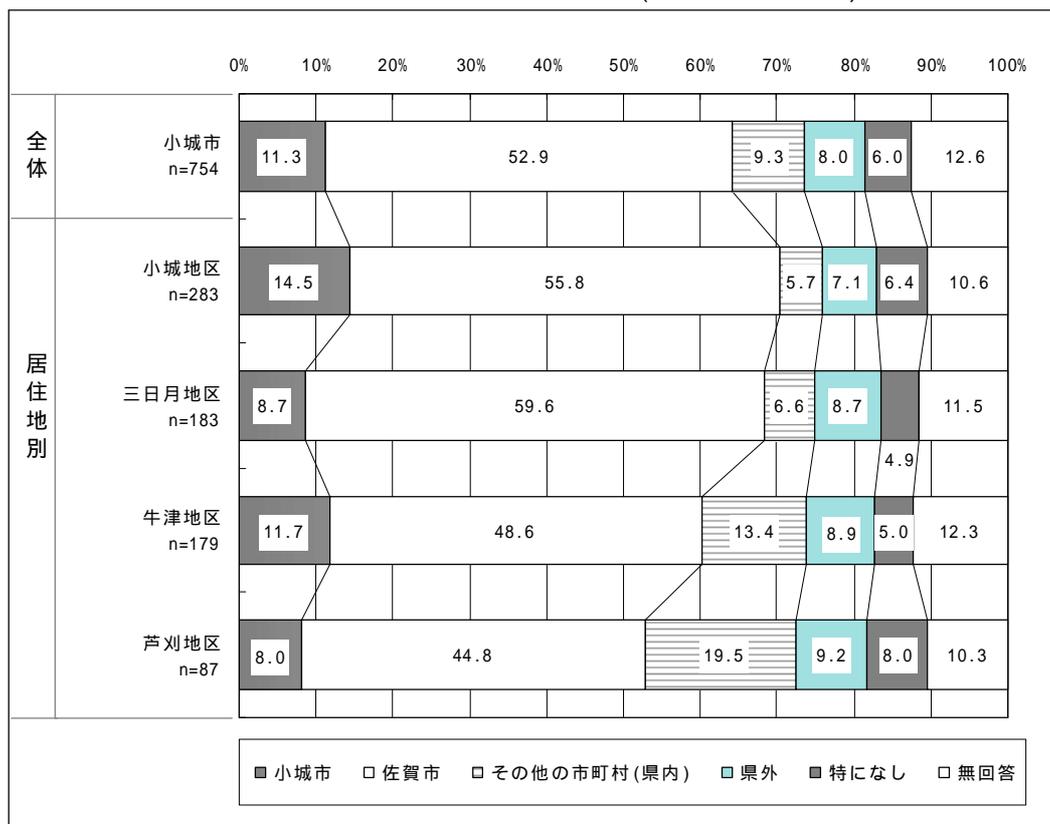
図表7 日常生活で出かける地域(全体・居住地別)



高価な買い物

すべての地区で市内を利用する割合は1割前後と低くなっているが、小城地区は市内を利用する割合が14.5%と、他地区と比べて高くなっている。また、佐賀市を利用する割合は4～6割と高くなっており、特に三日月地区では約6割を占めている。芦刈地区ではその他の市町村（県内）を利用する割合が約2割を占め、他地区に比べ高くなっている。[図表8 参照]

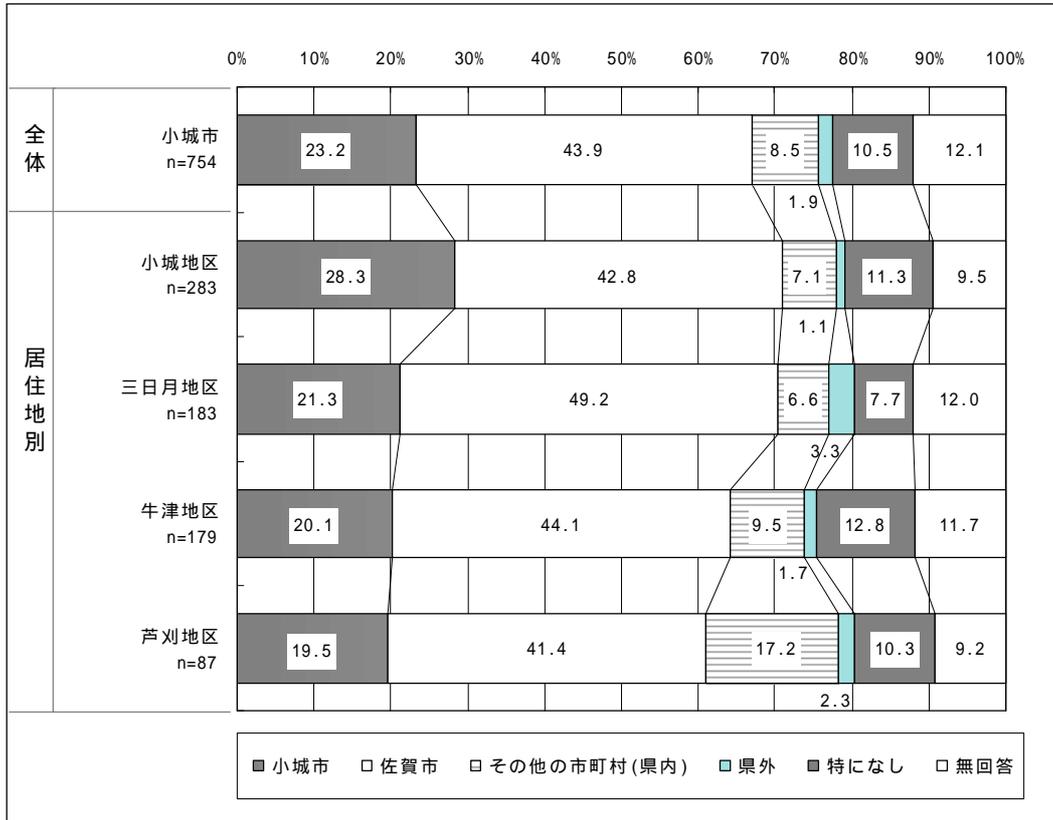
図表8 日常生活で出かける地域(全体・居住地別)



レストラン・飲食店の利用

全地区で市内を利用する割合が2～3割となっている。また、各地区とも佐賀市を利用する割合が高く、4～5割を占めている。芦刈地区ではその他の市町村（県内）を利用する割合が17.2%と他地区に比べ高くなっている。[図表9 参照]

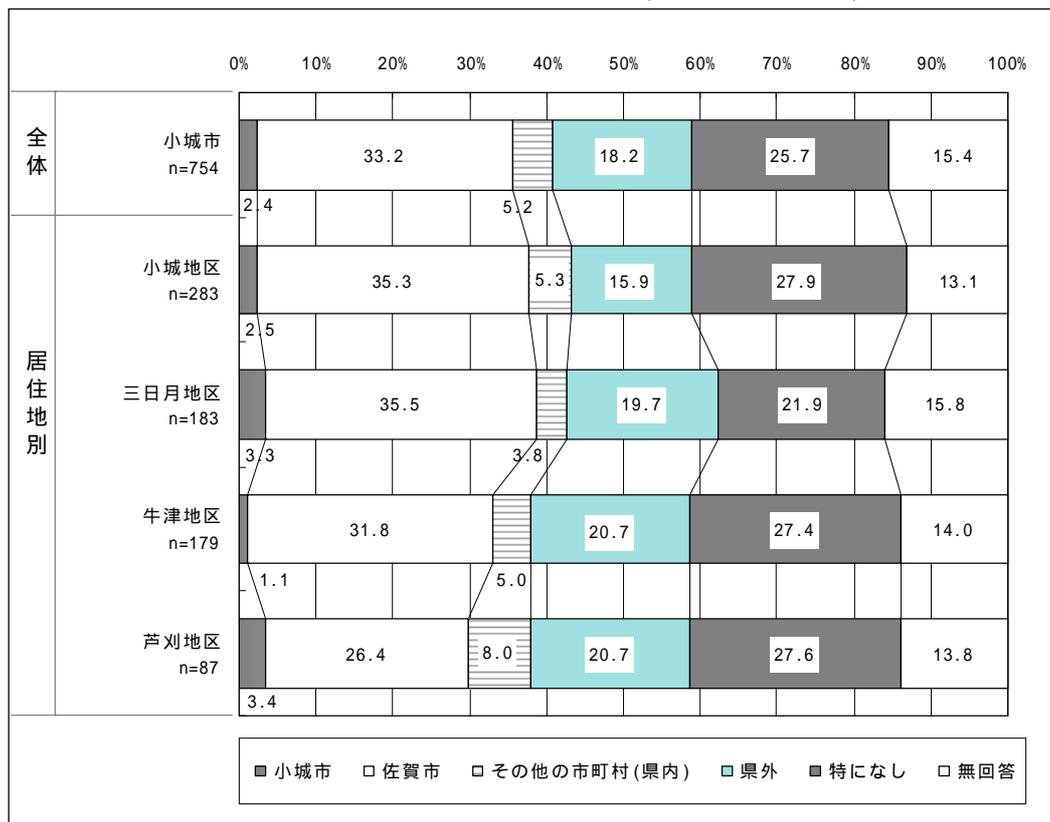
図表9 日常生活で出かける地域(全体・居住地別)



文化鑑賞やスポーツ観戦

市内の利用はほとんどみられない。また、各地区とも3割前後が佐賀市を利用して
おり、県外も約2割と比較的高い。また、「特になし」が2～3割を占めている。[図
表 10 参照]

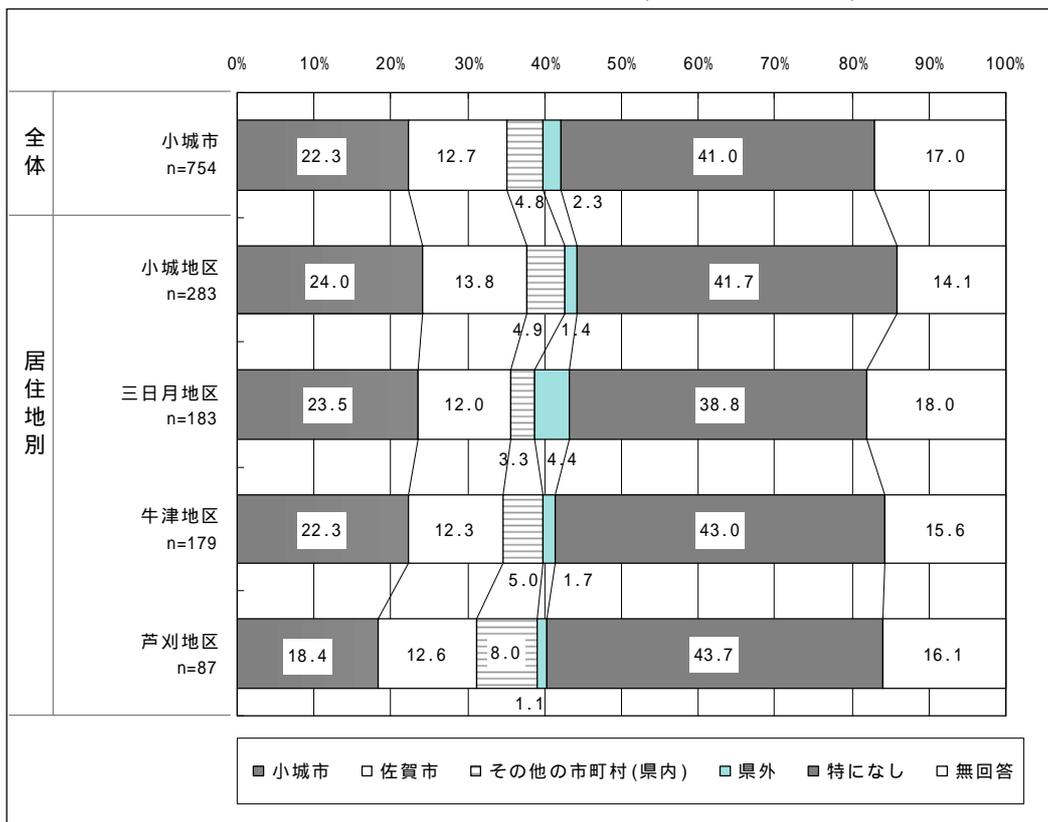
図表 10 日常生活で出かける地域(全体・居住地別)



文化・スポーツ活動への参加

各地区とも市内を利用する割合が2割前後となっている他、佐賀市を利用する割合は1割強となっており、各地区同じ様な傾向となっている。また、各地区とも「特になし」が4割前後を占めている。[図表 11 参照]

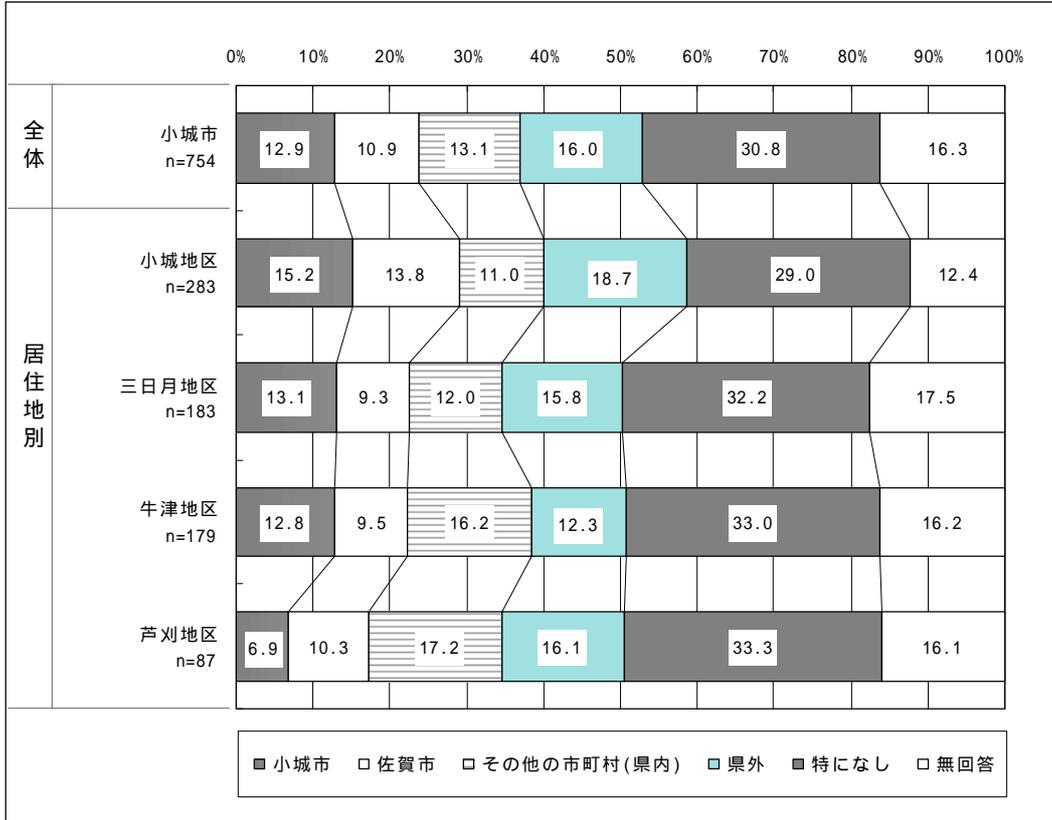
図表 11 日常生活で出かける地域(全体・居住地別)



レジャー施設の利用

市内を利用する割合は1割前後と低くなっている。佐賀市を利用する割合は各地区とも1割前後、その他の市町村(県内)を利用する割合は1~2割となっている。また、各地区とも「特になし」が約3割を占めている。[図表12参照]

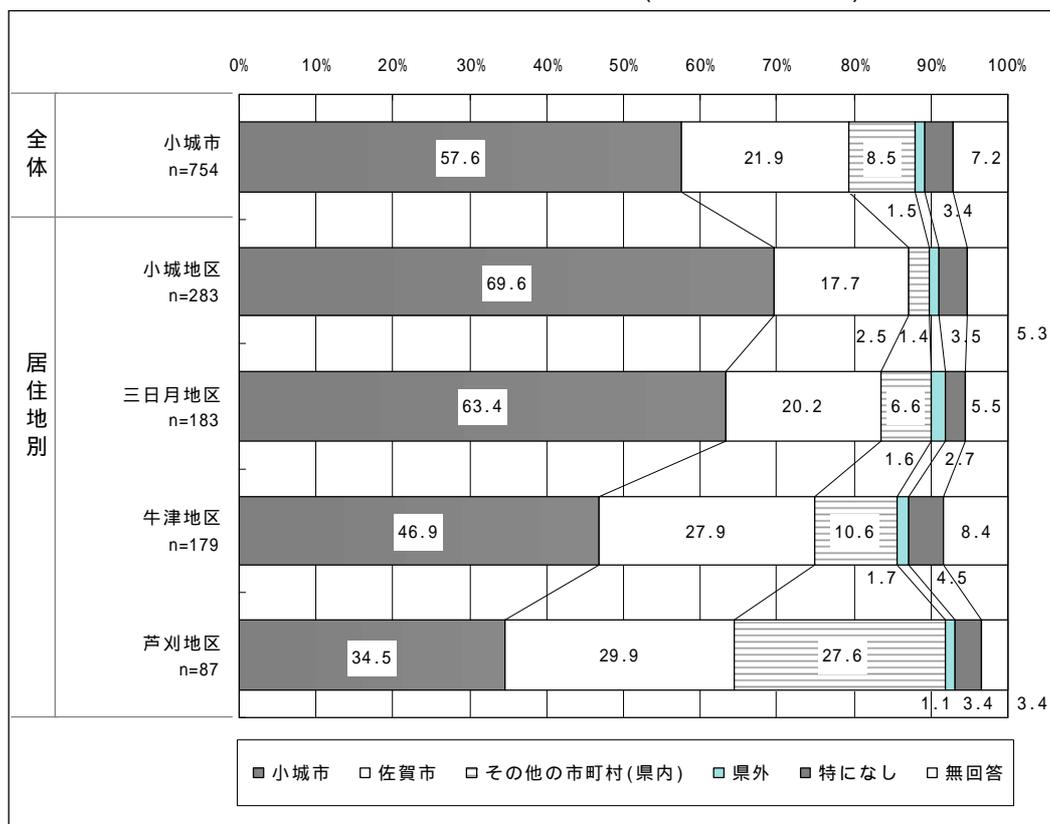
図表12 日常生活で出かける地域(全体・居住地別)



病院・診療所の利用

各地区とも市内での行動割合が最も高いが、市立病院が立地する小城地区で約7割を占めているのに対し、芦刈地区では3割強にとどまり、各地区で市内を利用する割合にばらつきがみられる。この他、各地区とも佐賀市を利用する割合は2割弱～3割と高く、また、芦刈地区ではその他市町村（県内）への割合も3割弱を占めて高くなっている。[図表 13 参照]

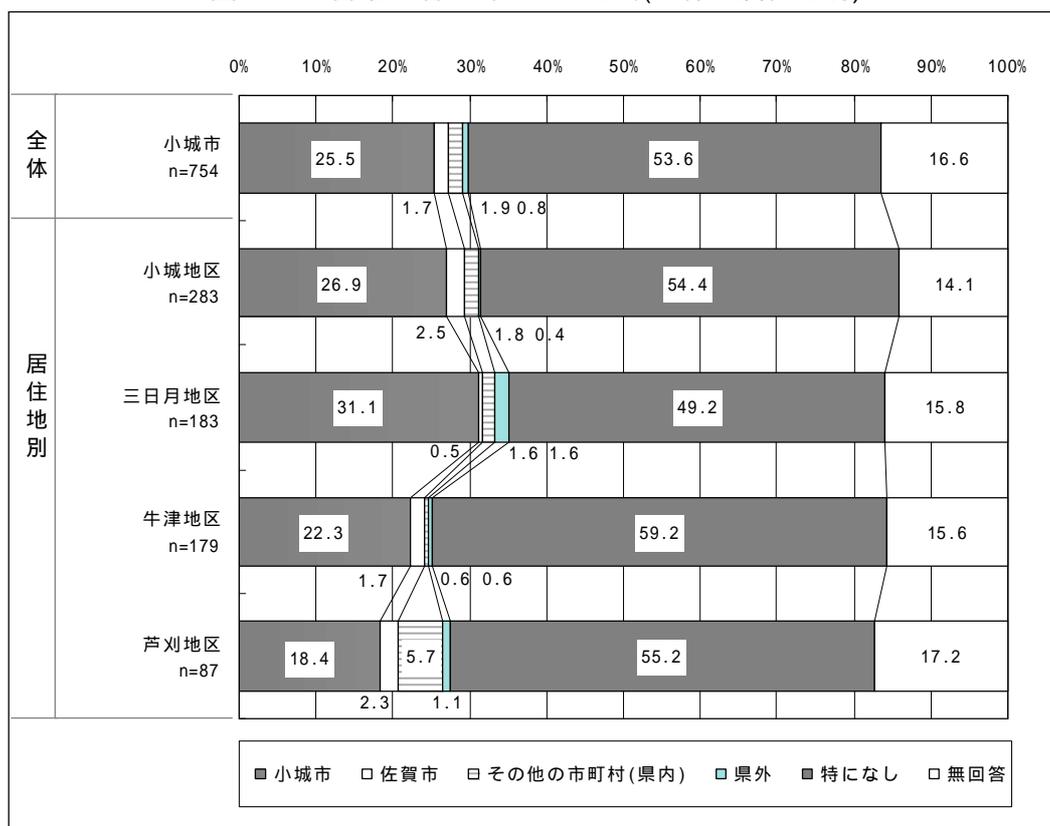
図表 13 日常生活で出かける地域(全体・居住地別)



福祉施設

各地区とも5～6割の方が「特になし」と回答している。利用先としては市内がほとんどである。なお、年齢別では、50代までの6～7割が「特になし」と回答している。「特になし」の割合が比較的低いのは、年齢が70歳以上であり、約4割に行動がみられているが、そのほとんどが市内での行動となっている。[図表14参照]

図表14 日常生活で出かける地域(全体・居住地別)

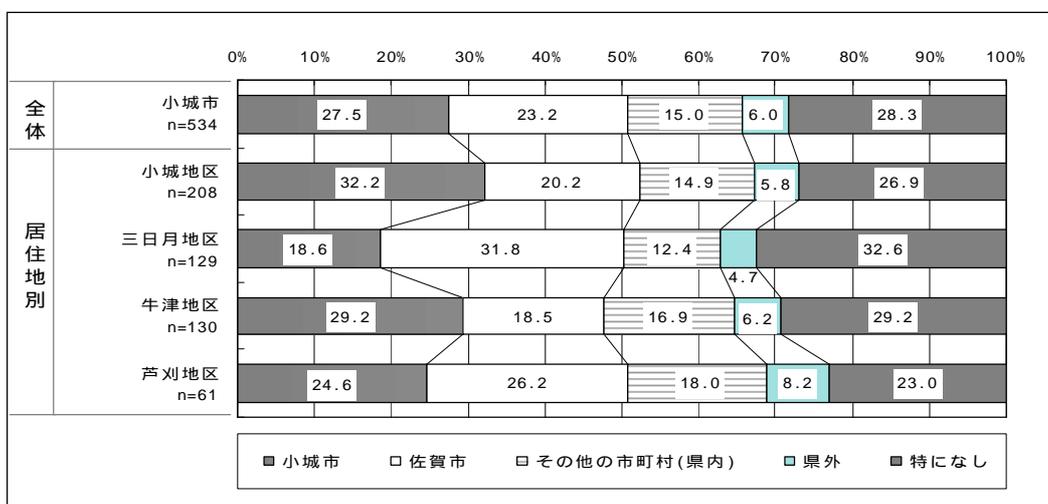


前回調査との比較

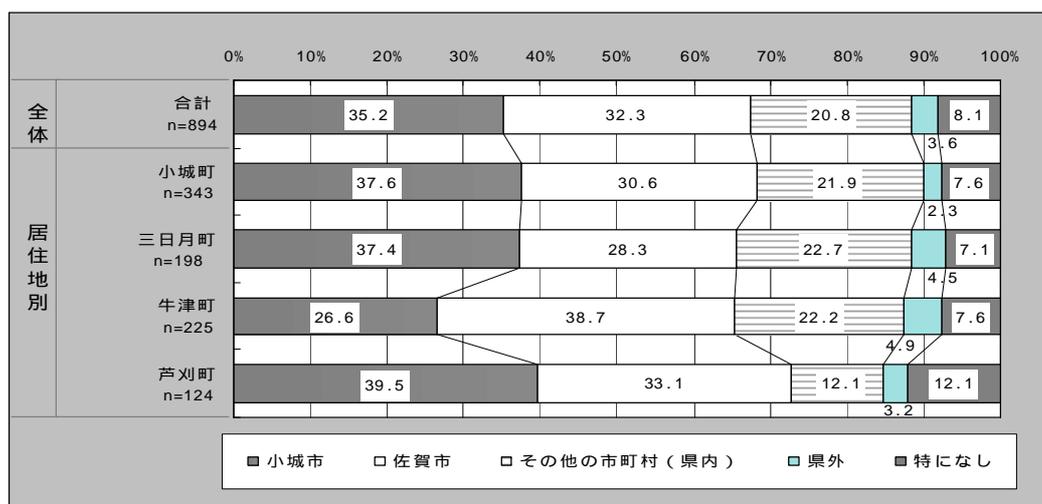
通勤・通学

前回調査と比較すると、市内での行動では、三日月地区と芦刈地区では前回調査よりも割合が低くなっており、牛津地区では割合が高くなっている。また、牛津地区では佐賀市での行動が前回調査よりも低くなっている。また、全地区で、その他の市町村(県内)の割合が前回調査に比べ低くなっているなどの特徴がみられる。[図表 15、16 参照]

図表 15 通勤・通学 (今回調査 / 全体・居住地別)



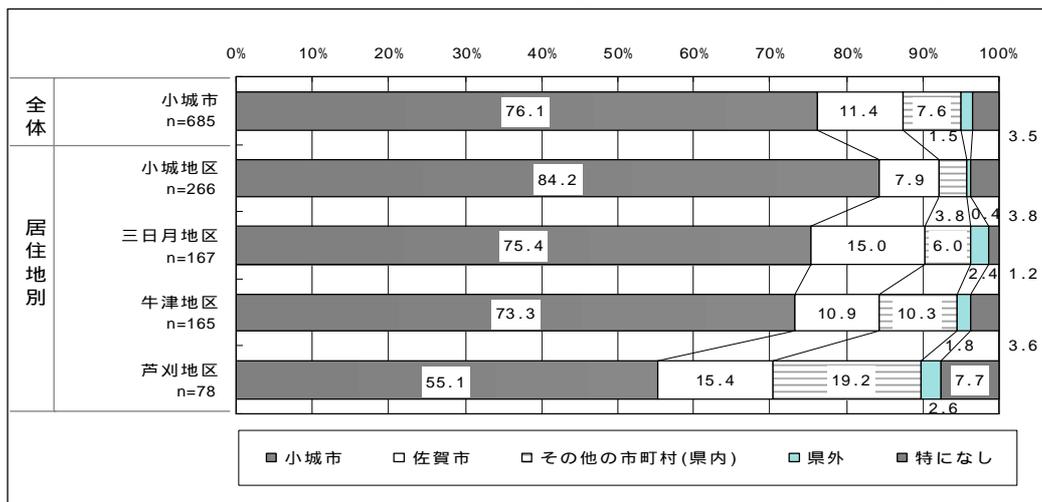
図表 16 通勤・通学 (前回調査 / 全体・居住地別)



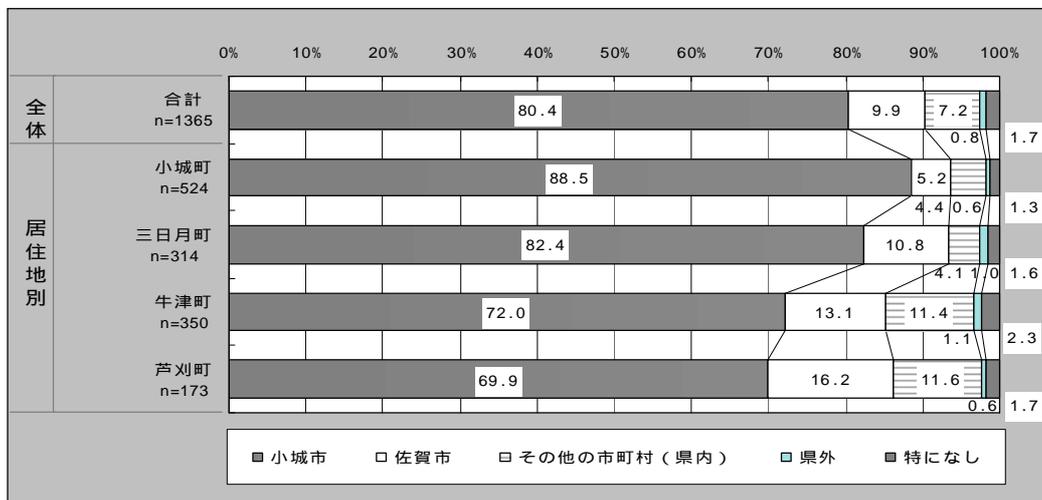
食料・日用品雑貨の買い物

前回調査と比較すると、全体的に全地区において前回調査と同じ様な傾向を示しているものの、芦刈地区では前回調査に比べ市内での割合が若干低くなっている。[図表 17、18 参照]

図表 17 食料・日用品雑貨の買い物（今回調査 / 全体・居住地別）



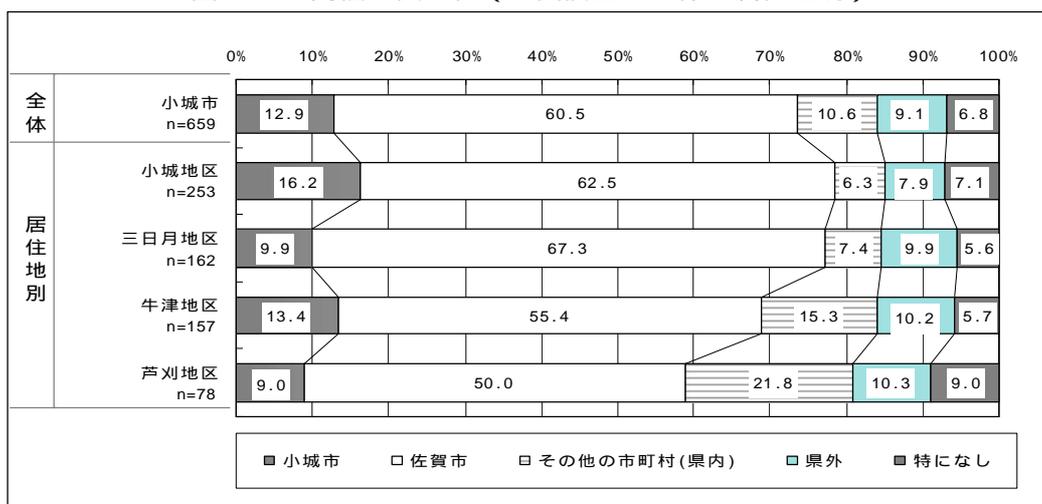
図表 18 食料・日用品雑貨の買い物（前回調査 / 全体・居住地別）



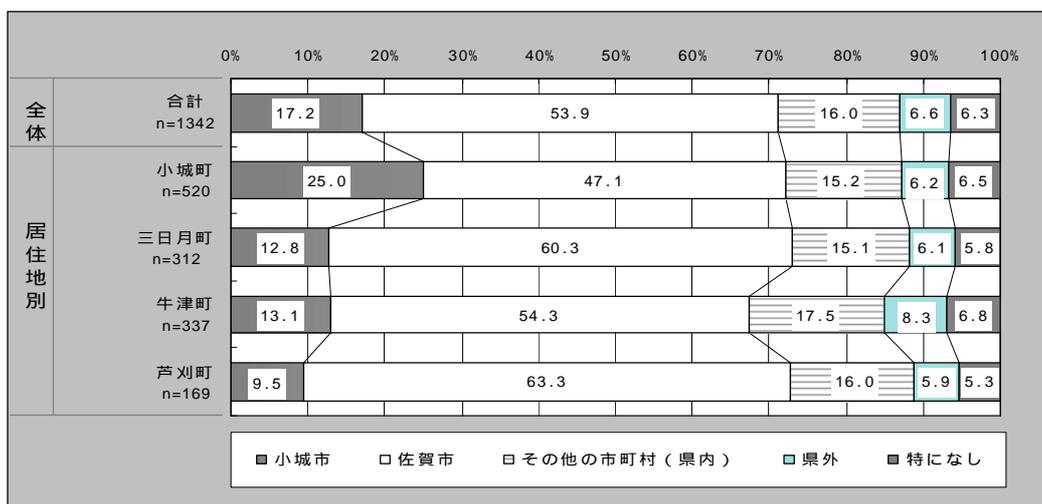
高価な買い物

前回調査と比較すると、全体的に全地区において前回調査と同じ様な傾向を示しているものの、小城地区では前回調査に比べ市内の行動割合が低く、佐賀市での行動割合が高くなっている。また、芦刈地区では佐賀市の行動割合が低くなっている。[図表 19、20 参照]

図表 19 高価な買い物（今回調査 / 全体・居住地別）



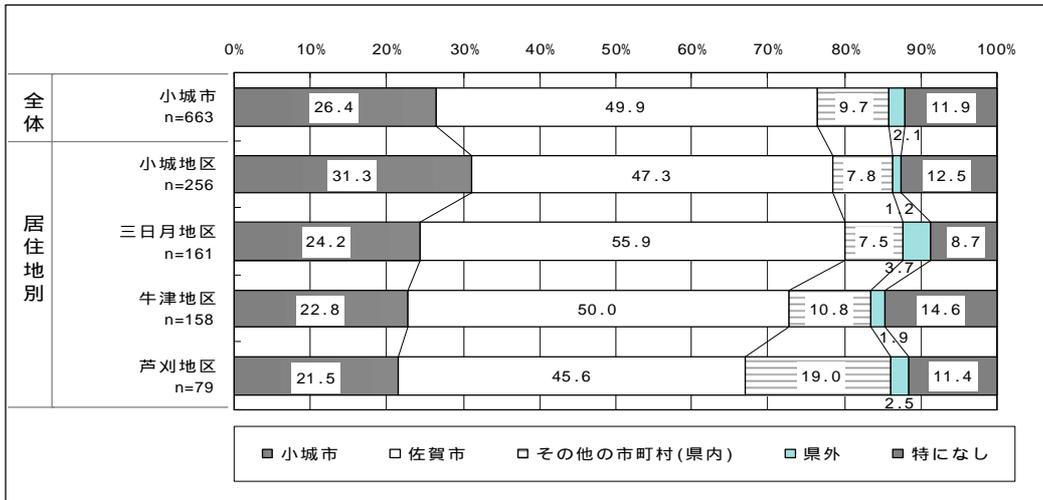
図表 20 高価な買い物（前回調査 / 全体・居住地別）



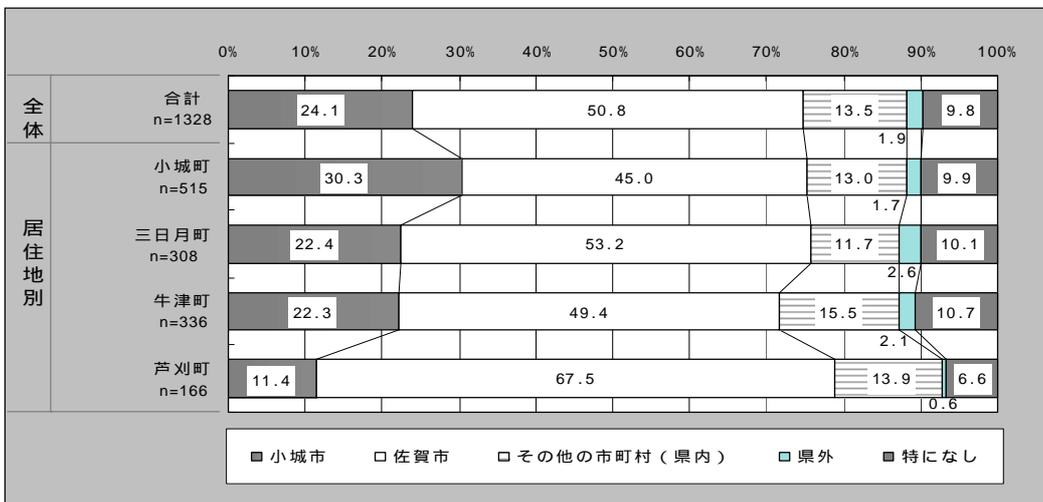
レストラン・飲食店の利用

前回調査と比較すると、全体的に全地区において前回調査と同じ様な傾向を示しているものの、芦刈地区では前回調査に比べて市内での行動割合が高く、佐賀市での行動割合が低くなっている。[図表 21、22 参照]

図表 21 レストラン・飲食店の利用（今回調査 / 全体・居住地別）



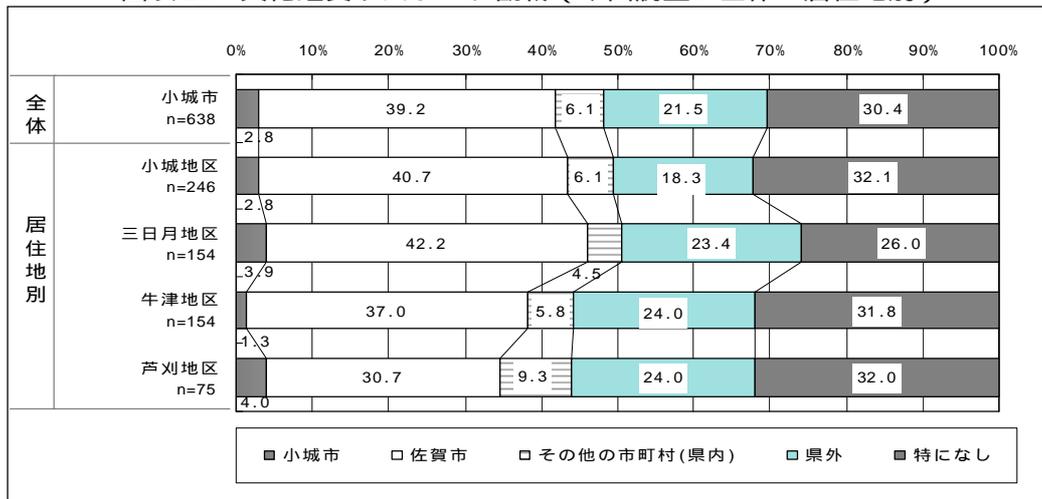
図表 22 レストラン・飲食店の利用（前回調査 / 全体・居住地別）



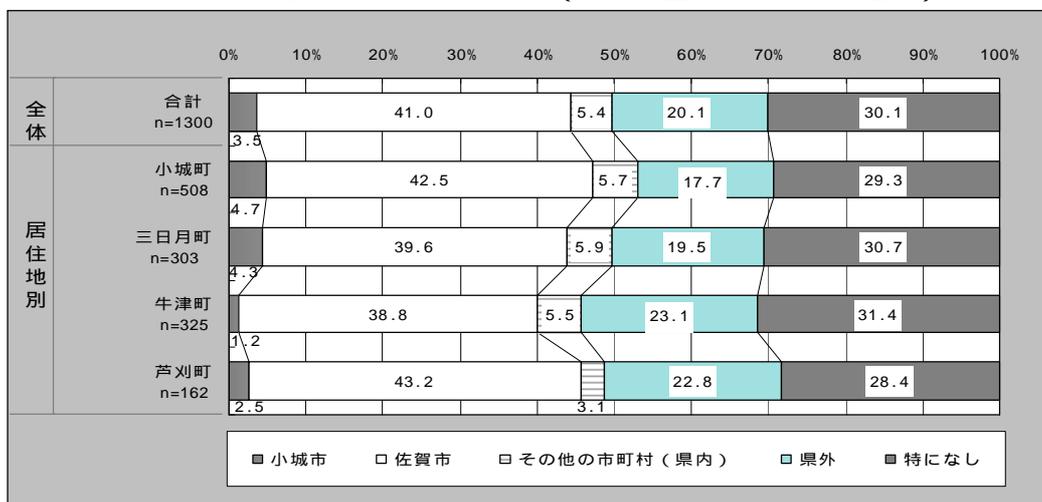
文化鑑賞やスポーツ観戦

前回調査と比較すると、全体的に全地区において前回調査と同じ様な傾向を示しているものの、芦刈地区では前回調査に比べ佐賀市での行動割合が低く、その他の市町村（県内）の行動割合が高くなっている。[図表 23、24 参照]

図表 23 文化鑑賞やスポーツ観戦（今回調査 / 全体・居住地別）



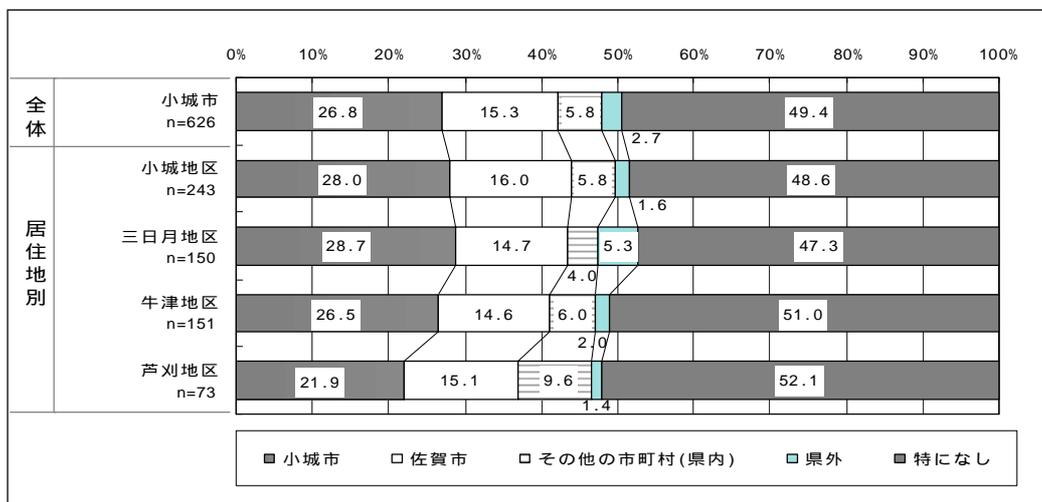
図表 24 文化鑑賞やスポーツ観戦（前回調査 / 全体・居住地別）



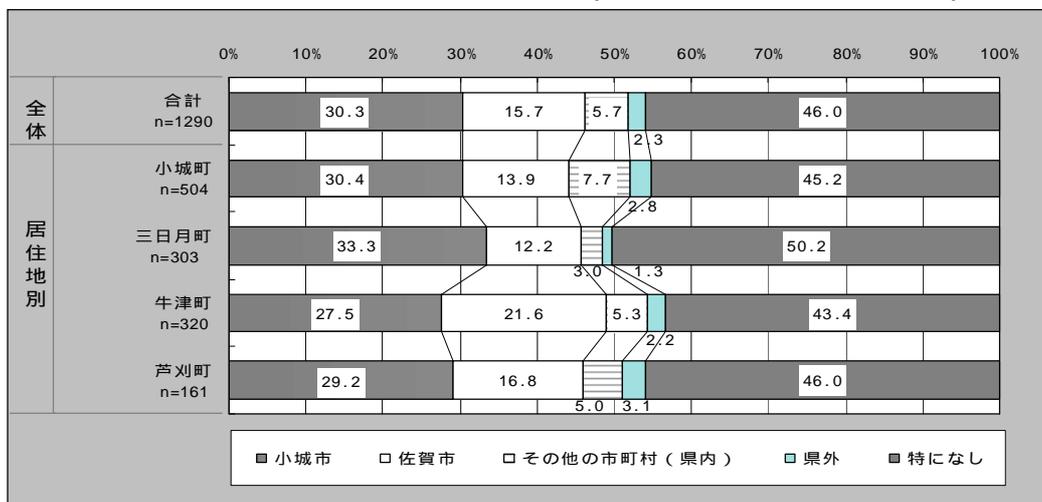
文化・スポーツ活動への参加

前回調査と比較すると、全体的に全地区において前回調査と同じ様な傾向を示している。[図表 25、26 参照]

図表 25 文化・スポーツ活動への参加（今回調査 / 全体・居住地別）



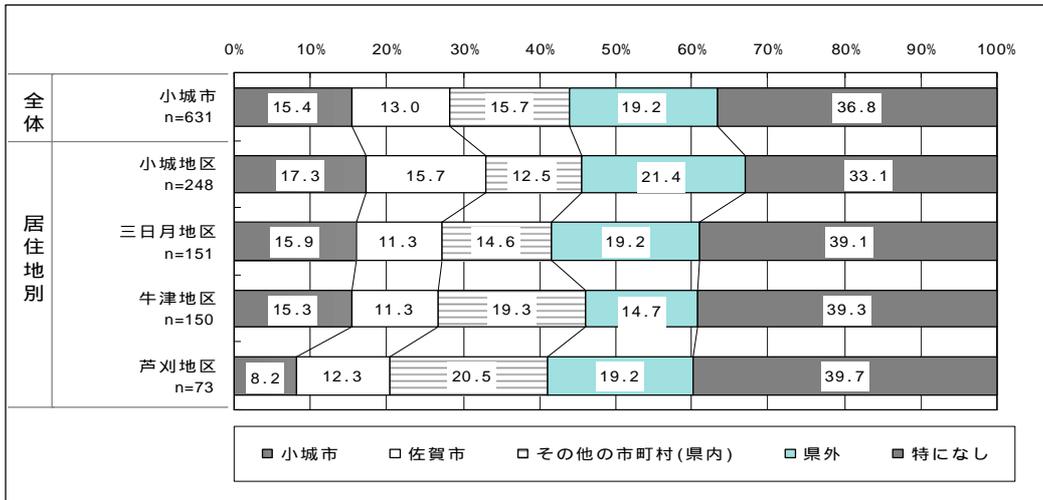
図表 26 文化・スポーツ活動への参加（前回調査 / 全体・居住地別）



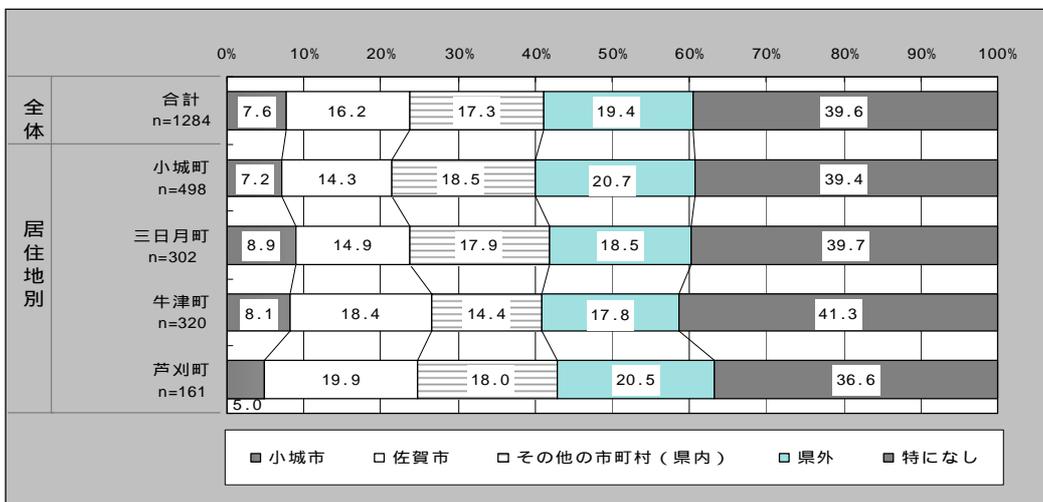
レジャー施設の利用

前回調査と比較すると、全地区で市内の行動割合が高くなっており、佐賀市とその他の市町村（県内）をあわせた“県内他市町村”の行動割合が低くなっている。[図表27、28参照]

図表 27 レジャー施設の利用（今回調査 / 全体・居住地別）



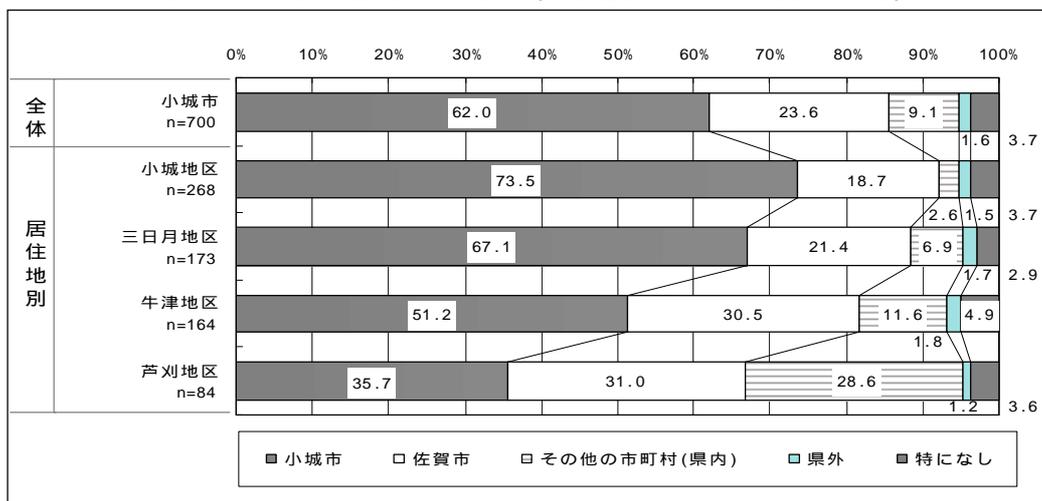
図表 28 レジャー施設の利用（前回調査 / 全体・居住地別）



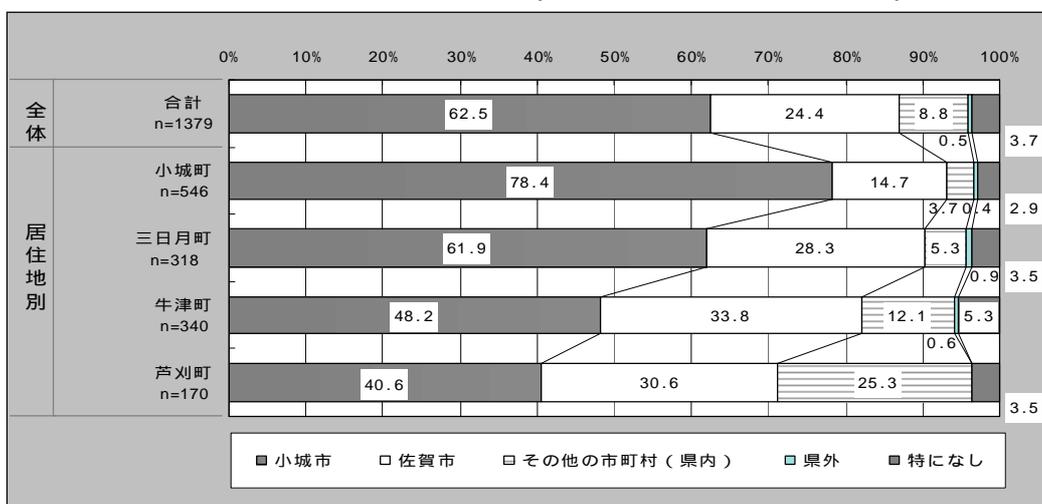
病院・診療所の利用

前回調査と比較すると、全体的に全地区において前回調査と同じ様な傾向を示している。[図表 29、30 参照]

図表 29 病院・診療所の利用（今回調査 / 全体・居住地別）



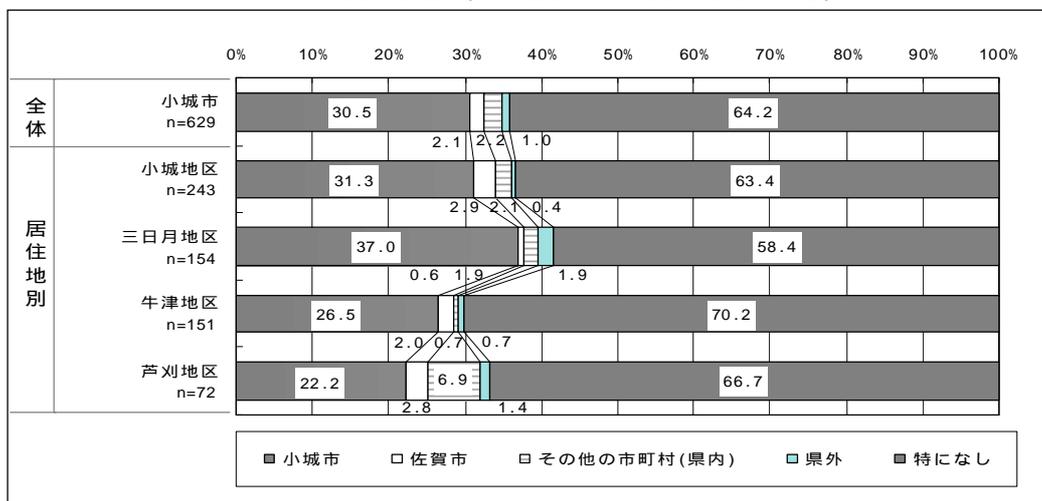
図表 30 病院・診療所の利用（前回調査 / 全体・居住地別）



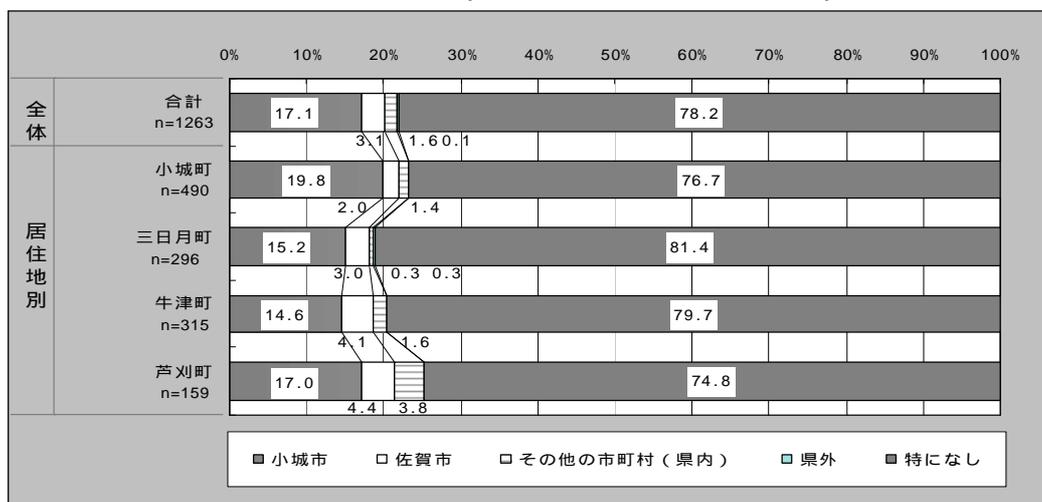
福祉施設

前回調査と比較すると、全地区で市内の行動割合が1～2割程度高くなっており、特になしと回答する割合が1～2割程度低くなっている。[図表31、32参照]

図表31 福祉施設（今回調査 / 全体・居住地別）



図表32 福祉施設（前回調査 / 全体・居住地別）



2 市の現状について

(1) 市への愛着度

問3 あなたは、合併した小城市について、どの程度愛着を感じていますか。

“愛着を感じている”が約4割。一方、“愛着を感じていない”は2割弱。

市民の市に対する愛着度を把握するため、「愛着を感じている」、「どちらかといえば愛着を感じている」、「どちらかといえば愛着を感じていない」、「愛着を感じていない」の中から1つを選んでもらった。

その結果、「愛着を感じている」と回答した人が17.9%、「どちらかといえば愛着を感じている」という人が22.4%、これらをあわせた“愛着を感じている”という人が40.3%。これに対して、“愛着を感じていない”(「どちらかといえば愛着を感じていない」12.2%及び「愛着を感じていない」5.7%の合計)は17.9%となっている。また、「どちらともいえない」が40.1%を占めている。[図表33参照]

これを属性別でみていくと、性別では、“愛着を感じている”率は男性(49.5%)、女性(34.6%)と、男性の方が女性より愛着度が若干高いことがうかがえる。

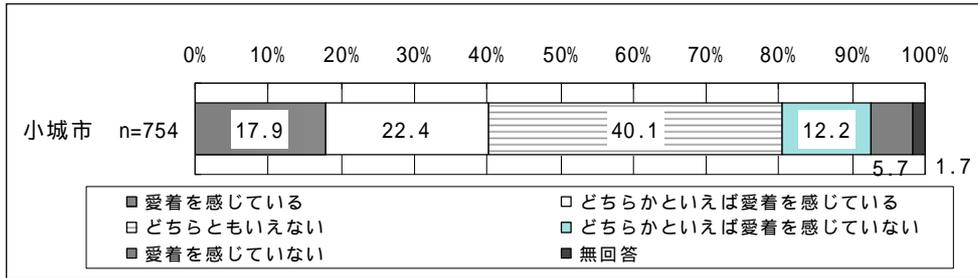
年齢別でみると、「愛着を感じている」率は加齢とともに割合が高くなる傾向がみられ、10・20代で12.6%、30代で10.8%と1割強にとどまるのに対し、60代では21.8%、70歳以上では24.7%となっている。また、「どちらかといえば愛着を感じている」率を加えた“愛着を感じている”率は、40代、50代、70歳以上で4割を超えているものの、10・20代では27.5%と3割弱にとどまり、年代によって愛着度に違いがみられる。

就業形態別では、勤務の「愛着を感じている」率が13.9%と低くなっているものの、“愛着を感じている”率では自営・勤務・その他で大きな差はみられない。

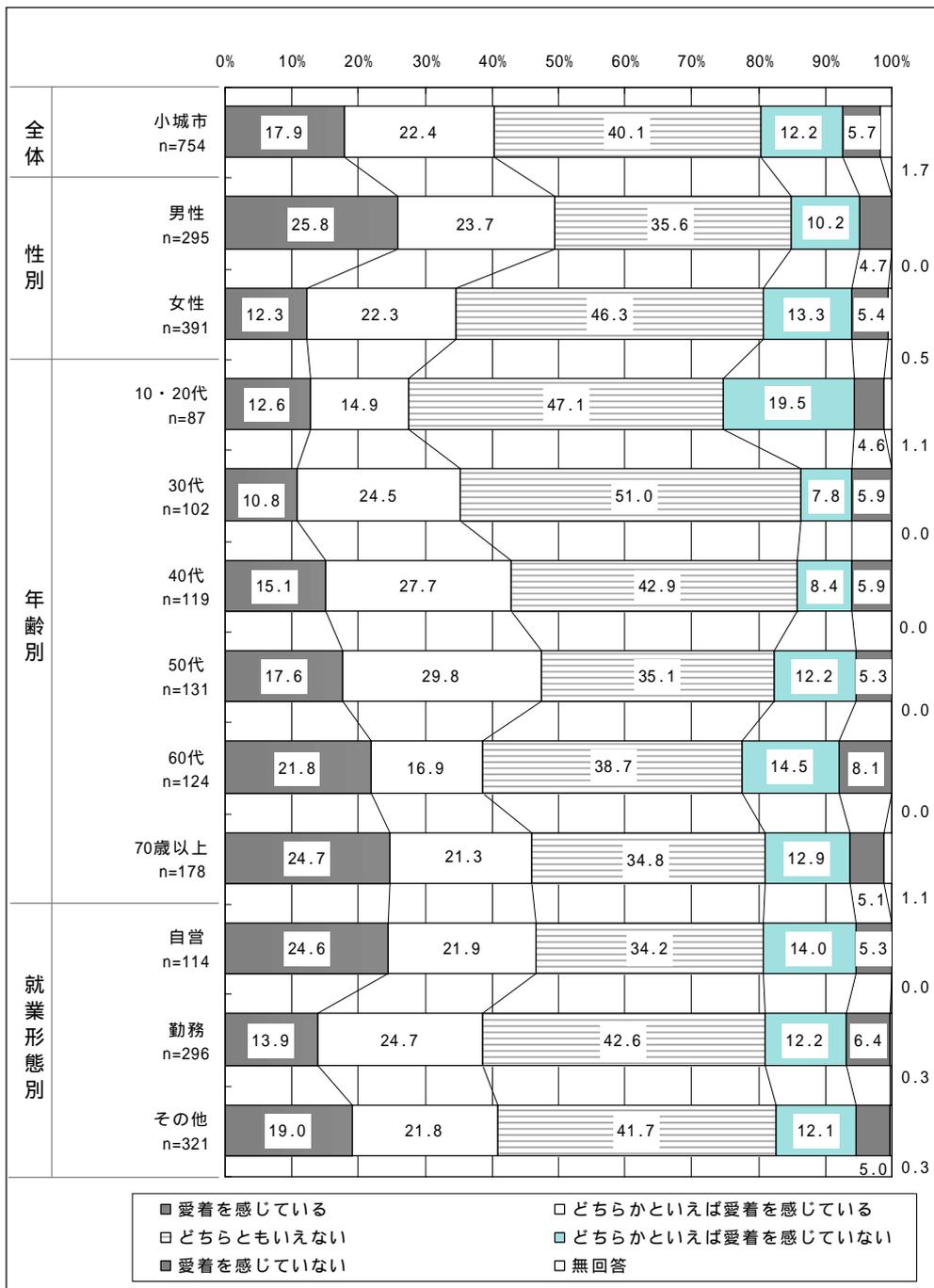
居住年数別では、「愛着を感じている」率に顕著な差がみられ、居住年数が多いほど率が高くなる傾向がみられる。

居住地別では、“愛着を感じている”率で、小城地区が49.1%と他地区に比べて高くなっている。また芦刈地区では“愛着を感じていない”率が26.4%と、全属性の中で最も高くなっている。[図表34、35参照]

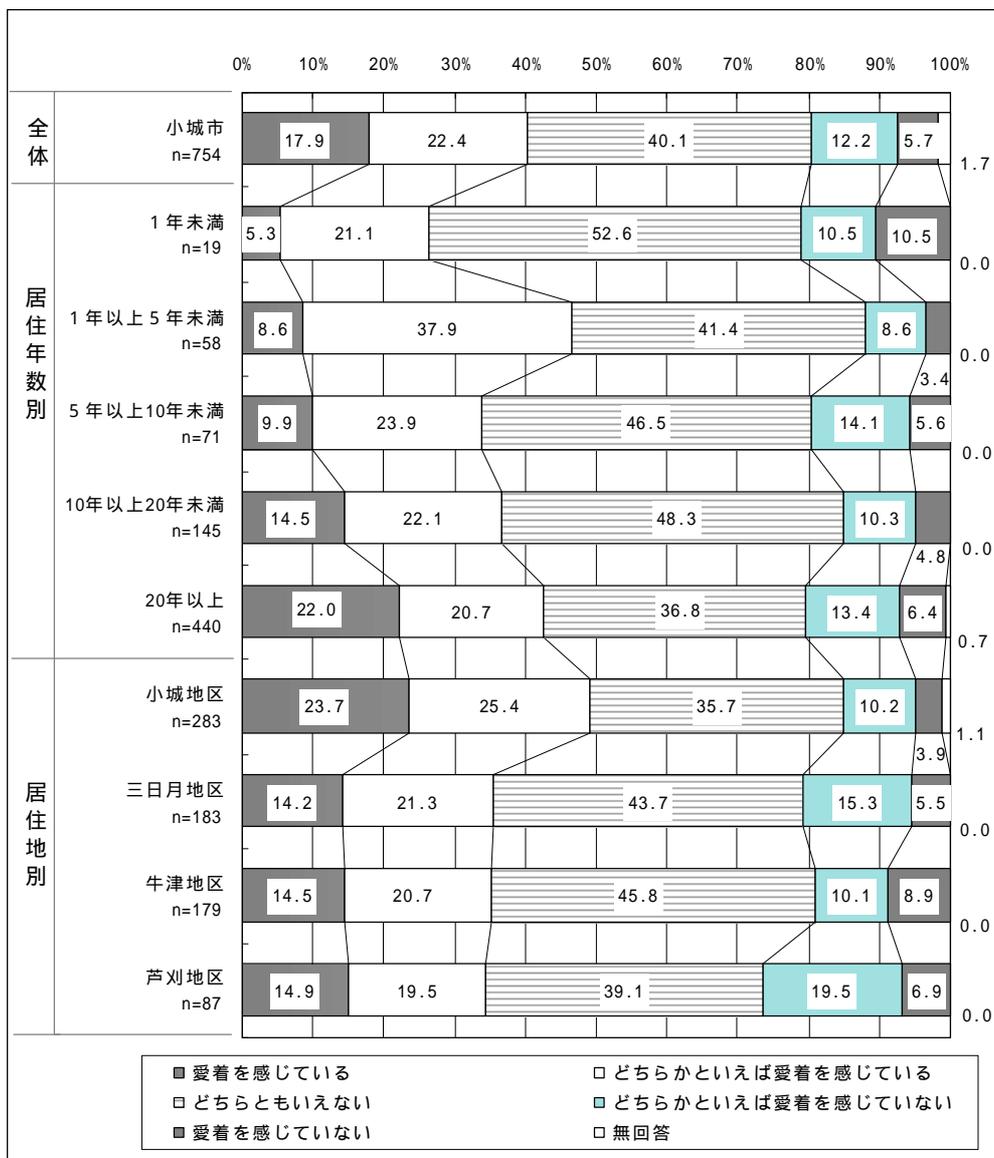
図表 33 市への愛着度(全体)



図表 34 市への愛着度(全体・性別・年齢別・就業形態別)



図表 35 市への愛着度(全体・居住年数別・居住地別)



(2) 今後の定住意向

問4 あなたは、これからも小城市に住み続けたいと思いますか。

問4 付問 その主な理由はなんですか。【“住みたいと思わない”と回答した人のみ / 複数回答】

“住みたい”は70.0%。一方、“住みたいと思わない”は5.9%。

“住みたいと思わない”理由は、「地域の行事や近所づきあいが面倒だから」(29.5%)、「市内で働くことのできるような職場が少ないから」と「上・下水道などの生活環境施設の整備が遅れているから」(同22.7%)が上位3位を占める。

市民の定住意向を探るため、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」の中から1つを選んでもらったところ、「住み続けたい」と答えた人が最も多く54.4%、これに「どちらかといえば住み続けたい」(15.6%)をあわせた70.0%の人が“住みたい”という意向を示している。一方、「どちらかといえば住みたくない」(4.8%)及び「住みたくない」(1.1%)と答えた“住みたいと思わない”という人の合計は5.9%と、愛着度の回答結果に対して定住意向は高い結果となっている。(“愛着を感じている”は40.3%、“愛着を感じていない”は17.9%)。また、「どちらともいえない」は22.4%を占めている。[図表 36 参照]

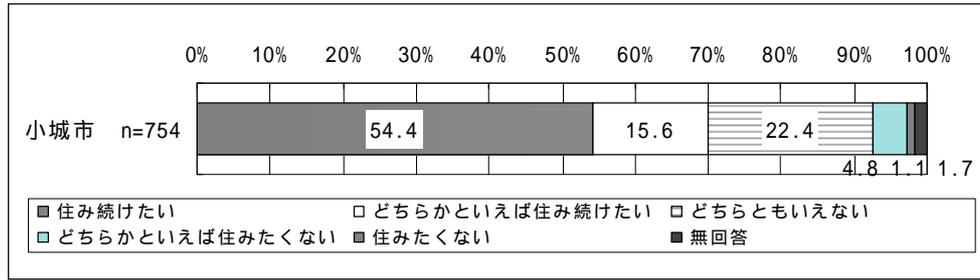
居住地別では、“住みたい”率で、小城地区は76.3%で最も高く、芦刈地区で60.9%と最も低い結果となっている。[図表 37 参照]

前回調査と比較すると、各地区で大きな差はみられないものの、「住みたいと思わない」率が前回に比べて低いことが特徴となっている。[図表 38、39 参照]

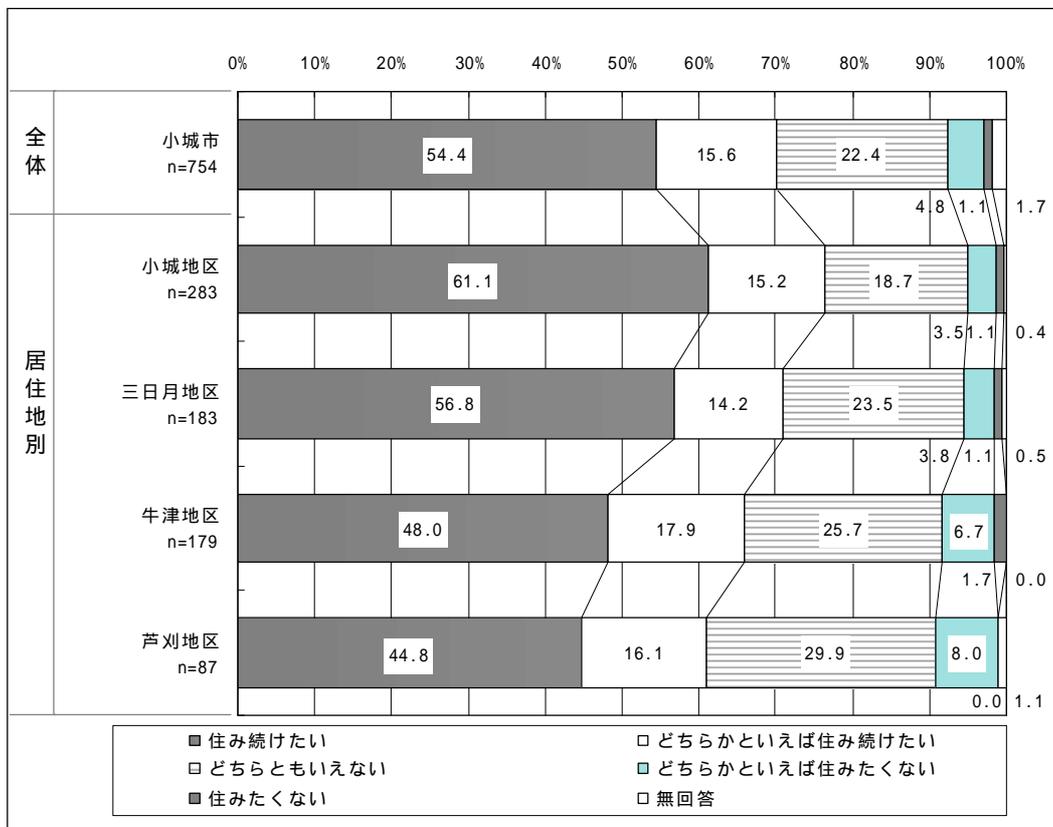
また、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人(全体の70.0%・528人)に、住み続けたい一番の理由を自由記述で回答してもらった。[参考資料 参照]

さらに、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」と回答した人(全体の5.8%・44人)に、その理由をたずねたところ、「地域の行事や近所づきあいが面倒だから」(29.5%)が第1位に挙げられ、次いで「市内で働くことのできるような職場が少ないから」、「上・下水道などの生活環境施設の整備が遅れているから」(同22.7%)などの順となっている。[図表 40 参照]

図表 36 今後の定住意向(全体)

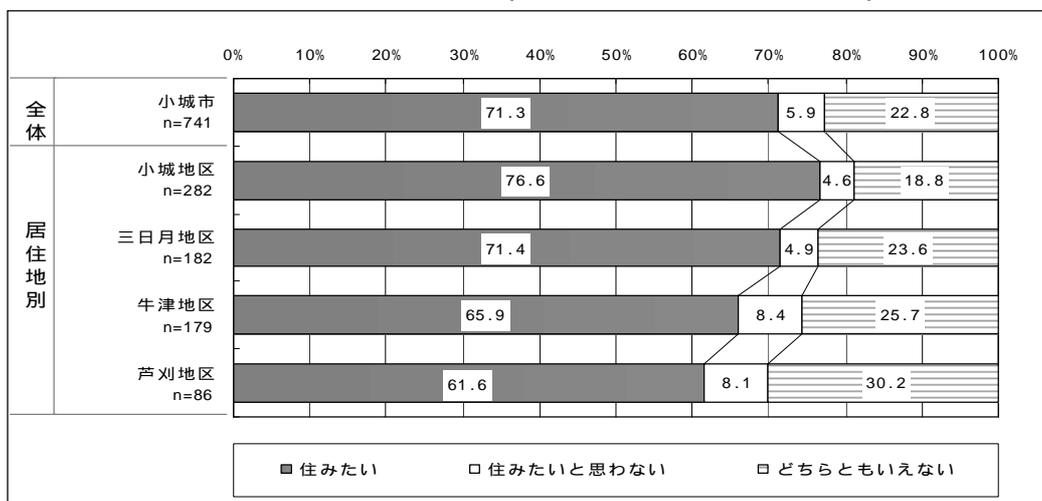


図表 37 今後の定住意向(全体・居住地別)

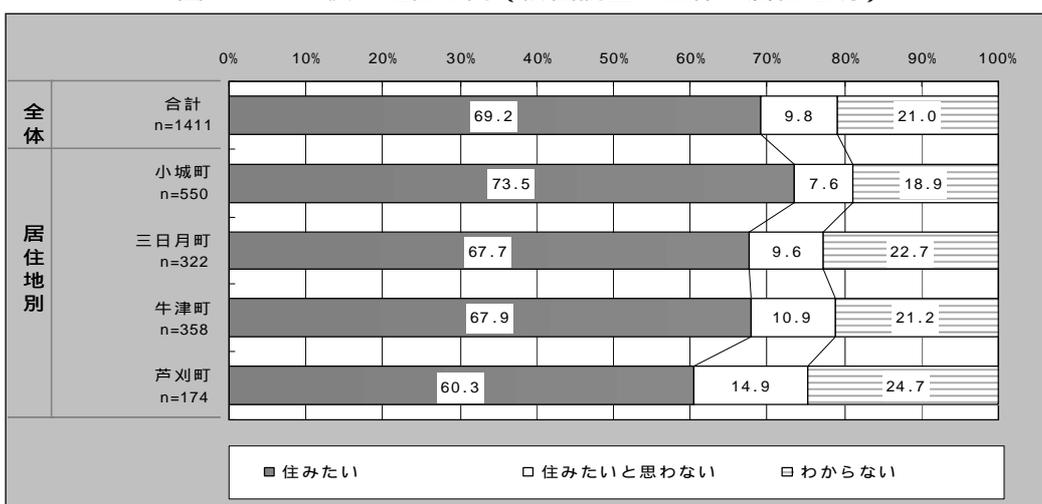


前回調査との比較

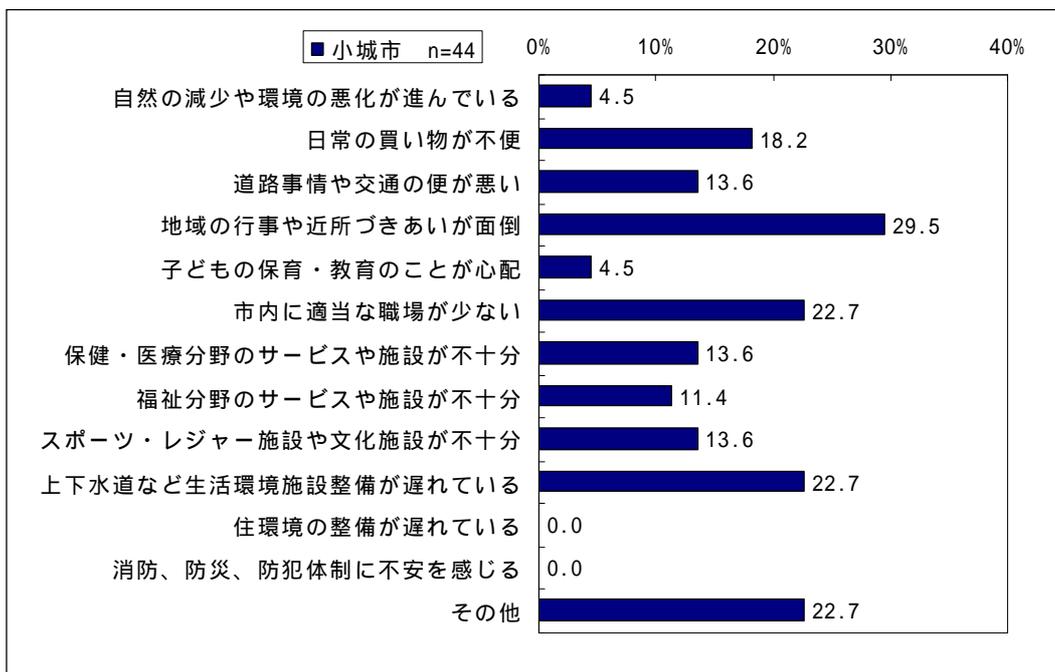
図表 38 今後の定住意向（今回調査 / 全体・居住地別）



図表 39 今後の定住意向（前回調査 / 全体・居住地別）



図表 40 住みたくない主な理由(全体 / 複数回答)



(3)市の環境について

問5 小城市の環境に関する(1)～(28)の各項目についておたずねします。あなたは小城市の各環境について、どの程度満足していますか。

満足度

満足度の最も高い項目は「日常生活に利用する生活道路網の整備(日常生活に利用する市道・農道など)」。次いで「身近なコミュニティ施設の充実(公民館、集会場など)」、「生涯学習施設の整備(文化施設、図書館、学校開放など)」の順。

満足度の最も低い項目は「工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保」。次いで「商業の振興(中心商業地域の形成など)」、「下水道の整備」の順。

小城市の各環境について、どの程度満足しているかを把握するため、自然環境や生活基盤、福祉・教育・文化環境、施設など各分野にわたる28項目を設定し、項目ごとに「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満」、「不満」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値〔後述参照〕による数量化で評価点(満足度：最高点2点、最低点-2点)を算出した。

これによる全体での満足度評価は、「日常生活に利用する生活道路網の整備(日常生活に利用する市道・農道など)」(0.34点)が最も高く、次いで第2位が「身近なコミュニティ施設の充実(公民館、集会場など)」(0.32点)、第3位が「生涯学習施設の整備(文化施設、図書館、学校開放など)」(0.29点)と続き、以下、「地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備(市町を結ぶ道路、国道や県道など)」(0.28点)、「学校施設の充実(学校、幼稚園など)」(0.22点)などの順となっている。また、満足度評価の低い方からみると、「工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保」(-0.59点)が最も低く、次いで「商業の振興(中心商業地域の形成など)」(-0.55点)、「下水道の整備」(-0.47点)と続いている。総合すると、満足度がプラス評価の項目が9項目、マイナス評価の項目が19項目となっている。〔図表43参照〕

また、居住地別に満足度の上位項目と下位項目をみていくと、以下のとおりにまとめられる。〔図表44～47参照〕

小城市地区

満足度の上位3項目は第1位が「生涯学習施設の整備(文化施設、図書館、学校開放など)」(0.31点)、第2位が「学校施設の充実(学校、幼稚園など)」(0.29点)、第3位が「日常生活に利用する生活道路網の整備(日常生活に利用する市道・農道など)」(0.21点)の順。一方、下位3項目は第1位が「下水道の整備」(-0.64点)、第2位が

「商業の振興（中心商業地域の形成など）」（-0.62点）、第3位が「工業の振興（企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など）や地域内での雇用の場の確保」（-0.55点）の順。

設定した28項目のうちプラス評価の項目は9項目、マイナス評価の項目は19項目となっている。

三日月地区

満足度の上位3項目は第1位が「生涯学習施設の整備（文化施設、図書館、学校開放など）」（0.75点）、第2位が「身近なコミュニティ施設の充実（公民館、集会場など）」（0.53点）、第3位が同率で「日常生活に利用する生活道路網の整備（日常生活に利用する市道・農道など）」と「スポーツ施設の整備（体育館、テニスコート、プールなど）」（同0.30点）の順。一方、下位3項目は第1位が「下水道の整備」（-0.64点）、第2位が「工業の振興（企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など）や地域内での雇用の場の確保」（-0.52点）、第3位が「公共交通の充実（鉄道・バス路線の整備・便数の増加など）」（-0.47点）の順。

設定した28項目のうちプラス評価の項目は11項目、マイナス評価の項目は17項目となっている。

牛津地区

満足度の上位3項目は第1位が「地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備（市町を結ぶ道路、国道や県道など）」（0.68点）、第2位が「日常生活に利用する生活道路網の整備（日常生活に利用する市道・農道など）」（0.56点）、第3位が「身近なコミュニティ施設の充実（公民館、集会場など）」（0.40点）の順。一方、下位3項目は第1位が「工業の振興（企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など）や地域内での雇用の場の確保」（-0.53点）、第2位が「文化的施設の充実（美術館、文化ホールなど）」（-0.44点）、第3位が同率で「商業の振興（中心商業地域の形成など）」と「観光の振興」（-0.43点）の順。

設定した28項目のうちプラス評価の項目は12項目、マイナス評価の項目は16項目となっている。

芦刈地区

満足度の上位3項目は第1位が「日常生活に利用する生活道路網の整備（日常生活に利用する市道・農道など）」（0.38点）、第2位が「身近なコミュニティ施設の充実（公民館、集会場など）」（0.28点）、第3位が「学校施設の充実（学校、幼稚園など）」（0.25点）の順。一方、下位3項目は第1位が「下水道の整備」（-0.96点）、第2位が「工業の振興（企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など）や地域内での雇用の場の確保」（-0.91点）、第3位が「商業の振興（中心商業地域の形成など）」（-0.73点）の順。

設定した28項目のうちプラス評価の項目は6項目、マイナス評価の項目は22項目となっている。

前回調査と比較すると、全体的な傾向としては大きな差はみられないものの、前回調査でマイナス評価だったものが今回調査でプラス評価に転じた項目は、「住宅施策の推進(民間も含めた住宅供給など)」、「身近な憩いの場の充実(公園や緑地など)」、「スポーツ施設の整備(体育館、テニスコート、プールなど)」の3項目となっている。前回調査と今回調査でともにプラス評価の項目のうち、前回調査よりも評価が高くなっている項目は、「身近なコミュニティ施設の充実(公民館、集会場など)」、「生涯学習施設の整備(文化施設、図書館、学校開放など)」の2項目が挙げられる。[図表 48 参照]

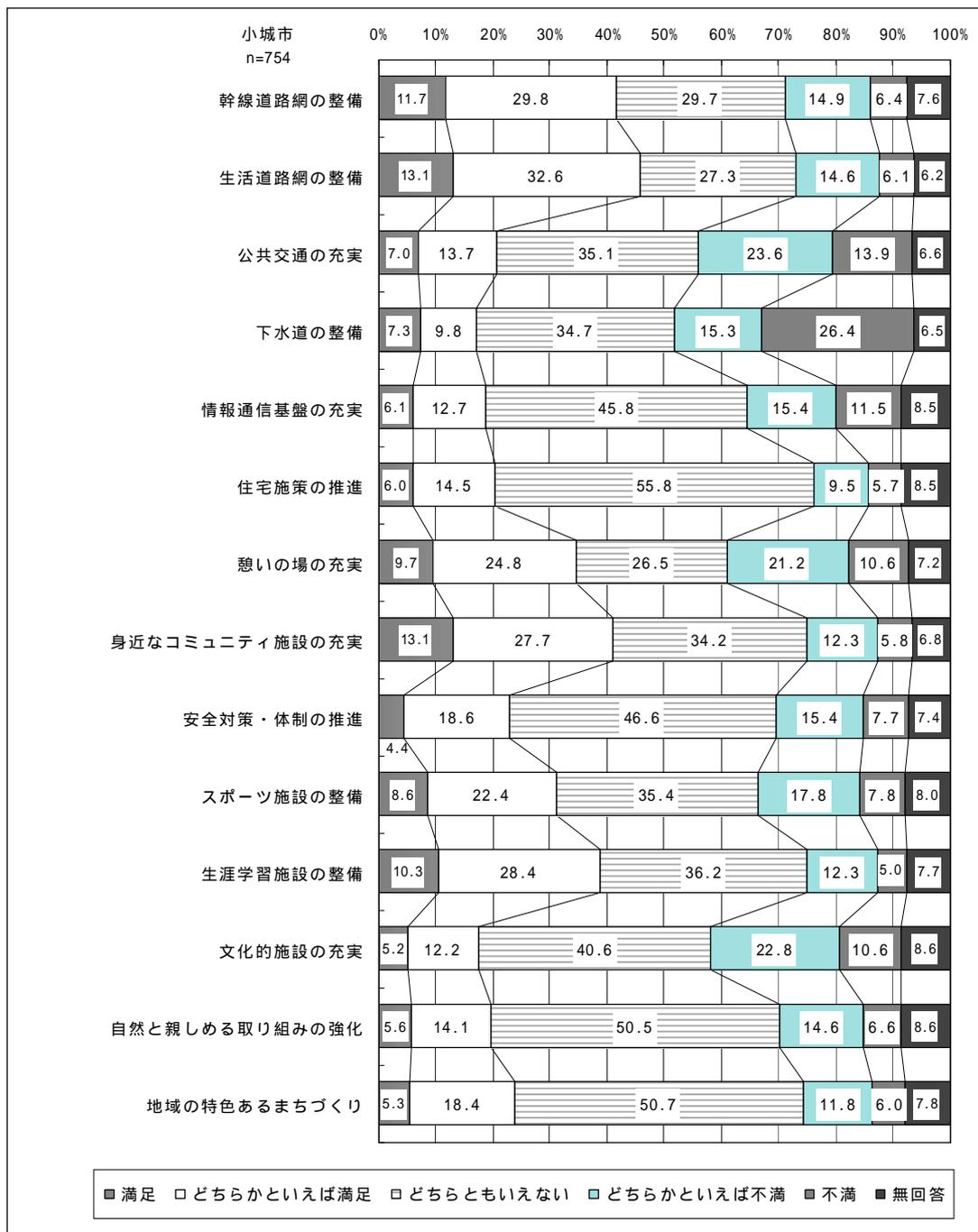
加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(満足度)を算出する。

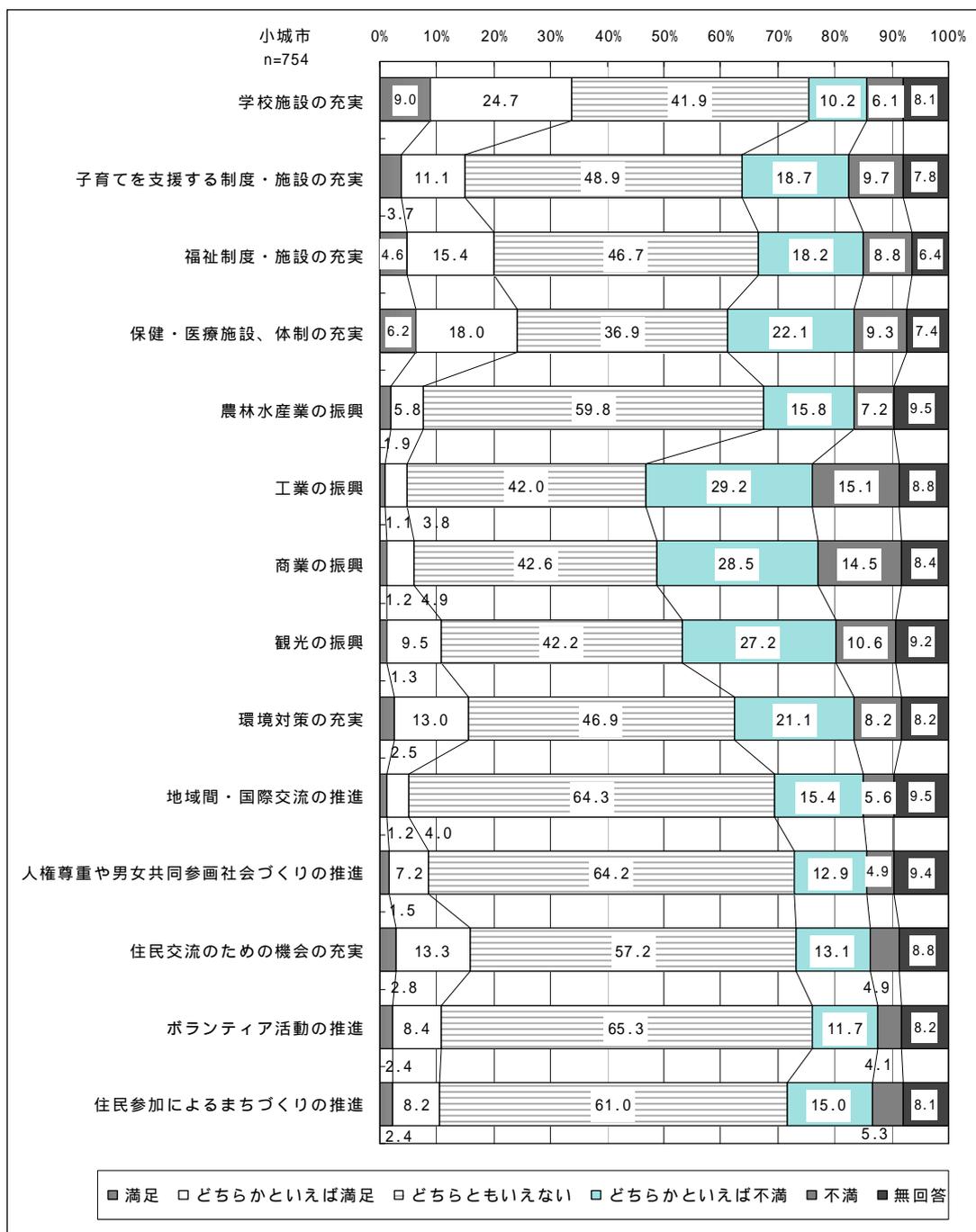
$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足」の回答者数} \times 2 \text{点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足」の回答者数} \times 1 \text{点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満」の回答者数} \times -1 \text{点} \\ + \\ \text{「不満」の回答者数} \times -2 \text{点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足」、「どちらかといえば満足」、} \\ \text{「どちらともいえない」、「どちらか} \\ \text{といえば不満」、「不満」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は2点～-2点の間に分布し、中間点の0点を境に、2点に近くなるほど評価は高くなり、逆に-2点に近くなるほど評価が低くなる。

図表 41 市の現状評価について(全体 / 1/2)

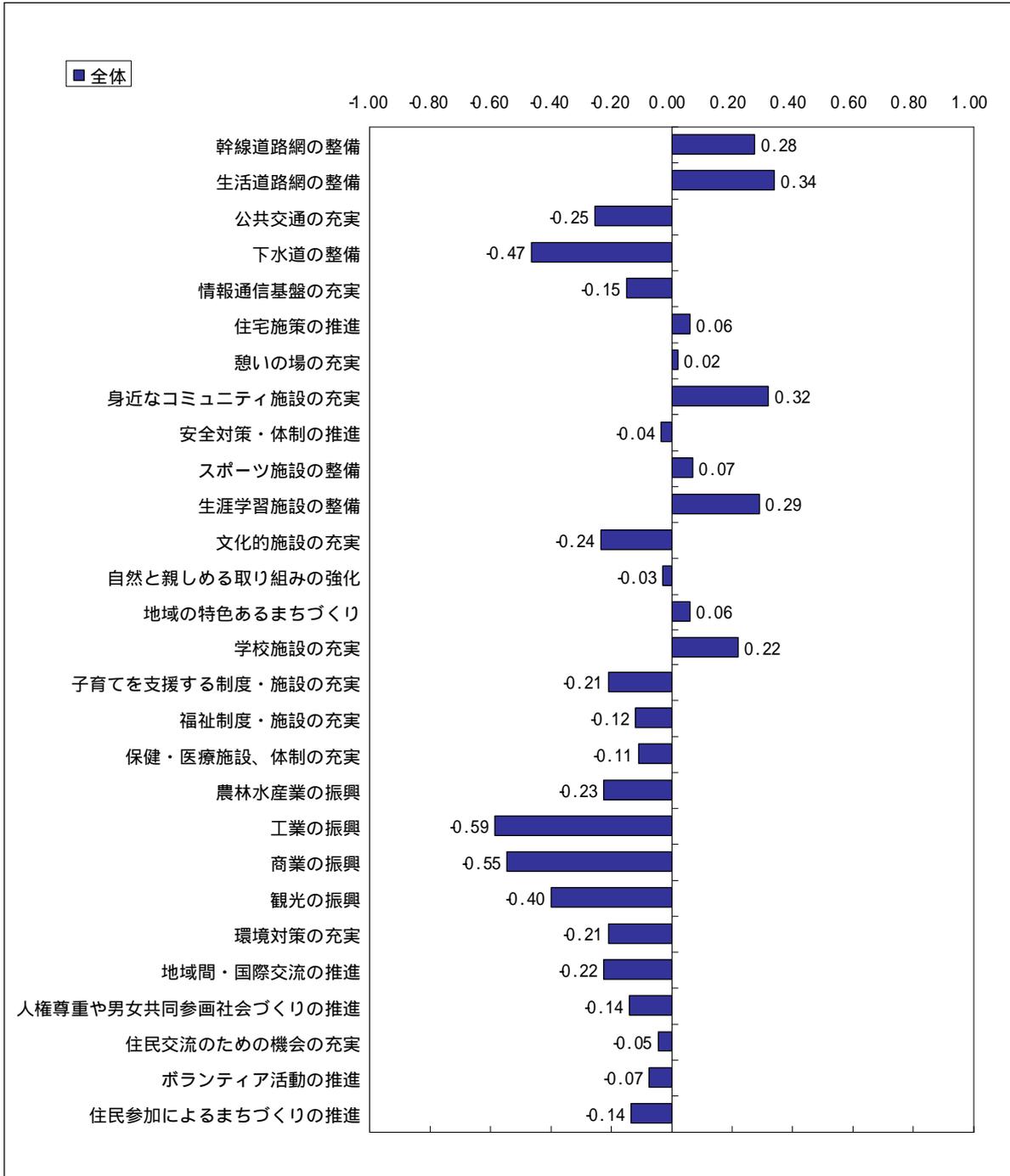


図表 42 市の現状評価について(全体 / 2/2)



図表 43 市の現状評価について(全体 / 満足度)

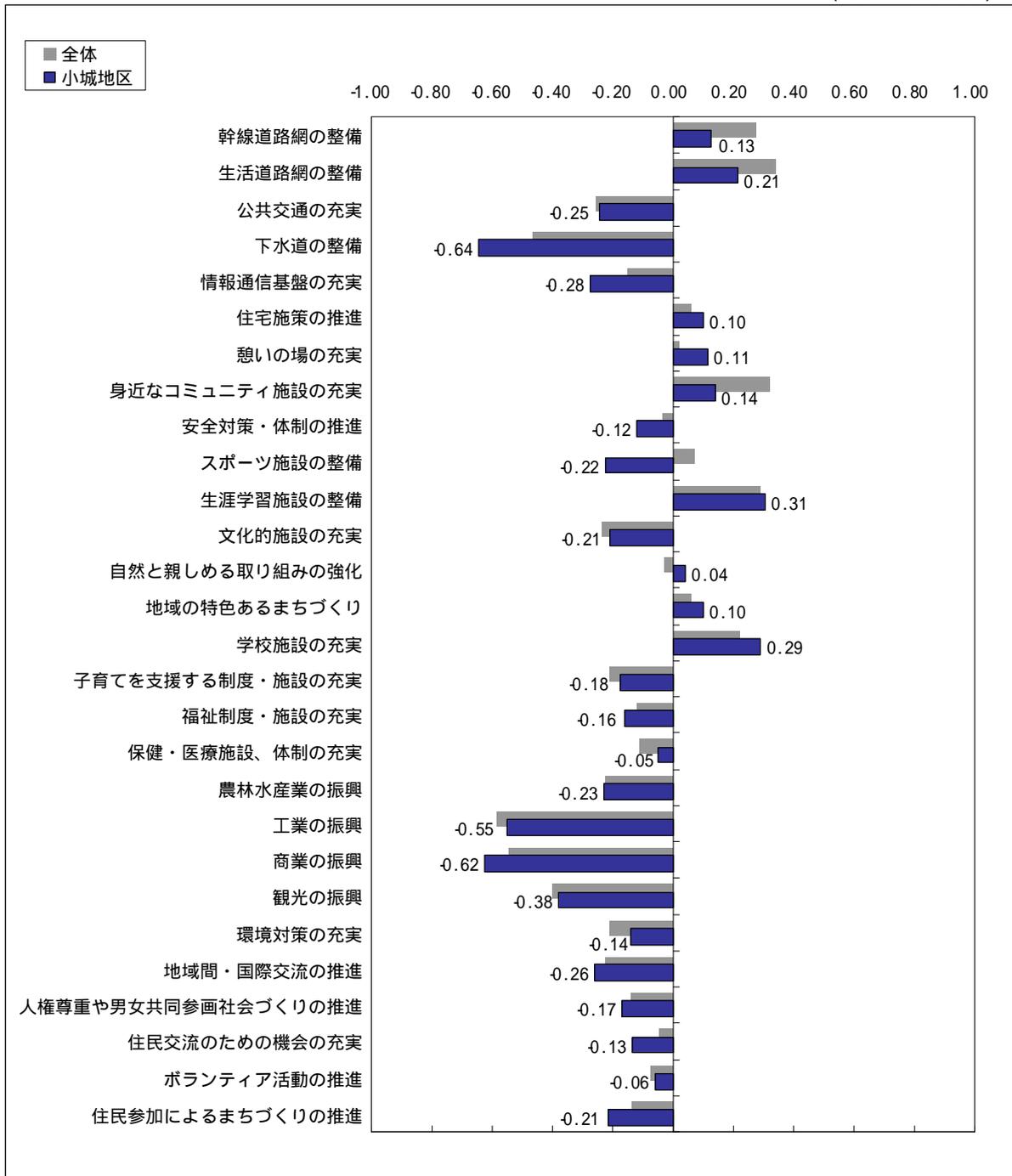
(単位：評価点)



図表 44 市の現状評価について(居住地別 / 満足度)

小城地区

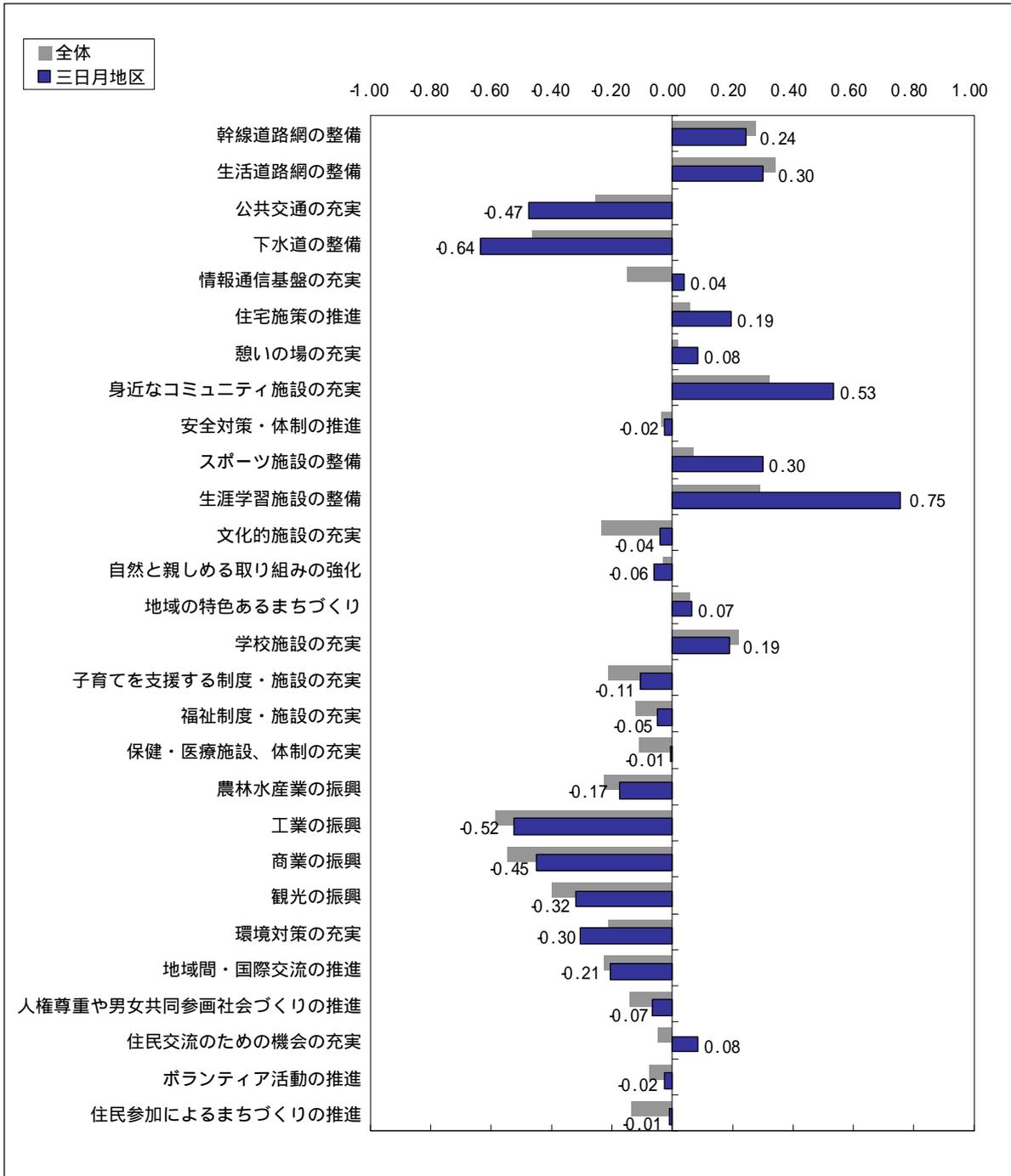
(単位：評価点)



図表 45 市の現状評価について(居住地別 / 満足度)

三日月地区

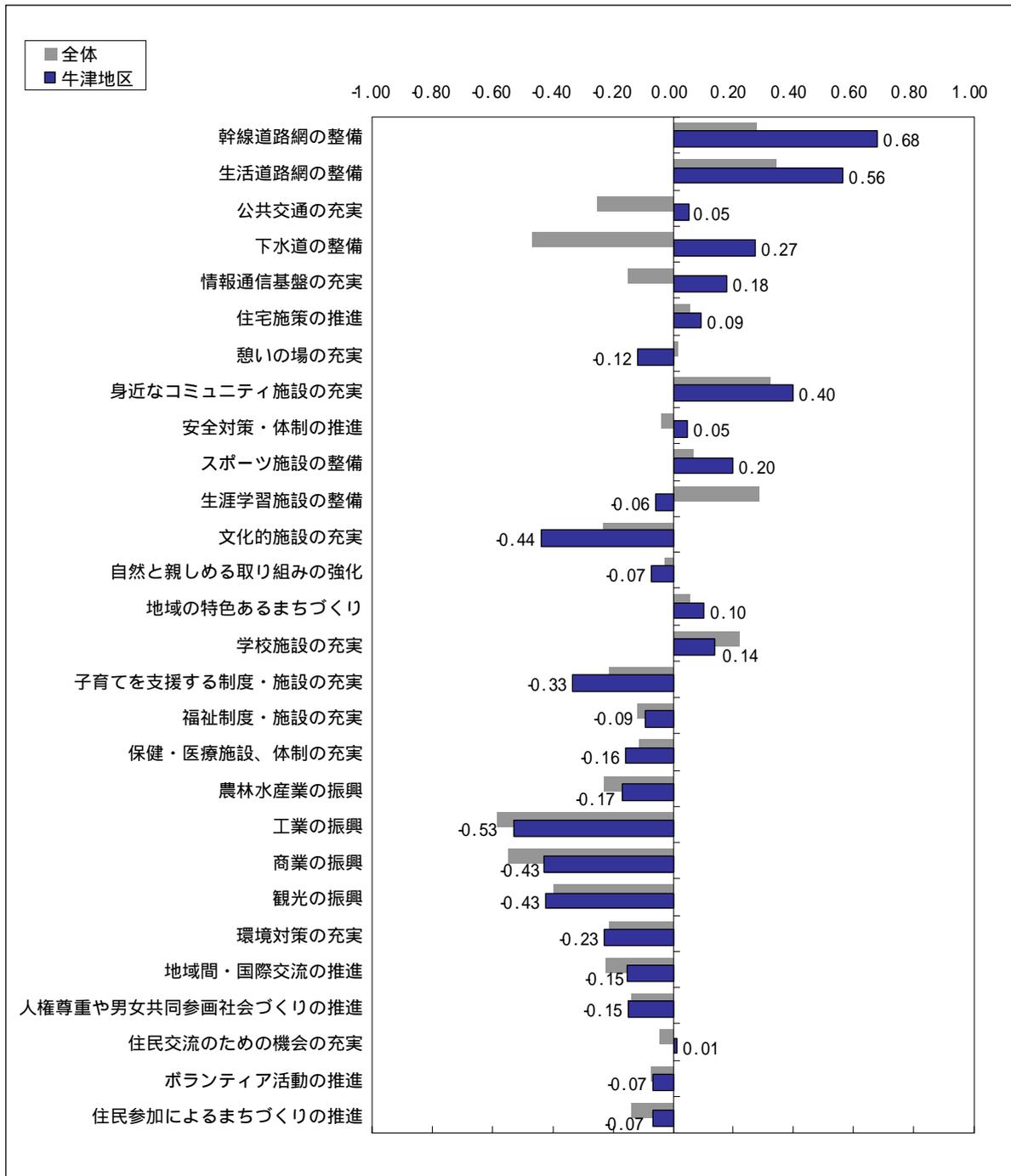
(単位：評価点)



図表 46 市の現状評価について(居住地別 / 満足度)

牛津地区

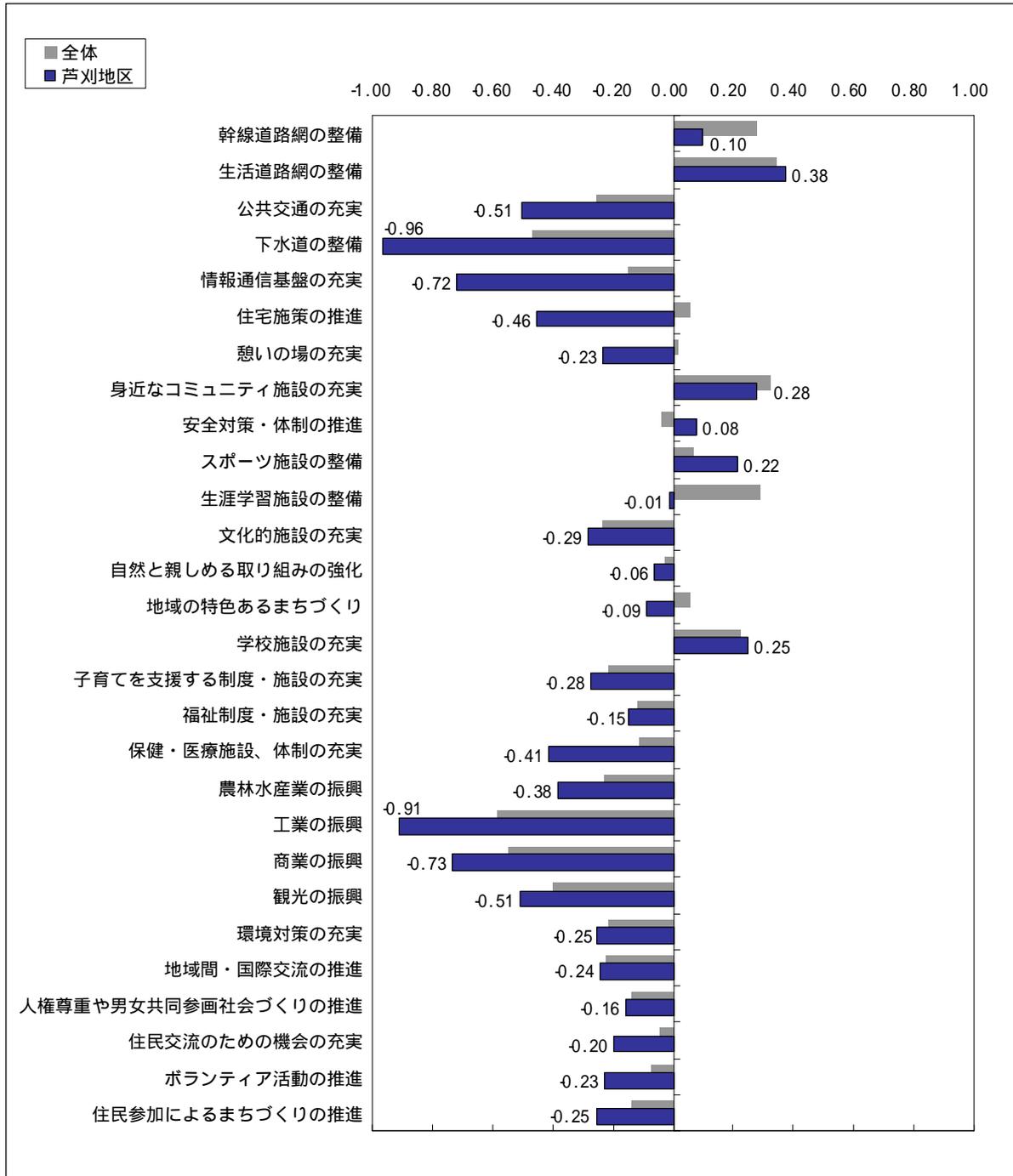
(単位：評価点)



図表 47 市の現状評価について(居住地別 / 満足度)

芦刈地区

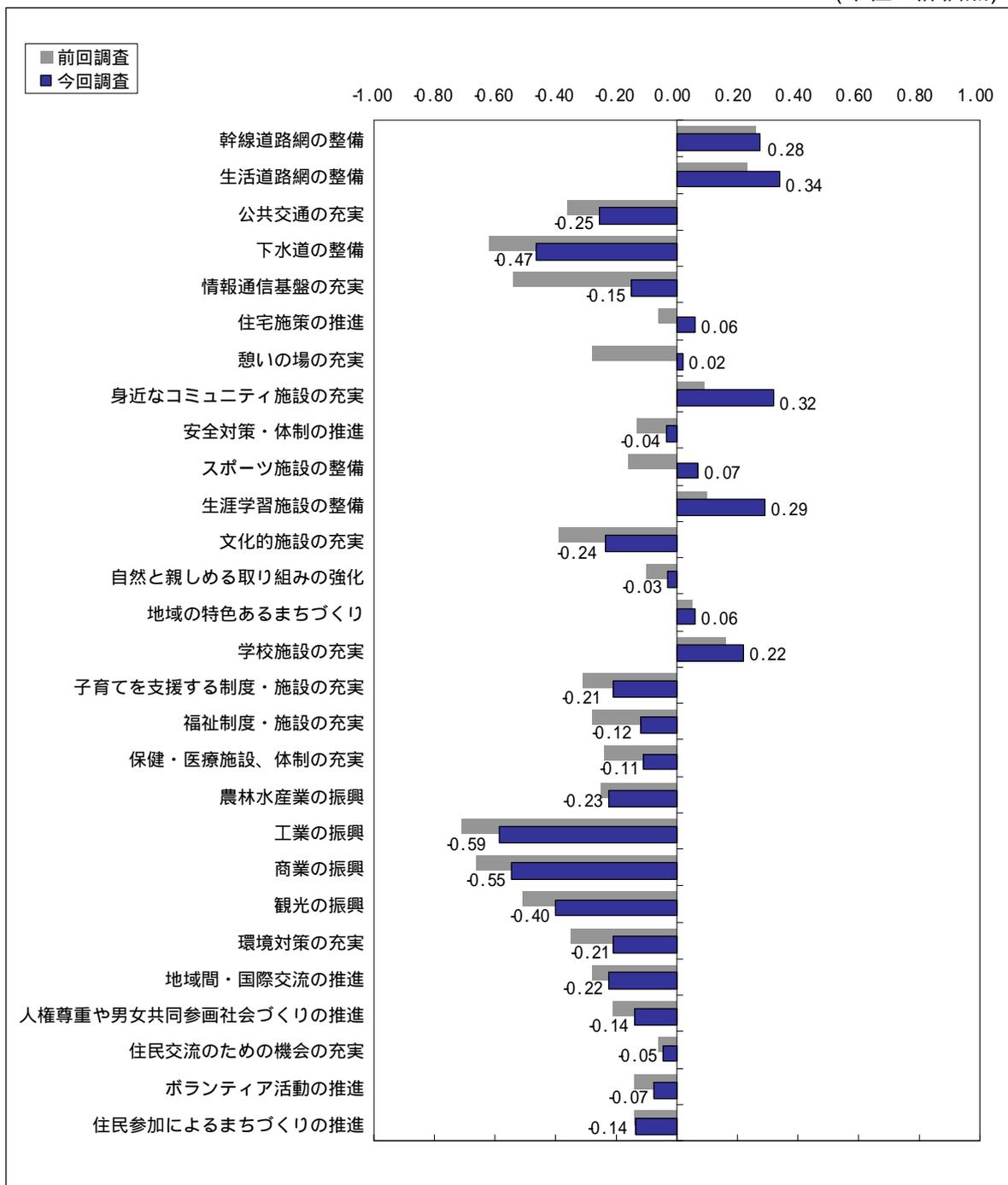
(単位：評価点)



前回調査との比較

図表 48 市の現状評価について(前回調査・今回調査 / 満足度)

(単位：評価点)



(4) 全体的な市の暮らしやすさ

問6 「問5」では、小城市の環境について、それぞれの項目の満足度をおたずねしました。そこで、全体的にみた場合は、小城市の暮らしやすさの満足度についてどのように感じていますか。

“満足している”が48.8%、「どちらともいえない」が31.7%、「不満である」は17.9%。

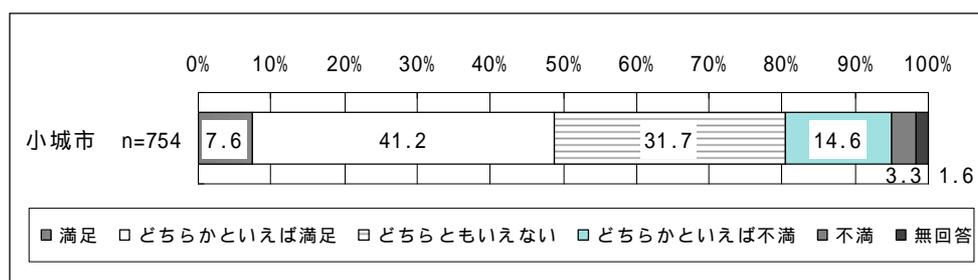
小城市の住民が全体的に市の暮らしやすさに満足しているかどうかをたずねたところ、「満足している」(7.6%)と「どちらかといえば満足している」(41.2%)をあわせた“満足している”という人が48.8%となっている。一方で“不満である”(「どちらかといえば不満である」14.6%及び「不満である」3.3%の合計)は17.9%となっている。なお、「どちらともいえない」は31.7%であった。[図表49参照]

性別で“満足している”率をみると、男性は47.1%、女性は52.7%と、男女ともに5割前後となっている。

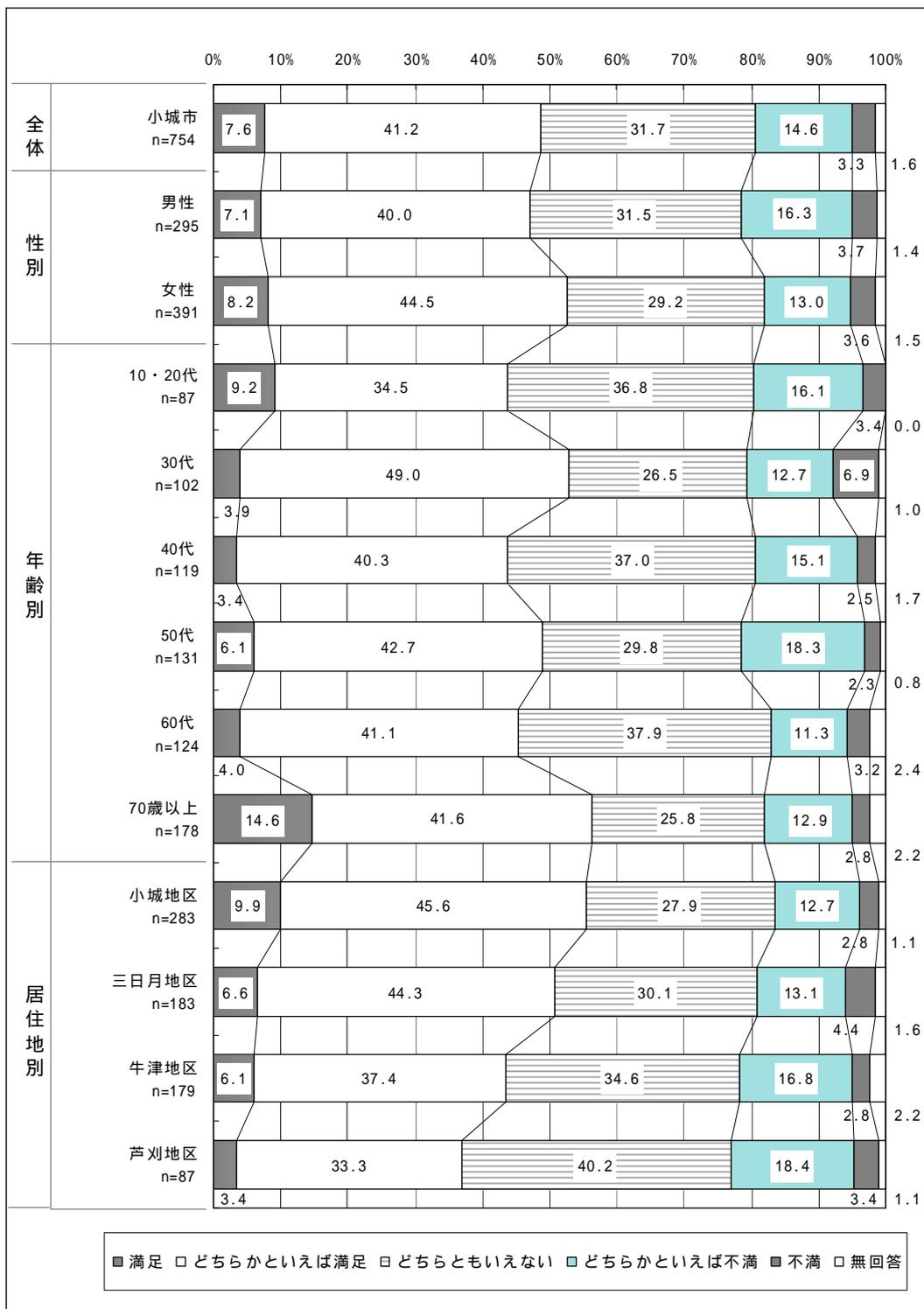
年齢別で“満足している”率をみると、高い順から70歳以上(56.2%)、30代(52.9%)、50代(48.8%)、60代(45.1%)、10・20代・40代(同43.7%)の順となっている。

また、居住地別で“満足している”率をみると、小城地区は55.5%、三日月地区は50.9%、牛津地区は43.5%、芦刈地区は36.7%となっており、最も高い小城地区と最も低い芦刈地区では約2割の差がある。[図表50参照]

図表49 全体的な市の暮らしやすさ(全体)



図表 50 全体的な市の暮らしやすさ(全体、性別、年齢別、居住地別)



(5)満足度と市への愛着度の相関

“改善の必要性が高いと思われる”に分類される項目は12項目、“改善の必要性が低いと思われる”に分類される項目は16項目。

“とりわけ改善が必要”は「商業の振興（中心商業地域の形成など）」、「住民参加によるまちづくりの推進」。

(3)市の環境についての満足度と、(1)市への愛着度の相関関係を、CS分析[後述参照]により満足度偏差値、重要度偏差値(相関係数)、改善度を算出した。この分析によって、現状評価の(1)~(28)の各項目の満足度と、市への愛着度の相関関係を明らかにし、どの項目の満足率を上げることによって、市への愛着度が上がるかということを統計的に説明しようと試みている。この結果、[図表 52](#)のとおり、“改善の必要性が高いと思われる”に分類される項目は12項目、“改善の必要性が低いと思われる”に分類される項目は16項目となっている。また、改善度10点以上の項目が“とりわけ改善が必要”として挙げられ、[図表 51](#)の改善度をみると、「商業の振興（中心商業地域の形成など）」(15.25)、「住民参加によるまちづくりの推進」(16.05)が挙げられる。

CS(顧客満足)分析の算出方法

満足度評価の「満足」、「どちらかといえば満足」を“満足”、「どちらかといえば不満」、「不満」を“不満”、「どちらともいえない」の3段階評価による回答数と割合を各項目で算出する。さらに総合評価とのクロス集計を行った後、各項目の独立係数を算出する。

CSグラフにプロットする位置を決めるため、満足率と独立係数それぞれの偏差値を算出し、独立係数を横軸に、満足率を縦軸にとる。

改善度は、プロットの原点からの距離×修正指数で算出する。原点からの距離、修正指数は以下の計算式を用いる。

$$\text{距離} = \sqrt{(x - \bar{x})^2 + (y - \bar{y})^2} \quad \text{修正指数 } r = \frac{90 \cdot \text{角度}}{90}$$

独立係数を重要度と読み替えてグラフを作成。

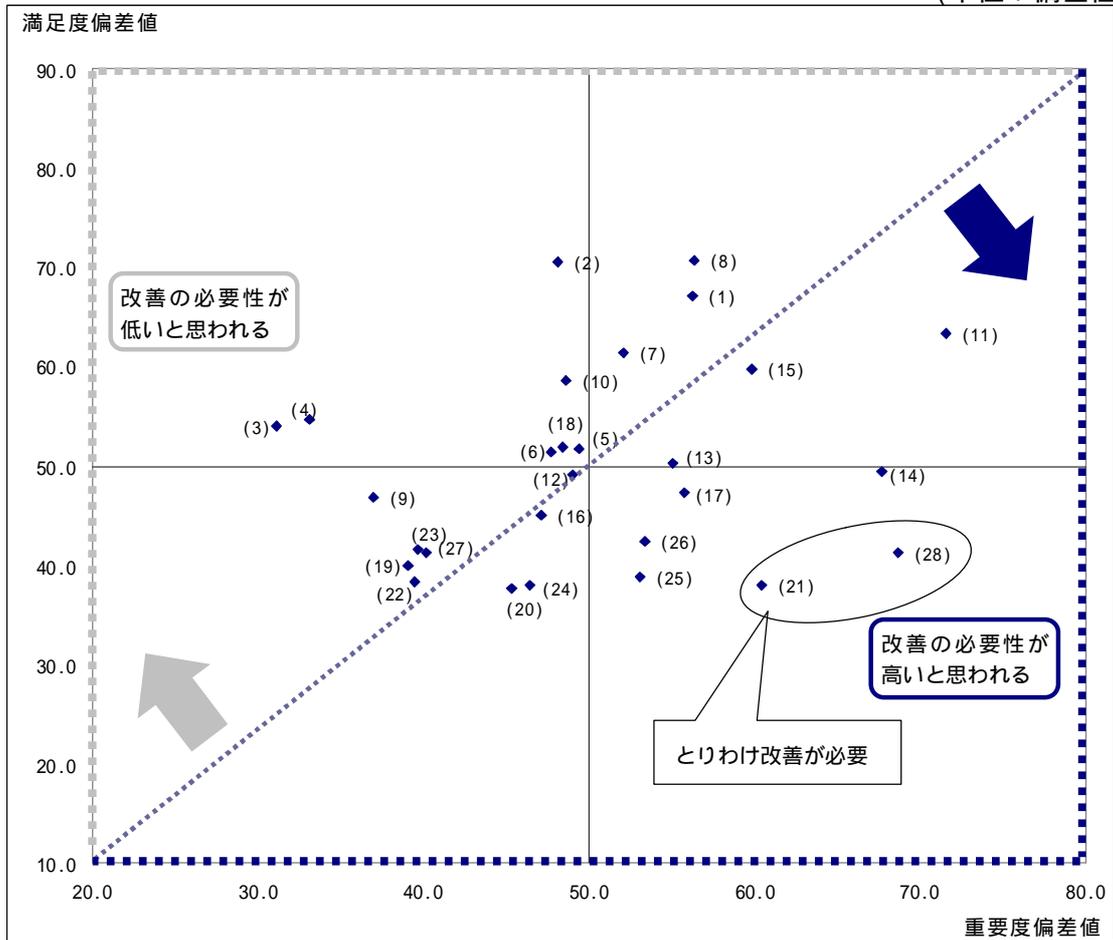
図表 51 満足度と暮らしやすさの相関(全体 / 満足度偏差値、重要度偏差値、改善度)

	全体		
	満足度偏差値	重要度偏差値	改善度
(1) 幹線道路網の整備	67.02	56.30	-4.98
(2) 生活道路網の整備	70.56	48.08	-11.55
(3) 公共交通の充実	53.93	31.08	-12.19
(4) 下水道の整備	54.63	33.15	-11.72
(5) 情報通信基盤の充実	51.72	49.43	-1.27
(6) 住宅施策の推進	51.35	47.74	-2.22
(7) 憩いの場の充実	61.38	52.05	-4.47
(8) 身近なコミュニティ施設の充実	70.76	56.40	-6.72
(9) 安全対策・体制の推進	46.74	37.03	-4.59
(10) スポーツ施設の整備	58.65	48.62	-5.26
(11) 生涯学習施設の整備	63.38	71.54	3.70
(12) 文化的施設の充実	49.14	49.05	-0.04
(13) 自然と親しめる取り組みの強化	50.25	55.03	2.36
(14) 地域の特色あるまちづくり	49.38	67.73	9.26
(15) 学校施設の充実	59.80	59.82	0.01
(16) 子育てを支援する制度・施設の充実	44.95	47.07	0.97
(17) 福祉制度・施設の充実	47.33	55.73	4.91
(18) 保健・医療施設、体制の充実	51.89	48.41	-2.34
(19) 農林水産業の振興	39.87	39.05	-0.37
(20) 工業の振興	37.59	45.37	3.61
(21) 商業の振興	37.95	60.47	15.25
(22) 観光の振興	38.35	39.48	0.51
(23) 環境対策の充実	41.65	39.66	-0.90
(24) 地域間・国際交流の推進	37.99	46.40	3.94
(25) 人権尊重や男女共同参画社会づくりの推進	38.74	53.06	7.81
(26) 住民交流のための機会の充実	42.44	53.42	6.39
(27) ボランティア活動の推進	41.28	40.13	-0.52
(28) 住民参加によるまちづくりの推進	41.27	68.69	16.05

CS分析における改善度は、プラス10以上が「改善の必要性が高い」の基準と考えられる。

図表 52 市の現状評価について(全体 / 相関) 問 3 市への愛着度

(単位：偏差値)



改善の必要性が高いと思われる	改善の必要性が低いと思われる
(11)生涯学習施設の整備	(1)幹線道路網の整備
(13)自然と親しめる取り組みの強化	(2)生活道路網の整備
(14)地域の特色あるまちづくり	(3)公共交通の充実
(15)学校施設の充実	(4)下水道の整備
(16)子育てを支援する制度・施設の充実	(5)情報通信基盤の充実
(17)福祉制度・施設の充実	(6)住宅施策の推進
(20)工業の振興	(7)憩いの場の充実
(21)商業の振興	(8)身近なコミュニティ施設の充実
(24)地域間・国際交流の推進	(9)安全対策・体制の推進
(25)人権尊重や男女共同参画社会づくりの推進	(10)スポーツ施設の整備
(26)住民交流のための機会の充実	(12)文化的施設の充実
(28)住民参加によるまちづくりの推進	(18)保健・医療施設、体制の充実
	(19)農林水産業の振興
	(22)観光の振興
	(23)環境対策の充実
	(27)ボランティア活動の推進

(6) 満足度と今後の定住意向の相関

“改善の必要性が高いと思われる”に分類される項目は15項目、“改善の必要性が低いと思われる”に分類される項目は13項目。

“とりわけ改善が必要”は「住民交流のための機会の充実（イベントなど）」。

(3)市の環境についての満足度と、(2)今後の定住意向の相関関係を、CS分析により満足度偏差値、重要度偏差値（相関係数）改善度を算出した。この分析によって、現状評価の(1)～(28)の各項目の満足度と、今後の定住意向の相関関係を明らかにし、どの項目の満足率を上げることによって、今後の定住意向が上がるかということを経験的に説明しようと試みている。この結果、[図表 54](#)のとおり、“改善の必要性が高いと思われる”に分類される項目は15項目、“改善の必要性が低いと思われる”に分類される項目は13項目となっている。また、改善度10点以上の項目が“とりわけ改善が必要”として挙げられ、[図表 53](#)の改善度をみると、「住民交流のための機会の充実（イベントなど）」(11.18)が挙げられる。

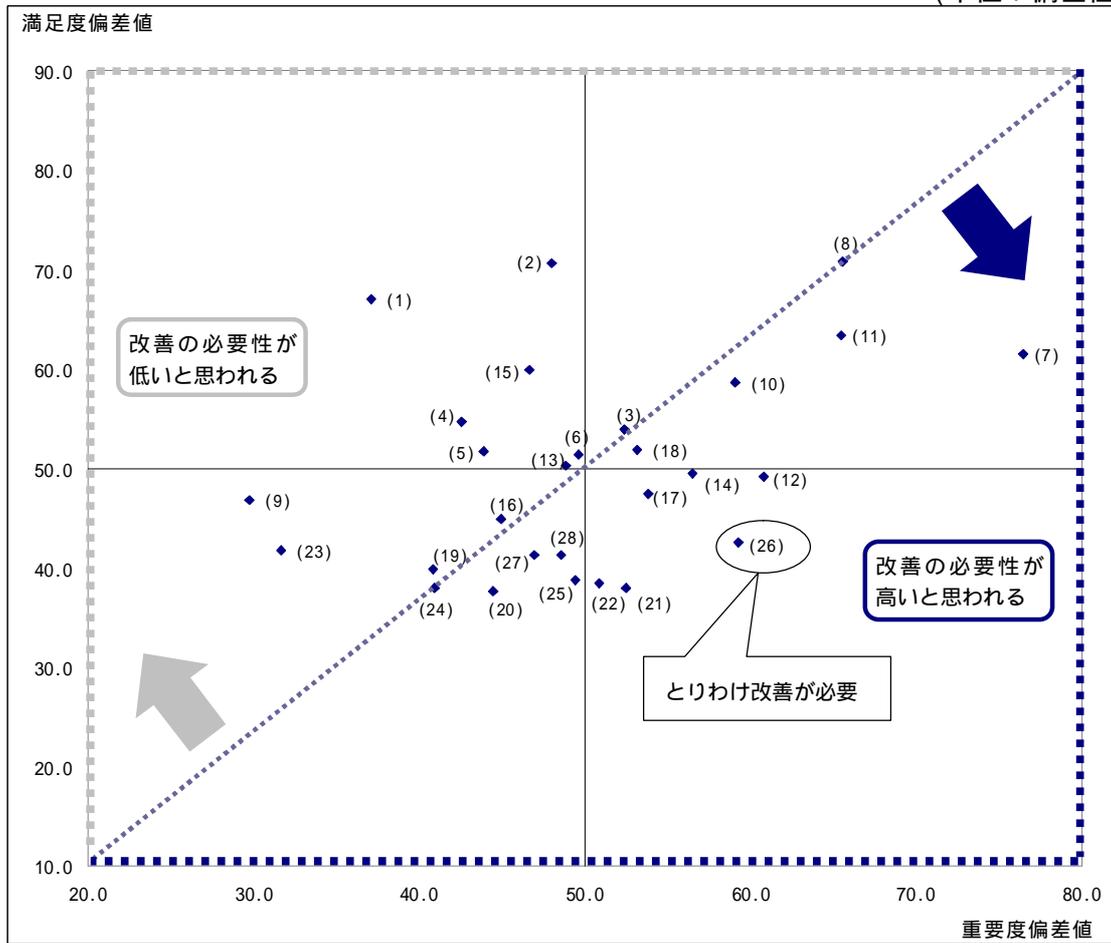
図表 53 満足度と暮らしやすさの相関(全体 / 満足度偏差値、重要度偏差値、改善度)

	全体		
	満足度偏差値	重要度偏差値	改善度
(1) 幹線道路網の整備	67.02	37.08	-19.51
(2) 生活道路網の整備	70.56	48.04	-11.58
(3) 公共交通の充実	53.93	52.41	-0.69
(4) 下水道の整備	54.63	42.55	-7.49
(5) 情報通信基盤の充実	51.72	43.89	-4.28
(6) 住宅施策の推進	51.35	49.59	-0.97
(7) 憩いの場の充実	61.38	76.43	6.94
(8) 身近なコミュニティ施設の充実	70.76	65.55	-2.35
(9) 安全対策・体制の推進	46.74	29.75	-8.17
(10) スポーツ施設の整備	58.65	59.11	0.21
(11) 生涯学習施設の整備	63.38	65.45	0.94
(12) 文化的施設の充実	49.14	60.79	5.96
(13) 自然と親しめる取り組みの強化	50.25	48.85	-0.75
(14) 地域の特色あるまちづくり	49.38	56.48	3.65
(15) 学校施設の充実	59.80	46.70	-7.31
(16) 子育てを支援する制度・施設の充実	44.95	44.89	-0.03
(17) 福祉制度・施設の充実	47.33	53.86	4.15
(18) 保健・医療施設、体制の充実	51.89	53.14	0.57
(19) 農林水産業の振興	39.87	40.84	0.44
(20) 工業の振興	37.59	44.48	3.17
(21) 商業の振興	37.95	52.50	7.76
(22) 観光の振興	38.35	50.81	6.36
(23) 環境対策の充実	41.65	31.69	-4.58
(24) 地域間・国際交流の推進	37.99	40.88	1.30
(25) 人権尊重や男女共同参画社会づくりの推進	38.74	49.43	5.27
(26) 住民交流のための機会の充実	42.44	59.25	11.18
(27) ボランティア活動の推進	41.28	46.96	2.64
(28) 住民参加によるまちづくりの推進	41.27	48.60	3.52

CS分析における改善度は、プラス10以上が「改善の必要性が高い」の基準と考えられる。

図表 54 市の現場評価について(全体 / 相関) 問 4 今後の定住意向

(単位：偏差値)



改善の必要性が高いと思われる	改善の必要性が低いと思われる
(7)憩いの場の充実	(1)幹線道路網の整備
(10)スポーツ施設の整備	(2)生活道路網の整備
(11)生涯学習施設の整備	(3)公共交通の充実
(12)文化的施設の充実	(4)下水道の整備
(14)地域の特色あるまちづくり	(5)情報通信基盤の充実
(17)福祉制度・施設の充実	(6)住宅施策の推進
(18)保健・医療施設、体制の充実	(8)身近なコミュニティ施設の充実
(20)工業の振興	(9)安全対策・体制の推進
(21)商業の振興	(13)自然と親しめる取り組みの強化
(22)観光の振興	(15)学校施設の充実
(24)地域間・国際交流の推進	(16)子育てを支援する制度・施設の充実
(25)人権尊重や男女共同参画社会づくりの推進	(19)農林水産業の振興
(26)住民交流のための機会の充実	(23)環境対策の充実
(27)ボランティア活動の推進	
(28)住民参加によるまちづくりの推進	

(7)満足度と全体的な市の暮らしやすさの相関

“改善の必要性が高いと思われる”に分類される項目は14項目、“改善の必要性が低いと思われる”に分類される項目は14項目。

(3)市の現状評価についての満足度と、(4)全体的な市の暮らしやすさの相関関係を、CS分析により満足度偏差値、重要度偏差値(相関係数)改善度を算出した。この分析によって、現状評価の(1)~(28)の各項目の満足度と、全体的な市の暮らしやすさの満足度の相関関係を明らかにし、どの項目の満足率を上げることによって、全体の満足率が上がるかということを統計的に説明しようと試みている。この結果、[図表 56](#)のとおり、“改善の必要性が高いと思われる”に分類される項目は14項目、“改善の必要性が低いと思われる”に分類される項目は14項目となっている。

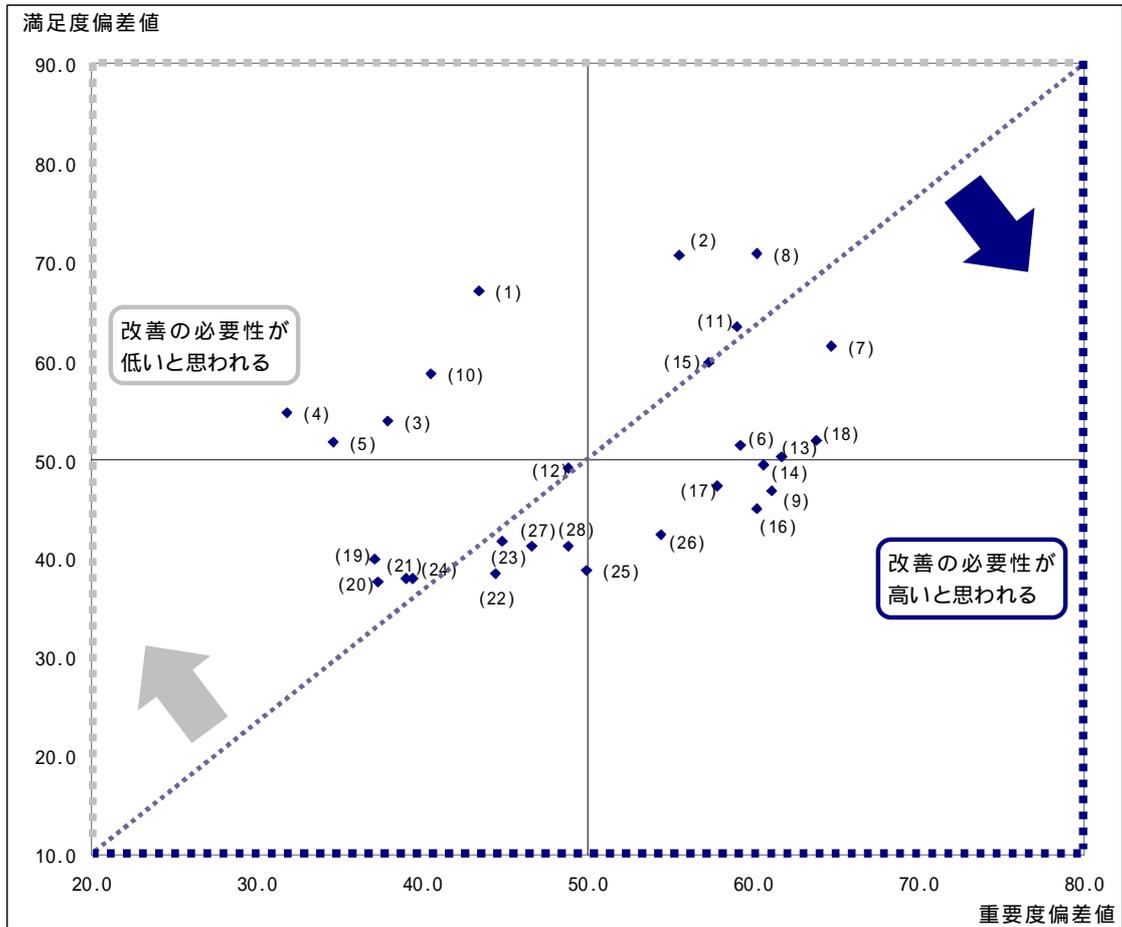
図表 55 満足度と暮らしやすさの相関(全体 / 満足度偏差値、重要度偏差値、改善度)

	全体		
	満足度偏差値	重要度偏差値	改善度
(1) 幹線道路網の整備	67.02	43.42	-13.41
(2) 生活道路網の整備	70.56	55.47	-7.12
(3) 公共交通の充実	53.93	37.91	-8.90
(4) 下水道の整備	54.63	31.81	-12.37
(5) 情報通信基盤の充実	51.72	34.56	-8.87
(6) 住宅施策の推進	51.35	59.20	3.79
(7) 憩いの場の充実	61.38	64.75	1.52
(8) 身近なコミュニティ施設の充実	70.76	60.21	-4.84
(9) 安全対策・体制の推進	46.74	61.10	7.89
(10) スポーツ施設の整備	58.65	40.52	-12.46
(11) 生涯学習施設の整備	63.38	59.00	-1.99
(12) 文化的施設の充実	49.14	48.80	-0.15
(13) 自然と親しめる取り組みの強化	50.25	61.67	5.67
(14) 地域の特色あるまちづくり	49.38	60.63	5.72
(15) 学校施設の充実	59.80	57.34	-1.11
(16) 子育てを支援する制度・施設の充実	44.95	60.24	9.04
(17) 福祉制度・施設の充実	47.33	57.80	5.85
(18) 保健・医療施設、体制の充実	51.89	63.79	5.75
(19) 農林水産業の振興	39.87	37.15	-1.23
(20) 工業の振興	37.59	37.33	-0.12
(21) 商業の振興	37.95	39.38	0.64
(22) 観光の振興	38.35	44.40	2.77
(23) 環境対策の充実	41.65	44.75	1.41
(24) 地域間・国際交流の推進	37.99	39.03	0.47
(25) 人権尊重や男女共同参画社会づくりの推進	38.74	49.92	5.58
(26) 住民交流のための機会の充実	42.44	54.42	7.33
(27) ボランティア活動の推進	41.28	46.57	2.45
(28) 住民参加によるまちづくりの推進	41.27	48.85	3.66

CS分析における改善度は、プラス10以上が「改善の必要性が高い」の基準と考えられる。

図表 56 市の現状評価について(全体 / 相関) 問 6 全体的な市の暮らしやすさ

(単位：偏差値)



改善の必要性が高いと思われる	改善の必要性が低いと思われる
(6)住宅施策の推進	(1)幹線道路網の整備
(7)憩いの場の充実	(2)生活道路網の整備
(9)安全対策・体制の推進	(3)公共交通の充実
(13)自然と親しめる取り組みの強化	(4)下水道の整備
(14)地域の特色あるまちづくり	(5)情報通信基盤の充実
(16)子育てを支援する制度・施設の充実	(8)身近なコミュニティ施設の充実
(17)福祉制度・施設の充実	(10)スポーツ施設の整備
(18)保健・医療施設、体制の充実	(11)生涯学習施設の整備
(22)観光の振興	(12)文化的施設の充実
(23)環境対策の充実	(15)学校施設の充実
(25)人権尊重や男女共同参画社会づくりの推進	(19)農林水産業の振興
(26)住民交流のための機会の充実	(20)工業の振興
(27)ボランティア活動の推進	(21)商業の振興
(28)住民参加によるまちづくりの推進	(24)地域間・国際交流の推進

3 これからのまちづくりについて

(1) まちづくりで重視すべき項目

問7 合併時の新市まちづくり計画では「薫風新都～みんなでつくる・笑顔あふれる小城市～」を将来像に掲げています。新市まちづくり計画に掲げる基本方針の中で、これからのまちづくりで重視すべき項目はどれですか。【複数回答】

「安心して暮らせる健康・福祉のまち(健康・福祉分野)」(58.6%)と「快適な生活環境のまち(生活基盤分野)」(50.9%)の2項目が他を大きく引き離して上位2位。

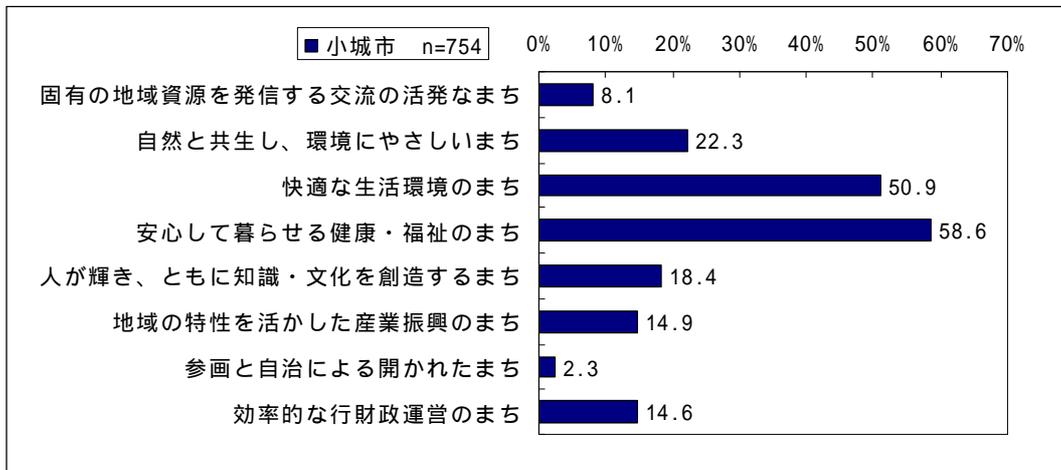
今後のまちづくりで重視すべき項目をたずねたところ、「安心して暮らせる健康・福祉のまち(健康・福祉分野)」(58.6%)及び「快適な生活環境のまち(生活基盤分野)」(50.9%)が僅差で上位を占め、“健康・福祉”、“生活基盤”分野を中心としたまちづくりに関心が集まっていることがうかがえる。その他では「自然と共生し、環境にやさしいまち(環境分野)」(22.3%)、「人が輝き、ともに知識・文化を創造するまち(教育・文化分野)」(18.4%)などの順となっている。[図表 57 参照]

これを性別でみると、男女ともに上位3位の回答項目は全体と同じ項目が挙げられており、男女間で回答の傾向に差はみられない。

年齢別でみると、すべての年代で上位2位の回答項目は全体と同様の回答結果となっているが、第3位の回答項目で若干の違いがみられる。30代・40代では「人が輝き、ともに知識・文化を創造するまち(教育・文化分野)」(27.5%・24.4%)、50代・60代・70歳以上では「自然と共生し、環境にやさしいまち(環境分野)」(26.0%・24.2%・21.9%)となっており、年代によって回答傾向に若干の違いがみられる。

居住地別でも、すべての地区で上位2位の回答項目は全体と同様の回答結果となっている。[図表 58 参照]

図表 57 まちづくりで重視すべき項目(全体 / 複数回答)



図表 58 まちづくりで重視すべき項目(全体・性別・年齢別・居住地別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		安心して暮らせる健康・福祉のまち 58.6	快適な生活環境のまち 50.9	自然と共生し、環境にやさしいまち 22.3
性別	男	安心して暮らせる健康・福祉のまち 50.8	快適な生活環境のまち 50.5	自然と共生し、環境にやさしいまち 22.4
	女	安心して暮らせる健康・福祉のまち 64.7	快適な生活環境のまち 51.2	自然と共生し、環境にやさしいまち / 人が輝き、ともに知識・文化を創造するまち 21.7
年齢別	10・20代	安心して暮らせる健康・福祉のまち 51.7	快適な生活環境のまち 44.8	自然と共生し、環境にやさしいまち / 人が輝き、ともに知識・文化を創造するまち 28.7
	30代	安心して暮らせる健康・福祉のまち 66.7	快適な生活環境のまち 53.9	人が輝き、ともに知識・文化を創造するまち 27.5
	40代	安心して暮らせる健康・福祉のまち 58.8	快適な生活環境のまち 55.5	人が輝き、ともに知識・文化を創造するまち 24.4
	50代	安心して暮らせる健康・福祉のまち 56.5	快適な生活環境のまち 54.2	自然と共生し、環境にやさしいまち 26.0
	60代	安心して暮らせる健康・福祉のまち 53.2	快適な生活環境のまち 51.6	自然と共生し、環境にやさしいまち 24.2
	70歳以上	安心して暮らせる健康・福祉のまち 64.0	快適な生活環境のまち 47.8	自然と共生し、環境にやさしいまち 21.9
居住地別	小城地区	安心して暮らせる健康・福祉のまち 57.2	快適な生活環境のまち 50.5	自然と共生し、環境にやさしいまち 23.7
	三日月地区	安心して暮らせる健康・福祉のまち 57.4	快適な生活環境のまち 53.6	自然と共生し、環境にやさしいまち 24.0
	牛津地区	安心して暮らせる健康・福祉のまち 64.2	快適な生活環境のまち 51.4	人が輝き、ともに知識・文化を創造するまち 21.2
	芦刈地区	安心して暮らせる健康・福祉のまち 56.3	快適な生活環境のまち 49.4	地域の特性を活かした産業振興のまち 27.6

(2) まちづくりで今後力を入れるべきと思うこと

問8 あなたは、今後、小城市のまちづくりについて特に力を入れるべきと思うことはな
んですか。【複数回答】

「高齢者福祉の充実」(33.4%)が第1位、「下水道・排水処理施設の整備」(33.0%)
が第2位、「医療体制の充実」(27.6%)が第3位。

重点的に取り組むべき施策をたずねたところ、「高齢者福祉の充実」(33.4%)が第1位、次いで「下水道・排水処理施設の整備」(33.0%)、「医療体制の充実」(27.6%)が上位3位に挙げられ、以下、「児童福祉・子育て支援の充実」(26.7%)、「若者の定住促進のための施策」(22.9%)などの順となっており、上位回答をみると、“医療・福祉”をはじめ、“下水道”、“若者定住”に関する施策への関心が強い傾向がみられた。

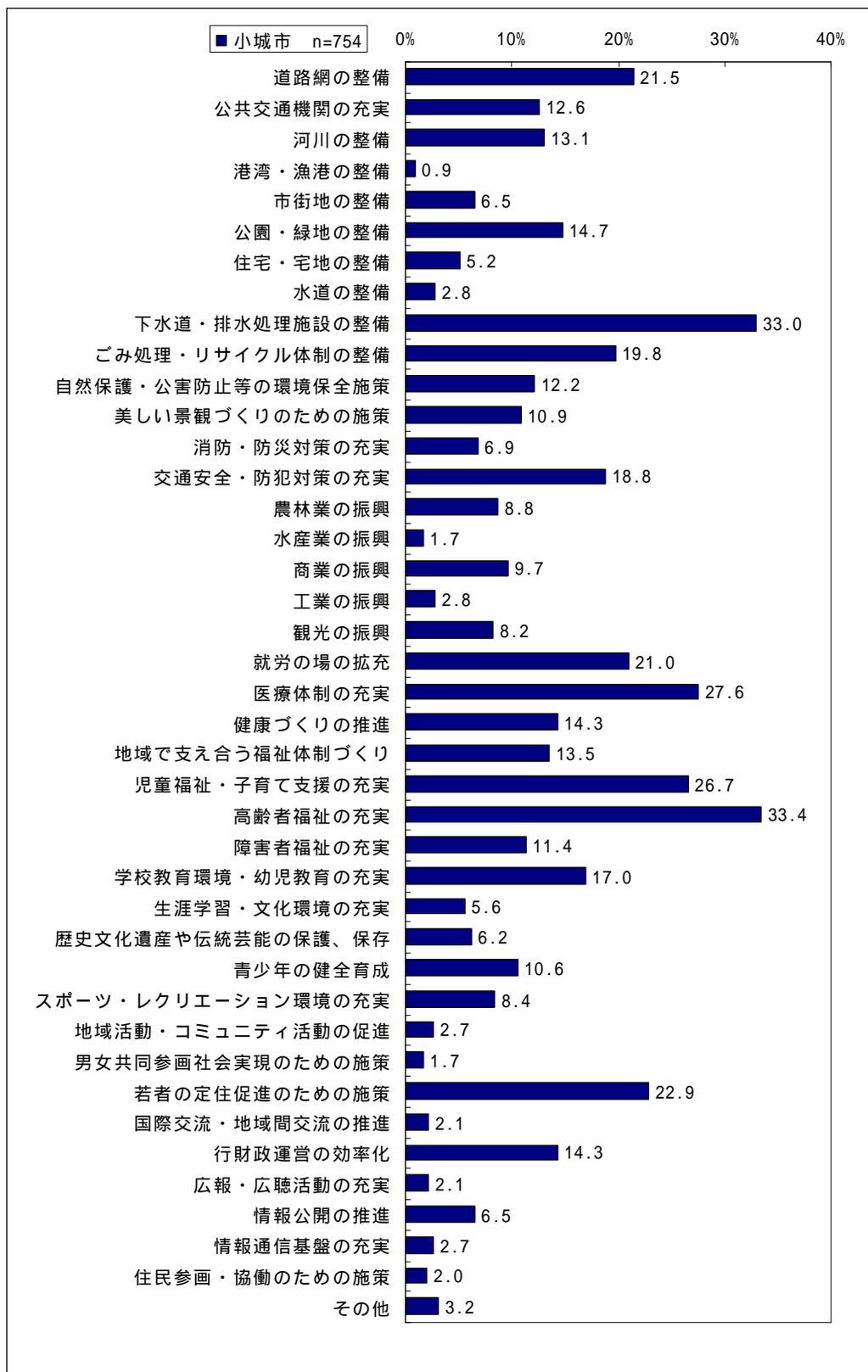
[図表 59 参照]

これを性別でみると、男性は「下水道・排水処理施設の整備」(35.9%)が第1位に挙げられているのに対し、女性は「高齢者福祉の充実」(31.5%)が第1位、僅差で「児童福祉・子育て支援の充実」(30.2%)が第2位に挙げられており、男女間で施策への関心に違いがみられる。

年齢別で第1位回答をみると、10・20代・30代では「児童福祉・子育て支援の充実」(32.2%・57.8%)、40代・50代では「下水道・排水処理施設の整備」(32.8%・39.7%)、60代・70歳以上では「高齢者福祉の充実」(41.1%・51.1%)となっており、年代によって施策への関心に違いがみられる。

居住地別でみると、小城地区・三日月地区では「下水道・排水処理施設の整備」(38.5%・37.7%)、牛津地区・芦刈地区では「高齢者福祉の充実」(35.2%・37.9%)が第1位となっている。[図表 60 参照]

図表 59 まちづくりで今後力を入れるべきと思うこと(全体 / 複数回答)



図表 60 まちづくりで今後力を入れるべきと思うこと

(全体・性別・年齢別・居住地別 / 複数回答)

(上位 5 位)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全体		高齢者福祉の充実 33.4	下水道・排水処理施設の整備 33.0	医療体制の充実 27.6	児童福祉・子育て支援の充実 26.7	若者の定住促進のための施策 22.9
性別	男	下水道・排水処理施設の整備 35.9	高齢者福祉の充実 32.9	道路網の整備 26.4	医療体制の充実 24.4	就労の場の拡充 24.1
	女	高齢者福祉の充実 31.5	児童福祉・子育て支援の充実 30.2	下水道・排水処理施設の整備 / 医療体制の充実 29.4	交通安全・防犯対策の充実 23.8	
年齢別	10・20代	児童福祉・子育て支援の充実 32.2	公園・緑地の整備 28.7	ごみ処理・リサイクル体制の整備 / スポーツ・レクリエーション環境の充実 27.6	医療体制の充実 26.4	
	30代	児童福祉・子育て支援の充実 57.8	医療体制の充実 35.3	交通安全・防犯対策の充実 / 学校教育環境・幼児教育の充実 31.4	就労の場の拡充 22.5	
	40代	下水道・排水処理施設の整備 32.8	医療体制の充実 31.9	学校教育環境・幼児教育の充実 26.9	就労の場の拡充 26.1	児童福祉・子育て支援の充実 / 行財政運営の効率化 22.7
	50代	下水道・排水処理施設の整備 39.7	高齢者福祉の充実 30.5	若者の定住促進のための施策 27.5	就労の場の拡充 26.7	道路網の整備 25.2
	60代	高齢者福祉の充実 41.1	下水道・排水処理施設の整備 39.5	児童福祉・子育て支援の充実 27.4	医療体制の充実 24.2	若者の定住促進のための施策 23.4
	70歳以上	高齢者福祉の充実 51.1	下水道・排水処理施設の整備 36.5	若者の定住促進のための施策 29.8	道路網の整備 28.7	医療体制の充実 26.4
居住地別	小城地区	下水道・排水処理施設の整備 38.5	高齢者福祉の充実 32.9	道路網の整備 27.2	医療体制の充実 26.9	児童福祉・子育て支援の充実 24.4
	三日月地区	下水道・排水処理施設の整備 37.7	高齢者福祉の充実 30.6	児童福祉・子育て支援の充実 26.2	交通安全・防犯対策の充実 / 医療体制の充実 23.5	
	牛津地区	高齢者福祉の充実 35.2	医療体制の充実 30.2	児童福祉・子育て支援の充実 28.5	ごみ処理・リサイクル体制の整備 23.5	若者の定住促進のための施策 21.8
	芦刈地区	高齢者福祉の充実 37.9	下水道・排水処理施設の整備 36.8	医療体制の充実 34.5	児童福祉・子育て支援の充実 / 若者の定住促進のための施策 29.9	

4 生活環境について

(1) 必要な施設整備

問9 あなたがお住まいの身近な生活環境のなかで、特にどのような施設の整備充実が必要だと思いますか。【複数回答】

「歩道と車道の分離促進」(35.0%)が第1位。次いで「下水道・生活排水路」(34.5%)、「街路灯・防犯灯」(31.3%)の順。

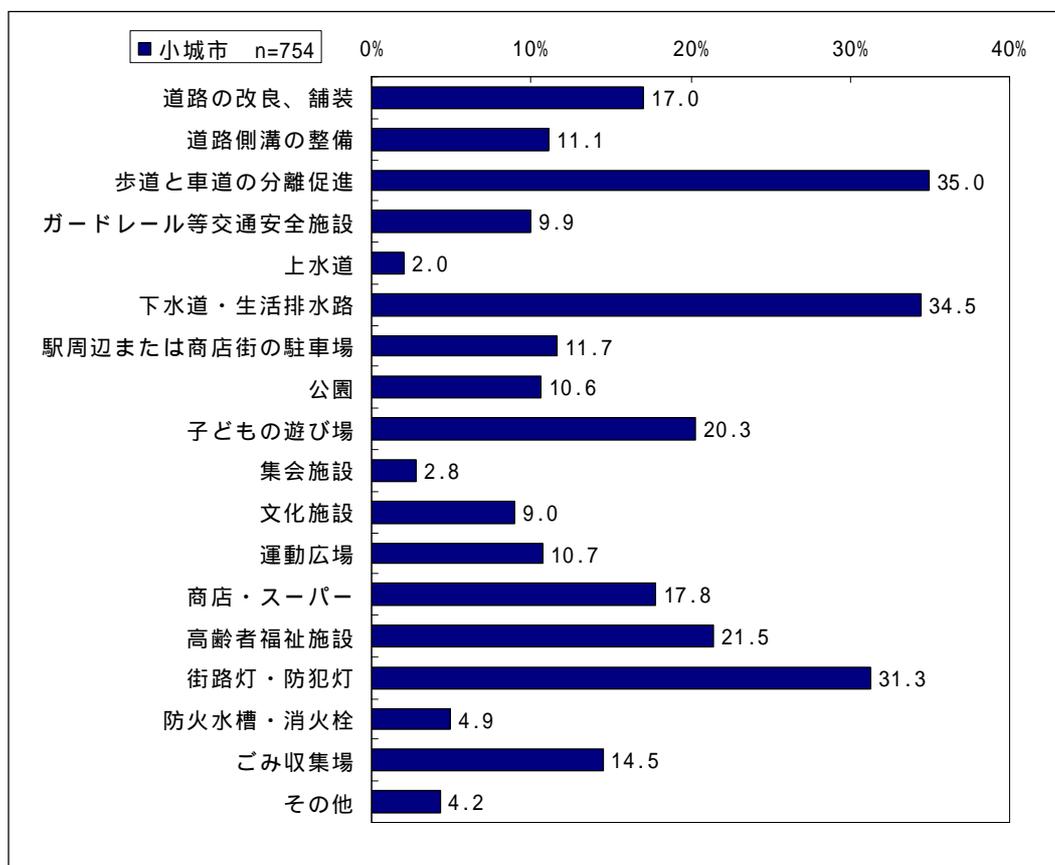
身近な生活環境で必要と思う施設整備についてたずねたところ、「歩道と車道の分離促進」(35.0%)が第1位に挙げられ、僅差で「下水道・生活排水路」(34.5%)が続き、「街路灯・防犯灯」(31.3%)が第3位に挙げられている。その他では「高齢者福祉施設」(21.5%)、「子どもの遊び場(ひろば)」(20.3%)、「商店・スーパー」(17.8%)などの順となっている。道路・下水道・福祉施設に関する項目が上位に挙げられており、関心が高いことがうかがえる。[図表 61 参照]

性別で見ると、男性では「下水道・生活排水路」(38.3%)、女性では「歩道と車道の分離促進」(37.6%)が第1位に挙げられている。

年齢別で見ると、10・20代・40代では「街路灯・防犯灯」(33.3%・42.2%)、30代では「歩道と車道の分離促進」(42.2%)、50代・60代・70歳以上では「下水道・生活排水路」(38.9%・41.9%・37.1%)が第1位であった。

居住地別で見ると、小城地区・芦刈地区では「下水道・生活排水路」(38.2%・43.7%)、三日月地区では「歩道と車道の分離促進」(44.3%)、牛津地区では「街路灯・防犯灯」(28.5%)が第1位となっており、居住地によって必要だと思う施設整備に違いがみられる。[図表 62 参照]

図表 61 必要な施設整備(全体 / 複数回答)



図表 62 必要な施設整備(全体・性別・年齢別・居住地別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		歩道と車道の分離促進 35.0	下水道・生活排水路 34.5	街路灯・防犯灯 31.3
性別	男	下水道・生活排水路 38.3	歩道と車道の分離促進 32.2	街路灯・防犯灯 29.2
	女	歩道と車道の分離促進 37.6	街路灯・防犯灯 34.5	下水道・生活排水路 30.4
年齢別	10・20代	街路灯・防犯灯 33.3	歩道と車道の分離促進 / 子どもの遊び場 27.6	
	30代	歩道と車道の分離促進 42.2	街路灯・防犯灯 35.3	子どもの遊び場 33.3
	40代	街路灯・防犯灯 42.9	歩道と車道の分離促進 42.0	下水道・生活排水路 36.1
	50代	下水道・生活排水路 38.9	歩道と車道の分離促進 35.1	街路灯・防犯灯 34.4
	60代	下水道・生活排水路 41.9	歩道と車道の分離促進 35.5	高齢者福祉施設 29.8
	70歳以上	下水道・生活排水路 37.1	高齢者福祉施設 33.1	歩道と車道の分離促進 29.2
居住地別	小城地区	下水道・生活排水路 38.2	歩道と車道の分離促進 36.7	街路灯・防犯灯 34.6
	三日月地区	歩道と車道の分離促進 44.3	下水道・生活排水路 35.5	街路灯・防犯灯 33.9
	牛津地区	街路灯・防犯灯 28.5	歩道と車道の分離促進 27.4	子どもの遊び場 26.8
	芦刈地区	下水道・生活排水路 43.7	商店・スーパー 41.4	歩道と車道の分離促進 / 高齢者福祉施設 26.4

5 消防・防災などの危機管理について

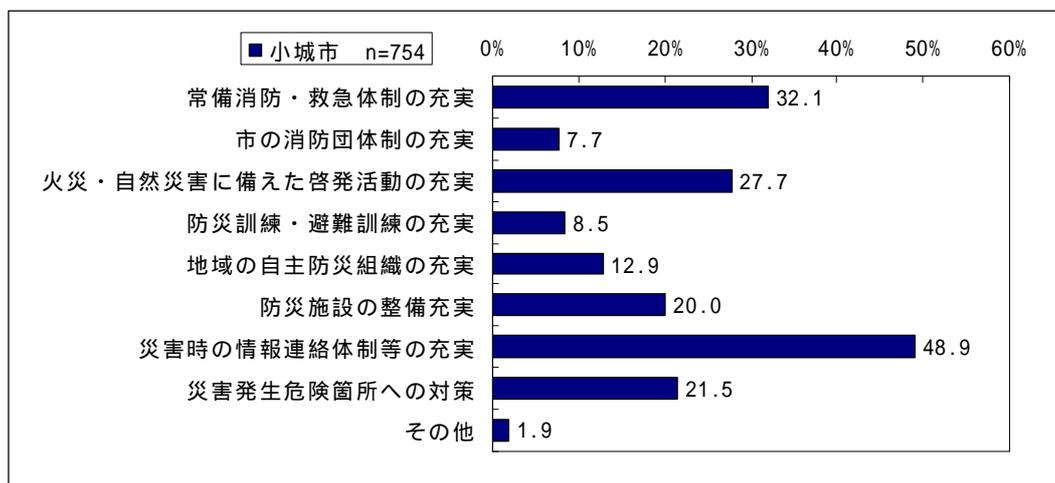
(1) 消防・防災体制について

問 10 あなたは、市の消防・防災体制などの危機管理について、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「災害時の情報連絡体制や伝達システムの充実」(48.9%)が他を大きく引き離して第1位。次いで「常備消防・救急体制(消防署)の充実」(32.1%)、「火災・自然災害に備えた啓発活動の充実」(27.7%)の順。

市の消防・防災体制で重視すべき点をたずねたところ、「災害時の情報連絡体制や伝達システムの充実」(48.9%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、迅速な災害情報伝達への要望が強いことがうかがえる。次いで「常備消防・救急体制(消防署)の充実」(32.1%)、「火災・自然災害に備えた啓発活動の充実」(27.7%)が続き、以下、「災害発生危険箇所への対策」(21.5%)、「防災施設(避難場所や防火水槽など)の整備充実」(20.0%)などの順となっている。[図表 63 参照]

図表 63 消防・防災体制について(全体 / 複数回答)



図表 64 消防・防災体制について(全体・性別・年齢別・居住地別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		災害時の情報連絡体制等の充実 48.9	常備消防・救急体制の充実 32.1	火災・自然災害に備えた啓発活動の充実 27.7
性別	男	災害時の情報連絡体制等の充実 50.2	常備消防・救急体制の充実 34.9	火災・自然災害に備えた啓発活動の充実 28.8
	女	災害時の情報連絡体制等の充実 48.8	常備消防・救急体制の充実 30.7	火災・自然災害に備えた啓発活動の充実 27.1
年齢別	10・20代	災害時の情報連絡体制等の充実 47.1	常備消防・救急体制の充実 / 火災・自然災害に備えた啓発活動の充実 28.7	
	30代	災害時の情報連絡体制等の充実 52.9	常備消防・救急体制の充実 39.2	火災・自然災害に備えた啓発活動の充実 28.4
	40代	災害時の情報連絡体制等の充実 61.3	常備消防・救急体制の充実 32.8	火災・自然災害に備えた啓発活動の充実 26.1
	50代	災害時の情報連絡体制等の充実 51.9	常備消防・救急体制の充実 35.9	火災・自然災害に備えた啓発活動の充実 27.5
	60代	災害時の情報連絡体制等の充実 50.8	火災・自然災害に備えた啓発活動の充実 31.5	常備消防・救急体制の充実 25.0
	70歳以上	災害時の情報連絡体制等の充実 36.5	常備消防・救急体制の充実 32.0	火災・自然災害に備えた啓発活動の充実 25.8
居住地別	小城地区	災害時の情報連絡体制等の充実 50.5	常備消防・救急体制の充実 34.6	火災・自然災害に備えた啓発活動の充実 31.1
	三日月地区	災害時の情報連絡体制等の充実 48.1	常備消防・救急体制の充実 31.1	火災・自然災害に備えた啓発活動の充実 25.7
	牛津地区	災害時の情報連絡体制等の充実 46.4	常備消防・救急体制の充実 28.5	災害発生危険箇所への対策 26.3
	芦刈地区	災害時の情報連絡体制等の充実 54.0	常備消防・救急体制の充実 31.0	火災・自然災害に備えた啓発活動の充実 24.1

6 土地利用・景観について

(1) 優先的に整備していきべき用地

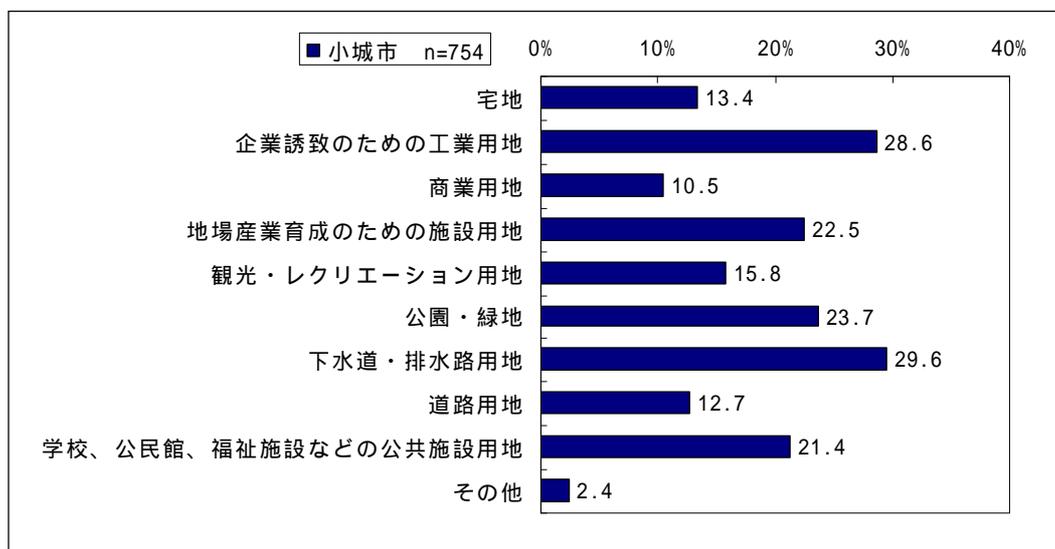
問 11 今後の市勢の発展に向けて、計画的な土地の利用を進めていくことが必要になりますが、優先的に整備していくとしたらどの用地だと思いますか。【複数回答】

「下水道・排水路用地」(29.6%)が第1位。次いで「企業誘致のための工業用地」(28.6%)、「公園・緑地」(23.7%)の順。

現在の小城市の土地利用についてたずねたところ、「下水道・排水路用地」(29.6%)が第1位に挙げられ、次いで「企業誘致のための工業用地」(28.6%)、「公園・緑地」(23.7%)などの順となっている。[図表 65 参照]

これを居住地別で第1位回答をみると、小城地区・三日月地区では「下水道・排水路用地」(36.7%・31.7%)、牛津地区では「公園・緑地」(32.4%)、芦刈地区では「企業誘致のための工業用地」(46.0%)がそれぞれ第1位に挙げられている。[図表 66 参照]

図表 65 優先的に整備していきべき用地(全体/複数回答)



図表 66 優先的に整備していきべき用地(全体・性別・年齢別・居住地別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		下水道・排水路用地 29.6	企業誘致のための工業用地 28.6	公園・緑地 23.7
性別	男	企業誘致のための工業用地 33.9	下水道・排水路用地 30.5	地場産業育成のための施設用地 24.1
	女	下水道・排水路用地 28.6	企業誘致のための工業用地 25.6	公園・緑地 25.3
年齢別	10・20代	公園・緑地 44.8	観光・レクリエーション用地 35.6	下水道・排水路用地 24.1
	30代	学校、公民館、福祉施設などの公共施設用地 38.2	公園・緑地 29.4	下水道・排水路用地 20.6
	40代	下水道・排水路用地 29.4	公園・緑地 27.7	企業誘致のための工業用地 26.9
	50代	企業誘致のための工業用地 31.3	下水道・排水路用地 30.5	地場産業育成のための施設用地 25.2
	60代	下水道・排水路用地 41.1	企業誘致のための工業用地 40.3	地場産業育成のための施設用地 26.6
	70歳以上	企業誘致のための工業用地 34.3	地場産業育成のための施設用地 30.9	下水道・排水路用地 27.5
居住地別	小城地区	下水道・排水路用地 36.7	地場産業育成のための施設用地 25.1	企業誘致のための工業用地 23.7
	三日月地区	下水道・排水路用地 31.7	公園・緑地 28.4	企業誘致のための工業用地 26.2
	牛津地区	公園・緑地 32.4	企業誘致のための工業用地 31.3	学校、公民館、福祉施設などの公共施設用地 25.1
	芦刈地区	企業誘致のための工業用地 46.0	地場産業育成のための施設用地 32.2	下水道・排水路用地 27.6

(2) 守り・育てたい景観

問 12 美しい自然環境や歴史的景観など、小城市ならではの景観を守るため、あなたが守りたい・育てたいと思う景観は何ですか。

守りたい・育てたい景観として代表的な意見は、「小城公園」、「有明海」、「河川」などの自然環境が多く、その他「赤れんが館」や「遺跡」などの歴史・文化資源などのある街並みに対する意見が代表的な意見として挙げられる。

小城市ならではの景観について、守りたい・育てたいと思う景観についてたずねたところ、意見数は344件あった。[参考資料 参照]

図表 67 守り・育てたい景観

年代	性別	意見数
10・20代	男性	16
	女性	23
	不明	1
10・20代計		40
30代	男性	18
	女性	32
	不明	1
30代計		51
40代	男性	23
	女性	30
	不明	4
40代計		57
50代	男性	27
	女性	31
	不明	6
50代計		64
60代	男性	25
	女性	17
	不明	1
60代計		43
70歳以上	男性	33
	女性	40
	不明	10
70歳以上計		83
不明	不明	6
不明計		6
総計		344

7 保健・医療・福祉について

(1) 保健・医療対策について

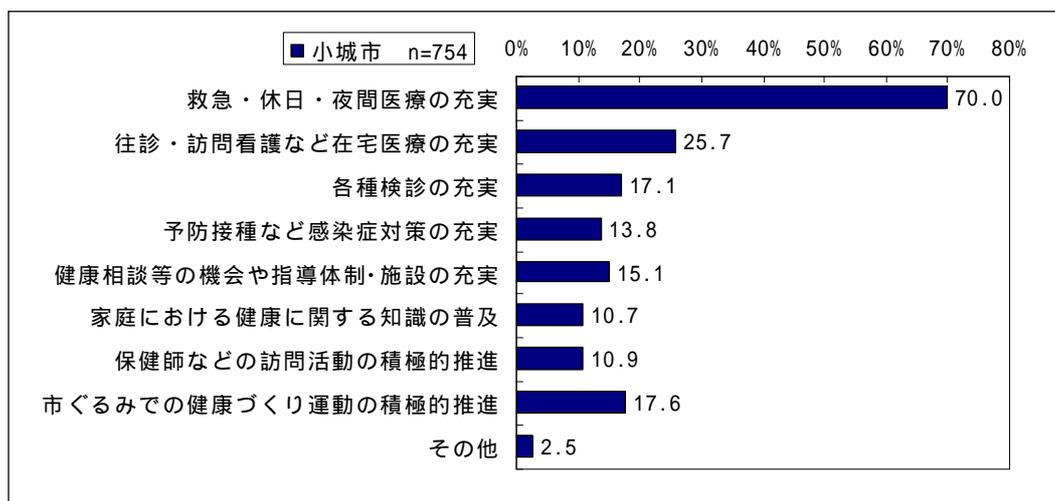
問 13 あなたは、保健・医療対策について特にどのようなことを望まれますか。
【複数回答】

「救急・休日・夜間医療の充実」が70.0%で他を大きく引き離して第1位。

保健・医療対策について望むことをたずねたところ、「救急・休日・夜間医療の充実」(70.0%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられており、救急時の医療体制の整備に対する要望が強い結果となっている。その他では「往診・訪問看護など在宅医療の充実」(25.7%)、「市ぐるみでの健康づくり運動の積極的推進」(17.6%)、「各種検診の充実」(17.1%)などの順となっている。[図表 68 参照]

これを性別、年齢別、居住地別でも、すべての層で全体と同様に「救急・休日・夜間医療の充実」が第1位に挙げられている。[図表 69 参照]

図表 68 保健・医療対策について(全体 / 複数回答)



図表 69 保健・医療対策について(全体・性別・年齢別・居住地別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		救急・休日・夜間医療の充実 70.0	往診・訪問看護など在宅医療の充実 25.7	市ぐるみでの健康づくり運動の積極的推進 17.6
性別	男	救急・休日・夜間医療の充実 67.5	往診・訪問看護など在宅医療の充実 24.1	市ぐるみでの健康づくり運動の積極的推進 21.4
	女	救急・休日・夜間医療の充実 72.9	往診・訪問看護など在宅医療の充実 26.9	健康相談等の機会や指導体制・施設の充実 15.3
年齢別	10・20代	救急・休日・夜間医療の充実 77.0	予防接種など感染症対策の充実 26.4	往診・訪問看護など在宅医療の充実 21.8
	30代	救急・休日・夜間医療の充実 81.4	各種検診の充実 24.5	往診・訪問看護など在宅医療の充実 19.6
	40代	救急・休日・夜間医療の充実 84.0	往診・訪問看護など在宅医療の充実 21.8	各種検診の充実 20.2
	50代	救急・休日・夜間医療の充実 67.9	市ぐるみでの健康づくり運動の積極的推進 25.2	往診・訪問看護など在宅医療の充実 / 健康相談等の機会や指導体制・施設の充実 22.9
	60代	救急・休日・夜間医療の充実 64.5	往診・訪問看護など在宅医療の充実 25.0	市ぐるみでの健康づくり運動の積極的推進 23.4
	70歳以上	救急・休日・夜間医療の充実 56.7	往診・訪問看護など在宅医療の充実 35.4	市ぐるみでの健康づくり運動の積極的推進 20.8
居住地別	小城地区	救急・休日・夜間医療の充実 68.9	往診・訪問看護など在宅医療の充実 26.1	市ぐるみでの健康づくり運動の積極的推進 19.4
	三日月地区	救急・休日・夜間医療の充実 74.3	往診・訪問看護など在宅医療の充実 22.4	各種検診の充実 16.9
	牛津地区	救急・休日・夜間医療の充実 68.2	往診・訪問看護など在宅医療の充実 25.7	健康相談等の機会や指導体制・施設の充実 20.1
	芦刈地区	救急・休日・夜間医療の充実 69.0	往診・訪問看護など在宅医療の充実 28.7	予防接種など感染症対策の充実 18.4

(2) 高齢社会への対応

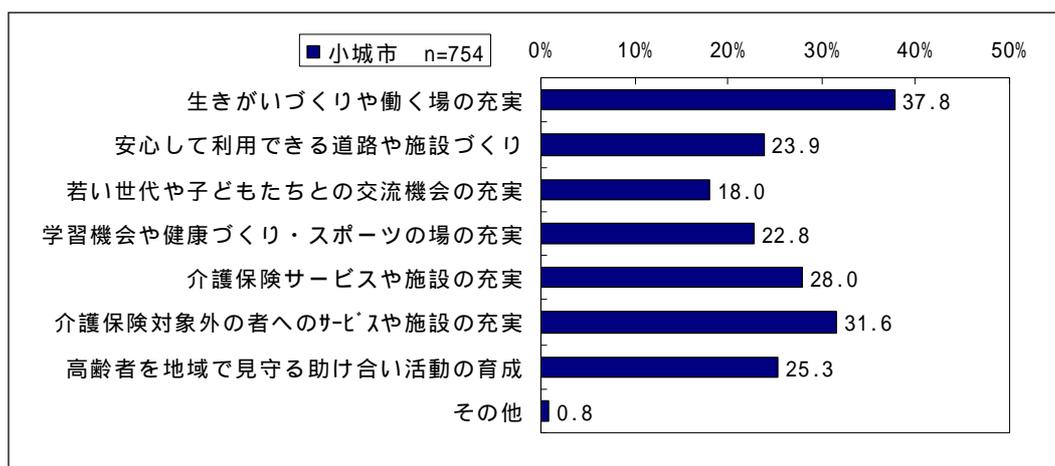
問 14 高齢者が安心して暮らせる社会を築くため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「高齢者の生きがいがづくりや働く場の充実」(37.8%)が第1位。次いで「介護保険対象外の高齢者に対する保健福祉サービスや施設の充実」(31.6%)、「要介護高齢者等に対する介護保険サービスや施設の充実」(28.0%)の順。

高齢社会に対応するために重視すべきことは、「高齢者の生きがいがづくりや働く場の充実」(37.8%)が第1位に挙げられ、高齢者の就労の場の確保や生きがいが求められていることがうかがえる。次いで「介護保険対象外の高齢者に対する保健福祉サービスや施設の充実」(31.6%)、「要介護高齢者等に対する介護保険サービスや施設の充実」(28.0%)、「高齢者を地域で見守るような市民の助け合い活動の育成」(25.3%)、「高齢者でも安心して利用できる道路づくりや施設づくり」(23.9%)などの順となっている。[図表 70 参照]

これを性別、年齢別、居住地別で見ると、ほとんどの層で「高齢者の生きがいがづくりや働く場の充実」が第1位に挙げられているが、年齢別の70歳以上では、全体で第4位の「高齢者を地域で見守るような市民の助け合い活動の育成」(36.0%)が第1位に挙げられている。[図表 71 参照]

図表 70 高齢社会への対応(全体 / 複数回答)



図表 71 高齢社会への対応(全体・性別・年齢別・居住地別 / 複数回答)

(上位 3 位)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		生きがいづくりや働く場の充実 37.8	介護保険対象外の者へのサービスや施設の充実 31.6	介護保険サービスや施設の充実 28.0
性別	男	生きがいづくりや働く場の充実 40.0	介護保険対象外の者へのサービスや施設の充実 31.5	介護保険サービスや施設の充実 29.2
	女	生きがいづくりや働く場の充実 37.3	介護保険対象外の者へのサービスや施設の充実 31.7	介護保険サービスや施設の充実 27.6
年齢別	10・20代	生きがいづくりや働く場の充実 37.9	安心して利用できる道路や施設づくり 34.5	介護保険サービスや施設の充実 / 介護保険対象外の者へのサービスや施設の充実 28.7
	30代	生きがいづくりや働く場の充実 50.0	介護保険対象外の者へのサービスや施設の充実 33.3	介護保険サービスや施設の充実 22.5
	40代	生きがいづくりや働く場の充実 38.7	介護保険対象外の者へのサービスや施設の充実 35.3	介護保険サービスや施設の充実 31.1
	50代	生きがいづくりや働く場の充実 38.9	学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実 32.1	介護保険対象外の者へのサービスや施設の充実 30.5
	60代	生きがいづくりや働く場の充実 40.3	介護保険対象外の者へのサービスや施設の充実 32.3	学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実 30.6
	70歳以上	高齢者を地域で見守る助け合い活動の育成 36.0	介護保険対象外の者へのサービスや施設の充実 30.9	介護保険サービスや施設の充実 30.3
居住地別	小城地区	生きがいづくりや働く場の充実 38.9	介護保険対象外の者へのサービスや施設の充実 32.5	高齢者を地域で見守る助け合い活動の育成 26.1
	三日月地区	生きがいづくりや働く場の充実 35.0	安心して利用できる道路や施設づくり 30.6	介護保険サービスや施設の充実 27.3
	牛津地区	生きがいづくりや働く場の充実 41.3	介護保険対象外の者へのサービスや施設の充実 31.8	高齢者を地域で見守る助け合い活動の育成 29.6
	芦刈地区	介護保険サービスや施設の充実 / 介護保険対象外の者へのサービスや施設の充実 42.5		生きがいづくりや働く場の充実 34.5

(3) 障害者福祉について

問 15 障害のある人が生き生きと暮らせるようにするため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

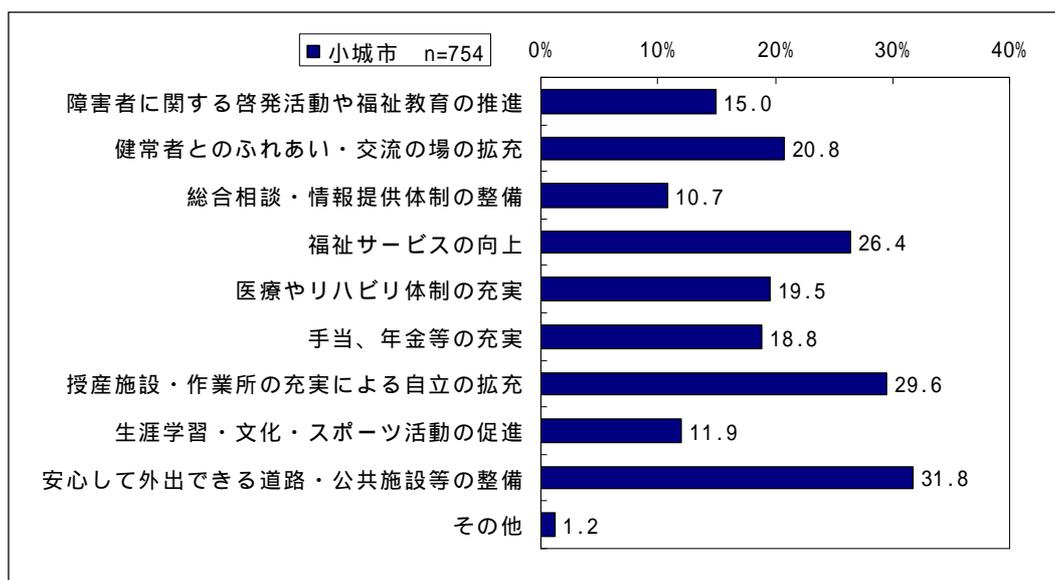
「安心して外出できる道路・公共施設等の整備」(31.8%)が第1位。次いで「授産施設・作業所の充実による自立の拡充」(29.6%)、「福祉サービスの向上」(26.4%)の順。

障害者福祉についてたずねたところ、「障害者が安心して外出できるための道路・公共施設等の整備」(31.8%)が第1位に挙げられ、次いで「授産施設・作業所の充実や就労促進等による自立の場の拡充」(29.6%)、「障害者に対する福祉サービスの向上」(26.4%)、「健常者とのふれあい・交流の場の拡充」(20.8%)、「障害者のための医療やリハビリ体制の充実」(19.5%)が続き、多様な取り組みが求められていることがうかがえる。[図表 72 参照]

これを性別で第1位回答をみると、男性では「障害者に対する福祉サービスの向上」(29.8%)、女性では「障害者が安心して外出できるための道路・公共施設等の整備」(36.6%)が第1位となっている。

年齢別で第1位回答をみると、10・20代・30代・70歳以上では「障害者が安心して外出できるための道路・公共施設等の整備」(35.6%・42.2%・29.8%)、40代・50代・60代では「授産施設・作業所の充実や就労促進等による自立の場の拡充」(38.7%・31.3%・29.0%)が第1位となっている。[図表 73 参照]

図表 72 障害者福祉について(全体 / 複数回答)



図表 73 障害者福祉について(全体・性別・年齢別・居住地別/複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		安心して外出できる道路・公共施設等の整備 31.8	授産施設・作業所の充実による自立の拡充 29.6	福祉サービスの向上 26.4
性別	男	福祉サービスの向上 29.8	授産施設・作業所の充実による自立の拡充 26.4	安心して外出できる道路・公共施設等の整備 26.1
	女	安心して外出できる道路・公共施設等の整備 36.6	授産施設・作業所の充実による自立の拡充 33.8	健常者とのふれあい・交流の場の拡充/福祉サービスの向上 22.8
年齢別	10・20代	安心して外出できる道路・公共施設等の整備 35.6	福祉サービスの向上 26.4	健常者とのふれあい・交流の場の拡充 23.0
	30代	安心して外出できる道路・公共施設等の整備 42.2	授産施設・作業所の充実による自立の拡充 35.3	健常者とのふれあい・交流の場の拡充 20.6
	40代	授産施設・作業所の充実による自立の拡充 38.7	安心して外出できる道路・公共施設等の整備 35.3	福祉サービスの向上 24.4
	50代	授産施設・作業所の充実による自立の拡充 31.3	安心して外出できる道路・公共施設等の整備 29.0	福祉サービスの向上 26.7
	60代	授産施設・作業所の充実による自立の拡充 29.0	福祉サービスの向上 26.6	安心して外出できる道路・公共施設等の整備 25.0
	70歳以上	安心して外出できる道路・公共施設等の整備 29.8	福祉サービスの向上 29.2	授産施設・作業所の充実による自立の拡充 24.2
居住地別	小城地区	安心して外出できる道路・公共施設等の整備 37.8	授産施設・作業所の充実による自立の拡充 29.0	福祉サービスの向上 24.4
	三日月地区	授産施設・作業所の充実による自立の拡充/安心して外出できる道路・公共施設等の整備 31.7		福祉サービスの向上 26.2
	牛津地区	授産施設・作業所の充実による自立の拡充 30.7	安心して外出できる道路・公共施設等の整備 30.2	福祉サービスの向上 26.8
	芦刈地区	健常者とのふれあい・交流の場の拡充/福祉サービスの向上 27.6		授産施設・作業所の充実による自立の拡充 25.3

(4) 子育て環境について

問 16 子育て環境を充実していくために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

問 16 付問 具体的にどのような内容ですか。【「保育所を充実する」と回答した人のみ】

「保育所を充実する」(36.7%)が第1位。次いで「子育てに関する相談・学習・交流の場を充実する」(33.4%)、「学童保育を充実する」(28.1%)の順。

保育所の充実要望は「保育時間の延長」(42.6%)が4割強を占めて第1位。次いで「保育所の施設の充実」(26.0%)、「一時保育の拡充」(20.6%)の順。

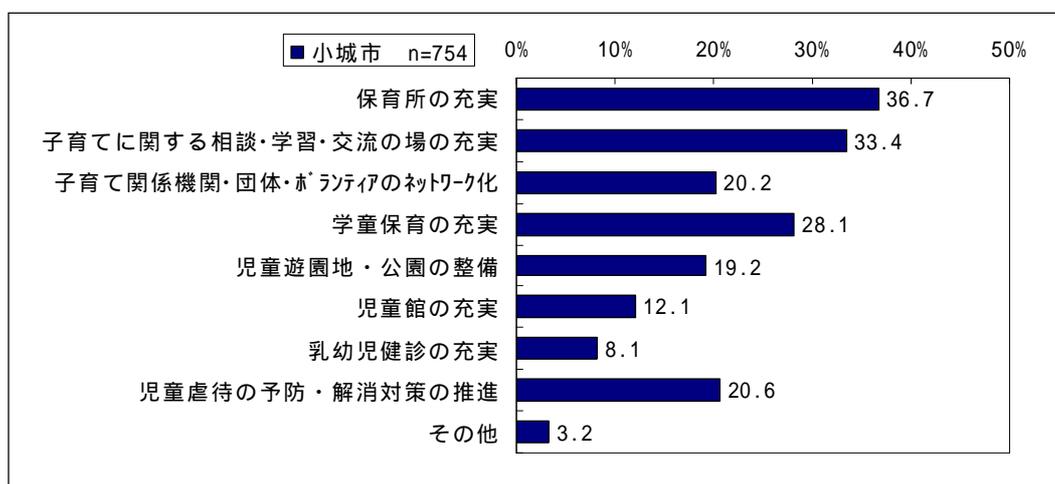
子育て環境の充実のために重視すべき施策についてたずねたところ、「保育所を充実する」(36.7%)が第1位に挙げられ、次いで「子育てに関する相談・学習・交流の場を充実する」(33.4%)、「学童保育を充実する」(28.1%)が続き、これらが他をやや引き離して3大要望となっている。その他には、「児童虐待の予防・解消対策を進める」(20.6%)、「子育て関係機関・団体・ボランティアのネットワーク化を図る」(20.2%)などの順となっている。[図表74参照]

これを性別でみると、男性・女性ともに上位3位の回答は全体と同様になっている。

年齢別でみると、ほとんどの年代で「保育所を充実する」が第1位に挙げられているものの、50代では「子育てに関する相談・学習・交流の場を充実する」(44.3%)が第1位に挙げられている。[図表75参照]

また、「保育所を充実する」と回答した人(全体の36.7%・277人)に、その具体的な内容をたずねたところ、「保育時間の延長」(42.6%)が約4割で最も多く、延長保育や夜間保育に対する要望が強いことがうかがえる。その他では「保育所の施設の充実」(26.0%)、「一時保育の拡充」(20.6%)などが2~3割を占めている。[図表76参照]

図表74 子育て環境について(全体/複数回答)

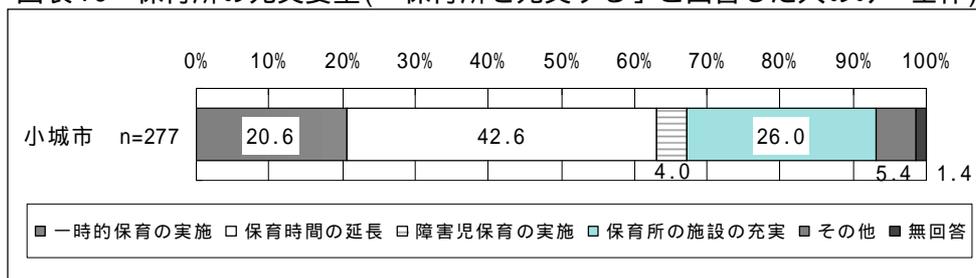


図表 75 子育て環境について(全体・性別・年齢別・居住地別 / 複数回答)

(上位 3 位)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		保育所の充実 36.7	子育てに関する相談・学 習・交流の場の充実 33.4	学童保育の充実 28.1
性別	男	保育所の充実 38.3	子育てに関する相談・学 習・交流の場の充実 33.6	学童保育の充実 27.1
	女	保育所の充実 36.6	子育てに関する相談・学 習・交流の場の充実 33.0	学童保育の充実 29.4
年齢別	10・20代	保育所の充実 37.9	子育てに関する相談・学 習・交流の場の充実 / 児童遊 園地・公園の整備 28.7	
	30代	保育所の充実 35.3	子育てに関する相談・学 習・交流の場の充実 30.4	児童遊園地・公園の整備 26.5
	40代	保育所の充実 36.1	学童保育の充実 33.6	子育てに関する相談・学 習・交流の場の充実 28.6
	50代	子育てに関する相談・学 習・交流の場の充実 44.3	保育所の充実 34.4	子育て関係機関・団体・ボラ ンティアのネットワーク化 27.5
	60代	保育所の充実 38.7	学童保育の充実 37.1	子育てに関する相談・学 習・交流の場の充実 33.9
	70歳以上	保育所の充実 37.1	子育てに関する相談・学 習・交流の場の充実 33.1	学童保育の充実 23.6
居住地別	小城地区	保育所の充実 37.1	子育てに関する相談・学 習・交流の場の充実 34.3	学童保育の充実 32.2
	三日月地区	保育所の充実 39.3	子育てに関する相談・学 習・交流の場の充実 36.1	児童遊園地・公園の整備 23.5
	牛津地区	子育てに関する相談・学 習・交流の場の充実 31.3	保育所の充実 30.7	学童保育の充実 29.6
	芦刈地区	保育所の充実 40.2	子育てに関する相談・学 習・交流の場の充実 29.9	学童保育の充実 23.0

図表 76 保育所の充実要望(「保育所を充実する」と回答した人のみ・全体)



8 産業振興について

(1) 農林業振興について

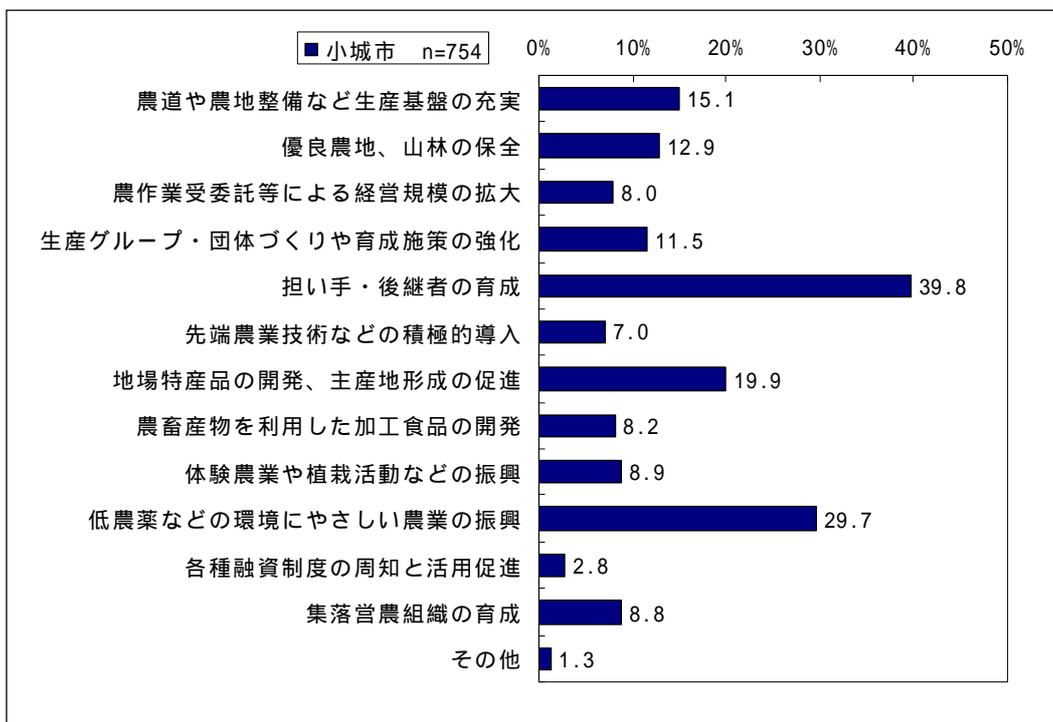
問 17 あなたは、市の農林業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「担い手・後継者の育成」(39.8%)が他を引き離して第1位。次いで「低農薬・有機栽培など環境にやさしい農業の振興」(29.7%)、「地場特産品の開発、主産地形成の促進」(19.9%)の順。

農業の振興に必要な取り組みについては、「担い手・後継者の育成」(39.8%)が他を引き離して第1位に挙げられ、農業後継者対策が強く求められているといえる。次いで第2位が「低農薬・有機栽培など環境にやさしい農業の振興」(29.7%)、第3位が「地場特産品の開発、主産地形成の促進」(19.9%)と続き、以下、「農道、用・排水施設の整備や農地整備、林道整備など生産基盤の充実」(15.1%)、「優良農地、山林の保全」(12.9%)などの順となっている。[図表 77 参照]

これに対して業種別の分類による第1次産業従事者(全体の8.8%・66人)の回答をみると、第1位が「担い手・後継者の育成」(50.0%)、第2位が「集落営農組織の育成」(21.2%)、第3位が「農道、用・排水施設の整備や農地整備、林道整備など生産基盤の充実」(18.2%)などの順となっている。全体で第1位の「担い手・後継者の育成」は、第1次産業従事者でも第1位に挙げられており、農業後継者対策に対する要望が強い結果となっている。しかし、第2位、第3位回答では全体と当事者で回答結果に相違がみられる。[図表 78 参照]

図表 77 農林業振興について(全体 / 複数回答)



図表 78 農林業振興について(全体・性別・年齢別・居住地別・業種別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		担い手・後継者の育成 39.8	低農薬などの環境にやさしい農業の振興 29.7	地場特産品の開発、主産地形成の促進 19.9
性別	男	担い手・後継者の育成 40.7	地場特産品の開発、主産地形成の促進 23.1	低農薬などの環境にやさしい農業の振興 22.4
	女	担い手・後継者の育成 40.2	低農薬などの環境にやさしい農業の振興 35.5	地場特産品の開発、主産地形成の促進 17.9
年齢別	10・20代	担い手・後継者の育成 43.7	低農薬などの環境にやさしい農業の振興 36.8	農道や農地整備など生産基盤の充実 18.4
	30代	担い手・後継者の育成 33.3	低農薬などの環境にやさしい農業の振興 30.4	地場特産品の開発、主産地形成の促進 21.6
	40代	担い手・後継者の育成 / 低農薬などの環境にやさしい農業の振興 36.1		地場特産品の開発、主産地形成の促進 27.7
	50代	担い手・後継者の育成 47.3	低農薬などの環境にやさしい農業の振興 29.0	地場特産品の開発、主産地形成の促進 22.1
	60代	担い手・後継者の育成 36.3	低農薬などの環境にやさしい農業の振興 26.6	地場特産品の開発、主産地形成の促進 20.2
	70歳以上	担い手・後継者の育成 41.6	低農薬などの環境にやさしい農業の振興 24.7	農道や農地整備など生産基盤の充実 16.9
居住地別	小城地区	担い手・後継者の育成 42.8	低農薬などの環境にやさしい農業の振興 31.1	地場特産品の開発、主産地形成の促進 20.1
	三日月地区	担い手・後継者の育成 38.3	低農薬などの環境にやさしい農業の振興 28.4	地場特産品の開発、主産地形成の促進 21.3
	牛津地区	担い手・後継者の育成 37.4	低農薬などの環境にやさしい農業の振興 31.8	地場特産品の開発、主産地形成の促進 19.6
	芦刈地区	担い手・後継者の育成 39.1	低農薬などの環境にやさしい農業の振興 26.4	地場特産品の開発、主産地形成の促進 18.4
業種別	第1次産業	担い手・後継者の育成 50.0	集落営農組織の育成 21.2	農道や農地整備など生産基盤の充実 18.2
	第2次産業	担い手・後継者の育成 36.8	低農薬などの環境にやさしい農業の振興 23.7	農道や農地整備など生産基盤の充実 18.4
	第3次産業	担い手・後継者の育成 34.7	低農薬などの環境にやさしい農業の振興 32.5	地場特産品の開発、主産地形成の促進 22.8
	その他	担い手・後継者の育成 43.3	低農薬などの環境にやさしい農業の振興 34.3	地場特産品の開発、主産地形成の促進 19.3

(2)水産業振興について

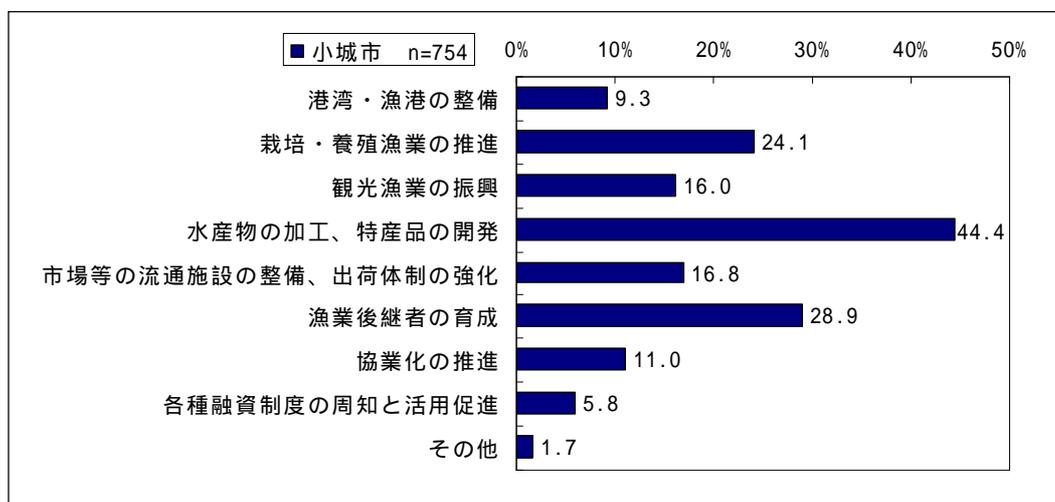
問 18 あなたは、市の水産業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「水産物の加工、特産品の開発」(44.4%)が他を大きく引き離して第1位。次いで「漁業後継者の育成」(28.9%)、「栽培・養殖漁業の推進」(24.1%)の順。

水産業の振興に必要な取り組みについては、「水産物の加工、特産品の開発」(44.4%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「漁業後継者の育成」(28.9%)が第2位、以下「栽培・養殖漁業の推進」(24.1%)などの順となっている。[図表 79 参照]

これに対して業種別の分類による第1次産業従事者(全体の8.8%・66人)の回答を見ると、上位3位の項目は全体と同様だが、全体で第2位の「漁業後継者の育成」と第3位の「栽培・養殖漁業の推進」が逆転している。[図表 80 参照]

図表 79 水産業振興について(全体/複数回答)



図表 80 水産業振興について(全体・性別・年齢別・居住地別・業種別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		水産物の加工、特産品の開発 44.4	漁業後継者の育成 28.9	栽培・養殖漁業の推進 24.1
性別	男	水産物の加工、特産品の開発 48.1	栽培・養殖漁業の推進 31.2	漁業後継者の育成 30.2
	女	水産物の加工、特産品の開発 42.7	漁業後継者の育成 28.4	栽培・養殖漁業の推進 19.2
年齢別	10・20代	水産物の加工、特産品の開発 47.1	漁業後継者の育成 27.6	市場等の流通施設の整備、出荷体制の強化 20.7
	30代	水産物の加工、特産品の開発 40.2	漁業後継者の育成 25.5	観光漁業の振興 20.6
	40代	水産物の加工、特産品の開発 47.1	漁業後継者の育成 29.4	市場等の流通施設の整備、出荷体制の強化 21.0
	50代	水産物の加工、特産品の開発 45.8	漁業後継者の育成 38.2	栽培・養殖漁業の推進 31.3
	60代	水産物の加工、特産品の開発 41.9	栽培・養殖漁業の推進 31.5	漁業後継者の育成 24.2
	70歳以上	水産物の加工、特産品の開発 43.8	漁業後継者の育成 28.1	栽培・養殖漁業の推進 24.7
居住地別	小城地区	水産物の加工、特産品の開発 44.2	漁業後継者の育成 31.8	栽培・養殖漁業の推進 27.2
	三日月地区	水産物の加工、特産品の開発 39.3	漁業後継者の育成 30.1	栽培・養殖漁業の推進 21.3
	牛津地区	水産物の加工、特産品の開発 45.8	漁業後継者の育成 25.1	栽培・養殖漁業の推進 23.5
	芦刈地区	水産物の加工、特産品の開発 51.7	漁業後継者の育成 27.6	栽培・養殖漁業の推進 21.8
業種別	第1次産業	水産物の加工、特産品の開発 34.8	栽培・養殖漁業の推進 27.3	漁業後継者の育成 25.8
	第2次産業	水産物の加工、特産品の開発 55.3	漁業後継者の育成 26.3	栽培・養殖漁業の推進 21.1
	第3次産業	水産物の加工、特産品の開発 41.4	漁業後継者の育成 28.0	栽培・養殖漁業の推進 24.3
	その他	水産物の加工、特産品の開発 45.8	漁業後継者の育成 31.8	栽培・養殖漁業の推進 24.3

(3) 商業振興について

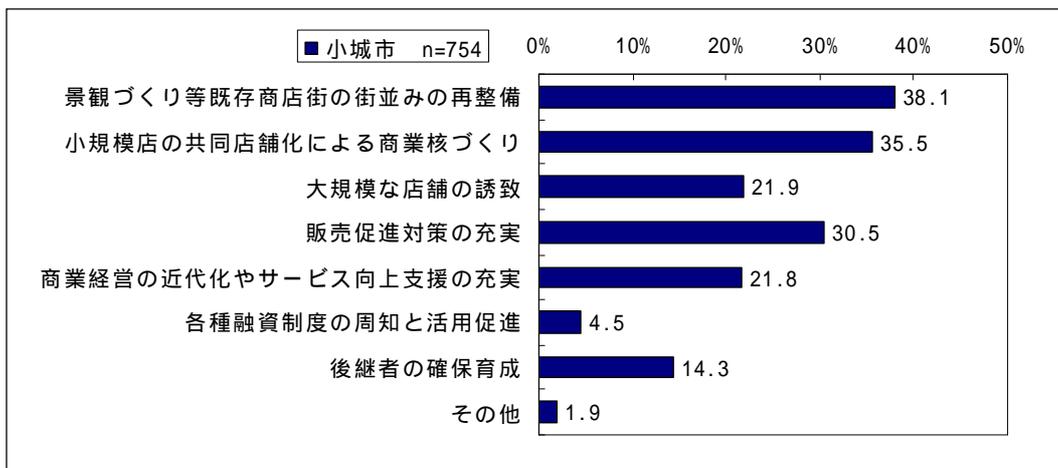
問 19 あなたは、市の商業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「いこいの場や駐車場の整備、景観づくりなど既存商店街の街並みの整備」(38.1%)が第1位。次いで「小規模店の共同店舗化による新たな商業核づくりの促進」(35.5%)、「商業イベントの開催や消費者サービスなど販売促進対策の充実」(30.5%)の順。

商業の振興に必要な取り組みについては、「いこいの場や駐車場の整備、景観づくりなど既存商店街の街並みの整備」(38.1%)が第1位に挙げられ、次いで「小規模店の共同店舗化による新たな商業核づくりの促進」(35.5%)、「商業イベントの開催や消費者サービスなど販売促進対策の充実」(30.5%)が続き、以下、「大規模な店舗(スーパーなど)の誘致」(21.9%)、「商業経営の近代化やサービスの向上のための支援の充実」(21.8%)などの順となっている。[図表 81 参照]

これを属性別で第1位回答をみると、性別の男性では「小規模店の共同店舗化による新たな商業核づくりの促進」(42.0%)、女性では「いこいの場や駐車場の整備、景観づくりなど既存商店街の街並みの整備」(39.1%)がそれぞれ第1位となっている。また、年齢別でみると10・20代・30代・40代・70歳以上では「いこいの場や駐車場の整備、景観づくりなど既存商店街の街並みの整備」(42.5%・37.3%・40.3%・41.6%)、50代・60代では「小規模店の共同店舗化による新たな商業核づくりの促進」(42.0%・41.9%)、がそれぞれ第1位となっている。[図表 82 参照]

図表 81 商業振興について(全体 / 複数回答)



図表 82 商業振興について(全体・性別・年齢別・居住地別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		景観づくり等既存商店街の街並みの再整備 38.1	小規模店の共同店舗化による商業核づくり 35.5	販売促進対策の充実 30.5
性別	男	小規模店の共同店舗化による商業核づくり 42.0	景観づくり等既存商店街の街並みの再整備 34.9	販売促進対策の充実 30.5
	女	景観づくり等既存商店街の街並みの再整備 39.1	販売促進対策の充実 31.5	小規模店の共同店舗化による商業核づくり 30.9
年齢別	10・20代	景観づくり等既存商店街の街並みの再整備 42.5	販売促進対策の充実 39.1	大規模な店舗の誘致 33.3
	30代	景観づくり等既存商店街の街並みの再整備 37.3	大規模な店舗の誘致 32.4	小規模店の共同店舗化による商業核づくり 29.4
	40代	景観づくり等既存商店街の街並みの再整備 40.3	販売促進対策の充実 38.7	小規模店の共同店舗化による商業核づくり 31.9
	50代	小規模店の共同店舗化による商業核づくり 42.0	景観づくり等既存商店街の街並みの再整備 34.4	販売促進対策の充実 32.1
	60代	小規模店の共同店舗化による商業核づくり 41.9	販売促進対策の充実 31.5	景観づくり等既存商店街の街並みの再整備 30.6
	70歳以上	景観づくり等既存商店街の街並みの再整備 41.6	小規模店の共同店舗化による商業核づくり 38.8	販売促進対策の充実 22.5
居住地別	小城地区	景観づくり等既存商店街の街並みの再整備 43.1	小規模店の共同店舗化による商業核づくり 36.4	販売促進対策の充実 30.7
	三日月地区	景観づくり等既存商店街の街並みの再整備 39.9	小規模店の共同店舗化による商業核づくり 36.1	販売促進対策の充実 31.1
	牛津地区	販売促進対策の充実 35.2	景観づくり等既存商店街の街並みの再整備 / 小規模店の共同店舗化による商業核づくり 34.1	
	芦刈地区	大規模な店舗の誘致 42.5	小規模店の共同店舗化による商業核づくり 33.3	景観づくり等既存商店街の街並みの再整備 25.3

(4)工業振興について

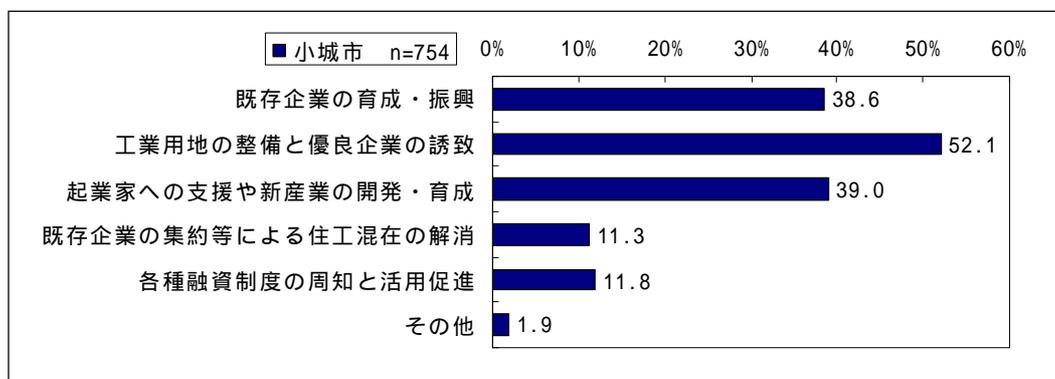
問20 あなたは、市の工業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「工業用地の整備と優良企業の誘致」(52.1%)が他を大きく引き離して第1位。次いで「起業家への支援や新産業の開発・育成」(39.0%)、「既存企業の育成・振興」(38.6%)の順。

工業の振興に必要な取り組みについては、「工業用地の整備と優良企業の誘致」(52.1%)が第1位に挙げられ、企業誘致による工業の振興が強く求められている結果となっている。次いで「起業家への支援や新産業の開発・育成」(39.0%)、「既存企業の育成・振興」(38.6%)などの順となっている。[図表83参照]

これを性別、年齢別、居住地別でも、ほとんどの属性で「工業用地の整備と優良企業の誘致」が第1位となっているが、年齢別の10・20代では「既存企業の育成・振興」(48.3%)が第1位となっている。[図表84参照]

図表83 工業振興について(全体/複数回答)



図表 84 工業振興について(全体・性別・年齢別・居住地別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		工業用地の整備と優良企業の誘致 52.1	起業家への支援や新産業の開発・育成 39.0	既存企業の育成・振興 38.6
性別	男	工業用地の整備と優良企業の誘致 59.0	起業家への支援や新産業の開発・育成 44.7	既存企業の育成・振興 37.3
	女	工業用地の整備と優良企業の誘致 47.3	既存企業の育成・振興 38.6	起業家への支援や新産業の開発・育成 35.5
年齢別	10・20代	既存企業の育成・振興 48.3	起業家への支援や新産業の開発・育成 42.5	工業用地の整備と優良企業の誘致 37.9
	30代	工業用地の整備と優良企業の誘致 52.0	起業家への支援や新産業の開発・育成 35.3	既存企業の育成・振興 34.3
	40代	工業用地の整備と優良企業の誘致 51.3	既存企業の育成・振興 44.5	起業家への支援や新産業の開発・育成 40.3
	50代	工業用地の整備と優良企業の誘致 61.8	起業家への支援や新産業の開発・育成 45.8	既存企業の育成・振興 35.9
	60代	工業用地の整備と優良企業の誘致 54.8	既存企業の育成・振興 41.1	起業家への支援や新産業の開発・育成 35.5
	70歳以上	工業用地の整備と優良企業の誘致 51.1	起業家への支援や新産業の開発・育成 35.4	既存企業の育成・振興 32.0
居住地別	小城地区	工業用地の整備と優良企業の誘致 52.7	既存企業の育成・振興 43.1	起業家への支援や新産業の開発・育成 41.3
	三日月地区	工業用地の整備と優良企業の誘致 50.8	起業家への支援や新産業の開発・育成 38.8	既存企業の育成・振興 31.7
	牛津地区	工業用地の整備と優良企業の誘致 46.9	既存企業の育成・振興 42.5	起業家への支援や新産業の開発・育成 35.2
	芦刈地区	工業用地の整備と優良企業の誘致 62.1	起業家への支援や新産業の開発・育成 42.5	既存企業の育成・振興 26.4

(5) 観光振興について

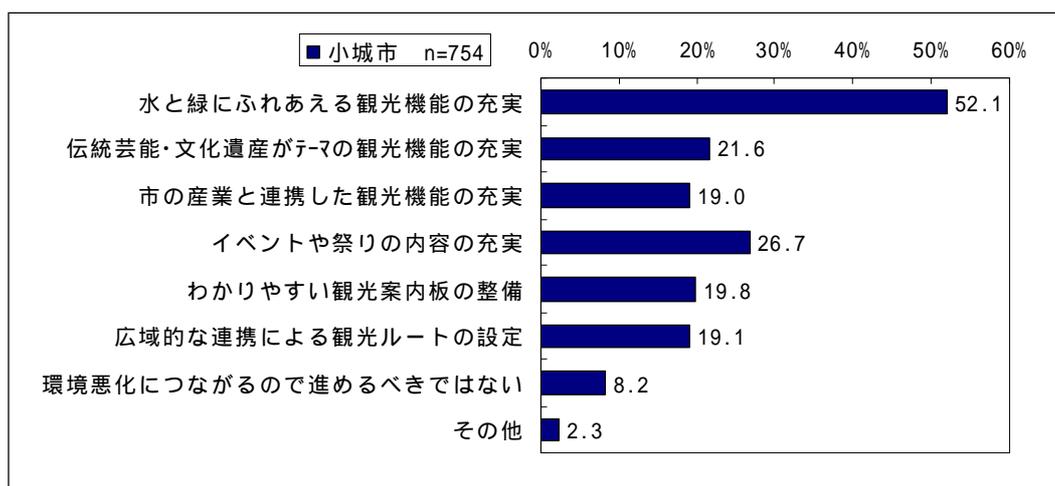
問 21 あなたは、市の観光振興のために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「山・川・海等の自然を活用した水と緑にふれあえる観光機能の充実」(52.1%)が他を大きく引き離して第1位。次いで「イベントや祭りの内容の充実」(26.7%)、「伝統芸能・文化遺産をテーマとした観光機能の充実」(21.6%)の順。

観光の振興に必要な取り組みについては、「山・川・海等の自然を活用した水と緑にふれあえる観光機能の充実」(52.1%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「イベントや祭りの内容の充実」(26.7%)が続き、豊かな自然やイベントなど地域資源を活用した観光開発に関心が集まっていることがうかがえる。その他では「伝統芸能・文化遺産をテーマとした観光機能の充実」(21.6%)、「わかりやすい観光案内板の整備」(19.8%)などの順となっている。なお、「観光開発は、自然環境や生活環境の悪化につながるかねないので進めるべきではない」という意見は8.2%であった。[図表 85 参照]

これを属性別でも、すべての属性で「山・川・海等の自然を活用した水と緑にふれあえる観光機能の充実」が第1位となっている。[図表 86 参照]

図表 85 観光振興について(全体 / 複数回答)



図表 86 観光振興について(全体・性別・年齢別・居住地別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		水と緑にふれあえる観光機能の充実 52.1	イベントや祭りの内容の充実 26.7	伝統芸能・文化遺産がテーマの観光機能の充実 21.6
性別	男	水と緑にふれあえる観光機能の充実 53.6	イベントや祭りの内容の充実 25.8	市の産業と連携した観光機能の充実 23.1
	女	水と緑にふれあえる観光機能の充実 51.2	イベントや祭りの内容の充実 27.6	伝統芸能・文化遺産がテーマの観光機能の充実 22.8
年齢別	10・20代	水と緑にふれあえる観光機能の充実 51.7	イベントや祭りの内容の充実 47.1	伝統芸能・文化遺産がテーマの観光機能の充実 19.5
	30代	水と緑にふれあえる観光機能の充実 52.9	イベントや祭りの内容の充実 31.4	伝統芸能・文化遺産がテーマの観光機能の充実 19.6
	40代	水と緑にふれあえる観光機能の充実 50.4	イベントや祭りの内容の充実 34.5	広域的な連携による観光ルートの設定 25.2
	50代	水と緑にふれあえる観光機能の充実 54.2	広域的な連携による観光ルートの設定 26.7	伝統芸能・文化遺産がテーマの観光機能の充実 / 市の産業と連携した観光機能の充実 24.4
	60代	水と緑にふれあえる観光機能の充実 54.8	わかりやすい観光案内板の整備 22.6	広域的な連携による観光ルートの設定 21.0
	70歳以上	水と緑にふれあえる観光機能の充実 46.6	わかりやすい観光案内板の整備 28.1	伝統芸能・文化遺産がテーマの観光機能の充実 24.7
	居住地別	小城地区	水と緑にふれあえる観光機能の充実 51.6	伝統芸能・文化遺産がテーマの観光機能の充実 / イベントや祭りの内容の充実 25.8
三日月地区		水と緑にふれあえる観光機能の充実 51.4	イベントや祭りの内容の充実 26.8	市の産業と連携した観光機能の充実 19.7
牛津地区		水と緑にふれあえる観光機能の充実 53.6	イベントや祭りの内容の充実 30.2	伝統芸能・文化遺産がテーマの観光機能の充実 21.2
芦刈地区		水と緑にふれあえる観光機能の充実 49.4	市の産業と連携した観光機能の充実 31.0	イベントや祭りの内容の充実 / わかりやすい観光案内板の整備 23.0

9 学校教育・社会教育について

(1) 子どもの健全育成で重視すべき取り組み

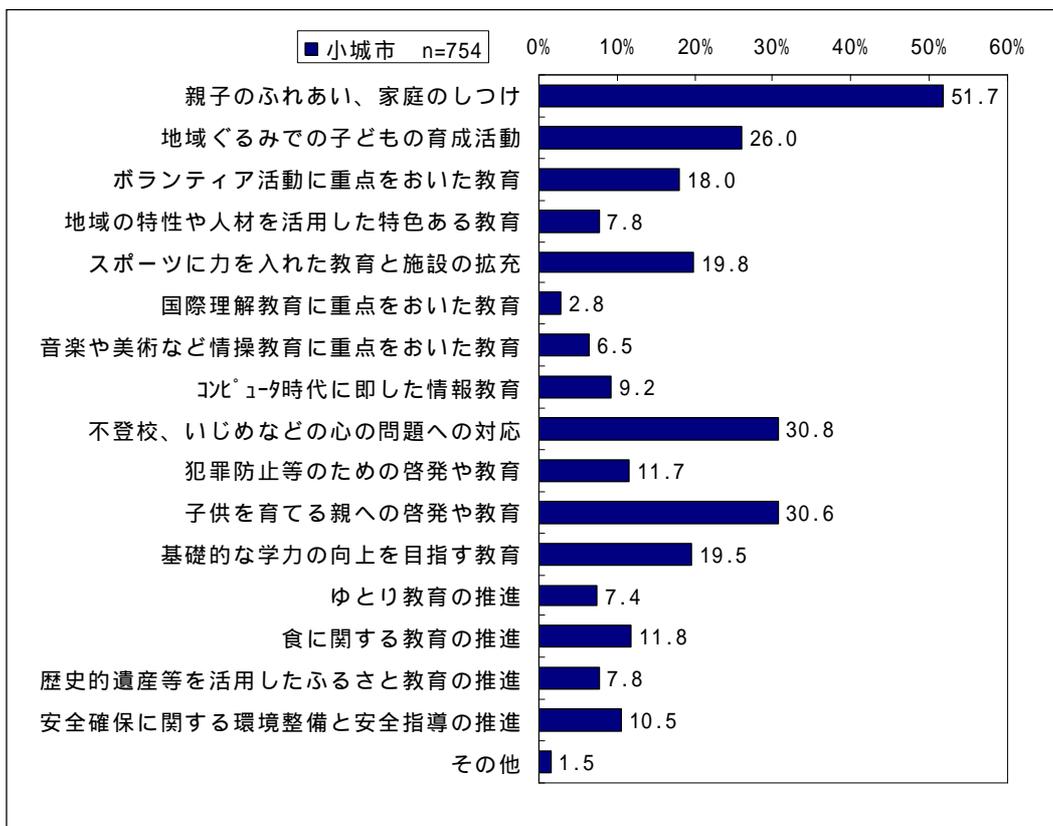
問 22 子どもの健やかな育成のために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「親子のふれあい、家庭のしつけをとおして思いやりの心や規範意識を育てる」(51.7%)が他を大きく引き離して第1位。次いで「不登校、いじめなどの心の問題への対応」(30.8%)、「子どもを育てる力や態度を育てるための親への啓発や教育」(30.6%)の順。

子どもの健全育成について重視すべき点をたずねたところ、「親子のふれあい、家庭のしつけをとおして思いやりの心や規範意識を育てる」(51.7%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、家庭教育の重要性を認識していることがうかがえる。次いで「不登校、いじめなどの心の問題への対応」(30.8%)、「子どもを育てる力や態度を育てるための親への啓発や教育」(30.6%)などの順となっている。[図表 87 参照]

これを属性別でも、ほとんどの属性で「親子のふれあい、家庭のしつけをとおして思いやりの心や規範意識を育てる」が第1位となっているが、年齢別の30代では2位に僅差で「地域ぐるみでさまざまな人とのふれあいをおした子どもの育成活動」(35.3%)が第1位に挙げられている。[図表 88 参照]

図表 87 子どもの健全育成で重視すべき取り組み(全体 / 複数回答)



図表 88 子どもの健全育成で重視すべき取り組み(全体・性別・年齢別・居住地別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		親子のふれあい、家庭のしつけ 51.7	不登校、いじめなどの心の問題への対応 30.8	子供を育てる親への啓発や教育 30.6
性別	男	親子のふれあい、家庭のしつけ 52.2	地域ぐるみでの子どもの育成活動 29.5	不登校、いじめなどの心の問題への対応 28.5
	女	親子のふれあい、家庭のしつけ 50.1	不登校、いじめなどの心の問題への対応 / 子供を育てる親への啓発や教育	33.8
年齢別	10・20代	親子のふれあい、家庭のしつけ 46.0	不登校、いじめなどの心の問題への対応 33.3	地域ぐるみでの子どもの育成活動 23.0
	30代	地域ぐるみでの子どもの育成活動 35.3	親子のふれあい、家庭のしつけ / 不登校、いじめなどの心の問題への対応	33.3
	40代	親子のふれあい、家庭のしつけ 43.7	不登校、いじめなどの心の問題への対応 32.8	子供を育てる親への啓発や教育 26.9
	50代	親子のふれあい、家庭のしつけ 51.9	子供を育てる親への啓発や教育 42.0	不登校、いじめなどの心の問題への対応 29.8
	60代	親子のふれあい、家庭のしつけ 56.5	子供を育てる親への啓発や教育 40.3	不登校、いじめなどの心の問題への対応 31.5
	70歳以上	親子のふれあい、家庭のしつけ 65.7	子供を育てる親への啓発や教育 28.7	不登校、いじめなどの心の問題への対応 27.0
居住地別	小城地区	親子のふれあい、家庭のしつけ 53.0	不登校、いじめなどの心の問題への対応 32.2	子供を育てる親への啓発や教育 30.0
	三日月地区	親子のふれあい、家庭のしつけ 47.5	子供を育てる親への啓発や教育 31.7	不登校、いじめなどの心の問題への対応 31.1
	牛津地区	親子のふれあい、家庭のしつけ 49.7	子供を育てる親への啓発や教育 33.5	不登校、いじめなどの心の問題への対応 31.3
	芦刈地区	親子のふれあい、家庭のしつけ 56.3	地域ぐるみでの子どもの育成活動 27.6	子供を育てる親への啓発や教育 24.1

10 情報化、国際化、地域間交流について

(1) 高度情報化社会への必要な取り組み

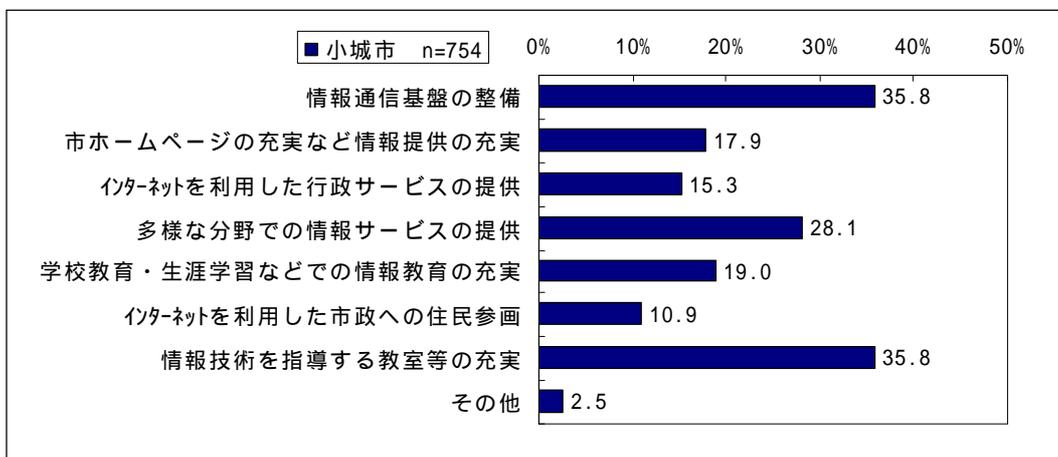
問 23 あなたは、高度情報化社会が進展するなか、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

「インターネットやケーブルテレビなど情報通信基盤の充実」と「市民の誰もがパソコンやインターネットなどの情報技術を使いこなせるような教室等の充実」が同 35.8%で他をやや引き離して上位 2 位。

高度情報化社会に対応するために必要な取り組みについてたずねたところ、「インターネットやケーブルテレビなど情報通信基盤の充実」と「市民の誰もがパソコンやインターネットなどの情報技術を使いこなせるような教室等の充実」(同 35.8%)が他をやや引き離して同率第 1 位となり、基盤整備と情報技術の習得へのニーズが高いことがうかがえる。次いで「保健・福祉、生涯学習・文化・スポーツなど情報通信技術を活用した行政サービスの提供」(28.1%)、「学校教育・生涯学習などコンピュータやインターネットを活用した情報教育の充実」(19.0%)などの順となっている。[図表 89 参照]

これを属性別でも、全体で上位 3 位に挙げられている項目がすべての層で上位 3 位に挙げられているが、年齢別の 50 代・60 代・70 歳以上では全体で第 3 位の「保健・福祉、生涯学習・文化・スポーツなど情報通信技術を活用した行政サービスの提供」(32.8%・30.6%・27.0%)がそれぞれ第 2 位に挙げられている。[図表 90 参照]

図表 89 高度情報化社会への必要な取り組み(全体 / 複数回答)



図表 90 高度情報化社会への必要な取り組み(全体・性別・年齢別・居住地別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		情報通信基盤の整備 / 情報技術を指導する教室等の充実 35.8		多様な分野での情報サービスの提供 28.1
性別	男	情報通信基盤の整備 43.7	情報技術を指導する教室等の充実 38.0	多様な分野での情報サービスの提供 27.1
	女	情報技術を指導する教室等の充実 35.0	情報通信基盤の整備 30.4	多様な分野での情報サービスの提供 29.4
年齢別	10・20代	情報通信基盤の整備 49.4	情報技術を指導する教室等の充実 31.0	多様な分野での情報サービスの提供 20.7
	30代	情報通信基盤の整備 46.1	情報技術を指導する教室等の充実 35.3	多様な分野での情報サービスの提供 25.5
	40代	情報通信基盤の整備 42.0	情報技術を指導する教室等の充実 34.5	多様な分野での情報サービスの提供 30.3
	50代	情報技術を指導する教室等の充実 37.4	多様な分野での情報サービスの提供 32.8	情報通信基盤の整備 32.1
	60代	情報技術を指導する教室等の充実 40.3	多様な分野での情報サービスの提供 30.6	情報通信基盤の整備 29.0
	70歳以上	情報技術を指導する教室等の充実 35.4	情報通信基盤の整備 / 多様な分野での情報サービスの提供	27.0
居住地別	小城地区	情報通信基盤の整備 37.8	情報技術を指導する教室等の充実 34.6	多様な分野での情報サービスの提供 23.7
	三日月地区	情報技術を指導する教室等の充実 39.9	情報通信基盤の整備 31.7	多様な分野での情報サービスの提供 30.6
	牛津地区	情報技術を指導する教室等の充実 36.9	多様な分野での情報サービスの提供 34.6	情報通信基盤の整備 29.1
	芦刈地区	情報通信基盤の整備 50.6	情報技術を指導する教室等の充実 31.0	多様な分野での情報サービスの提供 25.3

(2) 国際化に向け必要な取り組み

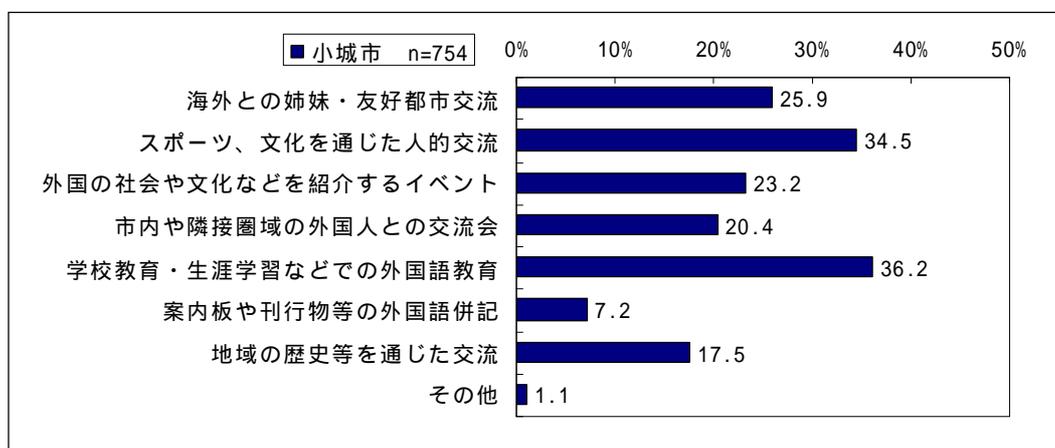
問 24 あなたは、国際化に向けた活動について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」(36.2%)と「スポーツ、文化を通じた人的交流」(34.5%)が僅差で上位2位。

国際化に向けて必要な取り組みについてたずねたところ、「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」(36.2%)が第1位、僅差で「スポーツ、文化を通じた人的交流」(34.5%)が第2位に挙げられている。以下、「海外との姉妹・友好都市交流」(25.9%)、「外国の社会や文化などを紹介するイベント」(23.2%)などの順となっている。[図表 91 参照]

これを属性別でも、全体で上位2位に挙げられている項目がほとんどの属性で上位3位以内に挙げられているが、年齢別の50代では全体で第5位の「市内や隣接圏域の外国人との交流会」(26.0%)が第3位となっている。[図表 92 参照]

図表 91 国際化に向け必要な取り組み(全体 / 複数回答)



図表 92 国際化に向け必要な取り組み(全体・性別・年齢別・居住地別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		学校教育・生涯学習などでの外国語教育 36.2	スポーツ、文化を通じた人的交流 34.5	海外との姉妹・友好都市交流 25.9
性別	男	スポーツ、文化を通じた人的交流 40.7	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 35.6	海外との姉妹・友好都市交流 30.8
	女	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 38.4	スポーツ、文化を通じた人的交流 30.9	外国の社会や文化などを紹介するイベント 23.3
年齢別	10・20代	スポーツ、文化を通じた人的交流 41.4	海外との姉妹・友好都市交流 39.1	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 35.6
	30代	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 52.0	スポーツ、文化を通じた人的交流 37.3	海外との姉妹・友好都市交流 26.5
	40代	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 41.2	スポーツ、文化を通じた人的交流 35.3	海外との姉妹・友好都市交流 / 市内や隣接圏域の外国人との交流会 21.8
	50代	スポーツ、文化を通じた人的交流 36.6	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 30.5	市内や隣接圏域の外国人との交流会 26.0
	60代	スポーツ、文化を通じた人的交流 38.7	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 28.2	外国の社会や文化などを紹介するイベント 26.6
	70歳以上	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 36.0	海外との姉妹・友好都市交流 31.5	外国の社会や文化などを紹介するイベント 29.2
居住地別	小城地区	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 37.1	スポーツ、文化を通じた人的交流 36.4	海外との姉妹・友好都市交流 26.1
	三日月地区	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 38.3	スポーツ、文化を通じた人的交流 31.1	外国の社会や文化などを紹介するイベント 26.2
	牛津地区	スポーツ、文化を通じた人的交流 35.8	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 33.5	海外との姉妹・友好都市交流 26.8
	芦刈地区	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 40.2	海外との姉妹・友好都市交流 33.3	スポーツ、文化を通じた人的交流 29.9

(3) 地域間交流について必要な取り組み

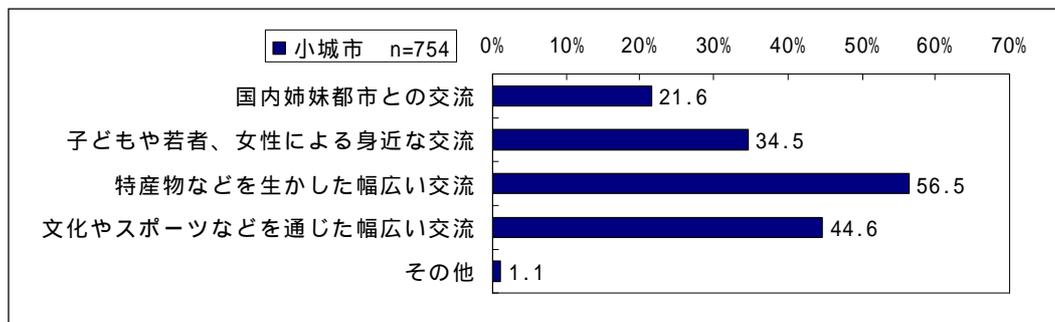
問 25 あなたは、市外との地域間交流について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

「特産物などを生かした幅広い国内地域との交流」(56.5%)が第1位。次いで「文化やスポーツなどを通じた幅広い国内地域との交流」(44.6%)、「子どもや若者、女性による身近な国内地域との交流」(34.5%)の順。

地域間交流活動で必要な取り組みについてたずねたところ、「特産物などを生かした幅広い国内地域との交流」(56.5%)が第1位に挙げられ、次いで「文化やスポーツなどを通じた幅広い国内地域との交流」(44.6%)、「子どもや若者、女性による身近な国内地域との交流」(34.5%)、「国内姉妹都市との交流」(21.6%)の順であった。[図表 93 参照]

これを属性別でも、ほとんどの層で全体と同様に「特産物などを生かした幅広い国内地域との交流」が第1位となっているが、年齢別の10・20代では「文化やスポーツなどを通じた幅広い国内地域との交流」(49.4%)が第1位となっている。[図表 94 参照]

図表 93 地域間交流について必要な取り組み(全体 / 複数回答)



図表 94 地域間交流について必要な取り組み(全体・性別・年齢別・居住地別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		特産物などを生かした幅広い交流 56.5	文化やスポーツなどを通じた幅広い交流 44.6	子どもや若者、女性による身近な交流 34.5
性別	男	特産物などを生かした幅広い交流 58.0	文化やスポーツなどを通じた幅広い交流 46.4	子どもや若者、女性による身近な交流 37.6
	女	特産物などを生かした幅広い交流 55.8	文化やスポーツなどを通じた幅広い交流 44.2	子どもや若者、女性による身近な交流 33.2
年齢別	10・20代	文化やスポーツなどを通じた幅広い交流 49.4	子どもや若者、女性による身近な交流 43.7	特産物などを生かした幅広い交流 40.2
	30代	特産物などを生かした幅広い交流 49.0	文化やスポーツなどを通じた幅広い交流 48.0	子どもや若者、女性による身近な交流 26.5
	40代	特産物などを生かした幅広い交流 57.1	文化やスポーツなどを通じた幅広い交流 47.9	子どもや若者、女性による身近な交流 35.3
	50代	特産物などを生かした幅広い交流 64.9	文化やスポーツなどを通じた幅広い交流 42.7	子どもや若者、女性による身近な交流 38.2
	60代	特産物などを生かした幅広い交流 60.5	文化やスポーツなどを通じた幅広い交流 46.0	子どもや若者、女性による身近な交流 36.3
	70歳以上	特産物などを生かした幅広い交流 60.7	文化やスポーツなどを通じた幅広い交流 37.6	子どもや若者、女性による身近な交流 30.3
居住地別	小城地区	特産物などを生かした幅広い交流 56.5	文化やスポーツなどを通じた幅広い交流 48.4	子どもや若者、女性による身近な交流 34.6
	三日月地区	特産物などを生かした幅広い交流 57.9	文化やスポーツなどを通じた幅広い交流 42.1	子どもや若者、女性による身近な交流 33.9
	牛津地区	特産物などを生かした幅広い交流 53.6	文化やスポーツなどを通じた幅広い交流 46.9	子どもや若者、女性による身近な交流 34.6
	芦刈地区	特産物などを生かした幅広い交流 60.9	文化やスポーツなどを通じた幅広い交流 34.5	子どもや若者、女性による身近な交流 32.2

11 地域活動・ボランティア活動、協働について

(1) ボランティア活動への参加意向

問 26 あなたの今後の地域活動やボランティア活動への意向をおたずねします。

“参加したい”が46.7%。一方、“参加したくない”は46.1%。

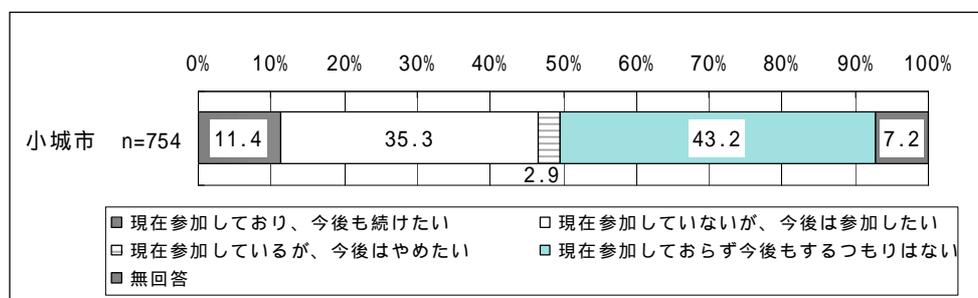
ボランティア活動への参加意向をたずねたところ、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が43.2%で最も多く、次いで「現在参加していないが、今後は参加したい」が35.3%で続き、「現在参加しており、今後も続けたい」は11.4%、「現在参加しているが、今後はやめたい」は2.9%であった。

これを“参加したい”(「現在参加していないが、今後は参加したい」及び「現在参加しており、今後も続けたい」の合計)と“参加したくない”(「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」及び「現在参加しているが、今後はやめたい」の合計)でみると、“参加したい”は46.7%、“参加したくない”は46.1%となっている。[図表 95 参照]

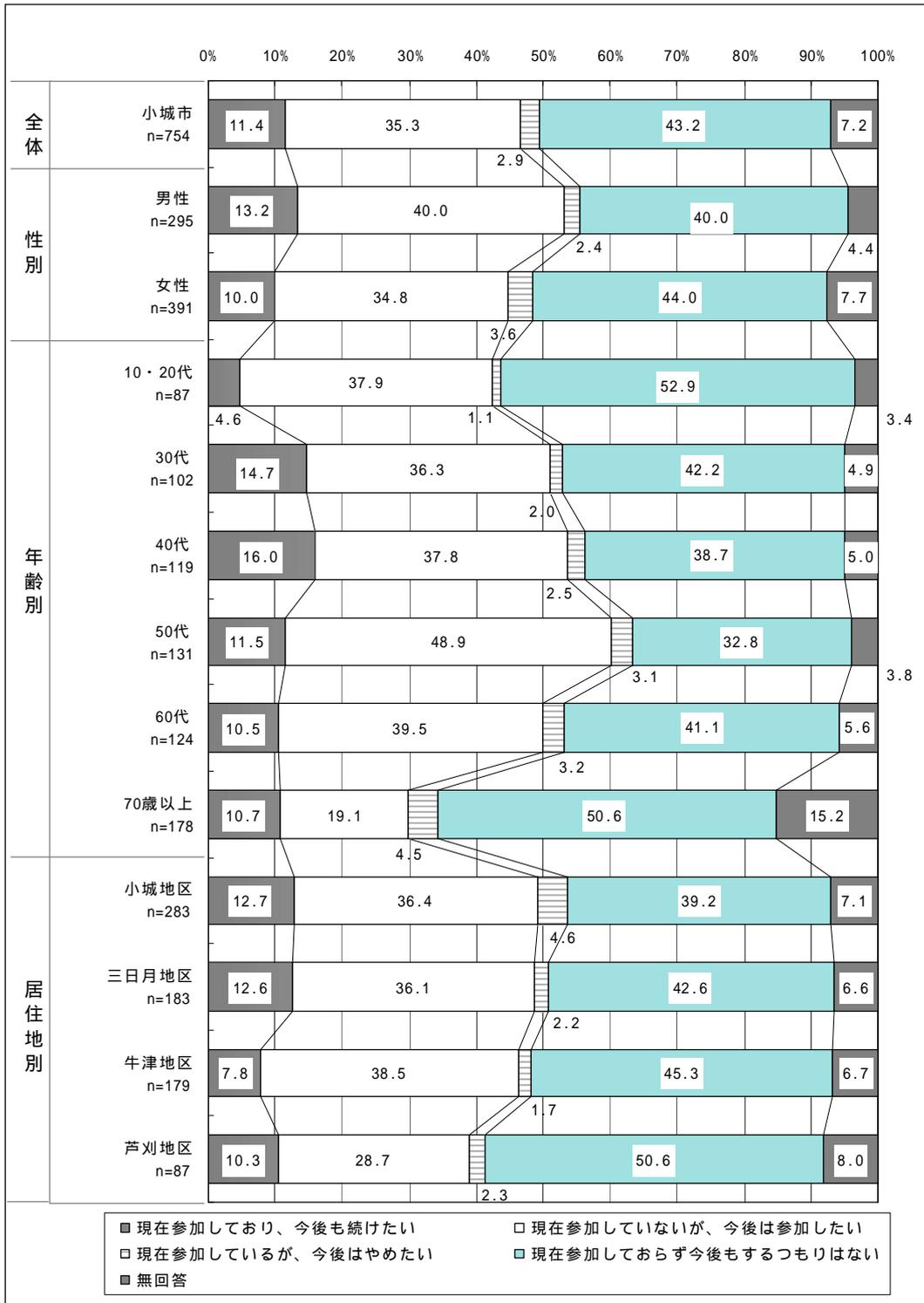
性別でみると、男性では“参加したい”(53.2%)、“参加したくない”(42.4%)、女性では“参加したい”(44.8%)、“参加したくない”(47.6%)となっている。

年齢別で“参加したい”率をみると、50代で60.4%と最も高く、次いで40代(53.8%)、30代(51.0%)、60代(50.0%)、10・20代(42.5%)、70歳以上(29.8%)の順となっている。また、10・20代では「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」(52.9%)が5割を超えている。[図表 96 参照]

図表 95 ボランティア活動への参加意向(全体)



図表 96 ボランティア活動への参加意向(全体・性別・年齢別・居住地別)



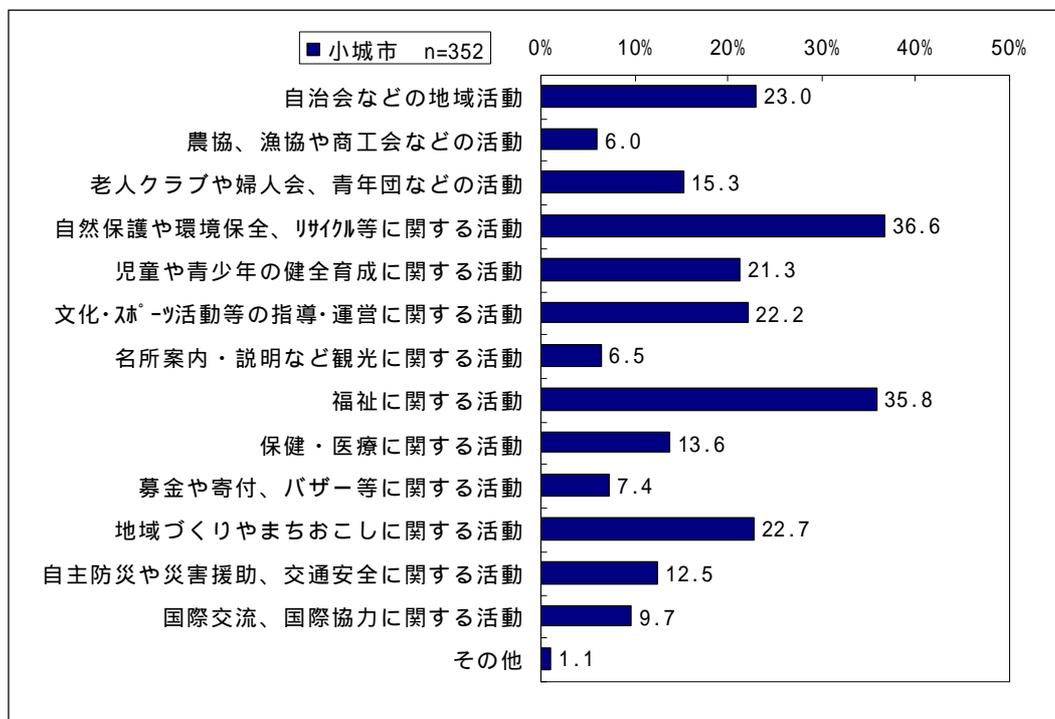
(2) 参加したいボランティア活動

問 26 付問 あなたは、今後（今後とも）どのような活動に参加したいと思いますか。
【“参加したい”と回答した人のみ・複数回答】

「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」(36.6%)が第1位。僅差で「高齢者や障害者の手助けなど福祉に関する活動」(35.8%)が続き、これらが他を引き離して人気ボランティア活動の2大項目として挙げられている。

問 27 でボランティア活動に“参加”の意向を持つ人(全体の46.7%・352人)にどのようなボランティア活動に参加したいかをたずねたところ、「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」(36.6%)が第1位に挙げられ、次いで「高齢者や障害者の手助けなど福祉に関する活動」(35.8%)が続き、これらが他を引き離して人気ボランティア活動の2大項目として挙げられている。この他、「自治会などの地域活動」(23.0%)、「地域づくりやまちおこしに関する活動」(22.7%)、「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」(22.2%)などの順となっている。[図表 97 参照]

図表 97 参加したいボランティア活動(“参加”と回答した人のみ・全体/複数回答)



(3) 「市民協働」という言葉について

問 27 NPO（特定非営利団体）、市民活動団体、自治会などの市民活動や交流を支援するとともに、これからの市民と行政との新しい協働のあり方を考え、協働によるまちづくりを進めていくことを「市民協働」といいますが、あなたはこの言葉の意味を知っていますか。

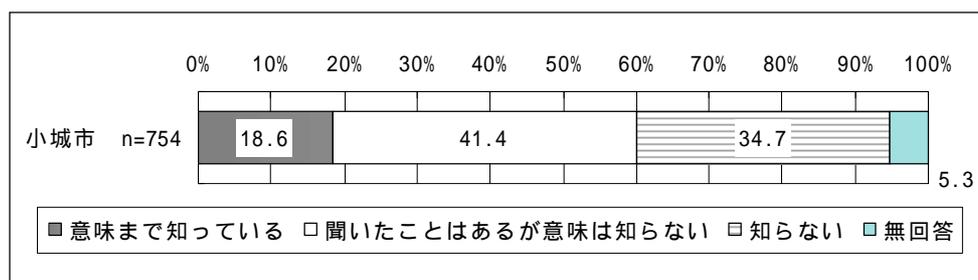
「聞いたことはあるが意味は知らない」（41.4%）が約4割を占めて最も多く、次いで「知らない」は34.7%。一方、「意味まで知っている」は18.6%と2割弱となっている。

これからのまちづくりで欠かせない要件である「市民協働」について、その言葉について知っているかをたずねたところ、「意味まで知っている」は18.6%と2割弱、「聞いたことはあるが意味は知らない」は最も多く41.4%、「知らない」は34.7%であった。[図表 98 参照]

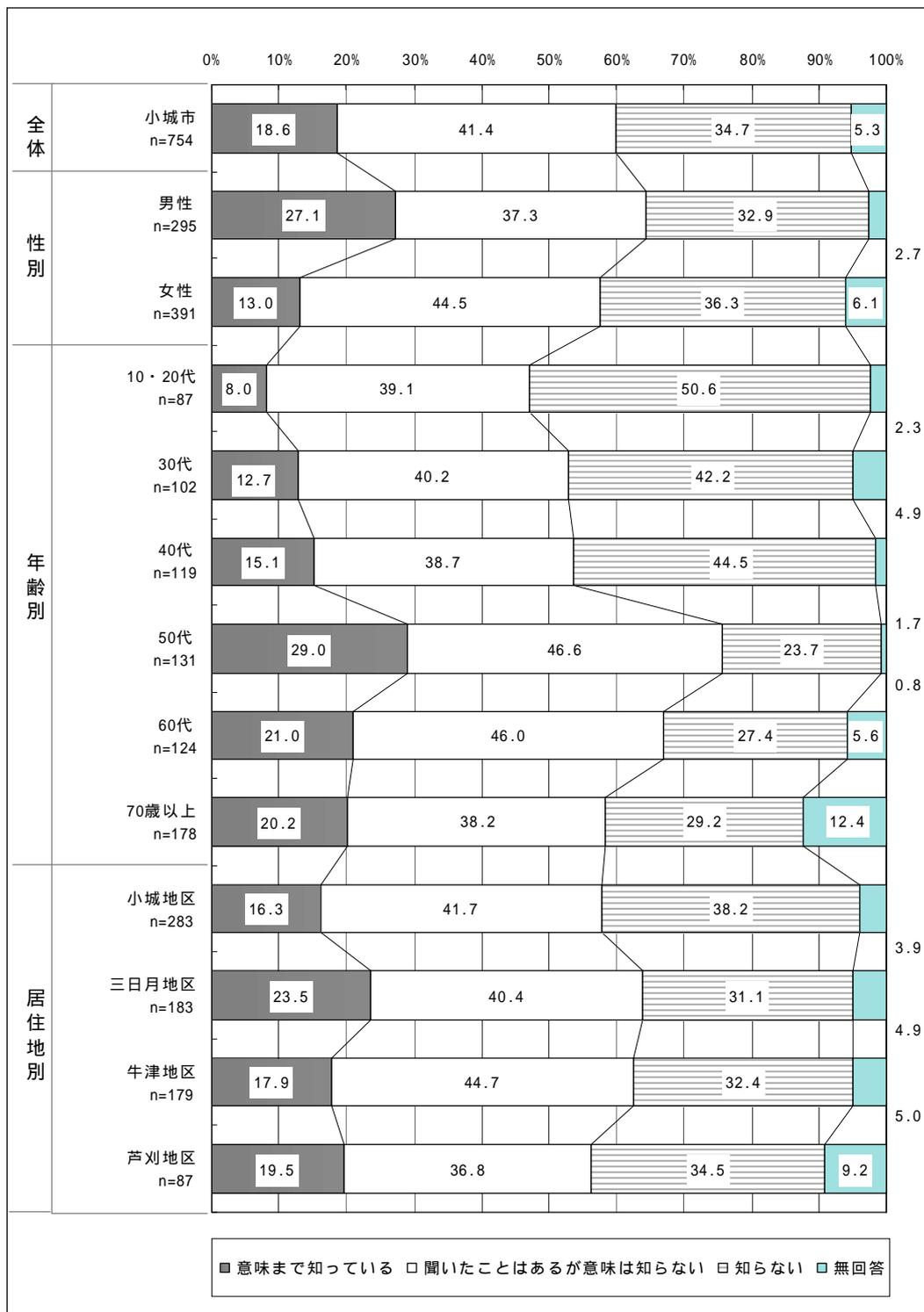
性別に「意味まで知っている」と回答した割合をみると、男性は27.1%に対し、女性は13.0%と、男女間で認知度に違いがみられる。

年齢別に「意味まで知っている」と回答した割合をみると、50代で29.0%と最も多く、60代・70歳以上でも約2割を占めているのに対し、若年層の40代以下では低年齢化とともに認知度が低くなり、10・20代では8.0%と1割弱にとどまる。[図表 99 参照]

図表 98 「市民協働」という言葉について(全体)



図表 99 「市民協働」という言葉について(全体、性別、年齢別、居住地別)



(4) 市民が地域の課題を解決するのに大切なこと

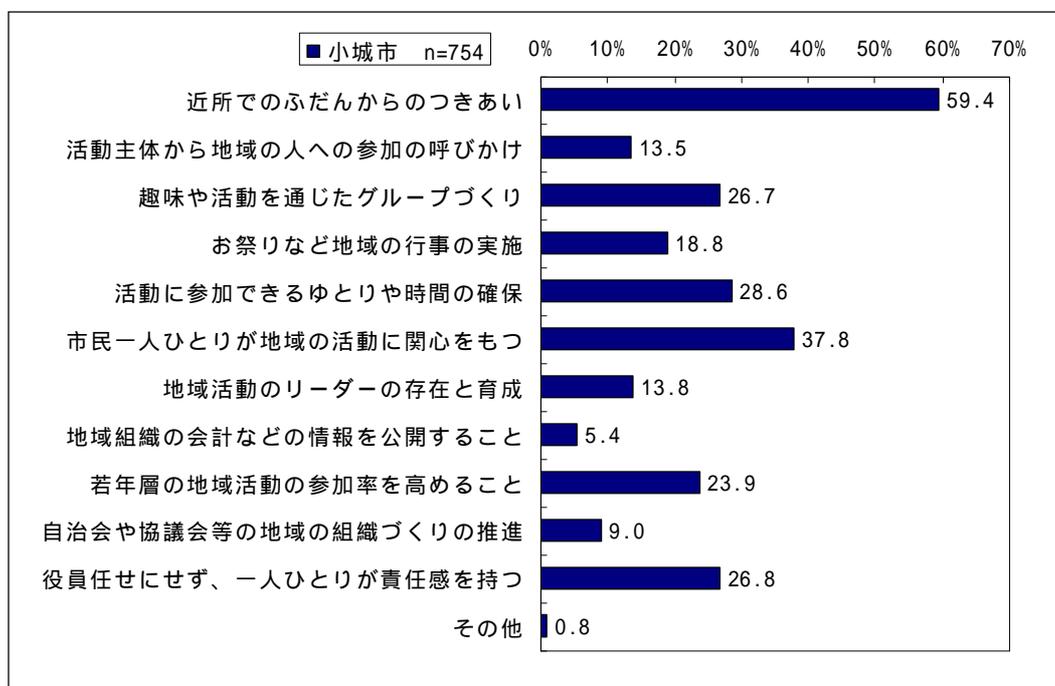
問 28 あなたは、市民が地域活動に参加し、地域の課題を解決していくためには何が大切だと思いますか。【複数回答】

「近所でのふだんからのつきあい」(59.4%)が他を大きく引き離して第1位。次いで「市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつ」(37.8%)、「活動に参加できるゆとりや時間の確保」(28.6%)の順。

市民が地域の課題を解決するために大切だと思うことについてたずねたところ、「近所でのふだんからのつきあい」(59.4%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられている。以下、「市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつこと」(37.8%)、「活動に参加できるゆとりや時間の確保」(28.6%)、「役員任せにせず、一人ひとりが責任感を持つこと」(26.8%)などの順となっている。[図表 100 参照]

属性別でも、すべての属性で「近所でのふだんからのつきあい」が第1位に挙げられている。[図表 101 参照]

図表 100 市民が地域の課題を解決するのに大切なこと(全体 / 複数回答)



図表 101 市民が地域の課題を解決するのに大切なこと(全体、性別、年齢別、居住地別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		近所でのふだんからのつきあい 59.4	市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつ 37.8	活動に参加できるゆとりや時間の確保 28.6
性別	男	近所でのふだんからのつきあい 59.7	市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつ 38.6	趣味や活動を通じたグループづくり 26.4
	女	近所でのふだんからのつきあい 58.3	市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつ 37.6	活動に参加できるゆとりや時間の確保 30.9
年齢別	10・20代	近所でのふだんからのつきあい 42.5	若年層の地域活動の参加率を高めること 36.8	市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつ 34.5
	30代	近所でのふだんからのつきあい 44.1	活動に参加できるゆとりや時間の確保 39.2	市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつ 36.3
	40代	近所でのふだんからのつきあい 48.7	活動に参加できるゆとりや時間の確保 43.7	市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつ 33.6
	50代	近所でのふだんからのつきあい 67.2	市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつ 41.2	活動に参加できるゆとりや時間の確保 30.5
	60代	近所でのふだんからのつきあい 69.4	市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつ 41.1	趣味や活動を通じたグループづくり 29.0
	70歳以上	近所でのふだんからのつきあい 70.8	市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつ 39.9	役員任せにせず、一人ひとりが責任感を持つ 33.7
居住地別	小城地区	近所でのふだんからのつきあい 59.4	市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつ 37.8	活動に参加できるゆとりや時間の確保 28.6
	三日月地区	近所でのふだんからのつきあい 57.9	市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつ 42.6	役員任せにせず、一人ひとりが責任感を持つ 29.5
	牛津地区	近所でのふだんからのつきあい 59.8	市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつ 34.6	趣味や活動を通じたグループづくり 30.7
	芦刈地区	近所でのふだんからのつきあい 62.1	市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつ 37.9	活動に参加できるゆとりや時間の確保 32.2

12 市の花、木、鳥について

(1)市の花、木、鳥について

問 29 合併前の旧4町では、各町にふさわしい町の花、木を定めていましたが、今後小城市の花、木、鳥を定めることについて、必要性も含めて検討する必要があります。市の花、木、鳥を定めることは必要だと思いますか。

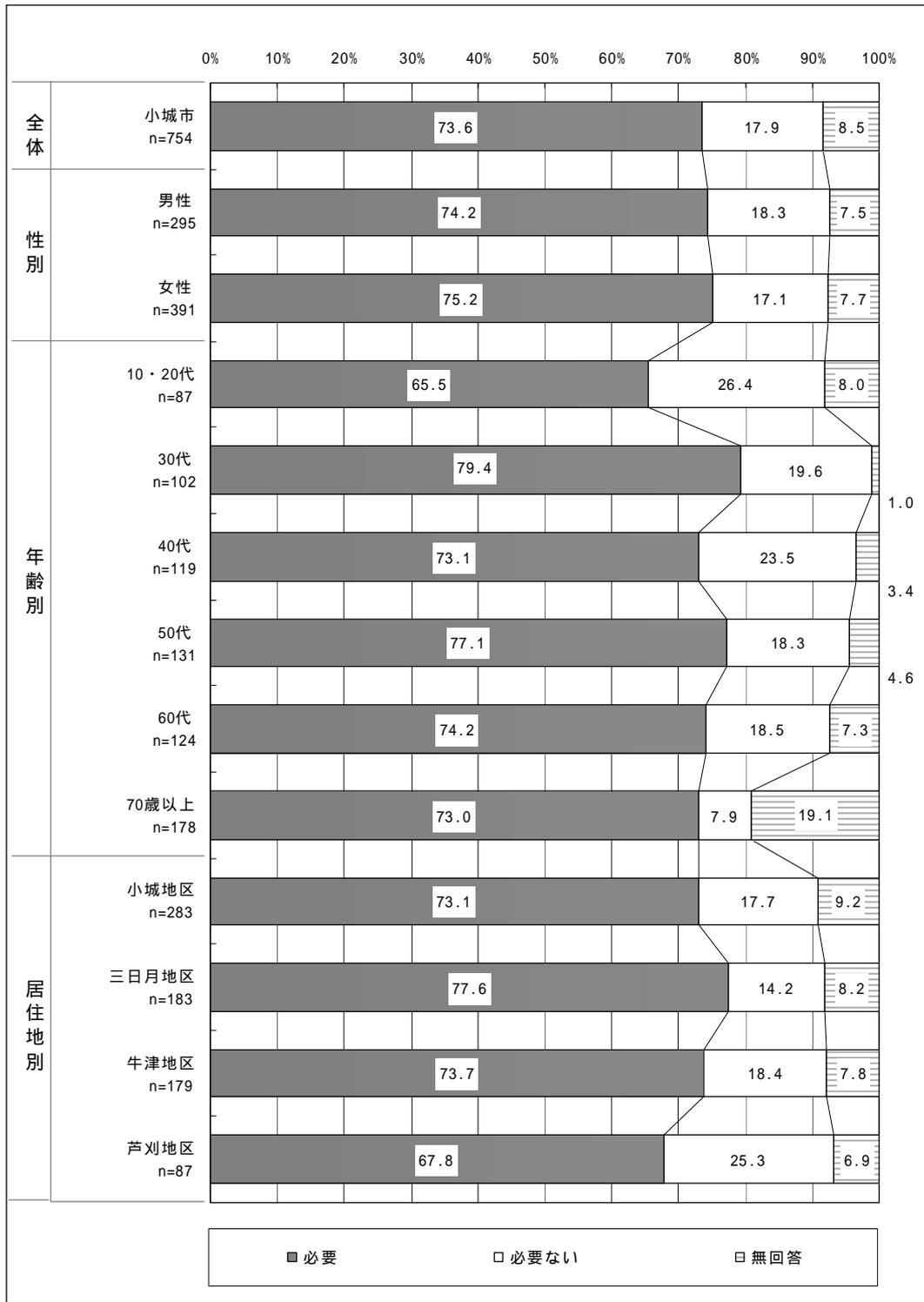
市の花は、「必要」が73.6%。「必要ない」は17.9%。

市の木は、「必要」が60.3%。「必要ない」は24.7%。

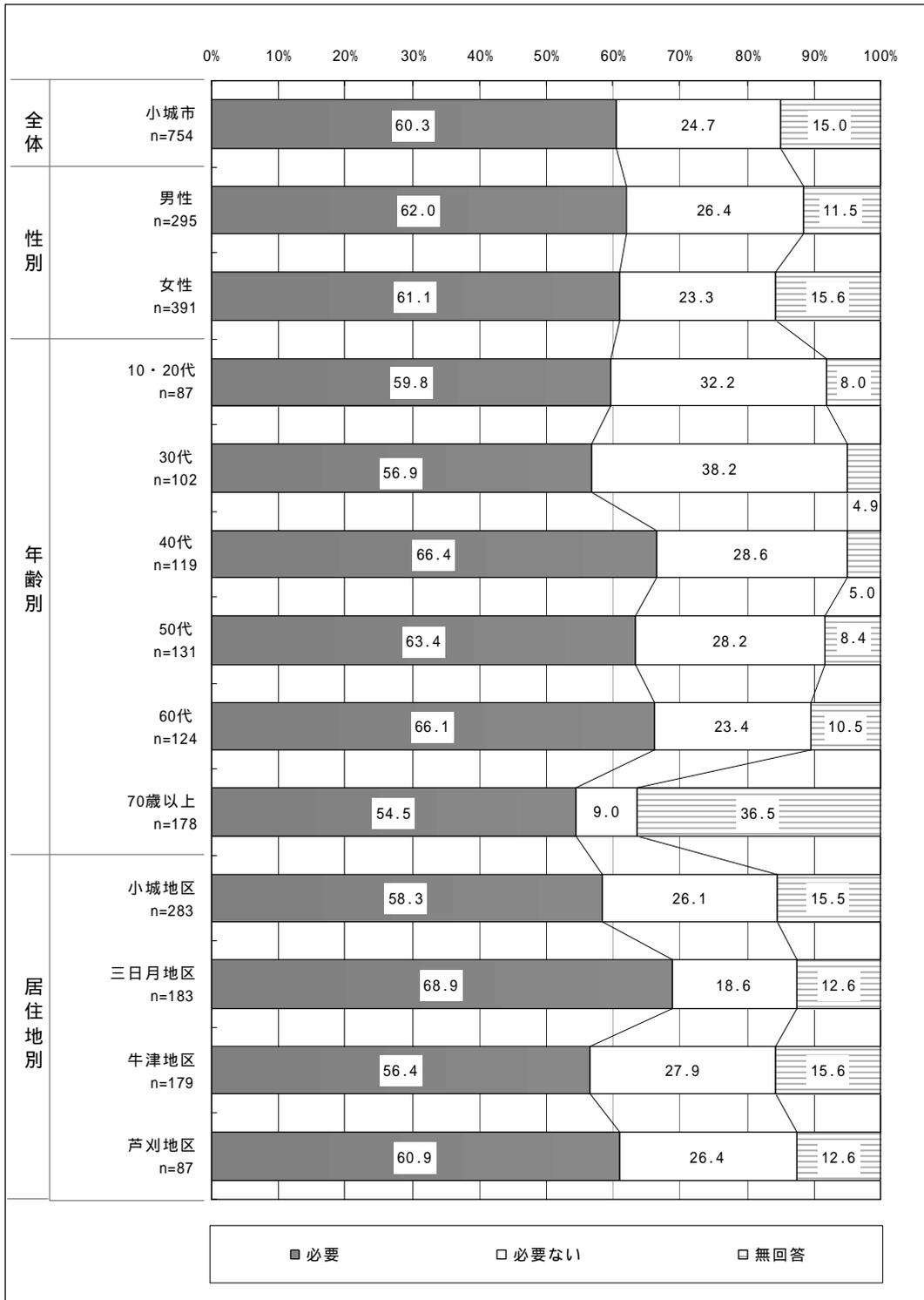
市の鳥は、「必要」が45.2%。「必要ない」は36.5%。

小城市の花、木、鳥を定めることの必要性についてたずねたところ、市の花は、「必要」が73.6%、「必要ない」が17.9%となっている。市の木は、「必要」が60.3%、「必要ない」が24.7%となっている。市の鳥は、「必要」が45.2%、「必要ない」が36.5%となっている。[図表 102～104 参照]

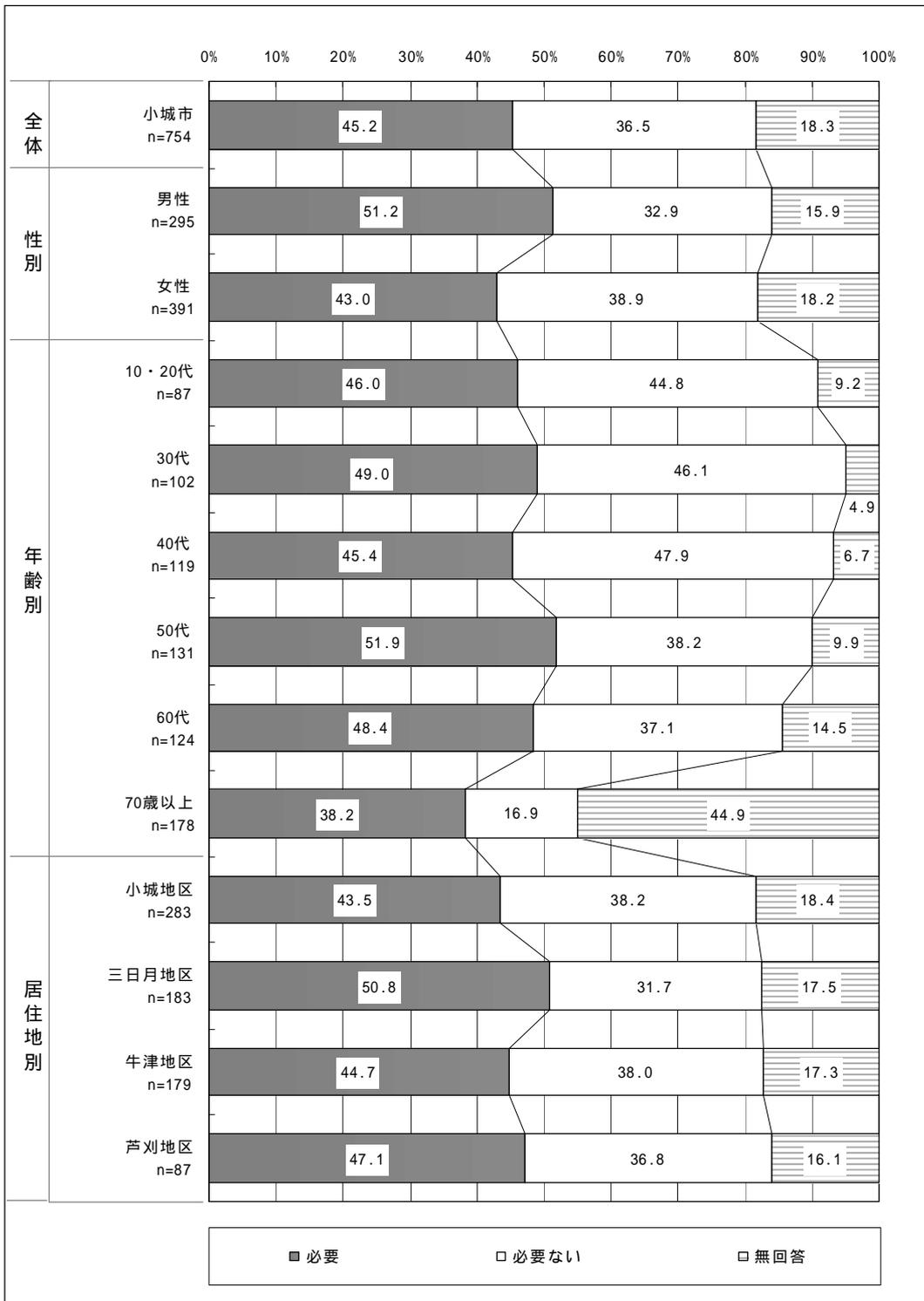
図表 102 市の花について(全体・性別・年齢別・居住地別)



図表 103 市の木について(全体・性別・年齢別・居住地別)



図表 104 市の鳥について(全体・性別・年齢別・居住地別)



13 自由意見について

(1) 自由意見

最後に、現在もしくは将来に向けて市の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがありましたら、率直なお考え、ご要望をお聞かせください。

自由意見欄に意見等を記入した人は 289 人と、有効回答者(754 人)に対する記入率は 38.3%であった。[参考資料 参照]

図表 105 自由意見の記入状況(年代、性別)

年代	性別	意見数
10・20代	男性	14
	女性	13
	不明	1
10・20代計		28
30代	男性	27
	女性	10
	不明	0
30代計		37
40代	男性	22
	女性	17
	不明	4
40代計		43
50代	男性	29
	女性	29
	不明	7
50代計		65
60代	男性	23
	女性	26
	不明	0
60代計		49
70歳以上	男性	30
	女性	23
	不明	9
70歳以上計		62
不明	不明	5
不明計		5
総計		289

資料：調査票

資料 : 問 4、問 12

資料：自由意見

住民アンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対し格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、小城市は、平成17年3月1日、小城町・三日月町・牛津町・芦刈町の合併により小城市となり、新しいまちづくりの指針となる「小城市総合計画」を策定することになりました。

本調査は、新しい総合計画の策定にあたり、市民の皆様のご意見をお聞かせいただきたく実施するものです。19歳以上の市内居住者のなかから、2,000名を無作為に抽出したところ、あなたにお答え願うことになりました。

このアンケートは統計的に処理し、本調査の目的以外に利用することはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、今後のまちづくりを、皆様とともに考えていきたいと思っておりますので、調査の目的、趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせください。

平成18年2月

小城市長 江里口 秀次

ご記入にあたってのお願い

1. 宛名のご本人がお答えください。
2. お答えは、設問ごとに（1つに 印）（2つまで 印）などそれぞれ指定されていますので、お間違えのないようお気を付けてください。

印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 1 .）

3. ご記入いただいた調査票は3月3日(金)までに同封の返信用封筒にて郵送していただきますようお願いいたします。（切手は不要です）
4. ご記入は、ボールペン、鉛筆、シャープペンシル又は万年筆でお願いします。
5. この調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

小城市役所牛津庁舎 総務部企画課 総合計画担当 田中、江頭

電話 63 - 8803

FAX 63 - 8808

小城市

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに 印をつけてください。

(1) あなたの性別	1. 男性 2. 女性	
(2) あなたの年齢	1. 10・20代	2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70歳以上
(3) あなたの職業 (主たるもの)	自営	1. 農林水産業 2. 製造業・建設業 3. 卸小売、飲食業 4. その他サービス業等
	勤務	5. 農林水産業 6. 製造業・建設業 7. 卸小売、飲食業 8. その他サービス業等 9. パートタイム・アルバイト (公務員を含む)
	その他	10. 主婦(夫) 11. 無職 12. 学生、その他
(4) あなたの居住年数 (通算年数)	1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満 5. 20年以上	
(5) あなたの居住地	1. 小城地区 2. 三日月地区 3. 牛津地区 4. 芦刈地区	

あなたの行動範囲についておたずねします。

問2 あなたの日常生活で出かける地域はどこですか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに 印をつけてください。

目的	地域					
	小 城 市	佐 賀 市	(市 町 村 の 其 他 の 所 在 地 内)	県 外	特 に な し	
(1)通勤・通学	1.	2.	3.	4.	5.	
(2)食料品・日用雑貨品の買い物	1.	2.	3.	4.	5.	
(3)衣料や家具、家電製品等の高価な買い物	1.	2.	3.	4.	5.	
(4)レストラン・飲食店の利用	1.	2.	3.	4.	5.	
(5)コンサート等の文化鑑賞やスポーツ観戦	1.	2.	3.	4.	5.	
(6)文化活動やスポーツ活動への参加	1.	2.	3.	4.	5.	
(7)レジャー施設の利用	1.	2.	3.	4.	5.	
(8)病院・診療所の利用	1.	2.	3.	4.	5.	
(9)福祉施設(老人福祉センターなど)	1.	2.	3.	4.	5.	

市の現状についておたずねします。

問3 あなたは、合併した小城市について、どの程度愛着を感じていますか。(1つに 印)

1. 愛着を感じている
2. どちらかといえば愛着を感じている
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば愛着を感じていない
5. 愛着を感じていない

問4 あなたは、これからも小城市に住み続けたいと思いますか。(1つに 印)

1. 住み続けたい
 2. どちらかといえば住み続けたい
 3. どちらともいえない
 4. どちらかといえば住みたくない
 5. 住みたくない
- 住み続けたい一番の理由は何ですか
その理由を以下にお答えください。
- []

問4で「4.」または「5.」につけた方にうかがいます。

問4付問 その主な理由はなんですか。(2つまで 印)

1. 自然の減少や環境の悪化が進んでいるから
2. 日常の買い物が不便だから
3. 道路事情や交通の便が悪いから
4. 地域の行事や近所づきあいが面倒だから
5. 子どもの保育・教育のことが心配だから
6. 市内で働くことのできるような職場が少ないから
7. 保健・医療分野のサービスや施設が不十分だから
8. 福祉分野のサービスや施設が不十分だから
9. スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分だから
10. 上・下水道などの生活環境施設の整備が遅れているから
11. 宅地が確保しにくい等、住環境の整備が遅れているから
12. 消防、防災、防犯体制に不安を感じるから
13. その他(具体的に:)

問5 小城市の環境に関する(1)～(28)の各項目についておたずねします。

あなたは小城市の各環境について、どの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに 印をつけてください。

項目	評価				
	満 足	い ど ち ら か と 満 足	い ど ち ら か も い え な い	い ど ち ら か と 不 満	不 満
(例) 身近な憩いの場の充実	①	2.	3.	4.	5.
(1)地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備(市町を結ぶ道路、国道や県道など)	1.	2.	3.	4.	5.
(2)日常生活に利用する生活道路網の整備(日常生活に利用する市道・農道など)	1.	2.	3.	4.	5.
(3)公共交通の充実(鉄道・バス路線の整備・便数の増加など)	1.	2.	3.	4.	5.
(4)下水道の整備	1.	2.	3.	4.	5.
(5)情報通信基盤の充実(インターネット、ケーブルテレビなど)	1.	2.	3.	4.	5.
(6)住宅施策の推進(民間も含めた住宅供給など)	1.	2.	3.	4.	5.
(7)身近な憩いの場の充実(公園や緑地など)	1.	2.	3.	4.	5.
(8)身近なコミュニティ施設の充実(公民館、集会場など)	1.	2.	3.	4.	5.
(9)安全対策・体制の推進(防災、交通安全の充実など)	1.	2.	3.	4.	5.
(10)スポーツ施設の整備(体育館、テニスコート、プールなど)	1.	2.	3.	4.	5.
(11)生涯学習施設の整備(文化施設、図書館、学校開放など)	1.	2.	3.	4.	5.
(12)文化的施設の充実(美術館、文化ホールなど)	1.	2.	3.	4.	5.
(13)自然と親しめる取り組みの強化	1.	2.	3.	4.	5.
(14)地域の特色ある歴史、文化財の活用によるまちづくり	1.	2.	3.	4.	5.
(15)学校施設の充実(学校、幼稚園など)	1.	2.	3.	4.	5.
(16)子育てを支援する制度・施設の充実	1.	2.	3.	4.	5.
(17)福祉制度・施設の充実(老人・障害者施設の整備、高齢者対策など)	1.	2.	3.	4.	5.
(18)保健・医療施設、体制の充実(病院、健康相談など)	1.	2.	3.	4.	5.
(19)農林水産業の振興(生産基盤の整備、後継者育成など)	1.	2.	3.	4.	5.
(20)工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保	1.	2.	3.	4.	5.
(21)商業の振興(中心商業地域の形成など)	1.	2.	3.	4.	5.
(22)観光の振興	1.	2.	3.	4.	5.
(23)環境対策の充実(リサイクルの推進など)	1.	2.	3.	4.	5.
(24)地域間・国際交流の推進	1.	2.	3.	4.	5.
(25)人権尊重や男女共同参画社会(男女がともに能力を生かすことのできる社会)づくりの推進	1.	2.	3.	4.	5.
(26)住民交流のための機会の充実(イベントなど)	1.	2.	3.	4.	5.
(27)ボランティア活動の推進	1.	2.	3.	4.	5.
(28)住民参加によるまちづくりの推進	1.	2.	3.	4.	5.

問6 「問5」では、小城市の環境について、それぞれの項目の満足度をおたずねしました。そこで、全体的にみた場合は、小城市の暮らしやすさの満足度についてどのように感じていますか。（1つに 印）

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満である
5. 不満である

これからのまちづくりについておたずねします。

問7 合併時の新市まちづくり計画では「^{くんぷうしんと}薫風新都 ~みんなでつくる・笑顔あふれる小城市~」を将来像に掲げています。新市まちづくり計画に掲げる基本方針の中で、これからのまちづくりで重視すべき項目はどれですか。（2つまで 印）

1. 固有の地域資源を発信する、交流の活発なまち（交流・連携分野）
（幹線道路網の整備、公共交通の充実、地域情報化の推進、交流の推進）
2. 自然と共生し、環境にやさしいまち（環境分野）
（自然環境の保全、循環型社会の形成）
3. 快適な生活環境のまち（生活基盤分野）
（上水道の整備、下水道等の整備、生活道路の整備、防災・消防・防犯・交通安全対策の推進、計画的な土地利用の推進、住宅・宅地の確保と整備、景観の形成、公園・緑地の整備、ユニバーサルデザイン化の推進）
4. 安心して暮らせる健康・福祉のまち（健康・福祉分野）
（安心感の持てる医療の充実、生涯を通じた健康づくりの推進、地域福祉の充実、高齢者福祉の充実、子育て支援・児童福祉の充実、障害者福祉の充実）
5. 人が輝き、ともに知識・文化を創造するまち（教育・文化分野）
（学校教育と幼児教育の充実、生涯学習の充実、芸術・文化の振興、スポーツの振興）
6. 地域の特性を活かした産業振興のまち（産業分野）
（農林水産業の振興、商工業の振興、観光の振興、新産業の育成と後継者の確保）
7. 参画と自治による開かれたまち（参画・自治分野）
（人権の尊重と男女共同参画社会の形成、住民参画の推進、住民活動の推進、情報公開の推進）
8. 効率的な行財政運営のまち（行財政改革分野）
（行財政の効率化）

問8 あなたは、今後、小城市のまちづくりについて特に力を入れるべきと思うことはなんですか。(5つまで 印)

1 . 道路網の整備	22 . 健康づくりの推進
2 . 公共交通機関の充実	23 . 地域で支え合う福祉体制づくり
3 . 河川の整備	24 . 児童福祉・子育て支援の充実
4 . 港湾・漁港の整備	25 . 高齢者福祉の充実
5 . 市街地の整備	26 . 障害者福祉の充実
6 . 公園・緑地の整備	27 . 学校教育環境・幼児教育の充実
7 . 住宅・宅地の整備	28 . 生涯学習・文化環境の充実
8 . 水道の整備	29 . 歴史文化遺産や伝統芸能の保護、保存
9 . 下水道・排水処理施設の整備	30 . 青少年の健全育成
10 . ごみ処理・リサイクル体制の整備	31 . スポーツ・レクリエーション環境の充実
11 . 自然保護・公害防止等の環境保全施策	32 . 地域活動・コミュニティ活動の促進
12 . 美しい景観づくりのための施策	33 . 男女共同参画社会実現のための施策
13 . 消防・防災対策の充実	34 . 若者の定住促進のための施策
14 . 交通安全・防犯対策の充実	35 . 国際交流・地域間交流の推進
15 . 農林業の振興	36 . 行財政運営の効率化
16 . 水産業の振興	37 . 広報・広聴活動の充実
17 . 商業の振興	38 . 情報公開の推進
18 . 工業の振興	39 . 情報通信基盤の充実
19 . 観光の振興	40 . 住民参画・協働のための施策
20 . 就労の場の拡充	41 . その他
21 . 医療体制の充実	具体的に：

生活環境についておたずねします。

問9 あなたがお住まいの身近な生活環境のなかで、特にどのような施設の整備充実が必要だと思いますか。(3つまで 印)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 道路の改良、舗装 | 10. 集会施設 |
| 2. 道路側溝の整備 | 11. 文化施設 |
| 3. 歩道と車道の分離促進 | 12. 運動広場 |
| 4. ガードレール等交通安全施設 | 13. 商店・スーパー |
| 5. 上水道 | 14. 高齢者福祉施設 |
| 6. 下水道・生活排水路 | 15. 街路灯・防犯灯 |
| 7. 駅周辺または商店街の駐車場 | 16. 防火水槽・消火栓 |
| 8. 公園 | 17. ごみ収集場 |
| 9. 子どもの遊び場(ひろば) | 18. その他 |

具体的に：

消防・防災などの危機管理についておたずねします。

問10 あなたは、市の消防・防災体制などの危機管理について、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(2つまで 印)

1. 常備消防・救急体制(消防署)の充実
2. 市の消防(水防)団体制の充実
3. 火災・自然災害に備えた啓発活動の充実
4. 防災訓練・避難訓練の充実
5. 地域の自主防災組織の育成
6. 防災施設(避難場所や防火水槽など)の整備充実
7. 災害時の情報連絡体制や伝達システムの充実
8. 災害発生危険箇所への対策
9. その他(具体的に：)

土地利用・景観についておたずねします。

問11 今後の市勢の発展に向けて、計画的な土地の利用を進めていくことが必要になりますが、優先的に整備していくとしたらどの用地だと思えますか。
(2つまで 印)

1. 宅地
2. 企業誘致のための工業用地
3. 商業用地
4. 地場産業育成のための施設用地
5. 観光・レクリエーション用地
6. 公園・緑地
7. 下水道・排水路用地
8. 道路用地
9. 学校、公民館、福祉施設などの公共施設用地
10. その他(具体的に： _____)

問12 美しい自然環境や歴史的景観など、小城市ならではの景観を守るため、あなたが守りたい・育てたいと思う景観は何ですか。

守りたい・育てたいと思う景観 _____

保健・医療・福祉についておたずねします。

問13 あなたは、保健・医療対策について特にどのようなことを望まれますか。
(2つまで 印)

1. 救急・休日・夜間医療の充実
2. 往診・訪問看護など在宅医療の充実
3. 各種検診の充実
4. 予防接種など感染症対策の充実
5. 健康教育や健康相談の機会の充実と健康づくり指導体制・施設の充実
6. 家庭における健康に関する知識の普及
7. 保健師などの訪問活動の積極的推進
8. 市ぐるみでの健康づくり運動の積極的推進
9. その他(具体的に:)

問14 高齢者が安心して暮らせる社会を築くため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(2つまで 印)

1. 高齢者の生きがいづくりや働く場の充実
2. 高齢者でも安心して利用できる道路づくりや施設づくり
3. 高齢者と若い世代、子どもたちとの交流機会の充実
4. 高齢者のための学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実
5. 要介護高齢者等に対する介護保険サービスや施設の充実
6. 介護保険対象外の高齢者に対する保健福祉サービスや施設の充実
7. 高齢者を地域で見守るような市民の助け合い活動の育成
8. その他(具体的に:)

問15 障害のある人が生き生きと暮らせるようにするため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(2つまで 印)

1. 障害者に関する啓発活動や福祉教育の推進
2. 健常者とのふれあい・交流の場の拡充
3. 総合相談・情報提供体制の整備
4. 障害者に対する福祉サービスの向上
5. 障害者のための医療やリハビリ体制の充実
6. 障害者への手当、年金等の充実
7. 授産施設・作業所の充実や就労促進等による自立の場の拡充
8. 障害者の生涯学習・文化・スポーツ活動の促進
9. 障害者が安心して外出できるための道路・公共施設等の整備
10. その他(具体的に:)

問16 子育て環境を充実していくために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(2つまで 印)

1. 保育所を充実する
2. 子育てに関する相談・学習・交流の場を充実する
3. 子育て関係機関・団体・ボランティアのネットワーク化を図る
4. 学童保育を充実する
5. 児童遊園地・公園を整備する
6. 児童館を充実する
7. 乳幼児健診を充実する
8. 児童虐待の予防・解消対策を進める
9. その他(具体的に:)

→ 問16で「1.」に をつけた方にうかがいます。

問16付問 具体的にどのような内容ですか。(1つに 印)

1. 一時保育の拡充
2. 保育時間の延長
3. 障害児保育の充実
4. 保育所の施設の充実
5. その他(具体的に:)

産業振興についておたずねします。

問17 あなたは、市の農林業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。（2つまで 印）

- 1．農道、用・排水施設の整備や農地整備、林道整備など生産基盤の充実
- 2．優良農地、山林の保全
- 3．農地、山林の集約や農作業受委託などによる経営規模の拡大
- 4．生産グループ・団体づくりや育成施策の強化
- 5．担い手・後継者の育成
- 6．先端技術などの積極的導入（新品種、情報システムの導入など）
- 7．地場特産品の開発、主産地形成の促進
- 8．農畜産物を利用した加工食品の開発
- 9．体験農業や植栽活動などの振興
- 10．低農薬・有機栽培など環境にやさしい農業の振興
- 11．各種融資制度の周知と活用促進
- 12．集落営農組織の育成
- 13．その他（具体的に： _____）

問18 あなたは、市の水産業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。（2つまで 印）

- 1．港湾・漁港の整備
- 2．栽培・養殖漁業の推進
- 3．観光漁業の振興
- 4．水産物の加工、特産品の開発
- 5．市場等の流通施設の整備、出荷体制の強化
- 6．漁業後継者の育成
- 7．協業化の推進
- 8．各種融資制度の周知と活用促進
- 9．その他（具体的に： _____）

問19 あなたは、市の商業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(2つまで 印)

1. いこいの場や駐車場の整備、景観づくりなど既存商店街の街並みの整備
2. 小規模店の共同店舗化による新たな商業核づくりの促進
3. 大規模な店舗(スーパーなど)の誘致
4. 商業イベントの開催や消費者サービスなど販売促進対策の充実
5. 商業経営の近代化やサービスの向上のための支援の充実
6. 各種融資制度の周知と活用促進
7. 後継者の確保育成
8. その他(具体的に:)

問20 あなたは、市の工業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(2つまで 印)

1. 既存企業の育成・振興
2. 工業用地の整備と優良企業の誘致
3. 起業家への支援や新産業の開発・育成
4. 既存企業の集約等による住工混在の解消
5. 各種融資制度の周知と活用促進
6. その他(具体的に:)

問21 あなたは、市の観光振興のために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(2つまで 印)

1. 山・川・海等の自然を活用した水と緑にふれあえる観光機能の充実
2. 伝統芸能・文化遺産をテーマとした観光機能の充実
3. 観光農林漁業など市の産業と連携した観光機能の充実
4. イベントや祭りの内容の充実
5. わかりやすい観光案内板の整備
6. 広域的な連携による観光ルートの設定
7. 観光開発は、自然環境や生活環境の悪化につながりかねないので進めるべきではない
8. その他(具体的に:)

学校教育・社会教育についておたずねします。

問22 子どもの健やかな育成のために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(3つまで 印)

1. 親子のふれあい、家庭のしつけをとおして思いやりの心や規範意識を育てる
2. 地域ぐるみでさまざまな人とのふれあいをとおした子どもの育成活動
3. 奉仕の心を育てるためのボランティア活動に重点をおいた教育
4. 地域特性や地域の人材を活用するなどの特色ある教育
5. 心と体の育成のため、スポーツに力を入れた教育と施設の拡充
6. 国際理解教育に重点をおいた教育
7. 音楽や美術など情操教育に重点をおいた教育
8. コンピュータやインターネットなど時代に即した情報教育
9. 不登校、いじめなどの心の問題への対応
10. 薬物・サラ金・携帯メール被害・犯罪防止等のための啓発や教育
11. 子どもを育てる力や態度を育てるための親への啓発や教育
12. 基礎的な学力の向上を目指す教育
13. ゆとり教育の推進
14. 食に関する教育の推進
15. 郷土の歴史的遺産・文化財を活用したふるさと教育の推進
16. 安全確保に関する環境整備と安全指導の推進
17. その他(具体的に:)

情報化、国際化、地域間交流についておたずねします。

問23 あなたは、高度情報化社会が進展するなか、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで 印）

- 1．インターネットやケーブルテレビなど情報通信基盤の充実
- 2．市ホームページの充実などインターネットやケーブルテレビ等を通じた情報提供の充実
- 3．申請・届出等手続の電子化などインターネットを利用した行政サービスの提供
- 4．保健・福祉、生涯学習・文化・スポーツなど情報通信技術を活用した行政サービスの提供
- 5．学校教育・生涯学習などコンピュータやインターネットを活用した情報教育の充実
- 6．インターネットを利用した市政に関する問い合わせ・提言・参画の機会の充実
- 7．市民の誰もがパソコンやインターネットなどの情報技術を使いこなせるような教室等の充実
- 8．その他（具体的に： _____）

問24 あなたは、国際化に向けた活動について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで 印）

- 1．海外との姉妹・友好都市交流
- 2．スポーツ、文化を通じた人的交流
- 3．外国の社会や文化などを紹介するイベント
- 4．市内や隣接圏域の外国人との交流会
- 5．学校教育・生涯学習などでの外国語教育
- 6．案内板や刊行物等の外国語併記
- 7．地域の歴史等を通じた交流
- 8．その他（具体的に： _____）

問25 あなたは、市外との地域間交流について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで 印）

- 1．国内姉妹都市との交流
- 2．子どもや若者、女性による身近な国内地域との交流
- 3．特産物などを生かした幅広い国内地域との交流
- 4．文化やスポーツなどを通じた幅広い国内地域との交流
- 5．その他（具体的に： _____）

地域活動・ボランティア活動、協働についておたずねします。

問26 あなたの今後の地域活動やボランティア活動への意向をおたずねします。(1つに 印)

- 1. 現在参加しており、今後も続けたい
- 2. 現在参加していないが、今後は参加したい
- 3. 現在参加しているが、今後はやめたい
- 4. 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない

問26で「1.」または「2.」に 印をつけた方におたずねします。

問26付問 あなたは、今後(今後とも)どのような活動に参加したいと思いますか。(3つまで 印)

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 1. 自治会などの地域活動 | 8. 高齢者や障害者の手助けなど福祉に関する活動 |
| 2. 農協、漁協、商工会議所や商工会などの活動 | 9. 通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動 |
| 3. 老人クラブや婦人会、青年団などの活動 | 10. 募金や寄付、バザー等に関する活動 |
| 4. 自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動 | 11. 地域づくりやまちおこしに関する活動 |
| 5. 児童や青少年の健全育成に関する活動 | 12. 自主防災や災害援助、交通安全に関する活動 |
| 6. 教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動 | 13. 国際交流、国際協力に関する活動 |
| 7. 名所案内・説明など観光に関する活動 | 14. その他
(具体的に：) |

問27 NPO(特定非営利団体)、市民活動団体、自治会などの市民活動や交流を支援するとともに、これからの市民と行政との新しい協働のあり方を考え、協働によるまちづくりを進めていくことを「市民協働」といいますが、あなたはこの言葉の意味を知っていますか。(1つに 印)

- 1. 意味まで知っている
- 2. 聞いたことはあるが意味は知らない
- 3. 知らない

問28 あなたは、市民が地域活動に参加し、地域の課題を解決していくためには何が大切だと思いますか。(3つまで 印)

1. 近所でのふだんからのつきあい
2. 活動主体から地域の人への参加の呼びかけ
3. 趣味や活動を通じたグループづくり
4. お祭りなど地域の行事の実施
5. 活動に参加できるゆとりや時間の確保
6. 市民一人ひとりが地域の活動に関心をもつこと
7. 地域活動のリーダーの存在と育成
8. 地域組織の会計などの情報を公開すること
9. 若年層の地域活動の参加率を高めること
10. 自治会やまちづくり協議会など地域の組織づくりを進めること
11. 役員任せにせず、一人ひとりが責任感を持つこと
12. その他 ()

市の花、木、鳥についておたずねします。

問29 合併前の旧4町では、各町にふさわしい町の花、木を定めていましたが、今後小城市の花、木、鳥を定めることについて、必要性も含めて検討する必要があります。市の花、木、鳥を定めることは必要だと思いますか。(1つに 印)

市の花	1. 必要	2. 必要ない
市の木	1. 必要	2. 必要ない
市の鳥	1. 必要	2. 必要ない

自由意見について

最後に、現在もしくは将来に向けて市の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがありましたら、率直なお考え、ご要望をお聞かせください。

< 自由意見欄 >

ご協力ありがとうございました。

小城市住民アンケート調査

参考資料 問4、問12

住み続けたい一番の理由
守りたい・育てたいと思う景観

回答者	性別	年齢	問4 住み続けたい一番の理由
274	不明	10・20代	大阪に住んでます。
2	男性	10・20代	交通の便が良い。
376	男性	10・20代	環境が良いため。
510	男性	10・20代	住みやすい環境だから。
569	男性	10・20代	家族が住んでいるから。
600	男性	10・20代	何もなくても、育った場所だから。
609	男性	10・20代	出生からずっと出ていないから。
754	男性	10・20代	環境が良いと思う。
84	女性	10・20代	家があるから。
101	女性	10・20代	教育環境、自然環境等が県内において優れている。
119	女性	10・20代	小城市というより、町にいたい。生まれた町だし、町の人が好きだから。
123	女性	10・20代	住み慣れた町だから。
160	女性	10・20代	住み慣れているから。
255	女性	10・20代	実家があるから。
263	女性	10・20代	佐賀県の地理的に中心にある町だから。
266	女性	10・20代	住み慣れているから。
293	女性	10・20代	小城市が好きだから。
315	女性	10・20代	やっぱり地元だから。
318	女性	10・20代	山と川、きれいな水と有明海があり自然にあふれているから。
336	女性	10・20代	環境とかもそれほど悪くはないし、住みやすいと思うから。
370	女性	10・20代	愛着ある方だから。
425	女性	10・20代	住むのに便利な場所。子育てするのに恵まれた環境であるため。
436	女性	10・20代	親や親類、知人、友人がいるし、水や空気がきれい。
439	女性	10・20代	家を建てたから。生活環境が気に入っているから。
483	女性	10・20代	実家だから。
493	女性	10・20代	住みやすい。
727	女性	10・20代	両親がいる。
746	女性	10・20代	実家が小城市だから。住み慣れているから。
3	男性	30代	自然に恵まれていて保健医療がよいし、慣れているから。
18	男性	30代	住み慣れている。
52	男性	30代	特に不自由なく住みやすい。
138	男性	30代	環境、利便が良い。
142	男性	30代	自然に囲まれていて落ち着ける。
185	男性	30代	家があるから。
212	男性	30代	しずかだから。
248	男性	30代	家を建てた。
311	男性	30代	昔から住んでいるから。
383	男性	30代	自宅がある。
401	男性	30代	住み良いから。
410	男性	30代	自然が多い。
415	男性	30代	家があるから。
416	男性	30代	両親がいるから。
473	男性	30代	静かだから。
477	男性	30代	仕事関係。
614	男性	30代	住環境にあまり不満がないから。
705	男性	30代	親と住んでいるから。
711	男性	30代	環境。そして都会のようにせかせかしてなく、のんびりしているため。
745	男性	30代	今まで、生活してたから。
90	女性	30代	家を建てたので。
128	女性	30代	交通の便もよく住みやすい。今住んでいるところは静かでいい。
178	女性	30代	生まれ育った所だから。
181	女性	30代	家を建てた。実家が近い。
183	女性	30代	家を建てたから。
223	女性	30代	車社会なので佐賀市にも福岡県にもすぐ行けるから。不自由でないから。
261	女性	30代	家を購入したから。
276	女性	30代	住みやすい。
329	女性	30代	自宅が持ち家だから。
333	女性	30代	子供の学校状況で転校等無理がでるため、住み続けたい。
339	女性	30代	学校、職場が近いから。
340	女性	30代	主人も仕事をしているし、住みやすい環境なので。
361	女性	30代	住み慣れた場所で県内で中心に位置し不自由を感じないから。
391	女性	30代	行くところがないから。転居の予定もないから。
394	女性	30代	家を新築したから。
417	女性	30代	過ごしやすい、自家用車があるので、移動に便利のため。
471	女性	30代	町過ぎず、のどかな所が好き。
475	女性	30代	家賃が高いため、引越し検討中。
480	女性	30代	環境が良い。
526	女性	30代	佐賀市やその他の所よりも自然が多いから。
620	女性	30代	職場が近い、静かで住みやすい、慣れている等の理由です。
641	女性	30代	環境がよく住みやすい。
644	女性	30代	小城市から出た事がない。
647	女性	30代	戸建の家が多く、子供ものびのび成長できるから。

回答者	性別	年齢	問4 住み続けたい一番の理由
649	女性	30代	日々の生活に特に不便がないため。
661	女性	30代	家を建てたから。
666	女性	30代	私、夫の実家に近いから。
724	女性	30代	住みやすいから。
736	女性	30代	持ち家があるから。
741	女性	30代	ゆめりあや桜楽館など、福祉施設が充実しているし、幼稚園が公立で子育てしやすい。
111	不明	40代	持ち家のため。
198	不明	40代	生まれ育った家だから。
205	不明	40代	環境。
244	不明	40代	慣れた土地で家庭的な所がよい。
566	不明	40代	持ち家があるから。
655	不明	40代	生まれた場所。
15	男性	40代	住みやすい。
81	男性	40代	山、川、田、海があり落ち着く。
88	男性	40代	家を建てたから。
96	男性	40代	自分の生まれ育ったところだから。
106	男性	40代	マイホームがあり子ども達の学校などがあるから。
129	男性	40代	家を建てた。
322	男性	40代	生まれ育った土地のため。
375	男性	40代	目標達成のため。
377	男性	40代	愛着を感じているから。
382	男性	40代	自宅があるから。
407	男性	40代	生まれ育った土地だから。
413	男性	40代	豊かな自然や文化。
422	男性	40代	自然に恵まれたこの三日月に住居を構えたので。
455	男性	40代	不動産関係のため。
459	男性	40代	住み慣れた町。
478	男性	40代	家があるから。
491	男性	40代	仕事がサービス業で、町と深く関わっているから。
538	男性	40代	住居があるから。
568	男性	40代	自分が生まれ育った所だから。
640	男性	40代	農業で田畑家がある。
660	男性	40代	交通の便がいいから。
706	男性	40代	移動するのが、面倒なため。
708	男性	40代	自然が残っている一方、交通の便も良い。
743	男性	40代	家もあるし、先祖からのものを守りたい。
750	男性	40代	自然や文化環境。
12	女性	40代	自家を建築したため。
41	女性	40代	のどかで静かな環境。
60	女性	40代	自然があり私自身にとって環境は良いと思う。
82	女性	40代	職場が小城だから。
115	女性	40代	便利だから。静かだから。
134	女性	40代	持ち家だから。
144	女性	40代	環境が良く緑が多く住みやすい。
147	女性	40代	住み慣れた場所だから。
171	女性	40代	住みやすい。
177	女性	40代	住み慣れているので。
180	女性	40代	自然が近くで感じられる。
191	女性	40代	図書館や児童館などの施設が充実しているため。
194	女性	40代	歴史・文化・教育の充実した小城町だから。
230	女性	40代	自然が多く、静かで生活しやすいから。佐賀市にも近い!
252	女性	40代	持ち家があるから。
254	女性	40代	慣れ親しんでいるから。
258	女性	40代	生まれた所で愛着があるから。
269	女性	40代	持ち家だから。
289	女性	40代	静かで佐賀市も近く、災害も少ない。
323	女性	40代	小城に家を建てたから。
366	女性	40代	自然もありながら便利。佐賀市へも近い。
369	女性	40代	本家だから。
374	女性	40代	家を建てたので。のんびりして住みやすい。
492	女性	40代	転居するほどの理由がない。
505	女性	40代	少し不便だけれど、美しいから。
551	女性	40代	住み慣れた所が良い。
605	女性	40代	長年住み慣れた町であるから。
625	女性	40代	住み慣れた家があるので。
630	女性	40代	自然があって落ち着くので。
699	女性	40代	生活しやすい。
752	女性	40代	嫁いできているので。
753	女性	40代	住みやすさ。
33	不明	50代	自然に恵まれているから。外で生活する気がない。
597	不明	50代	交通に便利。
737	不明	50代	持ち家のため。

回答者	性別	年齢	問4 住み続けたい一番の理由
7	男性	50代	自然のすばらしさ。
13	男性	50代	自宅があるため。
23	男性	50代	自然がある。
31	男性	50代	住環境が良いから。
37	男性	50代	住みやすいから。
57	男性	50代	先祖がいるため。
59	男性	50代	生まれ育った所だから。
66	男性	50代	生まれ故郷だから。
77	男性	50代	自然があり街にも近い。
94	男性	50代	生まれ育った所だから。
102	男性	50代	持ち家だから。
232	男性	50代	生まれ育った所。
238	男性	50代	住み慣れた所。 仲間も多いし、この町が一番。
253	男性	50代	家があるし、昔から住んでいるから。
299	男性	50代	自然を大事にされていて環境がいいから。
334	男性	50代	住居（家）があるから。
337	男性	50代	持ち家だから。
349	男性	50代	自分の家。
385	男性	50代	交通の便がよい。
403	男性	50代	三日月で生まれ育ったから。
408	男性	50代	小城市で生まれ育ったから。
444	男性	50代	小城市の自然と人々が気に入っているの。
463	男性	50代	生誕出身地。
465	男性	50代	家、土地があるから。
486	男性	50代	本家であるため。農地があるため。
487	男性	50代	先祖代々から住んでいるから。
508	男性	50代	住みやすい土地柄。自然災害が他県より少ないと思うから。
537	男性	50代	交通の便が良い。緑が多い。
543	男性	50代	佐賀県の中心部に位置するため。
590	男性	50代	家があるから。
601	男性	50代	生まれ育った所。
623	男性	50代	住みなれた家だから。
662	男性	50代	特に不満なし。
723	男性	50代	生まれ育った土地。
732	男性	50代	家もあり、生活の安定地であるから。
734	男性	50代	三日月地区に家を購入したので。
742	男性	50代	住みやすい。
748	男性	50代	小さい時から住んでいて、静かで、騒音が無いから。
749	男性	50代	自宅、墓があるから。
22	女性	50代	自然な緑が好き。
42	女性	50代	主人の持ち家であるためと元から同町出身であるという理由。
65	女性	50代	まだ自然が間近にあるから日常生活に不自由はないの。
83	女性	50代	住みたいけど住みたくない。宅地なのに工場が家の前にでき、工場の人々が強く、あいさつもない。がまんして暮らすのがつらい。三日月にはどこに何を建ててもいいところらしい。弱い者ががまんしなければいけないところらしい。
93	女性	50代	県の中心部で便利。
97	女性	50代	自然がまだ残っているから。
127	女性	50代	佐賀市に通勤可能だから。
137	女性	50代	隣人・知人を核とした居住環境。
166	女性	50代	自営をしているので移転できない。
182	女性	50代	スーパーがもう少し近所があればと思います。
184	女性	50代	小城市は教育と文化の市をイメージします。これからも、住んでいて誇りの持てる市になればと思っています。
246	女性	50代	総合公園が近くにある。また日常の買い物にことかかない。
265	女性	50代	環境が良いこと。
275	女性	50代	実家が近く、市内まで便利（三日月だから）。
278	女性	50代	人間関係が保てるから。
300	女性	50代	環境がよい。
330	女性	50代	結婚以来この町に住んでいますので愛着があります。
356	女性	50代	本家だから。
363	女性	50代	環境がよい。
395	女性	50代	静かで自然が良い。
397	女性	50代	静かで住みやすい。
437	女性	50代	定住するために家を建てました。生活するには、静かで落ち着いた日々が過ごせることに満足しています。
447	女性	50代	自然環境に恵まれ、四季を感じることができる。
479	女性	50代	環境がすばらしい。
497	女性	50代	家の後継者だから。
525	女性	50代	慣れているから。
547	女性	50代	家があるから。
587	女性	50代	愛着があるから。好きだから。

回答者	性別	年齢	問4 住み続けたい一番の理由
599	女性	50代	静かで良い。
608	女性	50代	ここで生まれ育った所だから。
622	女性	50代	今の近所は何かと便利で近所も良い方々ですから。
638	女性	50代	持ち家がある事と今のところ移転の予定なし。
690	女性	50代	図書館があるから。
691	女性	50代	落ち着いていて住みやすい。
722	女性	50代	環境がいい。生活するのに便利。買い物、病院など。
729	女性	50代	環境がよい。
747	女性	50代	買い物など近くにあり、探しに近いのもあり、住みやすい。
167	不明	60代	自然がいいのと年をとってものんびり暮らしていけるから。
268	不明	60代	親の代から。
320	不明	60代	自然が近い所にある。山、川、水、田んぼ。
454	不明	60代	自宅があるため。
498	不明	60代	現住所に家があるから。
702	不明	60代	住み良い所なので。
26	男性	60代	自然環境がよい。
29	男性	60代	住みやすい。
58	男性	60代	環境がよい。
67	男性	60代	交通便利、環境が良い。
109	男性	60代	生まれ故郷だから。
120	男性	60代	外の県、市に比べて少し静か。住みやすい。
145	男性	60代	持ち家。環境がよい。
156	男性	60代	土地家屋があるから。
175	男性	60代	住み慣れた町だから、離れたくない。
176	男性	60代	JR特急停車駅のアクセスが良い。佐賀市内に近いところ。
187	男性	60代	田畑や宅地があり、静かで住み良い。
203	男性	60代	水はきれい。自然に恵まれている。
229	男性	60代	子供時に育て愛着があり、結構住みよい。
259	男性	60代	土地や住宅を設定したため。
282	男性	60代	持ち家のため。
285	男性	60代	農業。
295	男性	60代	生まれ育った土地。
325	男性	60代	生まれ住んだ所。
371	男性	60代	30年以上居住し行くところがない。
379	男性	60代	住み慣れている。
398	男性	60代	昔から土地と家があるから。
399	男性	60代	持ち家だから。
458	男性	60代	現在の住まい以外に家がありません。
490	男性	60代	年齢により動きにくい。
504	男性	60代	農業継続。
520	男性	60代	住民税が安い。
530	男性	60代	住宅があるから。
536	男性	60代	自然環境に恵まれていること。
572	男性	60代	慣れた所が良い。
575	男性	60代	結婚して小城に住むことになり、元々小城出身なので。
619	男性	60代	住みなれた所であるから、今さら他所に行く気になれない。
633	男性	60代	地元。
686	男性	60代	環境がよく空気が澄んで健康によい。
693	男性	60代	持家。
700	男性	60代	住みなれた所。
721	男性	60代	他にいきたい所が無い。行く所があっても費用がかかる。
735	男性	60代	長年住んでいるから。
4	女性	60代	友人関係、買い物、医療関係、交通等便利な地点に自宅がある。
16	女性	60代	愛着を感じているから。生まれ育った所。
40	女性	60代	住みやすい。
51	女性	60代	家があるから。
74	女性	60代	便利が良い。生活しやすい。
92	女性	60代	総合的には良い環境に居住して地域の方もいいから。但し医療分野は不満。
132	女性	60代	年をとったし、子ども達も近くにいるから。
163	女性	60代	市役所、交通、福祉施設が近くにあること。
168	女性	60代	居宅があるから。環境が良い。
169	女性	60代	家を建てたので。
192	女性	60代	家があるので。
197	女性	60代	持ち家があり、住み慣れた所だから。
224	女性	60代	持ち家だから。
262	女性	60代	持ち家だから。
284	女性	60代	家があるから。
291	女性	60代	持ち家だから。
294	女性	60代	生まれた所だから。
305	女性	60代	住みやすいところだから。集落の人との愛着。
342	女性	60代	今まで住み慣れているから。
373	女性	60代	自分の家があるから。

回答者	性別	年齢	問4 住み続けたい一番の理由
405	女性	60代	災害が割合少ない。静か。慣れている(環境に)。天山が美しい。
426	女性	60代	町の方々がやさしい。近所の方が良くしてくれる。空気、景色がきれい。
431	女性	60代	先祖から住んでいる家があり、土地がある。
432	女性	60代	住み慣れており、友達が多いから。
452	女性	60代	三日月が良いから。
481	女性	60代	仕事で県内を廻っているから、ちょうど中心点にあたる小城市が便利。静かな環境で暮らしやすい。
494	女性	60代	長年住み慣れているから。
506	女性	60代	子供と同居しているから。
511	女性	60代	牛津に対して不満がないから(水害がなかったらもっと良い)。
516	女性	60代	田舎とも都会ともいえない、そんなところがいいです。
518	女性	60代	引っ越してきて10年以上経ち、やっと環境にも慣れ、友人もでき、住み良い所だと思います。
552	女性	60代	40年も住んでいるから。
642	女性	60代	長年居住してどこにいても皆が友達のように。
659	女性	60代	交通等便利な土地。大きな災害等が昔はあったけど昨今あってない。台風は別だが。
663	女性	60代	住みなれた所。
669	女性	60代	北に天山を頂き雄大な自然に囲まれ季節の移り変わりが感じられる。
703	女性	60代	もう40年は住んでいるから。
738	女性	60代	生まれた時から自分の家です。
76	不明	70歳以上	持ち家がある。
218	不明	70歳以上	佐賀県の中心地であり、終の棲家だから。
272	不明	70歳以上	住み慣れているから。友達等が多いから。
290	不明	70歳以上	家、土地があるから。
297	不明	70歳以上	高齢。
443	不明	70歳以上	結婚後50年以上住み慣れた町。
482	不明	70歳以上	近所の良い所。
586	不明	70歳以上	自宅あり。
637	不明	70歳以上	友達がいるから。
730	不明	70歳以上	育ったところ。
5	男性	70歳以上	先祖伝来の土地郷土。環境良好。
8	男性	70歳以上	先祖代々の土地だから。
45	男性	70歳以上	70年以上過ごした所。
79	男性	70歳以上	自分の土地と家があるから。
98	男性	70歳以上	近所の人と慣れ親しんだ。水が綺麗だから。
154	男性	70歳以上	入院するかも知れない。
157	男性	70歳以上	出生地だから。
179	男性	70歳以上	宅地があるから。
225	男性	70歳以上	農業を続けたいから。
270	男性	70歳以上	住みよい。
307	男性	70歳以上	家やしきあるから、収入がなく、昔年金で
313	男性	70歳以上	小城市に昔から住んでいる。
319	男性	70歳以上	長年住みついているから。
365	男性	70歳以上	自然環境や住環境が良くて住みやすいから。
380	男性	70歳以上	行くところがない。
386	男性	70歳以上	自分の持ち家で地区内の友人との交際があるから。
387	男性	70歳以上	住宅があるから。
406	男性	70歳以上	家や土地を小城市に所有しているから。
435	男性	70歳以上	気に入っているから。
485	男性	70歳以上	自営業、農業だから。
512	男性	70歳以上	のどかで物価が安い。
529	男性	70歳以上	自宅だから。
544	男性	70歳以上	県の中心。
555	男性	70歳以上	住み慣れた所が一番良い。生涯を終えるには、郷土愛に尽きる。
556	男性	70歳以上	長年住んで愛着がある。
559	男性	70歳以上	小城市になって、住み良い市になります。
578	男性	70歳以上	私自身が佐賀市で生まれ、現在の砥川村(イナカ)であるが、静かで良い所と存じております。
627	男性	70歳以上	産まれ育った所だから。
628	男性	70歳以上	交通の便も良く自然環境も良いから。
645	男性	70歳以上	自然環境に恵まれているから。(山、里、海等)
665	男性	70歳以上	家も墓も建てたので。
672	男性	70歳以上	暮らしよくなった。
679	男性	70歳以上	昔から(小さい時から)住んでいるから。
681	男性	70歳以上	空気がいいから。
684	男性	70歳以上	長年住みなれた土地だから。
685	男性	70歳以上	友達がいるから。空気が良い。
707	男性	70歳以上	自然災害や公害が少ない。交通の便、買い物など便利。
710	男性	70歳以上	住みよい。
712	男性	70歳以上	妻の弟が多久市におり、便利がよいから。
751	男性	70歳以上	自然環境が残っていてとても良い。しかし牛家などで臭いがひどい。山の手に移ってほしい。

回答者	性別	年齢	問4 住み続けたい一番の理由
1	女性	70歳以上	住みやすいから。
6	女性	70歳以上	住むところがない。
14	女性	70歳以上	両親の故郷である。
19	女性	70歳以上	住み慣れたから。
43	女性	70歳以上	生まれ育った土地であり、名所旧跡も多く、また居住環境にも恵まれているから。
47	女性	70歳以上	他を知らないから。
50	女性	70歳以上	生まれ育った愛しいふるさとだから。
54	女性	70歳以上	自分の家だから。
69	女性	70歳以上	水・空気・静か。
78	女性	70歳以上	空気がきれいで静かな街並みが高齢に合っている。また、近隣の人々も仲良く楽しく暮らせるから。
99	女性	70歳以上	環境が良く近隣の方とも良い。自宅もありここで一生を終えたい。
114	女性	70歳以上	自然が残っているから。
122	女性	70歳以上	住み慣れているから。
126	女性	70歳以上	病院、買い物等市内で間に合うから。
136	女性	70歳以上	住み良いから。
152	女性	70歳以上	50年以上住んでいるから今さらどこかに行きたいと思わない。
155	女性	70歳以上	長く居住しているから。
172	女性	70歳以上	永年住んでいるから。
201	女性	70歳以上	生まれ育ちも小城市です。
207	女性	70歳以上	昔からの場所だから。
221	女性	70歳以上	住み慣れているから。
222	女性	70歳以上	五十年以上も住んでおりますので生まれたところよりも愛着があります。
226	女性	70歳以上	住み慣れた家があるから。
271	女性	70歳以上	先祖代々受け継いでいるから。
277	女性	70歳以上	自宅があるから。
298	女性	70歳以上	近所や友人とのつきあいが良いから。
301	女性	70歳以上	牛津町で買い物に便利なところですので離れたくない。
303	女性	70歳以上	45年も住み続けた小城市。人とのふれあいに感謝しています。
306	女性	70歳以上	生まれた地元故、牛津での役柄もいろいろ勤めてきましたので地元からは離れられません。1人暮らしで頑張っている。
331	女性	70歳以上	家を建てて、ずっと住むから。
338	女性	70歳以上	先祖まつりをするため。
419	女性	70歳以上	住みやすい。育った土地だから。
430	女性	70歳以上	住みやすい。佐賀市にも近い。
442	女性	70歳以上	50年あまり住み続けたから。
445	女性	70歳以上	お先祖さまを守っていきたい。環境が良く、住み良い町である。
460	女性	70歳以上	長年住んでいて、隣近所に親しい友人がいるから。
462	女性	70歳以上	天山を眺める風景。住み慣れているから。
468	女性	70歳以上	交通の便利が良い。50年近く住んでいて愛着がある。
470	女性	70歳以上	子供や孫達、友達、老人になる現在、故郷が懐かしく、愛しく感じます。住み慣れた所で、知り合いも多いから。
500	女性	70歳以上	住んでいるから。理由はない。
503	女性	70歳以上	自分の家があるから。
507	女性	70歳以上	行き先がない。
522	女性	70歳以上	現住所から出て行きたくない。
535	女性	70歳以上	特に不自由を感じないから。自然に恵まれているから。
539	女性	70歳以上	自然が豊かで、昔から知っている人が多い土地であるから。
558	女性	70歳以上	自宅。
592	女性	70歳以上	住み良い市だから。
596	女性	70歳以上	水は良し、空気も良し、山もあり、日常生活には便利だから。
610	女性	70歳以上	静かで空気はいいし水もますますきれい。
646	女性	70歳以上	住みなれているから。
677	女性	70歳以上	転居がわずらわしい。最近は4.どちらかといえば住みたくない、に近い。
678	女性	70歳以上	住みつけているから。
689	女性	70歳以上	高齢だからです。
713	女性	70歳以上	長くいるから。
715	女性	70歳以上	近所とのお付き合い、友人関係を大切にしたい。
716	女性	70歳以上	高齢者であるので住みなれた地域が便利である。
200	不明	不明	問い方が、私には問題あり。
557	不明	不明	家があるから。

回答者	性別	年齢	問12 守りたい・育てたいと思う景観
274	不明	10・20代	清水(小城)。ムツゴロウ(芦刈)。
2	男性	10・20代	緑を残す。
28	男性	10・20代	水田、桜の木。
38	男性	10・20代	社会的なルールなど。
73	男性	10・20代	有明海、清水。
112	男性	10・20代	昔から変わらない町なので今のまま維持をすべきだ。
219	男性	10・20代	四季を感じさせる自然(桜、梅、秋桜等)。
245	男性	10・20代	現時点での自然を残したままで、住宅地を広げ、樹木を少し増していく。
372	男性	10・20代	水が綺麗なまち。水路。
474	男性	10・20代	清水、有明海。
517	男性	10・20代	緑を増やす。マンション反対。
569	男性	10・20代	遮る建物の少ない、小城市の田園風景。
600	男性	10・20代	天山から有明海まで続く川を、そこに住む生き物も含めて守り育て、整備してほしい。
606	男性	10・20代	ホタルやタニシのいる小川。人工的に小川作ってホタルいますよみたいなのは税金のムダ使い。
731	男性	10・20代	見渡す限りの田園。
740	男性	10・20代	自然環境、歴史的景観双方共に人が意識し、育むものゆえ、まずは知識面の充実を図るとよい。広く人々に知らしめるのです。小城と言えば、桜とが有名でキレイだけど、芦川の有明海沿岸地域は何か欠けるものがある。とにかくまずは、ゴミが酷い。
754	男性	10・20代	ホタル・桜の景観を守り、育てたい!
62	女性	10・20代	小城公園のホタル、桜。
64	女性	10・20代	川の魚が汚染され、減少しているので、川の水を綺麗にして魚が住める居場所を作ってほしいです。公園や緑をもっと増やしてほしいです。
70	女性	10・20代	ホタルや田畑等ののどかな風景。
119	女性	10・20代	天山。有明海。あと、小城市内から木がなくならないでほしい。梅も桜も。
123	女性	10・20代	牛津の赤レンガと小城の清水の滝。特に清水の滝の水は綺麗だしおいしいと思うので汚されることなくずっと残してほしい。
202	女性	10・20代	魅力ある町作り。家並み。
239	女性	10・20代	晴木川を守りたい!
255	女性	10・20代	一面田んぼの風景。
263	女性	10・20代	高いビルがない風景。
310	女性	10・20代	花、生き物。
315	女性	10・20代	自然のきれいさや、歴史など。
318	女性	10・20代	天山、小城市内にある各神社や不動さん、天神さんなどのその地域にある神さんをもっと多くの人に知ってもらおう。
370	女性	10・20代	自然(緑)。
436	女性	10・20代	そのままで十分な景観なので、あまりお金を使わなくてもよい。
439	女性	10・20代	緑が多い自然。
453	女性	10・20代	小城市はずいぶん自然が無くなり、見ていて悲しくなるので、植林するなり、元に戻して頂きたい。
493	女性	10・20代	小城公園の桜やつつじ。
515	女性	10・20代	有明海の自然、天山の自然を守り、育ててほしい。
562	女性	10・20代	四町があつての小城市だと思うので、各町の景観を大切にしてほしい(いきたい)と思う。住宅地が増え、緑が少なくなっていると思う。都市の発展も大切だが、田舎らしさも引き続きいいのではないかと思う。のどかな雰囲気など、あり続けてほしい。
631	女性	10・20代	祇園川のほたる。小城公園の桜の木。
654	女性	10・20代	緑あふれる公園。
725	女性	10・20代	小城の蛸はとでもキレイなので大切にしていきたいです。
727	女性	10・20代	小城公園。
701	不明	30代	自然環境を残せたら。
3	男性	30代	小城公園の桜とその周辺の数々の歴史史跡。
18	男性	30代	小城・清水。牛津・仏舎利塔。
30	男性	30代	牛津高校の存続。
52	男性	30代	小城公園。
142	男性	30代	河川、または水資源。
248	男性	30代	天山。
327	男性	30代	ないと思う。
362	男性	30代	清水の滝。小城公園の桜。小城町星巖寺の小城鍋島の菩提寺。
367	男性	30代	緑が多い。
383	男性	30代	有明海。
389	男性	30代	祇園川のホタル。
401	男性	30代	ホタルの住む川。
415	男性	30代	そのままの風景。
416	男性	30代	ほたるが飛び舞う、きれいな川を守りたい。
473	男性	30代	河川の美しさ。
477	男性	30代	有明海の干潟。
614	男性	30代	有明海や、小城の山なみなど、牛津川など河川についてもきれいな状態を保ってほしい。あとは、小城市のシンボルとなるような景観をつくってほしい。
711	男性	30代	やはり“九州の小京都”で、歴史的な建物、環境もすばらしいので、損なわないような景観を守りたい。
20	女性	30代	赤レンガ(牛津駅)。温泉アイル施設の充実(利用について)。

回答者	性別	年齢	問12 守りたい・育てたいと思う景観
89	女性	30代	ホテルがある自然環境、水質環境、山林の美しさ。歴史的景観としての小城公園や街並み、小城ようかん店。とにかく小城は自然の美しさと綺麗さ、歴史ある趣ある景観を大切に、残して行ってほしい。過剰な開発はしないでほしい。
124	女性	30代	山、田、畑、緑を残していければいいと思います。
128	女性	30代	小城公園はとても整備ができていて綺麗だと思います。他の観光地の道路の端に四季の花木（あじさいなど）や紅葉が綺麗なかえなどを植えたりしてほしい。観光に力を入れている他の県は道の端も綺麗にしています。
223	女性	30代	小城公園、有明海。
276	女性	30代	小城公園。
333	女性	30代	自然をなるべく残せば、景観も特別に変わらないと思うので、現状のまま、整備していく所のみを整え、環境にやさしい（便利な）利用のできることを守って行ってほしい。守りたい！
339	女性	30代	今の自然。
340	女性	30代	宝の海の有明海の花の風景や江里山の棚田。
354	女性	30代	公園、子どもの遊び場を作ってほしい。
355	女性	30代	自然を活かしたまちづくり。
361	女性	30代	小城町のホテル（道路側なので車の光でホテルがよく見えない時があって残念）。牛津町赤レンガ館とその周辺の商店街。
384	女性	30代	牛尾梅林。
391	女性	30代	見上げたら空が綺麗なので星の景観。
394	女性	30代	清水等の滝や美しい水環境。
409	女性	30代	小城公園の桜、ホテル、つつじ、くすの木、四季折々に美しい自然があふれる天山。
417	女性	30代	ほたるがたくさん飛ぶように、きれいな川を守っていくべきだと思うし、それに伴う環境整備が必要。
441	女性	30代	きれいな川。
450	女性	30代	清水の滝、小城公園のホテル、桜。
471	女性	30代	・史跡の保存（寺社、遺跡等）。 ・自然の美しさ（開発よりも美しい田園風景をいつまでも見続けたい）。
480	女性	30代	小城公園の桜、河川（晴気川や清水の滝など）。
526	女性	30代	小城公園。
574	女性	30代	小魚やホテルが自生できるような、きれいな川の流れる所を守り、もっと増やせたら良いと思う。
620	女性	30代	小城公園の桜や、ぎおん川の周辺の山々。
647	女性	30代	祇園川の河川敷。
649	女性	30代	今、牛津町に住んでいて、毎日赤れんが記念館を目にするが、ああいう古い建物はシンボルとしてこれからも大切に残していくものだと思います。
661	女性	30代	引越してきたばかりで、まだよく分かりません。
666	女性	30代	清水の美しい水、ほたる、小城公園の桜など（花や緑がある町づくり……）
704	女性	30代	有明海の自然環境を守りたいと思う。
724	女性	30代	公園をよくしたい。
726	女性	30代	桜、公園山、蜜、水。
741	女性	30代	田園風景、祇園川。
205	不明	40代	天山から有明海までの広い視野での環境、水、山の緑、空気、有明海の不漁etc. ごみのポイ捨て。大きなことから、小さなことまで。
244	不明	40代	きれいな川。ごみを捨てない道路。
324	不明	40代	美しい自然、歴史的景観、すべて。
655	不明	40代	有明海。
15	男性	40代	佐賀平野。
88	男性	40代	小城公園。ホテルが飛ぶ川。清水の滝。
103	男性	40代	ホテルの飛び交う美しい緑・河川。
106	男性	40代	天山山系の景観及び美化。
150	男性	40代	有明海の干潟から天山山系の緑の山々。（四季折々の景観）。
161	男性	40代	江里山のひがん花。（時々農家の方がひがん花の咲く前に雑草と一緒に草刈り機でひがん花の茎まで刈られて残念に思う）
206	男性	40代	祇園川を中心とした蜜の生息できる環境の整備。
322	男性	40代	小城公園の美しさ（桜、つつじ）。
375	男性	40代	小城公園。星厳寺。
377	男性	40代	海山に恵まれた有明海、天山の美しい自然を守り、地域の発展。
382	男性	40代	祇園のホテル。小城公園。
407	男性	40代	小京都、棚田。
413	男性	40代	豊かな田園風景を守るためにも、麦わらや稲わらの焼却防止を徹底する必要がある。
422	男性	40代	天山の美しい景観を守りたい。
455	男性	40代	清水 滝（水）、牛尾 梅林。
459	男性	40代	小城公園の整備・充実。文化財の保護、コマーシャル。
478	男性	40代	新しい物を造らない。
491	男性	40代	古い建物の保存を強化し、高いビルやマンションは、美しい天山の景色が見えなくなるので建てないよう、規制して下さい。また、もっと緑の自然を増やすよう、努力して下さい。
595	男性	40代	祇園川のホテル。
640	男性	40代	天山の自然環境（多久の両子山みたいには絶対しては……）石体、江里山付近に行った時驚きました。源氏ホテルもムツゴロウもいなくなってしまいそうです。山の上の方からきれいにしてほしいとだめです。
660	男性	40代	街並み。農業景観。

回答者	性別	年齢	問12 守りたい・育てたいと思う景観
708	男性	40代	牛津宿の景観。牛尾梅林。
750	男性	40代	蛭、清流、天山、干潟。
9	女性	40代	田園風景（近年、田が減少してきて、家がどんどん増えてきているが、のどかな田園風景はいつまでも残していきたいです。）
12	女性	40代	小城市・小城市公園。牛津町・赤れんが館。その他・文化遺産 など。
41	女性	40代	ゴミのない街並み。
82	女性	40代	緑豊かでのどかな水田や山の美しいまちづくり。
87	女性	40代	ゴミを燃やしている家庭がまだいます。それを改善してほしいですね。自然環境には全然なっていない。煙が苦しくていやです。これは今すぐに取り組んでほしい問題です。
115	女性	40代	小城市公園の桜、蛭、清水の滝。
134	女性	40代	ホテルが育つ川。
147	女性	40代	土生遺跡。
174	女性	40代	ホテルの住み続ける川。祇園川などせせらぎの美しい河川。 小城市公園の桜並木や楠。 神社など歴史的価値のPR。それにまつわる祭行事の育成。 小城市の自然な山や川の風景は、できる限り守り育ててほしい。
180	女性	40代	家のそばで毎年見られる蛭は、季節を感じる事ができ、楽しみにしている。
194	女性	40代	歴史的景観。小城市の子ども達に、もっと小城市の歴史（人物）を学ばせ、誇りを持たせたい。最近は羊かん作りばかりのように思われるのだが…。
210	女性	40代	有明海の宝の海を大切に守っていききたい。
254	女性	40代	牛津、赤レンガ館。
258	女性	40代	山や川をそのままの形に残したい。
289	女性	40代	ホテル及び祇園川。
309	女性	40代	・明治～昭和時代の商いで栄えた町並み（デザイン・カラー）を統一化して、歴史的文化的財や自然・公園を前面に打ち出す（地産、名産の物産の開発）。 ・散策、散歩（ウォーキング）して楽しい、買い物して楽しい町並み、憩いの場。
351	女性	40代	牛尾梅林。小城市公園。天山を後方に望みながらの天山酒造一帯。 清水の滝周辺。有明海ののり養殖風景。
353	女性	40代	道路沿いにもっとたくさん緑を植えてほしい。（バイパスと歩道の間）。
366	女性	40代	小城市公園の大きい四角の木。天山。清水の滝。
369	女性	40代	美しい山。清い水。
411	女性	40代	天山や小城市公園、江里山の棚田等。
505	女性	40代	小城市公園、仏舎利塔付近。
524	女性	40代	小城市公園周辺。
533	女性	40代	小城市公園。
589	女性	40代	小京都小城市を、小城市全体へ広げていく景観づくり。桜を中心に、四季折々の花や木で自然を生かした街づくりができれば、市民生活に潤いを与え、また観光にも役立つと思います。
605	女性	40代	天山。
625	女性	40代	歴史のある建物の保存、活用。
696	女性	40代	ゴミが落ちていない街。
752	女性	40代	蛭が住みやすい水辺。バルーンが飛んで来られる田園風景。
753	女性	40代	メイン道路の整備など、城下町ならではの景観にするべきでは無かったですか？
33	不明	50代	水路の整備。
34	不明	50代	棚田、江里山地区。川から流れる水がきれいであること。
125	不明	50代	現在の景観の保全。
287	不明	50代	天山山系の景観。 小城市公園の整備。
472	不明	50代	ホテル、江里山、清水、干潟。
737	不明	50代	蛭やトンボ等の昆虫、小型鳥類の姿が絶えないこと。
7	男性	50代	、チラシ等の撤去。
23	男性	50代	小城市は、水がきれいですね。きれいでなければ育たないホテルをいつまでも守っていききたいです。
31	男性	50代	天山周辺整備。
37	男性	50代	棚田、有明海。
49	男性	50代	小城市は南は海、中部は田園地帯、北部は山と自然に恵まれたよい市だと思います。それを最大に生かしてほしいと思います。
75	男性	50代	道路等にゴミ、物を捨てない。親も教育すること。一番大切なことです。
77	男性	50代	牛津川（のジョギングコース新設）。牛津梅林。長崎街道。
95	男性	50代	里山の景観。海辺の景観。
105	男性	50代	天山の自然。
232	男性	50代	農地。
253	男性	50代	有明海。クリーク。
299	男性	50代	宅地が増加し田園風景が減っていくのが残念です。計画的な宅地用地化をお願いしたい。
302	男性	50代	田園。クリークの保存。
321	男性	50代	有明海の干潟。天山地区の整備。
326	男性	50代	山、海、公園。
334	男性	50代	昔からある文化遺産、史跡、また伝統芸能などは、周囲の環境整備にあわせて継続させてもらいたい。
349	男性	50代	小城市公園。
403	男性	50代	干潟、公園、神社仏閣、観光名所。
444	男性	50代	清流、ホテル、星空（夜空がネオン等の光害の少ない町）、自生している植物、清流にすむ生き物（メダカ、カワニナ等）、桜、梅。

回答者	性別	年齢	問12 守りたい・育てたいと思う景観
486	男性	50代	山、農地、海の充実を図る。
537	男性	50代	農村風景が残る、自然環境。
682	男性	50代	清水の滝。天山。羊羹の町らしさ。
723	男性	50代	田園。
732	男性	50代	天山。
734	男性	50代	山、川、海と平野とのバランスの景観を。
744	男性	50代	自然環境。
749	男性	50代	天山、有明海。
36	女性	50代	千葉城の整備。
42	女性	50代	各地区の宮(氏神)に森林を残して時として家族でお参りしする。 有明海を済み通るように美しくすること。クリークの汚さは残念。
65	女性	50代	ほたるの里。
83	女性	50代	何を守るにも住宅地の中に工場を作っている、建ててもいいという基本をとりのぞかないと 守りも育ててもできない。
97	女性	50代	広々とした田んぼの風景。
137	女性	50代	天山、有明海。
166	女性	50代	天山の緑化、自然環境の保護。
184	女性	50代	清水の滝、小城公園、祇園川、有明海、羅漢さん。
189	女性	50代	小城市は水がきれいで、小城公園や清水の滝とか、とてもすばらしい自然がいっぱいです。 特に、江里山の景観は、お彼岸のヒガンバナ、棚田などです。
190	女性	50代	天山。
246	女性	50代	天山と田園風景。
247	女性	50代	・天山山系からのきれいな水が今の河川では汚れている。自然にあった河川の整備。 ・牛津、芦刈の水田、干潟(有明海)の保全、小城、三日月、砥川の山麓への整備(里山) 三日月は佐賀県の中核地。どこへ行くのにも一番便利な所ということで、市内からの移住者 も多い。大型の病院、大型のスーパー、工場など住民が毎日の生活の中で、不便のないよ う、またきれいな町で佐賀市内からの移住者ももっと増えてくれるように育ててほしい。い ろいろな文化施設は第2の作業だと思えます、高速が通っても、ただの通り道にならないよ うに。
275	女性	50代	
300	女性	50代	歴史的施設などの管理の持続をすることが大切だと思います。
328	女性	50代	道路を整備した上での自然とのつりあいを考え、自然を残す。
330	女性	50代	自然環境、歴史的景観を守り、人が集まるようなイベント、催し物、ともに緑地、植物、自然、 花を守り育てたいと思う。
332	女性	50代	駐車場、川などに平気でゴミを捨てる人が多いのには残念です。各自が気をつければきれいな 川になると思っています。
341	女性	50代	牛津町では公園がない。美しい公園がのぞましい。
395	女性	50代	天山ふもとと一帯の里山を残したい。
397	女性	50代	清水の滝。
437	女性	50代	宅地化が進み、のどかな田園風景が年毎に変わっていくのを少し淋しく思います。
447	女性	50代	山、川、海。
457	女性	50代	桜の名所 小城公園。
497	女性	50代	小城公園の整備。
525	女性	50代	小城公園や千葉城跡など。
587	女性	50代	小京都小城と言われているように、緑、河川を守りたい。
608	女性	50代	天山。
622	女性	50代	ふた子山の後ろは削られていますが他県から帰ってきた時にまず視界に入り愛着のある景観 です。自然の雄大な姿は変えてはいけけないのでは.....?小城市?でなくても。
635	女性	50代	自然。おいしい水。
636	女性	50代	ほたるの里。むつごろうの生息する浜。清水の滝。
729	女性	50代	ほたる。
320	不明	60代	山、川。
26	男性	60代	中山間地域(石体、宗鶴川内)集落で住み良いむらづくり、樹園地、田畑の放棄地の活用、 産業の振興。
29	男性	60代	河川(クリーク)・田園。
58	男性	60代	お宮など氏神様のある場所。
61	男性	60代	クリークを生かした緑の景観。(堀が汚水になっている。)
109	男性	60代	1. ホタルの里としての景観及び催事。 2. 清水の滝及び鯉料理等の観光PR。 3. 牛尾梅林、小城公園等の桜景観PR及び催事の拡大。 4. 千葉城、流等小京都としての歴史的景観の拡大。
120	男性	60代	川には投げたゴミを見かけます。水を汚さないように守ってほしい。
145	男性	60代	田園風景。
156	男性	60代	天山から有明海までのメイン道路を設定し、現況を保つことが第一と思う。次に河川をコン クリートで造ることをやめること。メンテが大変だと思うがわれら市民の奉仕(ボランティア) の心を育てることにより、景観・環境は良くなるのが各地で行われている。
175	男性	60代	農地の保全。
176	男性	60代	既存の寺院、神社、公園等の景観の整備、維持、及び駐車場の充実が望ましい。
229	男性	60代	夜間の違法駐車一掃。
282	男性	60代	石工の里の道路整備。
295	男性	60代	小城。
398	男性	60代	山辺の道など。

回答者	性別	年齢	問12 守りたい・育てたいと思う景観
399	男性	60代	田の中心部落なのに赤・青・黄と色とりどりの住宅ができ、部落の良さがなくなりました。人のつながりも・・・
458	男性	60代	山、河川、農地、神社、寺等。
490	男性	60代	須賀神社の山の方の駐車場の整備（狭くて台数が少ない）。
520	男性	60代	ホテルの里。
536	男性	60代	歩道・車道の分離された道路整備。緑地帯の保全。
602	男性	60代	緑樹を増やす。
607	男性	60代	小城市（清水）～芦刈（住の江）の総合的な自然環境の生態系や歴史的文化の市内外へのPR（マップ等）。
619	男性	60代	各町でもっている文化を大事に保存、育成していくこと。互いの交流（文化交流）を全市で積極的にやれば、地域（旧町）根性を早くなくすよう市当局（総務部長）は努力をして下さい。
686	男性	60代	自然の与えてくれる風物（棚田、名水、ホテル等）を生かした公園化・緑地化。
700	男性	60代	川。緑。
714	男性	60代	天山から有明海までの主たる自然の維持管理の徹底。
4	女性	60代	自然をできる限り残してほしい。景観とは少し違いますが地球温暖化で海水の水位が上昇しつつあります。芦刈の方達や地盤の低い方々のために今後避難を考慮に入れた場所を確保する必要がありますと思います。
80	女性	60代	天山、小城公園、有明海沿岸。
92	女性	60代	清水の滝。小城公園。祇園川。
107	女性	60代	質問が漠然としていて何を書いているかわからないが、佐賀平野からみた天山。
192	女性	60代	小城公園。
233	女性	60代	小城市の観光地名所をもう少し大切にしてほしい。
284	女性	60代	歴史的景観の説明及び整備、それにアクセスする道路の整備、広報。
291	女性	60代	小城公園、千葉城など。
294	女性	60代	有明海。ムツゴロウ。
373	女性	60代	清水。牛尾梅林。
405	女性	60代	織島から原田、清水、焼山、江里山、石体、晴気の林道整備（軽装で山歩きができるように）を。ハイキングできたら、又、ドライブできたら、見晴らしも良いし、空気もイオンが一杯で良いのではと思います。
424	女性	60代	小城市に多い、寺やお宮の周りを、昔のような緑の木で守り、風情のある景観に育てたい。
432	女性	60代	自然を壊さないように。
481	女性	60代	緑を大切に、美しい自然を残したい。水を汚さないようにしたい。
659	女性	60代	田園、梅林、棚田、遺跡、名所。
669	女性	60代	・まず、みかんの廃園を耕し植樹する（補助をしてでも）。山を緑にする。 ・川の流れの美しさ、季節感の味わえるその山独自の景観を育てる。川の掃除で根こそぎアブラナ草が刈り取られた年、蛍は全く現れなかった。川幅が広がった今、そこまでしてもらいたくない。 ・廃園を利用して、何百本もの桜の木を植えてもらいたい。 福祉バスで市内に行かれる方が早めに来て上りに乗って川内まで行くとのこと。「まわりの木々の景観があまりに美しいので」といわれました。
673	女性	60代	小城公園、清水の滝などの自然の景観を守り美しい環境を望みます。
35	不明	70歳以上	一般的には現在の景観は良好と思います。
218	不明	70歳以上	牛津町、三宝山、仏舎利塔からの俯瞰。下砥川周辺の田園風景は四季折々の色合いを醸し出します。守りたい景観です。小城公園、須賀神社展望台周辺の木々は台風の被害で幹枝等が伐採されてしまい、鳥の住処が奪われました。早く復元したいものです。
264	不明	70歳以上	清水の滝、小城公園の池と鯉、それは小城の水の美しさです。清く澄んだ水、九州一だと思っています。その景観を守るため、ごみを川に捨てないことです。池に捨てないこと。徹底して小城市民は守っていききたいものです。
272	不明	70歳以上	自然を大切にしたい。歴史をよく知り、勉強していく心が大切だと思います。
296	不明	70歳以上	秋の紅葉が楽しめる植林。
297	不明	70歳以上	天山。清水の滝。
412	不明	70歳以上	小城公園内にある心字池内庭園。
624	不明	70歳以上	小城なら清水の観光第一番。
637	不明	70歳以上	公園の整備など。
730	不明	70歳以上	桜、紅葉。
5	男性	70歳以上	県道、市道、部落（生活道路等の側面に植樹をして歩いても車で通過しても心も身もなごみます。）
8	男性	70歳以上	春の菜の花、れんげ草の景観。
68	男性	70歳以上	溜め池、クレークの整備。
71	男性	70歳以上	天山から有明海までの景観（神社、寺院、旧家、橋、樹木、石仏など）の整備。
79	男性	70歳以上	マンション等高い建物を建てない。
98	男性	70歳以上	小城市（各地の昔からの中心街）のにぎわい。再生したい。
154	男性	70歳以上	小城公園の景観を充実する。
157	男性	70歳以上	旧海岸堤防への植樹、黒松等。
196	男性	70歳以上	天山、美しい川。
225	男性	70歳以上	仏舎利塔。小城公園。
241	男性	70歳以上	天山周辺の整備。
270	男性	70歳以上	緑地。
313	男性	70歳以上	晴田川の水・・・魚が少なくなった。昔のように、ハヤ、フナがいる川、釣りができる川。川がかわった。
314	男性	70歳以上	小城公園、千葉城址の整備。

回答者	性別	年齢	問12 守りたい・育てたいと思う景観
365	男性	70歳以上	自然の豊かな小城が好きです。だからお金をたくさんつぎ込んでいじくり回すのは反対です。(例えば祇園川は以前の姿のほうがよかったです。)
386	男性	70歳以上	天山まで行かず小城町の堤のあるところの道路整備。 有明海を景観できる住之江付近の整備。
387	男性	70歳以上	小城公園周辺。
400	男性	70歳以上	小城羊羹。ホテルの里の充実。
404	男性	70歳以上	農地の荒廃を防ぐ。
406	男性	70歳以上	豊富な水田、河川を生かしたまちづくり。歴史のある景観に赤レンガ、千葉城跡、清水等がある。歴史的つながりをアピールできれば、市民の意識が変化してくるのではないかと。
421	男性	70歳以上	小城公園、祇園川等。
435	男性	70歳以上	天山(川内部落)から住江まで、河川の堤防道路を拡充(新設)整備し、其処ここに憩いの場(レクリエーション施設、公園etc.)を設置して、4町が等しく活用できるようにしてはどうでしょうか。
448	男性	70歳以上	美しい自然環境を守り育てたいと思う。
544	男性	70歳以上	既存施設の充実と管理の徹底。
555	男性	70歳以上	小城市・小城の歴史的景観をもっと引き立たせていくこと。それには、大きい道路を備える。又、芦刈町には、広大な土地に農作物のハウス栽培を盛んにして、金儲けのできる産物をつくる。そして、物産販売所は、国道端に作って、もっと地域の産物のPRをすること。
583	男性	70歳以上	廃園になったみかん園に植栽する。景観林を植える。山の景観を元に戻す。
613	男性	70歳以上	国道34号線の中央分離帯の整備や歩道と車道との区切りの場所に煙草の吸殻や空き缶や瓶等のポイ捨てがあり犬の糞があちこちにありモラルの悪さが目立ちます。一層の環境整備に行政と市民が一体となり力を入れていけば住みよい小城市になると思います。
629	男性	70歳以上	四季折々に自然の美しさは田舎ならではの光景。今からも伸ばしていきたい。
645	男性	70歳以上	この恵まれた自然環境を生かし、春は爛漫と咲き匂う花の小城公園、初夏には祇園川であちこちに蛍が飛び交う溪流のせせらぎ、そして盛夏には清水の滝の景観を三点セットで考えていきたい。
665	男性	70歳以上	山あり川あり滝あり歴史的景観あり。守りたい。
688	男性	70歳以上	小城駅前、本町通等、空家が多くて以前の様子に比べて大変に淋しい町となってしまっている。花の季節、小城公園に花見に来る他町村から来る人が、多くの人達が驚いている。何とか考えてもらいたい。
710	男性	70歳以上	桜。川。
751	男性	70歳以上	山紫水明。
1	女性	70歳以上	小城公園。千葉城。清水。
14	女性	70歳以上	小城市に来て年数も浅く、これから小城市の自然環境や歴史的景観など散策しながら確かめていきたいと思っています。
43	女性	70歳以上	九州の小京都と称される、旧小城町を主体とした落ち着いた町の景観は必ず守り続けてほしい。 小城は歴史と自然に恵まれており、大都市にはない素朴な風情もあっていわば”日本の原風景”が残っているといえよう。人情の暖かさ=人のぬくもりを感じさせる情緒あふれる町になってほしい。また、小城地区(城下町)、三日月地区(田園地帯)、牛津地区(商業の町)、芦刈地区(有明海に面した)のそれぞれのエリアの特色、良さも大切にしてほしい。
47	女性	70歳以上	仏舍利塔からの眺め。
69	女性	70歳以上	水、緑。
78	女性	70歳以上	小城公園の整備・清掃。
99	女性	70歳以上	もう少し観光に力を入れてもらいたい。清水の滝や祥光山をアピールしたい。
114	女性	70歳以上	特に三日月町は農業を中心とした田園地帯ですが住宅地化してしまい、何らかの歯止めがないものか。造りすぎない自然を残したいと思う。
122	女性	70歳以上	桜並木の(牛津町)清掃は年をとった人にとっては危険です。年二回の掃除は苦痛です。よい方法はないですか？
126	女性	70歳以上	天山、祇園川の景観を今のままで。
158	女性	70歳以上	海。
222	女性	70歳以上	赤煉瓦の建物、小城公園、桜など。
226	女性	70歳以上	小城公園。
250	女性	70歳以上	晴木川をきれいにしたいです。
271	女性	70歳以上	田、畑の維持。
301	女性	70歳以上	小城公園を永遠に景観として残したい。
303	女性	70歳以上	小城公園。
331	女性	70歳以上	有名なクリークの清掃等をやってもらってほしい。住民がやるのではなく、市の環境課にて予算を計上してやってほしい。
419	女性	70歳以上	清水観音。
445	女性	70歳以上	小城公園。
460	女性	70歳以上	田舎には高い建物は建てさせない。河川の草刈り等をひんぱんに行い、きれいな川にする。
462	女性	70歳以上	天山、公園、芦刈、むつごろう干潟、遺跡。
470	女性	70歳以上	現況を壊さず、自然景観をと希望はしても、道路拡張もしなければならぬのしょう。若い時、清水の滝に感激して、老母を誘ったところ、絶景だけど、帰り道は怖いと言った。車の通る道は、小城町は作りきらんやろうかと言ったのを、今も忘れません。母は亡くなったけど、清水の滝は、小城の宝ですね。料理もおいしい美味で、車は怖いけど、幼い子供の頃から、良所、公共の場所等を大切にすることを養う教育は大切だと思う。人間の美意識は、子供も大人も老人も皆同じしょうから、荒らさずに手入れをお願いします。
500	女性	70歳以上	小城公園の桜。
503	女性	70歳以上	車からのゴミのポイ捨てをなくしてほしい。

回答者	性別	年齢	問12 守りたい・育てたいと思う景観
507	女性	70歳以上	山や田を、宅地などに開発しないでほしい。
522	女性	70歳以上	棚田をもっと。
523	女性	70歳以上	公園、緑地。
535	女性	70歳以上	祇園川周辺の景観。小城公園の桜。
539	女性	70歳以上	清水の滝を中心とした清流の清らかさと、山々の木々の緑。美しい自然遺産を後世まで大切に守りたい。
558	女性	70歳以上	小城は美しい水が流れています。この流れの中に、大きなゴミが捨てられていることがあります。夏、ホタルを観に来て下さる方、一生懸命ホタルを育てている方に対しても、美しい景観を守って行かなければならないと思います。
560	女性	70歳以上	由緒ある神社、仏閣と、その周辺の公園化。
584	女性	70歳以上	小城公園は、県外の人達も来て下さるような、立派な公園として残して下さい。小城公園、すばらしいと思います。清水千葉城をピーアールして下さい。
592	女性	70歳以上	自然環境や景観は、なるべく自然をそのままに生かし、手を加えることは望ましくないと考えます。
596	女性	70歳以上	田園から眺める天山。ホタルと桜。
610	女性	70歳以上	小城公園と周辺の史跡。
651	女性	70歳以上	小城市公園の桜は、私達が子供の頃はそれはそれは見事なものでした。祇園川の水も同じ飲料水になる程美しい清流でした。
677	女性	70歳以上	小城市内の城下町としての目玉の整備、牛津市内の商店街の歴史と施設の保存、三日月、芦刈市内の自然保護。このためにも、開発規制。(商店街、ごらく街の色分け)
715	女性	70歳以上	梅の花咲く牛ノ尾梅林(三里牛ノ尾)、桜咲く千葉城(小城上町)、守っていきたい。
716	女性	70歳以上	清水の滝周辺。
10	不明	不明	小城公園・桜、小川・クレークに魚(どじょう・めだか等)の住める環境。住宅による虫くいのない田園風景。
170	不明	不明	神社。
352	不明	不明	小城町周辺の清流・小環境。
393	不明	不明	河川が汚いと景観もだめになります。山と川の景観を守りたい。
557	不明	不明	なるべく自然のままに、小城公園も、あまり手を入れるべきではない(他所と同じにする必要はないので)。
733	不明	不明	小城町の古い街道と、神社仏閣、古い家屋。

小城市住民アンケート調査

参考資料

自由意見

回答者	性別	年齢	自由意見
274	不明	10・20代	どこにでもある市ではなく、佐賀だったら小城市となるように、悪い所をなくすのもよいが、よい所をのびした方が、いいのでは！あと町が1つになるような行事を増やす。
2	男性	10・20代	運動公園跡を更地にせず運動公園を建設してほしい。高齢者の事故の軽減にもつながってくる。
63	男性	10・20代	ごみ袋の大きさと質に不満があります。小さすぎるし、破れやすいような気がします。集積場に柵を付けて、ネットをかぶせるような対策をしてほしい。ごみがカラスに荒らされているので、掃除をするような対策もお願いしたいです。毎月集金される区費が高すぎる！毎月¥1,300も取る町を他には知らない。
73	男性	10・20代	前に比べて、不便だし住みにくい。市になっても別に何一ついい事も何も感じない。市役所の手続きがバラバラ！どこに行っても出来るようにしてほしい。
112	男性	10・20代	もう少し、小城には何がある。ということに定着するべきだと思う。それぞれの特性を活かして、県内外にもっとアピールしていくことによってよりよい町づくりになると思う。
141	男性	10・20代	・市役所を建てる場合は、他の施設（図書館、駅など）との連携ができるようなさまざまな機能をもった建物にしてもらいたい。 ・小城市内のバス等の運行を充実。 ・牛津駅に朝夕は特急列車を停車させてもらいたい。 ・旧4町別々の行事を1つにまとめる。
245	男性	10・20代	・高齢者の方々などインターネットを使える（持っていない）人もおられるので、そういう方々への情報伝達の仕方を考える。 ・少子化となり、若い人々が住みたいと思う町にする。
286	男性	10・20代	市民も同じであるが、市職員の旧町意識を早く捨てるのが、真の小城市発展になると思う。
474	男性	10・20代	合併して不便になったと言われることなく、早くスポーツのできるグラウンドや、体育館、サッカー場、プール等、自由にスポーツが出来、交流の出来る小城市。又、清水をもっと生き生きした町にしてほしい。
517	男性	10・20代	税金の有効な使い道をしてほしい。市議会議員の給与の減少の提案。たいした成果も出てないのにもらいすぎ。タクシーチケット、接待など必要ない。飲みたいなら自分の金から！市長だからって偉いわげじゃない。自分で運転して自分の車で移動！運転手つきは贅沢すぎる。フリーターが多すぎる。雇用促進を早く進めるように。日本の借金はいくらあるのか知ってますか？
569	男性	10・20代	新しい市になったということで、小城市について知りたいという気持ちはあるのですが、時間がないこともあり、なかなか広報に目を通せていません。インターネットなどアクセスしやすい方法で小城市について情報をもっと提供していただければ、と思います。
600	男性	10・20代	自然を大切に安全に知的に生きられる町をつくってほしい。
740	男性	10・20代	将来の道州制を見据えると、更に金の使い方が問題になってくる。エスプラッツのような先見の明も持たず、具体的な思想、構想も欠けた物は不要。小城市は広く情報収集に努め、他市の好例、悪例を参考するとよい。（ネットですぐみられるし）大概は目先の利益に釣られた行政が失敗している。精神的な豊かさを配慮した思いやりのある市政を期待しております。
754	男性	10・20代	ソフト大会など、同じ人ばかりが参加している。町民運動会。
11	女性	10・20代	税金の無駄使いをしないで、福祉の方を充実してもらいたい！お年寄りで本当に病院に行きたくても行けない人がたくさんいます。
84	女性	10・20代	市の木については必要だけど、場所を考えてほしい。うちの前にある木がじゃま！車が入れられない
101	女性	10・20代	個人情報保護制度の徹底。具体的には行政だけでなく、民間も視野に入れたO E C Dに通用するような条例の制定。
123	女性	10・20代	現在、子供を保育園に行かせていますが、保母さんの年齢が高齢化しているように思います。他の市では若い先生が多いと聞きます。やはり、子供には元気にのびのび生活してほしいため、若い先生と外をたくさん走り回り、運動会、生活発表会でも、いろんな種目をやってほしいと思う。そして近年、どんどん子供をねらった犯罪が増えていて、子供が本当に心配です。毎日役所から放送での呼びかけはありますが、それだけでなく市町村の役員の方でも通学路に立つ等、実際に行動で示してほしい。呼びかけだけでは犯罪は防げないと思います！
266	女性	10・20代	ペットがかえる住宅（市営、県営など）を増やしてほしい。もっと子供の遊び場を作してほしい。
318	女性	10・20代	現在小城市には、福祉施設やコミュニティホールがそれぞれあります。せっかくこのようなホールがあるので、もっとイベントや講師の方を招き講演会、コンサートなど、定期的に行って頂ければ、多くの人が集まると思います。個人的には、美輪明宏さんや江原啓之さんをお招き頂きたい。
358	女性	10・20代	小城市になって、不便になった。
436	女性	10・20代	無駄遣いはやめてほしい。
439	女性	10・20代	現在、小城市は新しい住宅等が増え、若い世代で核家族の割合が多くなっていると思います。そして子どもを育てながらも共働きで、放課後の子どもたちをどうするかという問題を抱えている人も多いと聞いています。少子化がいわれている今日、安心して子どもを育てられる環境がまだ不十分であるといえます。学童保育は5時までしか預かってくれないと聞き、まだ小さい子どもを抱える我が家は先が不安です。また保育園もすぐに定員オーバーしてしまうというも聞いていますので、働く女性が、地域と一緒に子育てをしやすくできる行政サービスをぜひとも！お願い。
453	女性	10・20代	小城の自然をこわさないでいただきたい。川の土手や大きい道路沿いにどれだけごみやオイルやら訳のわからない不燃物を捨ててあるか、ご存じですか？私は休みの日、何枚もごみ袋を拾いにいきますが手が足りません。まちづくりでいろいろ開発、整備を考えられる前に、今ある環境を大事にして、有限であることを見直してみたらどうでしょうか？誰でも豊かな自然を嫌いな人はいないと思います。緑豊かに水を美しく、生き物を大切にすべきだと思います。私個人で言っても仕方ないでしょうが、協力しますので、ぜひ考えて下さい。
461	女性	10・20代	学校を卒業したら、小城を出ることとなるでしょう。このままでは若者は減る一方ですよ！
493	女性	10・20代	芸術面を充実してください。ドッキング三日月や桜楽館は音響が悪いので、もっとコンサート向きのホールを作ってください。そして地域住民が気楽に楽しめる音楽を提供してください。
562	女性	10・20代	市の住民が住みよい市づくりをお願いします。
692	女性	10・20代	児童手当の拡大。乳幼児医療の無料化。
18	男性	30代	できる事ならば、総合庁舎を作ってください。大規模ショッピングモールの建設。
142	男性	30代	働く場所があれば人が集まり、都市が形成されていくと思います。まずは企業誘致をしていただきたいです。

回答者	性別	年齢	自由意見
185	男性	30代	本庁舎を新たに建設するような税金の無駄使いは絶対しないほしい。これからのインターネット社会の発展を考えた時に本庁舎があることやそれがどこにあるのかなど、意味がなくなる。役場というのはインターネット上にも存在することになり、インターネット上に24時間年中無休の役場が存在することになる。それで十分である。そのような時代が来るのがわかっていながら、何十億もかけて新庁舎をつくるなど、先見の明がない馬鹿な指導者がすることである。
327	男性	30代	全体的にレベルが低い(アンケートの)と思う。もっと他に考えることがあると思うのだが。
362	男性	30代	どんどんいい方向に向けてもらいたい。魂が大事です。
473	男性	30代	今後も、このようなアンケートは必要だと思う。
514	男性	30代	議員報酬の引き上げに反対。国保税が高すぎるので引き下げる。水道料の値下げ。
585	男性	30代	小城市の一部地域ではなく、全体を考えて市政を行ってほしい。
614	男性	30代	地域の特色を生かしながら、小城市全体が発展し、そして他の市や町に負けない位、住みやすく生活しやすい市にしてほしい。あとは、生涯すむことができるように、市独自で高齢者に対する施策の充実をお願いしたい。また、施策を展開する際に、一部の地域が取り残される、又は不便を感じるなどがあった場合は、合併したのが意味をなさなくなると思います。まとまりのある市にしてほしい。
711	男性	30代	市の行政に望むことは、素晴らしい環境を維持しながらの、商工業の振興。若い人たちが、定住するまちづくりを希望します。
20	女性	30代	小城市に住んでよかったと、また今後も住み続けたいようなまちづくりを考えてほしい。子どもから老人まで誰もが生きがいを持ち、自分は必要とされている。何かできると自分らしさを引き出せる場があれば新しい町づくりへとつながっていきける気がします。よろしく願います。
124	女性	30代	九州で一番合併効果がない小城市と新聞で見ましたが、町 市となったことで、よりよく変化していくことを望みます。住民にも行政にも意識改革が必要だと思います。
128	女性	30代	2月19日の小城市議選でみんなが口々に言っていたのは、報酬を増やしたことで、みんな不満に思っています。年間に数回の会議に出て、他は何の仕事をするのでしょうか？年間報酬や年金の上乗せなど、仕事に見合った報酬にしてほしいです。そして1年間どんなことをするのか、お金のこともちゃんと情報を公開して下さい。子供の通学の件でも心配です。木々が多いのはいいですけど、その分何が起こるかわかりません。子供が安心して生める環境をつくってほしいです。
183	女性	30代	三日月町には人口も増えていると思います。しかし小学校がとても遠いため、なんとかならないか検討していただきたい。
261	女性	30代	・市民の意見を行政だけでなく、他の市民に必要であれば、意見を聞いて行くことも必要？ ・無駄な箱物を作ることをせず、市民に意見を聞きながら、市で何が必要なのか、お金を使用してほしい。 ・市民がいろいろ参加をしないことが多いなか、あきらめず行政が活動的にしていけば、1人でも活動者が増えていくという姿勢で活動してほしい。
304	女性	30代	子どもの休日医療施設の充実。
317	女性	30代	市になったので、4町の町づくりは平等にしてほしい。
333	女性	30代	合併しても、住所を書くのが変わっただけで、少し不便になったように感じます。変わり目はこのような状況なのかもしれませんが、力を入れるべき所は手を抜かず、良き小城市を、住民みんなで作り上げられるような環境を、少しずついいですので、市長さんをお願い致します。人と人との関わりは、必ずあってほしいと思います。
339	女性	30代	住み良い、素晴らしい小城市をつくって下さい！
340	女性	30代	小城の山から芦刈の有明海まで、それぞれの町の特色を知らない所があるので、交流を深めて、市民みんなが知っていくことも大切だと思います。市になって、健康診断が有料になったのは残念だと思います。山から海までの自然を大事にして、よりよい小城市になっていてほしいと思います。
343	女性	30代	市の花、木、鳥があるのは全然知らなかった。知っている人は少ないのでは・・・。
354	女性	30代	公園と、子どもの遊び場がほしい。
355	女性	30代	子ども達の学校教育や幼児教育の充実を望む。放課後児童クラブの時間延長。
361	女性	30代	問29については、牛津町(現住)の花等、何なのか知らずにいました。町民の関心の低さはあると思いますし、それを利用して活動も行われていないように思います。小城市合併を期に、市花等、公園に積極的に植樹し、町づくりに活かしてほしいです。合併して市になり、もっと身近に感じるはずが、前より行政が遠くに感じるようになりました。各市庁舎も暗いです(あいさつが少ない)。身近なものになるように、市民一体になって盛り上げなければと思いました。小城市在住の芸術家等の協力を得て、子供から大人まで一緒に参加できるイベントがあるといいなと思います。ボランティアやシルバー人材の協力、人材確保が第一に必要だと感じています。
384	女性	30代	子供の通学の安全の為に、スクールバスの導入を要望します。
391	女性	30代	家族が多いので、この用紙のようなアンケートや広報が多く来るので、役には立つかもしれないが、税のムダにも思える。会社・学校等でも、紙のムダ遣いを減らす活動をしているのに、公でも使い道を考えて下さい。このアンケートの中身も、どの位利用するのですか？公的チラシも、カラー等はムダだと思う。
409	女性	30代	子どもからお年寄りまで、安心して楽しく生活できる環境を整えていくことが必要です。人に優しいまちづくりを目指して、市民一人一人ができることから活動していくことだと思います。
428	女性	30代	小城市に来て、7ヶ月程経ちますが、いまだに金属類のゴミをどこに出していいのかわからなくて、困っています。新しく引っ越した先の、金属類などのゴミ捨て場がどこにあるのか、書いてあるものを、諸手続きをする時に渡すなり、して頂ければ良かったのにもと思います。金属類、リサイクルできるゴミ等、可燃物と同様、集荷して頂ければ、大変助かると思います。
450	女性	30代	合併して、市になったので、市議会議員、市役所の職員の削減。民間のレベルに近くしてほしい。矢祭町の取り組みを小城市にもやっていただきたい。役場の窓口の対応があまり良くなく感じる。
540	女性	30代	今回の選挙のときに投票所がわからず期日前に投票に行きました。小学校などで投票はできないのですか？地元ではないと分かりにくいです。芦刈町にもふんふんテレビやフーなどのインターネットを整備してください。
579	女性	30代	子供の医療費をもっとより軽くして頂きたいです。3歳過ぎると半割り補助が出ますが地域によっては6歳まで300円で(ひと月で)いい所など友人から聞きます。将来的にもっと考えてほしいです。

回答者	性別	年齢	自由意見
620	女性	30代	教育面で少し、納得いかないところなどがあつた。なんか色々また考えてほしいと思った。三日月幼稚園の園次多すぎて、定員以上とるとはどういうことだ。晴田も、また、小城や岩松の公立保育園で、劇中にバカなどの暴言が見られとても残念に思った。
641	女性	30代	道路の整備、下水道、観光地に力を入れてほしい。
647	女性	30代	佐賀市のようなゴミ処理場が一日でも早く整備されてほしいです。環境のことなどとても気になります。三日月町は一小学校一中学校で生徒はどんどん増えるのに、クラス人数は多いまま。高度機能自閉症などの子供が普通クラスにいるのに対応は全くされていない。学校教育の場には問題が多いと思います。
661	女性	30代	三日月小・中学校がマンモス化していると聞きました。2つか3つに分けて、通学距離を短くしてやって下さい。それと、この人数の多さでは行き届いた教育ができないと思います。
726	女性	30代	子どもが安心して過ごせる町(市)に。まっすぐ健全に育つことができる市政を・・・
741	女性	30代	私が小学生の頃は、集団登校、下校があり、6年生がリーダーとなって下級生を連れて行ってくれました。今は不審者による声かけなどがあるにもかかわらず、児童が一人で登下校しているのを見かけます。学校は集団登校を推進してほしい。 ごみの処理が不完全。ダイオキシンの発生しない処理場をつくらせたり、製紙工場もあるのだから、空き箱などの紙リサイクル、生ごみは堆肥にするなどごみ分類を細分化して、リサイクルの強化を希望します。
111	不明	40代	小城町内の道路事情が悪い(幹線道路の割に狭く歩道との区別がない)。小城町内には、牛津、芦刈、三日月にある運動公園の整備がされていない。小城市民病院以外公的総合病院がないので不便である。
205	不明	40代	1. 行財政改革は断行し続けること! 2. 施設などより、ソフト面、市民参加による活気ある市民生活が望ましい。 3. 合併してよかったと言われるように(内外からも) 4. 他の市との比較よりも独自性を求む。給与(職員、議員)の横並び。
244	不明	40代	高齢化が進み、箱物を整備するのではなく、小城市の巡回バスを1時間に1本は出るようにし、あらかじめ、予約しておけば家の近くまで迎えに行けるようにしてほしいです。また牛津は大雨の心配が切実です。川の整備をしてほしいです。
655	不明	40代	分庁方式でなく、市役所を作ってほしい! 職員は、対応をよくしてほしい。個人差がある! 職員の人数が多すぎる!
81	男性	40代	若年の人が住みやすいように、安全、福祉、道路整備、大学の建設等。
106	男性	40代	財政難と言われている昨今、当然の様に支払われている公務員に対するボーナスに疑問を感じます。もう一つ、不透明な各種手当等、理解に苦しみます。民間では、今相当な痛みを受けています。世の中の不公平は何とかならないものでしょうか?
150	男性	40代	総合庁舎・議会棟・大文化ホール(2,500~3,000名)棟等の建設が望まれるが、これらの建設工事等の発注(設計・建設業者・資材納入業者等)において、地産地消を徹底すれば、これが地域のまちおこし・まちづくりに貢献する。この地産地消については鉛筆1本・紙1枚から始まるものである。以上、全てが地元地域団体等への発注をされることを望みます。これが市民に愛される行政であります。
161	男性	40代	市の職員一人一人が市民の税金で給与をもらっているということ、また選ばれている人なんだということ等を常に心がけてほしい。
231	男性	40代	・財政改革の推進 ・市長、助役の給料の見直し。 ・議員定数、議員報酬の見直し。
281	男性	40代	市統合後、市職員の給与、市会議員の報酬等、市民のコンセンサスを得ずにやりたい放題の感あり。こういう市政運営には賛同できないので、他の市町村に住民票を移動させて対抗する心づもり。
413	男性	40代	産業の振興について、市のカラーが薄いように感じる。小城市の特色を活かした独自施策を、積極的に展開すべきだと思う。
422	男性	40代	市には、積極的な企業誘致を図り、雇用拡大による市の活性化(財政が潤うよう)をしてもらいたい。地産地消を推進してほしい。地産産業の積極的利用を求めます。小城市内で、お金(税金等)がサイクルするように求めます。
423	男性	40代	総合運動公園建設予定地だった場所に、佐賀の森林公園のような、緑を活かした施設を造ってほしいかかと思います。
478	男性	40代	小さい行政。
491	男性	40代	回覧板が回ってくる回数も減り、今市がどのような活動を行っているかなどの情報も一部のみにだけのものであり、市民にはますます伝わりにくくなっているように思います。地域のどの世代の人にも情報が行き渡るように、地区のリーダーの人を育成してもらい、市の活動への参加の呼びかけとよりよいサービスが一般市民に受けられるように行政の方は努力してください。
568	男性	40代	議会について、合併後の今の小城市には定数通りの議員は必要だと思いがたB549ですが、行財政改革を言いながら、あの手当の増額は納得できません。小城市は財政に余裕があるのですか。合併前の説明では、財政的に単独では困難であるとか……。説明と異なるように思いますが、私の周りに疑問・不満に思っている人が沢山います。
621	男性	40代	市の発展は旧町意識をすて三役人事には満足していない。知識人を充てるのが望ましい。
640	男性	40代	現在図書館をよく利用させて頂いておりますが、祝祭日閉まっていることと、閉館時間が短すぎます。せっかく4箇所ありますので開館時間をずらしたり、休日をずらしていつもあいている図書館にしてほしい。せめて佐賀市立図書館くらいには見直して下さい。よろしく願い申し上げます。江里口秀次様。平日は夜8時くらいまで開けてもらえることを望みます。閉館を1~2時遅らしたらできませんか?
687	男性	40代	サービス向上と監査機関の充実。
706	男性	40代	安全と安心が最優先されるべき。暴走族を含む犯罪者に対する佐賀県警の容認・馴れ合いには、呆れてしまう。小城市における条例等の制定により、安全と安心を確保してほしい。また、小さな町なのに殺人犯を育成したことを恥じて、青少年に対する罰則の強化も検討し、今後、重大犯罪人を育成することがないように願う。
750	男性	40代	・歴史的遺産や自然環境を生かした街づくり ・人間を中心とした施策の実施を をお願いします。

回答者	性別	年齢	自由意見
9	女性	40代	小学校、中学校、高校、各生徒が通学する道路の安全確保の為（歩道、外灯）整備していただきたい。
41	女性	40代	田んぼの稲の生育も大事だが、外灯は特に設置していただきたい。歩道も狭い箇所があるので見直し
60	女性	40代	私は芦刈町ですけど、商業医療の充実を望みます。
82	女性	40代	情報公開に重点をおいてほしい。
87	女性	40代	高齢者が増え続けています。小城市になり不便が多くなりつつあります。小城市に住みながら手続きが牛津、三日月、芦刈なので、歩いては行けなくなり、バスやタクシーで行かなければならない現実を大変不便に思うしだいです。高齢者には住みにくい町のようなです。各町の役場の方に、各手続きのお手伝いをしてもらえたらいいと思います（取り寄せてもらったりなど）。
134	女性	40代	今はごみ燃やしの件が一番私にとっては嫌です。私はぜんそくをもっているの、煙が嫌です。これを今から議会に出してもらいたいです。
147	女性	40代	10～15時くらいでいいので、土、日、祝日も役所は開けてほしい（市民に直接関係する部署）。
174	女性	40代	まだまだ、市職員に合併したという意識がありません。小城市としての行政ではなく、各4町での行政のように思えます。
194	女性	40代	・今回の市議会議員選挙は立候補者の名前の連呼！だけが目立ち過ぎて大変残念でした。顔のみえない選挙！公約etcを少しだけでも、もっとアピールして選挙を戦ってほしかった（できないは別としても）。
289	女性	40代	・高齢者対策の一つに「シルバー人材センター」がありますが、一生懸命お仕事されている方も多いのはもちろんですが、なかには「シルバー人材センター」を通さずに隠れて個人的にこっそり、仕事を頼まれて、個人に直接封筒で現金をもらっている方がいます。これでは「シルバー人材センター」本来のあり方と違います。良い方向に改善。もしくは定年制も必要ではないでしょうか。
351	女性	40代	将来的に市役所が建つのでしょうか？そうであれば反対です！4町を電子化しつつなげていく方が、お年寄りや地域住民にとって便利なものになるはず。バスやタクシー等の交通手段、建設のための税金をぜひ近くの旧役場で用が済ませられる電子化のために有意義に使ってほしいです。
353	女性	40代	住みよい環境ではあるが、若者が働く所が少ないため、働く場所を増やしてほしい。
369	女性	40代	小城市は素晴らしい自然環境に恵まれているのだから、その自然との共存を前提に、無理に背伸びした都市化計画にならないよう、自然も人も、心豊かに暮らせるまちづくりをお願いできればと思います。
374	女性	40代	活気づく町づくりも大切だと思うが、人間が心豊かに生きていくための基本的なこと（自然を大切にしたり、物を大切にすることや、安心できる食材等々・・・）を、今一度見つめ直してほしいと思う。
411	女性	40代	子供を持つ親として、防犯灯は急いで対応してほしい。“時は金なり”。いかに毎日、子供のことを心配して仕事しているか、わかってほしい。
467	女性	40代	・ごみ置き場の整備をぜひお願いします。
505	女性	40代	・道路の整備（道幅が狭いので）。
513	女性	40代	私は兼業農家で、毎年申告をしています。去年は、夜間まで受付してくれる日が数日あり、とても助かりました。ところが、今年受付は3：00までですということ。勤めている者は、休みをとって申告しなければならず、今の厳しい世の中、公務員のように守られている人々には分からないでしょうが、休みをもらうのは大変気が引けることです。私の周りでも、合併してもいいことは一つないと、皆言っています。今後は、お役所仕事はやめて、市民の目の高さに合わせて、サービスを実施してほしいと切に願います。
589	女性	40代	現在、子供達の通学路すら外灯もなく、危険な箇所が多い。農作物の影響のため、放置することができないと聞きましたが、本当でしょうか。もし、子供達の身に何かあったら責任をとっていただけるのでしょうか？もっと現実の問題を考えてほしいと思います。
632	女性	40代	巡回バスを回数を多くしてください。100円位なら出します。
643	女性	40代	私の母は腎不全による人工透析を受けていますが小城市には医療機関（専門）がなく隣市に通院しています。母は車の運転ができませんので不自由しています。私の送迎では仕事の関係で迎えに行く事が困難です。タクシーでいけるくらい近所に病院（専門）があれば幸いです。どうかご検討くださいませう心よりお願い申し上げます。
752	女性	40代	小城市の歴史、文化、自然を生かしてもらいたい。「いなか」の小城市でいいと思います。
34	不明	50代	合併により、様々なことが不安であったり不便に感じる場合があります。市役所の方々に質問したり尋ねることも多くなると思います。職員の適切な指導をお願いします。
125	不明	50代	広報誌のうしづも、市報となり、牛津の身近な情報も知りたいと思います。公民館だよりみたいなものは、できないのでしょうか。
287	不明	50代	意見ではないが要望として下町交差点の変形十字路の解消を早くすすめてほしい。
472	不明	50代	資金不足の面は、アイデアを出し合い、地域の特色や人材を活かして、乗り切りたい。四町の教育環境に差があると感じている。どの町にいても、子どもたちが健やかに成長できるように配慮を希望します。
580	不明	50代	・企業誘致を望みます。
			・節約できることは節約を。
			・市の職員で若い方は親切、丁寧に教えて下さるのでほっとします。
			・このアンケートに対する市職員の意識の欠如を思います。個別に郵送し、個別に回収し、個々を手作業で集計する？集計し市民の意識を計画に反映するなどの姿勢は見受けられません。
			・郵送費用、集計費用ばかりで、何ら計画に反映できるとは思えません。時代錯誤の感がします。
			・何もしないで、血税を大切にしてください。切望します。ポーズではダメです！
			・財政の公開。税金の無駄使いをなくしてほしい。
			・佐賀銀、佐賀共栄銀行四差路を早く直通してほしい。店舗の立ち退き（税金の無駄使いではないだろうか）ばかりが早く進んで交通量の混雑は全然解消していない。なんで早くできないのか？みんなで不思議だと話題にのぼっています。
			・これ以上のパチンコ店等の娯楽施設の誘致はやめるべきです。
			・車優先ではなく歩行者主体の道路の整備をして欲しい。
			・各町内の南北の通り抜けの出来る、複数の新規の整備。クリークや学校、踏み切り等で県道以外にも南北方向にスムーズにいける道を作ったほうがいい。34号に出来る道が未整備と痛感している住宅の前に道路を！住民が増えれば交通に支障が起こる。歩いて暮らせるやさしい町づくりをしてほしいですね！
			合併して1年になるうとしているが、不便さだけが目に見えて何一つとしていいことがない。市会議員の選挙がありました。今後市会議員に恥ずかしくない活動をしていただくよう研修等をしてほしい。

回答者	性別	年齢	自由意見
597	不明	50代	生活環境問題の下水道排水路の整備をお願いします。
737	不明	50代	小城市の行政職員として、全てに民間に負けないようなサービス心、態度等を養って欲しいです。
7	男性	50代	無理に将来の拡大を考えず、陸の桃源郷でよいからあるがままに今の小城を大事にしてもらいたい。
31	男性	50代	市庁舎の新築は絶対造らないこと。
49	男性	50代	今後も小城市は人口減少が続くと思われま。それと同時に高齢化も進むと思う。もう今までのように税金をタレ流してよい時代は終わっています。これからは将来の子供達に負をおわせるのではなく、希望をもたせる行政をしてほしい。議員も今の半分で十分だと思うし、役場ももっと減らしてよいと思う。文化センターもせまい小城市にしては広すぎます。
57	男性	50代	市の財政を市民にすべて知らせてほしい。
66	男性	50代	合併を意義あるものにするため 効率的でスリムな行政組織作り。 優先順位をつけた都市計画作り（総花的にならない）。 優先施策に対する予算の重点配分。 を進めてもらいたい。
75	男性	50代	行政は本当に市民のためになることを考えていない。財政改革に大ナタをふるわないといけな。それにはまず行政側から実行する。公用車は軽自動車です。ロンドン市長は地下鉄出勤しているそうです。日本の選挙制度は後進国なみです。立候補者は合同で立ち会い演説会をするべきです。選挙カーはうるさいだけで何にもならない。ウィーンに4年間いましたが、宣伝カーを聞いたのはたったの一回だけです。日本では議員本人は格上だと思っているようです。ヨーロッパではもっと身近な存在です。日本の政治家は後進国の考え方です。
77	男性	50代	4町を結ぶ道路整備。
95	男性	50代	市民の中に踏み込んだ行政をしてほしい。
139	男性	50代	人と人とのつながりを大切にしたい、あたたかみのある街づくりができれば良いと考えていますし、望みます。
215	男性	50代	防災体制について、発令等の伝達システムの充実。
232	男性	50代	・行政改革を進めてほしい。 ・行政職員の意識改革。
238	男性	50代	芦刈道免地区の者ですが、農道、クレークの整備が、芦刈上地区より遅れていると思います。代々区長より要望は出ているはずですが。
249	男性	50代	イベント等開催時、会場周辺住民への説明、了承等は例年のことであっても事前にきっちり行ってもらいたい。
253	男性	50代	市役所職員の数が多すぎる。民間サイドから見れば、30%は減らすべき。賃金とは労働に対する対価であり、その点からすれば適正な給与とは言えない。財政健全化ありきで、他になし。このアンケートはその後でどうぞ。
302	男性	50代	地域コミュニティの確立が必要である。これからの少子・高齢化社会においては、新しい公共空間を作っていくことが大事である。
321	男性	50代	合併後の旧4町が、できる限り同じ市民意識を持つために、合同でのコミュニケーションの場を持つたらと思う。たとえば、スポーツ、祭りなど。
334	男性	50代	旧4町が独自に行ってきた行政面、また、行事、イベントなどは、全て小城市として一本化されるものは、早急にやってもらいたい。
337	男性	50代	小城市としての特質を大きくアピールできるようにしてもらいたいです。
385	男性	50代	アンケート調査、非常に良いと思いますが、意見だけで終わらないように、一つでも実現してもらいたい！
403	男性	50代	複式簿記での決算状況を市報に掲載すること。 職員給与は、小城市の平均所得を考慮すること。 高齢者福祉、少子化問題に積極的に取り組むこと。
444	男性	50代	小城町の自然や地域活動、それに行政サービスがとてよと感じ、この町に住めることを大変喜んでいました。4町の合併により、小城町の良さが少なくなるのではないかと心配しています。合併後もより良くなったと感じられるまちづくりを望んでいます。
508	男性	50代	うそをつかない行政を望みます。
537	男性	50代	小中学校の位置について考えて欲しい。
543	男性	50代	農業、商業、工業の調和のとれた市政を望みます。
668	男性	50代	市の職員の対応が悪いので、市民に親切に接してもらいたい。
682	男性	50代	交通アクセスが非常に悪い。バイクがないので商業も発展しない。核になる商業ゾーンがない。小城駅周辺がみっともない。もっと羊羹の里をアピールした法がよい。全国に誇る羊羹をアピールしないのはもったいない。
723	男性	50代	今芦刈の無線システムが全く機能していない！ある物は有効に活用し、せめて雑音のない放送を！
734	男性	50代	下水道工事の第一期工事の時、家の前で大型重機などで振動がひどく、今では玄関ドアがよく閉まらないようになっている。（こればかりが原因とは言えませんが） 旧三日月役場下水道課へ言ってもダメ。写真とっておきますのでひと言。これらは写真ではわからないと思う。
744	男性	50代	ガラスばりの行政
22	女性	50代	多くの市民が参加できる行事に取り組むレクリエーションやスポーツ大会。 大勢の市民が集まって（関心）度の高い何かを計画？
36	女性	50代	企業誘致と商業の活性化。
42	女性	50代	地区ごとにおられる民生委員さんですが、相談しやすい、ある程度経験知識のある方を選んでほしい。 現在入院、OPとなると相当の金を用意せねばならず、ピクピク状態である。市の問題ではないかも知れませんが、県の方に福岡県みたいに、最初から医療費を支払って退院しない方向に持って行ってほしいと思います。外来は現行で良いのですが・・・
83	女性	50代	三日月町にはどこに何を建てても良いなど、弱い者いじめはやめて、小さな狭い道路にトラックが入ってくる。シンナーのにおいはする。ものすごい機械の音のするような工場は、1ヶ所に「工場団地」を作り、弱い市民を助けてほしい。お金があったらどこかに引っ越しをしたいと思います。
93	女性	50代	行政の方の活動は文書などの知識だけでなく、現場へ行って体験、目で見て感じ、市民の意見を聞き、各項の理解をしてほしい。
97	女性	50代	豊かな自然を子供達に残してやれるような行政をお願いします。

回答者	性別	年齢	自由意見
166	女性	50代	調査の結果もちゃんとお願いした人には報告して下さい。
184	女性	50代	医療費を減らすための健康増進、食育対策を！救急医療が受けられるような（せつかく市民病院があるので）体制づくりをお願いしたい。豊かな自然環境を守るような対策を！小城市が大好きです。貴重な機会をありがとうございました。
190	女性	50代	住民のための小城市にしてください。
247	女性	50代	現在、市議会選挙が行われていますが、他市と単純に比べることはなく、市の財政や今後くるであろう人口減、高齢化等を充分に考え、議員の削減、議員報酬の削減、市職員の定員、給与等、見直しを図られるべきと考えます。
275	女性	50代	小城市は農協が強く、まだまだ都市化には遠い。まず小城市に住民を増やす事が発展の第1歩だと思います。市内（佐賀）のように、住宅街、工場街、農業地などある程度区画を区切り、他の市町村からも観光だけでなく、仕事や買い物、病院など、さまざまな用事で立ち寄れる小城市になってほしい。件の公共機関の誘致にも力を入れてほしいです、まずは住宅をたくさん作ることが第1歩だと思っています。
300	女性	50代	合併後の行政を見守りたいと思います。
328	女性	50代	行政 無駄を省いて、市民の公僕として、低姿勢で働いてもらいたい。専門職などは、良く勉強して、それを市民の利益となるよう、努力してほしい。全てにおいて、市職員としての自覚を持って、サービスしてほしい。
330	女性	50代	旧4町、それぞれの特色がありますが、合併と共に一致団結して、良い方向に頑張してほしいと思います。
332	女性	50代	性別、年齢に関係なく、皆が関心や興味を持って色々なことにチャレンジし、協力していけるような市になっていけたらいいと思います。
395	女性	50代	無駄を省き、裏道、及びその側溝を整備してほしい。
437	女性	50代	天山から有明海まで、とても広い地域になりました。早く旧町意識を取り払って、小城市民としての一体感を持つためにも、住民交流の場を設けることも必要ではないでしょうか？子供達の相互学校訪問などの交流もあって良いかと思えます。
457	女性	50代	小城市になっても何のメリットもなく、かえってデメリットの方が多くなっていく不安がある。小城町在住です。
525	女性	50代	市議員についてですが毎年思うことですが人事異動どんなにして決めておられるでしょう。ふさわしくない人が園長になったり課長になられたりしておられますよね。夫婦共働きや市以外から来られている人たちがどれくらいおられるか調べられてはどうでしょう。若い人に働く場所を縁故ではなく本当に実力で採用してほしいと思います。次の市報に市外から何人、共稼ぎ何人など載せてほしいと思います。
553	女性	50代	アイルの津の里温泉地に岩盤浴の施設を作してほしい。（500円ほどの料金で利用できるようなならなおいいです）
587	女性	50代	小城町に住んで感じた事は、歩道が充分でない事です。歩くのに不便です。整備をお願いします。子ども達も危ないと思う。福祉センターは各町にあるのに、運動公園が無いのが不満です。ジョギングとか出来る場所がほしい。
599	女性	50代	若夫婦の暮らしやすい住宅、子育てのための保育施設の充実など、特に住宅に関してですが、市営住宅をもっとふやしてほしい！市営住宅に入りたいのですが宝くじにあたるように難しい。水道代が高いので小城町に近づくようにしてほしい。
608	女性	50代	・学校にもっと予算を増やしてほしい。 ・牛津中学校の後者を早く新しい校舎にしてほしい。 ・今年から老齢年金の控除がなくなったのでたくさんのお年寄りが確定申告にこられ、申告を受け持つ職員の方が4名だけで去年までと同じ人数で何時間も待たなければなりません。もっと職員の数を増やしてほしい。
617	女性	50代	小城市になり色々な面において違いすぎる事が多いように思います。平等になるようにお願いします。
622	女性	50代	市民ひとりひとりの市政に対する認識とか色々協力が必要です。又今回新しく選出されました市会議員の方々、是非公約通りにご活躍いただきたいです。選挙直前の重き1票がその後は軽い1票になされませんように！
636	女性	50代	よその真似ではない小城市らしさ、しかしいつも市民が真ん中。市民が生き活きと暮らすための環境・制度づくり。
648	女性	50代	将来、子供達の重荷になるような行政はやってほしくない。今やっている事には責任をもって、先送りするような事はやってはいけないと思います。
697	女性	50代	効率的な行財政運営のまちづくりを願います。
729	女性	50代	1年前に義父は亡くなりましたが、生前は保育所の感じでお年寄りさんを預けられる所がないものと強く思いました。かしまった介護施設には行きたがらないし、家に一人でいるのには淋しそうだし、火の危険もあるんで、だからと言って自分が仕事をやめてまで家にいっしょにいてやる気にもなってやれず、随分悩みました。
26	男性	60代	合併から1年で旧町の意識が高く、分庁方式市政で不便である。早く総合庁舎の建設を望む。
58	男性	60代	小中学校の相互交流の場をつくってほしい。
61	男性	60代	1. 集落道の舗装。 2. 公有水面の不法埋立の防止。 3. 上水道料金の統一。 4. 都市計画の再調査決定。
109	男性	60代	小城町駅通りの道路拡張整備によって、商店経営者は売場面積が縮小され、廃店の方向へと進む不安が生じてきている。これでは、ゴーストタウンになってしまうために、県、市、行政としては土地スペースのある所有者と交渉してもらいたい。代替地の斡旋協力体制で、商店街発展をサポートしてもらいたい。
145	男性	60代	旧各町の区制の見直し、集約による区長人件費の削減。
156	男性	60代	中央（国）のように、首長の顔色を見ている職員が多いと行政サービスは低下する。まず、首長がリーダーとは何かを示す。幹部職員の姿勢をしっかりと正す。（例）管理職による発注工事等の完成は（全部ではないが）の検査等大まかだと聞く。
175	男性	60代	市庁舎の早期の統合。

回答者	性別	年齢	自由意見
199	男性	60代	クリーク周辺の土手がぐずれかけている、草もいっぱい生えています。定期的に補修なり草取りでもしたら・・・。まるでドブみたいになってるような感じがします。
203	男性	60代	町から市へと変わると市会議員の給料が15万円も、よって38万円とは、農業では米は下がって収入は本当に無いに等しいと思いますが、議員の方がこんなに高額な金額を受け入れられたとは誰もがおかしいと思いますけどこのままでいいのでしょうか？
229	男性	60代	市民病院、小城中学校北側の道路拡幅をできるだけ早く実現してほしい。現在は中学生の通学が非常に危険です。
267	男性	60代	まず、自分の家庭を育てるには収入を上げ、家族の進行方向を決め、各自の栄輝を求めることにより、より豊かな生活とゆとりのある生活が大切だと思います。従って、小城市も家族と同じに、何をするか、収入を上げ皆が何を求め、ゆとりのある小城市民になりたいと思います。
282	男性	60代	現在、牛津町に住んでいますが、水道料金を検討して下さい。
295	男性	60代	市の役所が旧4町に分散している状況では、不便さのみが目立ち、市民の活動拠点が無い。やはり、市の「核」となる庁舎を作って、道路を整備すれば、当然商業等も発展する。市民の活動もしかり。今の状態では声を高くしてもまとまらない。
371	男性	60代	総合市庁舎が本当に必要か？分庁方式がなぜいけないか、市執行部は決まっているから造るのではなく、初歩から検討してほしい。現庁舎の利用方法も含めた、具体的な検討が必要だと思う。
399	男性	60代	市になって、まだ良かったか悪かったか、分かりません。良くなっていくことを願っています。私共は、三日月町民ですが、住所が大字だけになり、昔から住んでいる私達でも、どこからどこまで織島なのか、長神田なのか、分かりません。前の地図と重ねて、今の地図をハッキリと書いて、各戸に頂けないでしょうか。皆、困っています。
458	男性	60代	私には理解に遠い問いでした。市長さん初め、議員さん、市役所の職員さん、方は住民の指導者であり手本になる人ばかりと思いますが、市民のため、努力してもらいたいと思います。よくも悪くも、あなたたちの働き方と思います。一生懸命、自分の仕事に誇りをもって努力してほしい。
490	男性	60代	住民アンケート票を見て、全部市民の税金で行います。今からは高齢、高齢が増えてきます。あまり負担にならないように若者に負担をおしつけないようにお願いします。特に市長に声が届くように。
520	男性	60代	小城市自然環境を守ること。コンクリートで掘る工事しないで下さい。
536	男性	60代	市議会の議員定数を削減すべき。(人口規模から20名程度でよい。)市議員数の適正化に取り組んで欲しい。
570	男性	60代	旧三日月町役場の信号機についている案内板が三日月町役場のままです。これを三日月庁舎に変更して下さい。
572	男性	60代	町役場であったころのことですが、町職員の対応のまずさ(知的能力的なこと、町民が尋ねていっても、自分がどの立場で説明しなければいけないか分かっていない)言葉遣いなどで見受けられました。
607	男性	60代	先人の知恵を重んじながら、市民全体的な近未来的な人明改革の夜明けを目指す志向性豊かな人間育成に力を！市長並びに市議達のエゴイスト的で常識なさすぎる。小城市から転出したい！
619	男性	60代	行政改革の嵐の中でさまざまな補助金等についてカットされるものが多いが、ボランティア的な地域での役割(例えば交通指導員等)に対する経費減額などはもったのほかである。市議会議員の報酬はこの財政難の時代に15万円も増額し、定数減の区長会よりの要請も否決。なんという独善的な旧態依然として感覚の持ち方で、市行政当局は流れるにまかせるばかりなのか。合併して小城市になった良さというものが一つも見当たらない。少子化対策では保育料の無料化など、思い切った政策をとるべきではないか。市総務部は頭を切り替えてしっかりリードを頼みますよ。
633	男性	60代	アンケートを取ることは、とても良いことだと思いますが、もう少し簡素化して、判りやすく短めな内容にしてほしい.....。
686	男性	60代	行政主導でなくあくまで市民の意見(声)を取り上げ、将来に渡るビジョンをつくり、実現してほしい。そのビジョンも3～5年毎には見直す勇気も持ち合わせてほしい。実現不能の理由を財政難で逃げないこと。本当に必要な物は市民は協力するはずである。
714	男性	60代	市民が安心、安全で暮らせる町、行政の活性化、赤字財政の是正、その他市民サイドに立った行財等、問題点は山積しているののでできるだけ物事をスピーディーにひとつずつ解決してもらいたい。
4	女性	60代	市庁舎ができるだけ早く用地が決まり、建設ができることを望んでいます。現状では、何かと不便ですので、まず市庁舎ができないことには、他の施設など考えられませんか。
16	女性	60代	どこの市役所に行っても割と若い職員の方は人あたりが悪い。愛嬌がない。私達60歳以上の人にはわかりやすく何回も説明してほしい。すぐに忘れやすいからお願いします。
39	女性	60代	下水道の整備を強く希望いたします。
86	女性	60代	交通災害保険申し込みなんかは区長さん方に頼むようできないでしょうか。車に乗れない人、高齢者の方は大変です。以前は区長さん宅に持って行ってました。
92	女性	60代	小城町福祉センターの入浴時間を他の町と見合う時間帯にご検討を望みます。
108	女性	60代	行政について、合併した理由のひとつに財政的なことがあったと思いますが、聞いた話ですが、市の財政がひっばくしていると聞きました。財政難ならば、自分の家計のことを考えれば簡単だと思います。借金は返すことができる範囲で借りるのが普通です。子供達に今の市長さんたちがつくった借金を負わせないよう、良識ある行政を期待しています。
169	女性	60代	三日月町で産業祭が行われていてとても楽しみにしていましたが、小城市に合併しそれがなくなってしまい、「小城市(公園)」で行われているが、三日月町でも以前通り行ってほしい。
224	女性	60代	交通の便利な場所に庁舎を早く作ってほしい。
233	女性	60代	市役所職員の指導、また教育に力を入れてほしい。勤務時間中、私用の時間を設けている人が多く感じます。我々の小さな税金です。民間はそんなことはできません。ちよくちよく見かけます。
291	女性	60代	アンケートを行って改善となればいいが、現実的行政的に進めばよいのですが。アンケートに目もくれない人がいることも。
305	女性	60代	市会議員は20名ばかりにしてもらいたい。議員の報酬が上がると聞きましたが、それは反対です。
373	女性	60代	・市になって良かったと思われるように、少しでも変化してほしい。 ・4町を統一するための理由で、健康診断料の値上げ、福祉施設・公民館等の利用料、冷・暖房費、水道料の値上げなどは、絶対してほしくないと思います。
405	女性	60代	自然に恵まれた小城市です。又、佐賀県を中心に近い所に位置しています。自然を壊すことなく、道路脇の草を刈る整備をし、休日は市外の人々が山の中腹の散策、歴史跡を訪ねる人、海を見に行く人と、多く小城に遊びに来て下さることを願います。魅力ある小城市になりますよう(内・外)期待しています。そのためには協力も惜しみません。よろしくお願いします。

回答者	性別	年齢	自由意見
426	女性	60代	私は三日月に住むようになって3年ほど。それまでは工場だけだったので、余り近所の人と付き合いは無かった。住まいは佐賀市内、10年ほど。それまでは大阪。私にとって、大阪より佐賀に来て良かった。そして、佐賀市内より三日月に住むようになって、やっぱり良かったと思っております。私は余り外には出ませんが、寝たきりの主人と二人で、三日月に来て良かったねと話しています。
431	女性	60代	国道の207号線のバイパスもあり、早急に市の振興計画を作成し、方針等を決めてもらわないと、集落営農等の計画ができない。
518	女性	60代	難しいところもありましたが、自分なりに考えをつけました。この市に住をかまえる一員として、お互いがいたわり、自然豊かで子ども達も伸び伸びと明るく笑顔で挨拶出来るすばらしい市になることを望みます。
531	女性	60代	若い人が住みよい市や町を作って多くの若い人が安心して生活されるような所にしてもらいたい。
549	女性	60代	アンケートはむずかしいです。
577	女性	60代	小城市に長年いても小城市4地区の自然、文化とかいろいろいい所がいっぱいあると思いますが知らない人がいっぱいいると思いますので、年に1回でも会員を募ってバスでも出して回ってみたいかどうか。
659	女性	60代	小城市になり市民の方々の声がかかれる昨今です。便利不便の両方の声、時が解決してくれるとは思いますが、市になって良かったという方が多くなるよう願っています。
669	女性	60代	・この項目（自由意見）には各自多くの意見があると思います。これのみでも時々アンケートをとってください。 ・このアンケートのため市職員の仕事が過剰にならないように項目は少なめに。 小城市には他の地区に無い良さがあふれています。・蛸・棚田の彼岸花・清水の滝・八丁ダムのキャンプ・星蔵寺・鍋島家の墓地・西晴気の滝と石仏・天山登山（登り始めは池のところから）市の福祉バスを総動員する（希望者数に応じて）・天山酒蔵で芸術的催しをする・村岡総本舗、ジュース工場を見学させてもらう・蛸ロードレースは小城市を知ってもらうよきチャンスです。県外からの参加もありましたのになぜ中止ですか。車の交通量などで中止とはあきれます。小城市を全国にアピールできるチャンスだからです。 ・大いに市の議員の方々のボランティア精神に働きかける 市のはしからはしまで駆け回ってほしい。 ・絵画は虹の会、もう一つの会に企画をたのむ。会員と他の応募作品と一緒に展示する。
673	女性	60代	市議選も無事終わりましたが町から市になり報酬が15万強高くなったと聞きます。財政難で給料の減額、パートの賃金が少なくなっているのにあまりにもひどすぎます。私も時々パートに出っていますが、町の時に半分くらいにしかありません。ボランティアと思えばありがたいと思いますがこれでは若い人は後には続きません。
738	女性	60代	女の知識ではアンケートに協力した程に答になるか、むずかしい事でした。
35	不明	70歳以上	小城市は一般的には住みやすい、良い環境の街だと思います。ただし、問4の12、13で述べた事実もあることを忘れずにお願いします。
218	不明	70歳以上	合併により100億円超えの負債、10年後には300億円の負債になるという記事がありましたが、税増収の「打出の小槌」は見つかりましたか。再建団体にならないように市民の協力、協働が必要でしょう。私も自身のためはもちろん、健康第一に病院のお世話にならないようにします。次に、路肩駐車が多く、スピードオーバーの車が多いのに驚きます。信号のない横断歩道がありますが、先の交差点は赤の信号ですが車はスイスイとスピードを落とさずに通過しますが、これで良いのでしょうか。これが小城市の現状です。40キロの表示です。
264	不明	70歳以上	将来に向けて、小城市の城下町にふさわしい玄関、小城駅を改築していただきたいと思っております。
272	不明	70歳以上	私はいつも堤防のことが気になります。牛津大橋の牛津方新町の所です。是非一度だけ見に来て下さい。秋の草の茂み等、とても大変な所です。よろしくをお願いします。
296	不明	70歳以上	なるべく、ボランティア活動を進めて、いらぬお金を使わないように。
412	不明	70歳以上	目標を持った政策に取り組んでほしい。
624	不明	70歳以上	小城市になったら不自由になった。小城町の議員は自分の欲出だけ、20年前の議員のような力はない。役場職員上がりの議員はやめるべきだ。
637	不明	70歳以上	行政とは別になりますがカタカナ字には漢字のふりがなをお願いします。日本人ですから漢字で書いてあればすぐ理解できます。カタカナ文字も知らないのかと笑う人がいると思いますがお願いします。
730	不明	70歳以上	安心して暮らすことが出来る市。嘘をつかない、人の物を盗らない、だまさない、人として3原則。行政として間違いは直す勇気。
5	男性	70歳以上	市民生活は大変苦しい。財産家庭である市議会は市民の模範となり、また市議員の報酬等他市町村に見習った取り計らいが必要。市議員は仕事に専念してほしい。市民がいつも見ております。念為。
71	男性	70歳以上	社会保険などの未納者が多いと聞くが、どんな対策をたて行動しているのか、情報公開をすること、また行政の情報は共産党議員から提供される。市民も期待している。それでいいのかと、言いたい。市長も議員も職員も市民と対面して仕事をしてもらいたい。
98	男性	70歳以上	小城市各区の中心街（商業）を育てたい。郊外のスーパーに依存せず、一応は買い物出来る程度に商店街を充実してほしいと思っております（いわゆる「歩いて行ける店」の発展）。
173	男性	70歳以上	本人（88歳）は盲目のため代筆しました。視覚障害のため、郵便投票を願います。お役に立てないことがあり、申し訳ありません。
270	男性	70歳以上	牛津町にも、児童館がほしい。
313	男性	70歳以上	農業をしています。いつから集落営農に変わるのか…変えなくてはならないなら、早く取り入れてほしい。気持ちの切り替えがあるからです。
365	男性	70歳以上	1. 全ての行財政改革は、まず借金を減らして、健全財政を第一義として行って頂きたいと思っております。 2. 知恵をしぼって、お金のあまりかからない方法で行って下さい。図書館や公民館、福祉センターなど、こんなに沢山と思う程、立派な物が各所にあり、中には余り活用されていない物もあり、もったいない気がします。

回答者	性別	年齢	自由意見
386	男性	70歳以上	町村合併は財政改革を主体として実施されたと思います。国、県内各市町の三役や議員報酬が引き下げられております。市内の低所得者は、月15万円位で生活しております。然るに小城市は、議員定数は議決しておきながら、議員報酬の月15万円年間180万円位の引き上げを可決されました。議員は町村合併の主旨は捨てて、町民を愚弄したのではないかと。新議員は、町民の怒りを反省として、報酬引き下げを提案されたい。
387	男性	70歳以上	市庁舎の場所は、議会任せでなく、市民の意見を反映させて決定する。
400	男性	70歳以上	若い者が働く場所を第一に。非行にならないように。買い物は充分だと思ふ。市が合併すれば、レストランもできると思うが、分からない。
404	男性	70歳以上	町の支所で、事務が済ませられるよう、便宜を図ってもらいたい。
406	男性	70歳以上	小城市になり、多少不便になったり、分かりづらいこともあり、合併は必要なかったのではないかと感じている。それ以上に、行政サービスには期待を持っている。今後、安心して仕事に従事していけるよう、行政には頑張ってもらいたい。農業は国や県、市の施策にとても左右されやすいので、そう感じています。
435	男性	70歳以上	旧小城市の運動公園が立ち消えになりましたが、新しく造るよりは、既存の施設を充実していくのが望ましいと思います。例えば、自園のグラウンドですが、全面を人工芝にして、多目的に効率よく利用できるようにしたいものです。野球、サッカー、グランドゴルフ、テニス(ソフト、硬式)、ソフトボール、ゲートボールetc.。人工芝の場合、雨天時も雨が上がりればすぐ使えますので、助かります。
529	男性	70歳以上	河川の美化。現在牛津・芦刈方面の堀・川等の護岸工事。浮き草等の除去。
555	男性	70歳以上	【今計画されている踏切でこれからの牛津町は生き残られるか。】九州新幹線西九州ルートが開通した時の牛津駅に停車する電車又通過する電車併せて96本になるそうです。このままの踏み切りで通過した場合を考えると現在66本の電車が通っております。踏み切りの幅を広くしても遮断機の降りる時間は同じだと思います。これを解決するためには高架鉄道の他にはないと思います。牛津町内又、第3セクターセリオの生き残る道はスムーズに通ることができる道路が必要だと思います。どうかご研鑽頂きますようお願い申し上げます。
583	男性	70歳以上	総合庁舎建設について。市民の公平な立場に立ってゆっくり考え、急がなく4年くらい後に便利良い場を作るべき。 分庁式も我慢することも、小城市の発展につながる。初代市長の役の仕事。
613	男性	70歳以上	市庁舎の窓には高齢者が用件に来庁した場合どきまぎる場合があります。特に親切に対応して頂きたいと思ひます。
627	男性	70歳以上	三日月町を巡回しているバス、あれはどうしても必要なのですか？ いつ見てもガラガラで税金の無駄遣いと思ひます。
628	男性	70歳以上	2006年2月市議員で、字名を知らない人がおられました。
645	男性	70歳以上	行政は我々小城市民が、元気で、健やかで、楽しい、住みやすい“まちづくり”をやってもらいたい。それには、特に人、物、金、の統制のとれた按分が大切だと思ひ、それが結局、小城市民がこの地で住みたい“まちづくり”の一番の対策ではないだろうか。
688	男性	70歳以上	小学生中学生に対して、マナー礼儀・常識を重点に教育して頂きたい。学校の教員は勿論。家庭でも又大人も他人の子供などと考えずに教えてやって下さい。子供が悪いのではなく大人として責任は大いにあると思ひます。
712	男性	70歳以上	問8の内(9)にある下水道は早く敷設して下さい。現在浄化槽で水洗していますが費用が年間に相当額(約8万円)高いです。何とかして下さい。当家は老夫婦2人暮らしです。
751	男性	70歳以上	小城市には、神社、寺、名所、旧跡が多い町ですので、今まではそれぞれ各所で自分のところの予算で行事を行っているように思われます。だから催し事が消極的で実らない。これを続けると最後には市民から忘れ去られるように思ひますので、市の予算で大々的にやれば人も集まり観光客も呼べるようになると思ひますが。
14	女性	70歳以上	市民と出来る限りの会話をさせていただき、市民の声を聞いてほしいと思ひます。市民に親しみとわかりやすい行政をお願いしたいと思ひます。今後小城市の発展を心より願っている一市民です。
43	女性	70歳以上	“小城市に生まれ育って本当に良かったな、”と市民が感じるためには住環境の整備もさることながら・・・ハード面 市民一人ひとりがまず自分の郷土に愛着を感じ、故郷に誇りを持つような意識づくりが大切である・・・ソフト面 そのためには、学校教育や地域活動を通じて、また職場等においても小城市の歴史や地理また自然等について、勉強し触れあえるような啓蒙活動を充実していくことが不可欠である。
50	女性	70歳以上	小城市と呼ぶことが大変うれしいです。福岡市に住む長男、茨城県岩井市に住む長女にも、生まれたところが市になって自慢できます。天山の見えるこの小城市の町は日本一に美しいところです。いつまでもいつまでも、この美しさを汚さないようにしてほしいです。
78	女性	70歳以上	他県より移り住んで40年近くなり、小城市が故郷となり、子供、孫それぞれ巣立ち、すてきな故郷で誇りに思っています。高齢者になった今、足の便の不自由を感じます。巡回バス、食品の配送などが希望です。
114	女性	70歳以上	四町それぞれ分野が分かれています、何か片寄った行政に見え、強い者が勝ちみたいな、何かすっきりしないものを感じます。底辺の人の意見を聞いてほしい。情報化社会に伴い、高齢者も自己研鑽に努めるべきですが、あまりにも現代の機器が氾らんしすぎ、ついていけない状況です。高齢者も楽しめる気軽に参加できる初期の実技講習もほしいです。
126	女性	70歳以上	・各家庭から出るパソコン(こわれたもの)等の捨て場は？ ・庭の剪定した木々の処理法を。
136	女性	70歳以上	せっかく小城市になったので、市民の人々が小城市に住んで良かったと思うような住みよい市になることを望みます。また、農業、漁業、商店街もますます発展してもらえそうな市に、そのためには市民の方々も色々協力をしてみんな住みよい小城市にしたいですね。
222	女性	70歳以上	歴史のある建物、公園、寺院、遺跡を守りながら、全ての方々が“美しく住みよい市だ、”と喜んで下さるような小城市になることを願ひます。
226	女性	70歳以上	合併になり不便になりました。いろいろの手続き等、近くの役場を利用できるようお願いいたします。
250	女性	70歳以上	晴木川の草を一年に一度切ってもらっています。今後も切ってもらいたいです。
271	女性	70歳以上	広報誌などもっとわかりやすくしてほしい。
301	女性	70歳以上	特にありません。平和で事件のない町であることを願ひたい。

回答者	性別	年齢	自由意見
303	女性	70歳以上	をつける箇所が2つ、3つとあっても、80歳の私の頭ではわからず、ごめんなさい。ボランティア活動は素晴らしいことですが、心身ともに不可能です。
306	女性	70歳以上	現在年齢として、8月21日が来て80歳（満）ですが、元気そのものでしたが、本年12月23日朝方、頭痛みで早速福田脳神経外科に入院、18年1月5日退院、傷病名慢性硬膜下血腫でした。今まで病気がび入院は初めてで、近所や友人は驚かれていました。現在、日々良好に行っています。以上詳細をお伝え致します。
338	女性	70歳以上	小城市が今以上に発展するようにお願いします。
396	女性	70歳以上	婦人会も、会員が地区になっていて、希望者をつのり、嫌々入っている人のないようにしたらどうか。リーダーの一方的なもの見られるが…。また、何のグループでも、少人数で喜んで集まれるようにして、そこへ資金をやって、市全体の活性化へ向けてもらいたい。
445	女性	70歳以上	小城市役所を中心街に設け、誰でも気軽に行き、利用できることを望み、これからの小城市の益々の発展を祈ります。
460	女性	70歳以上	厳しい財政で、色々な予算が削られている中、議員さんの報酬が高くなることには合点がいきません。三役、市議員さんの給料もしかるべきだと思います。何のための合併かを考えると。
462	女性	70歳以上	通学路の安全整備。 車の通りが多いのに歩道がないため危険。
470	女性	70歳以上	現在三里地区に対しても過疎化となっていると私は思います。これから子ども達の声すら聞こえず淋しい部落になるでしょう。でも道路の車は佐賀と伊万里の短距離らしいので、朝等本当に老人子ども達は歩道を通っているのに、速度が速い大型トラックの時等吸い込まれそうな感じを受けます。すぐとは言いません。情勢ともありまじょうけど、いずれ道路拡張をお願い致します。昨年秋に歩道を自転車を通り、前輪で小石に乗り上げ病院に通院したこともあり、老人のくせにと思われても致し方ありませんが、舗装道路の歩道に石ころとは私も不思議ですけど、実際に怪我してわが身の不注意ですが、通りよいようにして下さい。
521	女性	70歳以上	85才になりますのであまり分かりません。全部書けなくてすみません。
539	女性	70歳以上	小城市は他の地域から来られた住民の方も多く、そうした方々の中には前に住んでいた所で街づくりの活動に参加されていた方も多と思います。そうした活動での体験談や、小城市に来られてからの率直な感想などを、元々住んでおられる方々との意見交換の場をつくり、橋渡しの役目を果たされることを行政にはお願いします。
560	女性	70歳以上	少子化が進んでいます。親が安心して預かってもらう保育施設、一時預かり保育施設に力を入れて頂き、安心して子育てが出来る環境をつくってほしい。
592	女性	70歳以上	4町を利用できるバスかタクシーを運行して下さい。なるべく低料金でお願いします。
596	女性	70歳以上	盛り土構造で市を分断する道路ができるようですが、せめて景観をこわさないで。分断されることで旧小城町があらゆる面で取り残されないようにしてください。この道路ができることが単なる通過地点にならないように願っています。
610	女性	70歳以上	旧町の垣根を1日も早くとりはらって、市民が仲良くなりたいたいと願っています。 問29に対してはどちらとも言えません。
651	女性	70歳以上	一人暮らしの高齢者には色々な面で一般の情報が入らない事が多いので役に立たない高齢者にも音痴ボケにならないよう知らせて頂きたい。
677	女性	70歳以上	市会議員一人一人の市政に関する考えが見えない。（市政報告の手段がない）（市広報誌はあるがふれあいがない） 今回の市議選でも車上より連呼のみにて個人演説会もなく全く候補の考えが判らない。血縁地縁ではないと思うが？ 議員手当増額 行財政改革は声のみか？
689	女性	70歳以上	高齢者が利用できる施設を末端まで作ってほしい。現在色々と苦労していますが、足が悪い高齢者は行きたくても行けません。
715	女性	70歳以上	旧町意識はすぐには解消できないと思います。4町毎に実施しているイベントを1つにするとか旧町回しですとかと考えます。 市庁舎を早期に計画することを望みます。
10	不明	不明	前例にとらわれず、地域の声を吸い上げてもらいたい。一般企業なみのリストラを実施すべきである。
200	不明	不明	医療費使用通知書について、現在報告されています。5ヶ月から4ヶ月過ぎでの通知では、あまり意味がないと思われる。一般企業のように厳しく職務に対する追求を願う。もし通知されるようでしたら、もっと早く通知されるよう努力をお願い致します。
352	不明	不明	田舎のままでいいです。都市化、観光地化は好みません。100年先、孫達がゆったり暮らせる市にしてほしいです。
393	不明	不明	市の機関が4町に分離しており、大変不便。特に農林業課が遠すぎて困る。早く一箇所にまとめてほしい。
550	不明	不明	市になり広くなり色々なことで不自由を感じている。健康診断などの時など遠い道で困っている。